Rotary

国際ロータリー第2730地区

2020－21年度

地区研修・協議会

2020－21年度RIテーマ

ロータリーは機会の扉を開く

2020－21年度
地区スローガン

『不易流行・ロータリーの基本を堅持し
変化に適応するクラブを』

国際ロータリー第2730地区
2020-21年度
ガバナー　風呂井　敬

鹿屋体育大学

かのやばら園

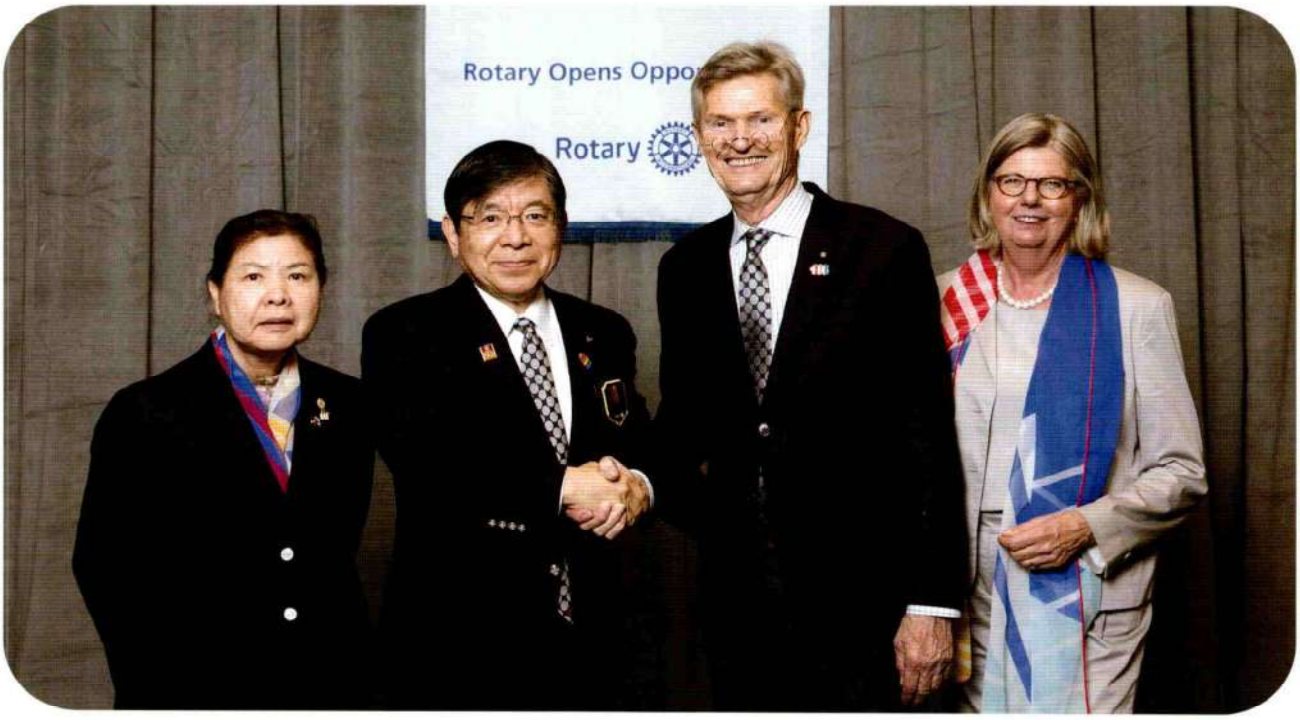
Rotary

ロータリーは
機会の扉を開く

2020–21年度 RIテーマ

国際ロータリー第2730地区スローガン

不易流行・ロータリーの基本を堅持し
変化に適応するクラブを



ロータリーとは、クラブに入会するというだけでなく、無限の機会への招待です
私たちのあらゆる活動が、どこかで、誰かのために機会の扉を開いています
（国際協議会にて：ホルガー・クナーク RI 会長エレクト夫妻と風呂井敬ガバナーエレクト夫妻）

Rotary

ロータリーとは

基本理念　Ideal of Service

1912年(大正1) E.L スキール

第一標語　Service Above Self

1911年(明治44) F. コリンズ 当初は not
1920年(大正9頃) aboveに

第二標語　One Profits Most Who Serves Best

1910年(明治43) A.F. シェルドン 当初は He
2004年(平成16) Theyに
2013年(平成25) Oneに

ロータリーの目的

2012年(平成24)日本語訳を綱領から目的に改定 条文の訳も改定

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある:

第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること;

第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること;

第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること;

第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

Rotary

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1．真実か どうか

2．みんなに公平か

3．好意と友情を深めるか

4．みんなのためになるか どうか

職業人としてのロータリアンの心構えを、ロータリーの倫理基準から具体的に記述した「ロータリー倫理訓」を一般の職業人にも理解できるように簡潔にまとめたものが「４つのテスト」です。

IS it the truth?
真実かどうか

「嘘偽りがないかどうか」という意味です。

Is it fair to all concerned?
みんなに公平か

通例の和訳では「みんなに公平化か」になっていますが、直訳すれば、「すべての取引先に対して公平かどうか」を意味します。

ビジネスにおいて、明白で公正な取引を行っているかという投げかけになるでしょう。

Will it build goodwill and better friendship?
好意と友情を深めるか

“goodwill”は好意とか善意を単に表す言葉ではなく、商売上の信用や評判を表すと共に、店の暖簾や取引先を表します。すなわちその商取引が店の信用を高めると同時に、よりよい人間関係を築き上げ、取引先を増やすかどうかを問うものです。

Will it be benefical to all concerned?
みんなのためになるかどうか

“Benefit”は「儲け」そのものを表す言葉です。

ただし売り手だけが儲かったり、また買い手だけが得をしたのではなく、すべての取引先が適正な利潤を得るかどうかを問いかけています。

Rotary

ロータリアンの行動規範

ロータリアンとして、私は以下のように行動する。

1．個人として、また事業において、高潔さと高い倫理基準をもって行動する。

2．取引のすべてにおいて公正に努め、相手とその職業に対して尊重の念をもって接する。

3．自分の職業スキルを生かして、若い人びとを導き、特別なニーズを抱える人びとを助け、地域社会や世界中の人びとの生活の質を高める。

4．ロータリーやほかのロータリアンの評判を落とすような言動は避ける。

5．ロータリーの会合、行事、および活動においてハラスメントのない環境を維持することを支援し、ハラスメントの疑いがあれば報告し、ハラスメントを報告した人への報復が起こらないよう確認する。（2019年1月 RI理事会決定119号）

ロータリークラブの目的

本クラブの目的は、「ロータリーの目的」の達成を目指し、五大奉仕部門に基づいて成果あふれる奉仕プロジェクトを実施し、会員増強を通じてロータリーの発展に寄与し、ロータリー財団を支援し、クラブレベルを超えたリーダーを育成することである。

Rotary

職　業　宣　言

奉仕の機会としてあらゆる職業において、高度の道徳的水準を推進し、その価値を認め、職業を社会のニーズに役立てるため、1989年規程審議会は次の職業宣言を採択した。

専業または専門職務に携わるロータリアンとして、私は以下の要請に応えんとするものである。

1）職業は奉仕の一つの機会なりと心に銘せよ。

2）職業の倫理的規範、国の法律、地域社会の道徳規準に対し、名実ともに忠実であれ。

3）職業の品位を保ち、自ら選んだ職業において、最高度の倫理的基準を推進すべく全力を尽くせ。

4）雇主、従業員、同僚、同業者、顧客、公衆、その他事業または専門職務上関係をもつすべての人々に対し、ひとしく公正なるべし。

5）社会に有用な全ての業務に対し、当然それに伴う名誉と敬意を表すべきことを知れ。

6）自己の職業上の手腕を捧げて、青少年に機会を開き、他人からの、格別の要請にも応え、地域社会の生活の質を高めよ。

7）広告に際し、また自己の事業または専門職務に関して、これを世に問うにあたっては、正直専一なるべし。

8）事業又は専門職務上の関係において、普通には得られない便宜ないし特典を、同僚ロータリアンに求めず、また与うることなかれ。

この職業宣言は、ロータリーの綱領・倫理宣言・道徳訓などの一連のロータリー思想の流れを強調し確認するものです。ロータリーの綱領の「ロータリーの目的」についてさらに具体的にその実践の細目をあげて、改めてロータリーの倫理化の推進の目的を明確にしているのです。その中でも上記第２項では国法を超えた「人倫の徳とか道徳」と言われる高い倫理基準に名実ともに忠実であるべきことを厳しく教え、第３項には「職業の品位を高め」とあり、また「天職」という思想をうちに秘めて、「自ら選んだ職業なのだからその職業に最高の倫理基準を推進せよ」と厳しく自らに命じています。第７項では誇大広告の禁止と、第８項にロータリアンへの特典贈与を戒めています。

資 料 一 覧

ロータリーとは・四つのテスト・ロータリアンの行動規範・クラブの目的・職業宣言
参考資料
RI会長エレクトのテーマ講演 …… 1
RI会長エレクトメッセージ(テーマ講演の要約) …… 7
2020-21年度 ロータリー賞の目標達成方法に関する説明 …… 9
2020-21年度 ガバナー・ガバナーエレクト・パストガバナー諮問委員会 …… 11
ガバナー補佐・ガバナー事務所紹介 …… 12
国際ロータリー第2730地区　ガバナー挨拶 …… 13
国際ロータリー第2730地区　ガバナーエレクト挨拶・紹介 …… 14
国際ロータリー第2730地区　ガバナーノミニー挨拶・紹介 …… 16

◇2020－21年度 地区の基本方針と活動計画
・地区の基本方針と活動計画 …… 19
・地区組織と運営について …… 28
・地区委員会組織図(案) …… 45～46
・地区概況(地図) …… 47
・ロータリークラブ創立日(グループ別・県別) …… 48～49
・鹿児島県・宮崎県ロータリークラブの拡大推移と系統図 …… 50～51
・ガバナー公式訪問の日程と要項について …… 52～53
・2020-21年度 ガバナー補佐一覧 …… 54
・ロータリーの目的について …… 55
・地区戦略計画について …… 57
・RLIについて …… 62
・2019年規定審議会について …… 67
・危機管理について …… 71
・ガバナー指名について …… 75
・地区70周年について …… 76

◇2020－21年度 地区資金関係資料 …… 78

◇部門別委員会基本方針・活動計画 …… 100
●会員増強部門
・拡大委員会　・会員増強委員会
●奉仕プロジェクト部門
・職業奉仕委員会　・社会奉仕委員会
・国際奉仕委員会　・青少年奉仕統括委員会
●青少年奉仕統括委員会
・インターアクト委員会　・ローターアクト委員会
・青少年交換委員会　・ライラ委員会
●クラブ管理運営部門
・クラブ管理運営委員会(会長・幹事・会計・SAA・親睦・出席・プログラム)
・クラブ戦略計画推進委員会
・クラブリーダー養成研修委員会
●ロータリー財団部門
・財団資金推進委員会　・補助金委員会
・ポリオプラス　・ロータリーカード委員会
・ロータリー平和フェローシップ委員会
・財団資金管理委員会
●米山記念奨学部門
・米山寄付推進委員会　・米山奨学生選考委員会
・米山学友委員会
・2730地区奨学生一覧(2020学年度)
・寄付納入明細推移
●広報・公共イメージ部門
・公共イメージ委員会
・広報・IT(コミュニケーション計画)委員会
・ロータリー情報誌委員会
●ロータリー学友委員会
・ロータリー学友会 半期活動報告
・ロータリーの友委員会
●ロータリーの友について
●ガバナー月信委員会

◇資　料 …… 150
・国際ロータリー理事会の決定事項
・2020-21年度 地区役員・委員会名簿 1～6
・2020-21年度 クラブ会長・幹事名簿(宮崎県・鹿児島県)
・2020-21年度 地区ローターアクト・インターアクト現況
・地区の姉妹盟約・クラブの姉妹関係
・地区ロータリークラブの姉妹関係
・地区ロータリークラブの友好関係
・地区内プロバスクラブ現況
・地区ロータリー地域社会共同体(RCC)現況
・各種種類について
・Dropboxの見方
・出席規定と例会出席率の算出
・今後のスケジュール(予定)
・ロータリー関係事務所一覧

〔参考資料〕

国際ロータリー第2730地区 地区研修・協議会次第

2020年５月17日（日）　鹿屋市文化会館

８：30　受付開始

「次期会長会議」　参加対象者：会長エレクト　　会場：鹿屋市中央公民館

９：00	本年度地区決算見込説明	地区財務委員長	衛藤　清隆
	次期地区予算説明及び承認について （地区運営基金の説明）	次期地区財務委員長	山﨑　隆夫
９：25	閉会　本会議会場へ移動　徒歩１分（鹿屋市文化会館）		

「本会議」　　会場：鹿屋市文化会館

	資料の確認		
９：35	歓迎のあいさつ	かのや東ロータリークラブ会長	森　健一
	開会・点鐘	ガバナーエレクト	風呂井　敬
	国歌斉唱・ロータリーソング「奉仕の理想」斉唱		
	出席者紹介	ガバナーエレクト	風呂井　敬
９：50	ガバナー挨拶	ガバナー	喜島健一郎
９：55	次年度RIテーマ及び地区基本方針について	ガバナーエレクト	風呂井　敬
10：20	クラブの運営について	次期地区研修リーダー	安満　良明
10：35	地区戦略計画について	次期地区戦略計画委員長	山下　皓三
	ロータリー・リーダーシップ研究会について	次期RLI委員長	山下　皓三
	2019年規定審議会報告	規定審議会代表議員	山下　皓三
11：05	危機管理について	次期危機管理委員長	野中　玄雄
11：15	地区70周年について	地区70周年実行委員会委員長	田村　智英
11：20	（休憩）		
11：30	**講演「元気なクラブはビジョンづくりから～私たちのクラブはどこに行く？～」**		
		日本のロータリー100周年ビジョン策定委員会委員長	**本田　博己**
12：30	（昼食）		
13：20	次期地区組織について	次期地区幹事	北山　勉
13：25	次年度各部門基本方針発表（各部門８分）		
	＊会員増強部門	次期会員増強部門長	川原　篤雄
	＊奉仕プロジェクト部門	次期奉仕プロジェクト部門長	田中　俊實
	＊クラブ管理運営部門	次期クラブ管理運営部門長	古木　圭介
	＊ロータリー財団部門	次期ロータリー財団部門長	押川　弘己
	＊米山記念奨学会部門	次期米山記念奨学会部門長	長嶺　貴臣
	＊広報・公共イメージ部門	次期広報・公共イメージ部門長	尾形　栄

14：15	ロータリー学友について	次期ロータリー学友委員長	岩澤　浩二
14：20	ロータリーの友について	次期ロータリーの友地区代表委員	深尾　兼好
14：25	ガバナー月信について	次期ガバナー月信副委員長	四元　隆二
14：30	公式訪問の日程と要項について	次期筆頭副幹事	園田　泰治
14：35	ロータリーカードについて	次期ポリオプラス・ロータリーカード委員長	中村　聡
14：40	地区大会案内	地区大会実行委員長	前田　均
14：45	ガバナーノミニー紹介・挨拶	ガバナーノミニー	井福　博文
14：50	講評	次期地区研修リーダー	安満　良明
15：00	閉会・点鐘 (各分科会会場へ移動)	ガバナーエレクト	風呂井　敬

【分科会】　会場：鹿屋市文化会館・鹿屋市中央公民館

15：15　分科会(部門、委員会会議)

1．会員増強部門	拡大・会員増強・選考・ガバナー補佐
2．奉仕プロジェクト部門　I	職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕
3．奉仕プロジェクト部門　II	青少年奉仕関連(IA・RA・ライラ) ロータリー学友・危機管理
4．クラブ管理運営部門	会長・幹事・会計・SAA・親睦・出席 プログラム・戦略計画・研修
5．ロータリー財団部門	ロータリー財団関係
6．米山記念奨学会部門	米山記念奨学会関係
7．広報・公共イメージ部門	公共イメージ・広報・IT・情報雑誌 ロータリーの友・ガバナー月信
8．地区財務委員会関係	会計・クラブ事務局員・地区財務

16：30　終了・分科会別に解散

＊3年未満の会員の方は、次年度クラブの所属委員会の分科会にご参加ください。

＊各分科会の報告については、地区ホームページ、月信で発表いたします。

※上記スケジュールで開催する予定でした。

RI会長エレクトのテーマ講演　2020年1月20日

国際ロータリー会長エレクト　**ホルガー・クナーク**

2020－21年度会長
ドイツ Herzogtum Lauenburg-Mölln ロータリークラブ所属
1992年にロータリー入会。ロータリーの財務長、理事、モデレーター、各種委員会の委員や委員長、規定審議会代表議員、ゾーンコーディネーター、研修リーダー地区ガバナー、2019年ハンブルグ国際大会ホスト組織委員会の共同委員長を歴任。現在は恒久基金／大口寄付アドバイザーを務める。
不動産業を営む「Knaack KG」のCEO。125年続く家族事業の「Knaack Enterprises」の元パートナー兼ゼネラルマネージャー。
地域社会では、ラッツェブルグ市市民財団の創設メンバーであり、Gut Grambek ゴルフクラブの会長を務めた経験をもつ。カール・アダム財団の会長で創設者。
スザンヌ夫人とともにメジャードナー、遺贈友の会会員としてロータリー財団を支援。

14年前、ロータリーはここサンディエゴで初となる国際協議会を開催しました。当時ガバナーエレクトだった私は、今皆さんがおられるところに座り、待ち受ける責務とリーダーとしての挑戦で緊張しておりました。

2020年となった今、サンディエゴで開かれる最後の国際協議会でも、やや緊張気味です。私にとっては今回のほうが責務が大きいからです。しかし、可能性も大きいのです。これからのあらゆる機会を皆さんと共有できることを、とても楽しみにしています。

新たなリーダーシップの年度とともに地区の重要な仕事が終わってしまわずに、さらに注力されていくよう、皆さんはチームの一員となって年度を越えて協力します。

私もチームの一員です。

ロータリーの成長に対するマーク・マローニー会長の強い決意を受け継いでいけることを誇りに思います。とはいえ、数字を掲げて成長を求めるようなことはしません。その理由はごく単純です。これまで数字を掲げて成長を求めるたびに、失敗に終わってきたからです。皆さんには、数字にこだわる代わりに、有機的かつ持続可能なかたちで、いかにしてロータリーを成長させることができるかを考えていただきたいと思います。いかに現会員を維持し、クラブにふさわしい新会員を募れるか。そして、立ちはだかる課題に立ち向かうため、いかに組織を強くできるか。ポリオ根絶の取り組みによって世界でロータリーへの認識が高まっているこの絶好の機会に、行動を起こさなくてはなりません。「太陽が出ているうちに屋根を修理しなければならない」のです。

多くの意味で、ロータリーは素晴らしい状態にあります。財務も健全です。財団は、世界で最高の慈善団体の一つに数えられています。グローバル補助金は増え続け、ロータリーは年々、国際的な活動に注力するようになっています。

ロータリーはまた、興味深いかたちで進化しています。今では、アジアのロータリアン数が北米のその数を上回っています。しかし、この傾向が続けばリスクもあります。特に人口の高齢

化が進む地域で、ロータリーが衰退し、老齢化しています。

何もせずにこれまでの功績に満足していることはできません。デジタル革命が私たちにもたらした打撃は、予想をはるかに超えています。これまでもこの課題に直面していましたが、十分な対応が取られてきませんでした。

最近、ニューヨーク州ロチェスターでロータリアンの方々にお話しする機会がありました。コダックの元幹部もそこに出席していました。その方によると、写真がいずれデジタルに移行するだろうと皆わかっていたものの、実際にそれほど早くそれが起こるとは予期していなかったそうです。業界の世界的リーダーだった同社は、わずか数年で倒産してしまいました。

時間は、私たちのためにスローダウンしてくれません。

とはいえ、私たちは急速な変化に負けません。この機会をとらえてロータリーを成長させ、より強く、適応力を高め、中核的価値観により沿ったロータリーとなるのです。

ドイツで私たちは、ロータリーは価値を共有し、高潔な心をもつ人のコミュニティであると考えています。人びとをロータリーに引きつけるのは、友情と人脈づくりの機会です。だからこそ、クラブが強いのです。奉仕の力は強いクラブから生まれます。

「四つのテスト」は、客観的に物事を決める上で助けとなります。その要は、内省です。時に、自分の目で見たことが真実であるかどうかさえわからなくなることがあります。しかし、「四つのテスト」のおかげで、私たちはこう自問します。「自分は正直か」「自分のしていることは正しいか」、と。これは大切なことです。では、自分に正直であるなら、将来を考えたとき、待ち受ける課題に取り組むためにロータリーは十分に手を尽くしていると言えるでしょうか。

ロータリーは変わらなければなりませんし、必ず変わります。古き良きロータリーではなくなったと文句を言うロータリアン仲間がいたとしても、変わらなければならないのです。ポール・ハリスが言ったように、時に革命的でなければなりません。そして、革命的であるべきときは、まさに今なのです。その一つの方法は、新クラブのモデルをつくり、ロータリー会員であることの意味を考え直すことです。新クラブの設計者は、若い人たちであるべきです。

多くの若者にとって、一緒に座って食事をすることは、一番良い例会の方法ではありません。この方法で100年以上例会を開いてきたからといって、それが唯一の方法であるわけではありません。例えば、スザンヌが所属するクラブは地元の E クラブですが、週1回、オンラインで例会を行い、スマートフォンのアプリで連絡を取りあい、顔を合わせるのは月1回です。

スザンヌのクラブの会員は、27歳から70歳にわたります。私は、ロータリークラブのこのような世代の多様性が好きです。多世代のクラブ、これこそが理想です。これに成功するクラブもあるでしょうが、若い世代のニーズに応えてはじめて可能となります。

新しいアプローチに心を開かなくてはなりません。若い人たちのためにユニークな新クラブをつくることは、解決策の一部にすぎません。皆さんには、これを実施する力があります。これ

が成功するかどうかは、皆さん次第です。新しいロータリークラブの結成は、地区ガバナー特有の責務です。国際ロータリーが既に変化を受け入れた今、これらの新クラブを実現できるかどうかは皆さんにかかっています。

ところで、若い世代の声を聞き、既存クラブへの入会を若い世代にとってより魅力的なものとする一つの方法は、環境にもっと焦点を当てることです。オーストラリアの山火事など、近年の災害により、断固たる行動を取ることの重要性が浮き彫りとなっています。過去3代の会長は、環境保全にロータリーがより力を入れるべきであることを強く主張しました。できることは数多くあります。プラスチックの消費を減らすこと、自宅やオフィスの冷房や暖房を効かせすぎないこと、ドイツの高速道路で飛ばしすぎないこと……。ロータリーは奉仕プロジェクトに環境保護や持続可能性を既に組み入れていますが、これらの問題をもっと優先させなければなりません。若い人たちは、私たちから行動へのインスピレーションをもらうことを待ち望んでいます。

今の若者は、奉仕を楽しみ、活動的でありたいと望んでいます。この傾向をローターアクトに見ることができます。ローターアクターは今や、私たちと同じく、国際ロータリーの一部です。作為的な年齢制限は廃止されました。自分たちに一番合うロータリーの体験はどのようなものかを、ローターアクター自らに決めてもらおうではありませんか。ローターアクターと一緒に活動したことのある方なら、この若者たちが聡明で、活発で、行動力のある人たちであることを知っているはずです。ローターアクターは、テンポが速く、より活動的で、せっかちです。この「せっかち」は、長所です。今すぐに結果を出したいから、物事を早く成し遂げるのに必要な仕事に取り組もうとします。

このせっかちさと粘り強さが、成果を生みます。9年前、ベルリン動物園と協力した新しいプロジェクトのアイデアをロータリアンたちが思いつきました。それは、年に1度、週末に、運動、読書、健康的な食事を促進するために子ども向けの楽しいショーを開催するものでした。ロータリークラブがまだこのプロジェクトについて検討し、協議している間に、ローターアクターたちはこれを早速開始することを決めました。そして今、ベルリンの全36のロータリークラブとローターアクトクラブがこのプロジェクトに参加し、何千人という恵まれない子どもに喜びを与えています。

ですから、課題に立ち向かい、ローターアクターや若い職業人にロータリーの扉を開こうではありませんか。

一方で、ロータリアンとなるのにふさわしくない年齢はないということも覚えておきましょう。年齢にかかわらず、誰でも歓迎します。どの年齢の人も、与えることのできる大切な何かをもっています。若いロータリアンに働きかけながらも、ほかの年齢の人を忘れてはなりません。

しかし、既存のクラブはどうでしょうか？世界には、会員の参加促進と維持に成功している地域がある一方で、もっとがんばらなくてはならない地域もあります。成功するには、慎重に新会員を選び、それぞれの新会員に合ったクラブに入会できるようにしていかなければなりません。クラブが新会員の期待に沿う必要があります。十分に時間をかけてこれに真剣に取り組むことは、生涯続いていく新しい友人を選ぶことと同じです。

新会員を、会員数を増やす人員であるかのように考え、やがて忘れてしまうというのは止める必要があります。退会した人はロータリーについて周囲に話し、これがロータリーのイメージに影響します。すべての新ロータリアンに、生涯のロータリアンになってもらいたい、ロータリーに積極的に参加する友人になってもらいたいと、私たちは考えています。

どの新会員も、私たちを少しだけ変えてくれます。新しい視野と経験をもたらしてくれます。このような絶え間ない変化を受け入れる必要があります。新会員から学び、その経験と知識を生かすことで、私たちはより強くなります。だからこそ、クラブに、そしてリーダーの役職に、もっと多くの女性が必要なのです。

新しい人と出会い、その人たちにロータリーを楽しんでもらうことは、私たち自身にとっても楽しみであることを忘れてはなりません。私たちは、互いのつきあいを楽しみながら、さまざまな活動で充実した時間を過ごしています。このような楽しい経験を生かす必要があります。

楽しむための一番の方法は、この協議会や国際大会のような大勢の会議であれ、奉仕プロジェクトや例会であれ、皆が集まること(together)です。集まれば、より活動的になることができます。

ロータリーのビジョン声明の最初の一語がこの言葉(together)であることも、驚くことではありません。「Together, we see a world where people unite and take action to create lasting change — across the globe, in our communities, and in ourselves. (私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています)」

ビジョン声明は、ロータリーの新しい行動計画の土台を成すものです。その実施において、皆さんは極めて重要な役割を担っています。この新しい行動計画の要は、ロータリーの成長であり、デジタル時代にロータリーが適応する一助となることです。この行動計画を実行に移す時が、今やってきました。今後５年間、この計画によりロータリーがより大きなインパクトをもたらし、参加者の基盤を広げ、参加者の積極的なかかわりを促し、適応力を高めていくことになります。
すべてのロータリークラブに、少なくとも年に1度、戦略立案会議を開いていただきたいと思います。各クラブが、５年後にどのようなクラブになりたいかを自問し、クラブが会員にもたらす価値がどのようなものかを認識すべきです。

ロータリーが唯一無二で、世界とシェアするに値する存在であるのはなぜでしょうか。皆さんご自身や奉仕の受益者に、どのような比類ない機会への扉を開くことができるでしょうか。

私たちは人との交わりを楽しみます。世界のどこへ行こうと、出会ったロータリアンと親友になり、もっと一緒に時間を過ごしたいと感じます。私たちは、異なる環境、異なる世代、言葉、文化をもっています。ロータリーでの過ごし方でさえ、国によって、またクラブによって異なります。この多様性こそが、ロータリーを素晴らしいものとしているのです。

私たちは、共有する価値観の下に集まっています。私たちは皆、固い友情でつながり、「四つの

テスト」を信じています。ロータリーを経験する方法はいたるところで異なりますが、「四つのテスト」は誰にとっても同じです。

ロータリーは、奉仕プロジェクトを実施し、やり遂げる機会を与えてくれます。これらは、意義があり、持続可能なプロジェクトです。ロータリーでは、寄付だけでなく、奉仕活動も行い、その奉仕がもたらす持続可能なインパクトをこの目で見ることができます。これは、他にはない機会です。

ロータリーは、奉仕のアイデアを実行に移すために、世界を旅する機会を私たちの多くに与えてきました。

ロータリーはまた、リーダーシップの機会も与えてくれます。私たちは皆、新しい大きな責務を引き受けました。これは、自分自身の栄光のためでなく、ロータリーのために、ロータリーのネットワークを強化する機会です。人びとのためにリーダーシップへの道を切り開いてあげることこそ、真のロータリーの理念であり、そうすることで皆さん自身がより効果的なリーダーとなります。

私たちがここに来たのは、ロータリーがもたらす機会を信じているからです。それは、ほかの人びとにとっての機会であり、私たち自身にとっての機会です。奉仕の行いは、その大小にかかわらず、助けを必要とする人たちのために機会を生みだすものであると信じています。私たちはまた、どんな奉仕の行いも、インスピレーションを与えることで私たちを変える力をもっていることを知っています。

このことを示す四つのストーリーをご紹介します。

研修リーダー、クリスティナ・コヴォツ・パトロクルさん：
私が地区ガバナーとしての１年を終えるとき、地区内のロータリアンが毎年行っている奉仕について改めて知り、謙虚な気持ちと畏敬の念でいっぱいになりました。十分な資金援助が受けられずに忘れ去られた学校への支援、心臓病やがんを抱える子どもが普通の生活を送られるようにするための支援、学校へのきれいな水の提供など、ロータリーは機会を生み出し、それまで機会が得られなかった人に希望を与えています。

研修リーダー、ルド・ヴァン・ヘルプットさん：
私はそれ（機会）を、他人の目の中、そして本では見つけられない世界とのつながりの中に見つけました。それは、インドでの全国予防接種日に、ポリオ予防接種を子どもに受けさせようとわが子を差し出した母親でした。この母親の目に表された感謝の気持ちが、その大きさを物語っていました。ワクチン２滴と笑顔……。これがその子の人生を変えたのです。しかし、私の人生も変わりました。ロータリーは、末永い変化を生み、自分自身に心の平和を見出す機会を与えたのです。

研修リーダー、アハメド A. サーダさん：
28歳のとき、ロータリーで研究グループ交換に参加する機会に恵まれました。そこで私は、ある教授と出会い、ジョンズ・ホプキンス大学での奨学金を与えていただき、臨床研究のスキル

を磨いて博士号を取得することができました。帰国後、ロータリーへの入会を求められ、新たな奉仕の世界が私に開かれました。これまで26年間、医療団でボランティアをする機会があるごとに参加してきました。しかし、ロータリーでの最高の機会は、私がローターアクターだった時にやって来ました。そこで、生涯の伴侶となる妻ラニアと出会ったのです！

研修リーダー、メアリー B. バージさん：
私は出生後に養子に出され、小さな４人家族と共に育ちました。高校では、いじめっ子から逃れるためにトイレに隠れて過ごすことがよくありました。何年間も、追従すること満足し、自分に秘められた可能性にまったく気づきませんでした。ロータリーが、世界市民となり、リーダーシップを発揮し、自信と強さをもってこのステージに立つ機会を与えてくれました。ロータリーは次にどんな機会をもたらすでしょうか？それが何かは分かりませんが、ロータリーのおかげで、私はその機会を受け入れる準備ができています。

ご存知の通り、ロータリーとは、クラブに入会するというだけでなく、無限の機会への招待です。ポリオ根絶のように大規模で歴史的なプロジェクトから、地域社会でのささやかなプロジェクトや１本の植樹まで、奉仕する機会への扉を開いてくれます。

私たちの中核的価値観を基に、世界中の友人たちとともに、より豊かで意義ある人生への機会の扉を開いてくれます。

ロータリアンとして、ロータリーにとってのこの素晴らしい時にリーダーの役割を務められることは幸いです。

私たちのあらゆる活動が、どこかで、誰かのために機会の扉を開いています。

従って、私たちの年度のテーマは、「**ロータリーは機会の扉を開く**」です。

RI会長エレクトメッセージ(テーマ講演の要約)

2020-21 年度RI会長テーマについて

2020-21年度のRI会長テーマは「Rotary Opens Opportunities、ロータリーは機会の扉を開く」です。「OpportunityJ は意志をもって作る機会で、チャンスのように偶然性と区別されています。また、テーマロゴの扉の色は、公式発表はありませんが、ロイヤルブルーとゴールドはロータリーであり、クランベリーレッドはローターアクトを表しているそうです。

クナーク氏は
1、ロータリーに参加すれば世界中の友人たちとともに、より豊かで意義ある人生への機会の扉を開いてくれる。
2、私たちロータリーのあらゆる(奉仕)活動が、どこかで、誰かのために機会の扉を開く。
と述べています。そして、ロータリーの価値観の大切さを強調しています。

2020-21 年度RI基本方針について

クナーク氏は劇的に変化するロータリーの中でも、これからも変わらないものとして、中核的価値観を強調しています。

中核的価値観　Rotary's Core Values

1、親睦
2、高潔性
3、多様性
4、奉仕
5、リーダーシップ

今年の国際協議会でも、2017年７月のRI理事会で採択されたビジョン声明が強く強調されていました。このビジョン声明はロータリーのこれからの行動の土台を成すものと言ってよいでしょう。ロータリーのビジョン声明Rotary's Vision Statement
「私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。」

また、ビジョン声明を達成するため、今後５年間の活動を方向付ける４つの優先事項が定められました。

ロータリーの戦略的優先事項

1、より大きなインパクトをもたらす
2、参加者の基盤を広げる
3、参加者の積極的なかかわりを促す
4、適応力を高める

1、より大きなインパクトをもたらす
力を集結すれば、より大きなことができます。クラブの奉仕活動を、「何のために、誰のために」をもう一度検討し、奉仕活動の絞り込みもひとつの手段ではないでしょうか。ロータリーがポリオとの戦いに勝利すれば大きなインパクトになります。
2、参加者の基盤を広げる 今まで、ロータリーに興味のなかった人たちにも働きかけてみま

しょう。地域社会の組織・団体ともパートナーシップを組むこともひとつの方法です。

3、参加者の積極的なかかわりを促す

共に行動し奉仕することにより、人間関係を広げ、満足のいく経験を得られる機会を参加者に提供しなければなりません。

4、適応力を高める

急速に変化する世の中において、ロータリーを進化させるためには、適応力が大切です。クラブ運営などは柔軟で合理的な方法を検討しましょう。

また、ロータリーの活動分野を表すものとして、6重点分野があります。次年度には環境問題が新しく加えることが検討されています。

6つの重点分野

1、平和の推進
2、疾病との闘い
3、水と衛生
4、母子の健康
5、教育の支援
6、地域経済の発展

2020-21年度RIロータリー賞について

クナーク氏とRIはさっそく、2020-21年度ロータリー賞を提示しました。詳細は公式訪問など様々な機会をとらえてお伝えしますが、ロータリー賞こそクナーク氏から各クラブに対する期待を込めたメッセージと言えるでしょう。

1、ロータリークラブ・セントラルを開く
2.25の目標に目を通す(25の扉)
3、その中から13の目標(全目標の52%)を選ぶ
4、選んだ目標を達成する
5、ロータリークラブ・セントラルで目標を報告する
6、達成を祝う!

これには「正規にRIに加盟している」という条件はありますが、ロータリークラブ・セントラル内で電子的に行われるところは、マイロータリーへの登録と活用を促していることが伺えます。

2020-21 年度ロータリー賞の目標達成方法に関する説明

Rotary

2020-21年度より、ロータリークラブのリーダーは、ロータリー賞の達成を目指すにあたり、ロータリークラブ・セントラルから25の目標のうち少なくとも13の目標を選ぶことができるようになります。このような柔軟性が適用されたことにより、ラブにとって最も重要で達成可能と思われる目標を選ぶことが可能となります。さらに、目標の多くはロータリークラブ・セントラル内で「達成」に印をつける自己報告方式となります。

ロータリー賞を達成するには以下を行う必要があります：

- ●ロータリークラブ・セントラルを開く
- ●25の目標に目を通す
- ●その中から13の目標（または全目標の51％以上）を選ぶ
- ●選んだ目標を達成する
- ●ロータリークラブ・セントラルで達成を報告する

ロータリークラブ・セントラルを開いたら、「**目標設定・確認センター**」をクリックし、**年度**を選び、「すべて」をクリックしてください。2020-21 ロータリー年度の目標は次の通りです：

	目　標	目標の詳細
1	会員増強	ロータリー年度末までに達成したいクラブ会員総数
2	奉仕活動への参加	本ロータリー年度にクラブの奉仕活動に参加する会員の数
3	新会員の推薦	本ロータリー年度に新会員を推薦する現会員の数
4	ロータリー行動グループへの参加	本ロータリー年度に少なくとも１つのロータリー行動グループのメンバーとなっている会員の数
5	リーダーシップ育成への参加	本ロータリー年度にリーダーシップ養成プログラム／活動に参加する会員の数
6	地区大会への出席	地区大会に出席する会員の数
7	ロータリー親睦活動グループへの参加	本ロータリー年度にロータリー親睦活動グループのメンバーとなっている会員の数
8	地区研修への参加	地区研修・協議会に出席するクラブ委員会委員長の数
9	年次基金への寄付	本ロータリー年度のクラブと会員によるロータリー財団年次基金への寄付総額
10	ポリオプラス基金への寄付	本ロータリー年度のクラブと会員によるロータリー財団ポリオプラス基金への寄付総額

	目　標	目標の詳細
11	大口寄付	本ロータリー年度に寄せられる一括10,000ドル以上の寄付の件数
12	遺贈友の会会員	遺産計画を通じてロータリー財団に10,000 ドル以上の寄付を誓約することを、初めて本ロータリー年度にロータリー財団に通知する個人・夫婦の数
13	ベネファクター	遺言またはそのほかの遺産計画に財団恒久基金を指定して寄付することをロータリー財団に通知または恒久基金に1,000ドル以上を寄付して、新たにベネファクターとなる個人・夫婦の数
14	奉仕プロジェクト	本ロータリー年度にクラブが実施する奉仕プロジェクトの数
15	ローターアクトクラブ	本ロータリー年度にクラブがスポンサーする新ローターアクトクラブと既存ローターアクトクラブの数
16	インターアクトクラブ	本ロータリー年度にクラブがスポンサーする新インターアクトクラブと既存インターアクトクラブの数
17	来訪する青少年交換学生	本ロータリー年度にクラブが受け入れる青少年交換学生の数
18	派遣する青少年交換学生	本ロータリー年度にクラブが派遣する青少年交換学生の数
19	ＲＹＬＡ参加者	本ロータリー年度にクラブが支援するＲＹＬＡ(ロータリー青少年指導者養成プログラム)参加者の数
20	クラブ戦略計画	クラブには最新の戦略計画があるか
21	インターネット上の存在感	インターネット上にあるクラブの情報は現在の活動を正確に反映しているか
22	親睦のための活動	本ロータリー年度、例会以外に親睦を目的としてクラブが実施した活動の回数
23	ウェブサイトとソーシャルメディアの更新	本ロータリー年度中、クラブのウェブサイトとソーシャルメディアアカウントを月に何回更新するか
24	クラブのプロジェクトのメディア掲載	本ロータリー年度にクラブのプロジェクトを取り上げるメディア記事の数
25	ロータリー作成の公式推進用資料の使用	本ロータリー年度に地域社会でロータリーを紹介するために、国際ロータリーから提供される広告と公共奉仕資料(ブランドリソースセンターから入手可能な放送用ビデオ、印刷広告、その他の公式資料)使用した回数

2020－21年度　ガバナー・ガバナーエレクト・パストガバナー諮問委員会

ガバナー

2020-21年度
国際ロータリー
第2730地区ガバナー
風呂井　敬
（鹿屋西RC）

ガバナーエレクト

2020-21年度
国際ロータリー
第2730地区ガバナーエレクト
井福　博文
（都城西RC）

パストガバナー諮問委員会

委員長
安満 良明
パストガバナー
（加治木RC）

副委員長
田村 智英
パストガバナー
（延岡RC）

今林 重夫
パストガバナー
（指宿RC）

海江田 順三郎
パストガバナー
（鹿児島中央RC）

菊地　平
パストガバナー
（E-クラブRC）

冨永 国俊
パストガバナー
（川内RC）

秦　喜八郎
パストガバナー
（宮崎中央RC）

長峯　基
パストガバナー
（都城RC）

山下 皓三
パストガバナー
（鹿児島西RC）

大迫 三郎
パストガバナー
（宮崎南RC）

田中 俊實
パストガバナー
（鹿屋RC）

野中 玄雄
パストガバナー
（延岡東RC）

大重 勝弘
パストガバナー
（指宿RC）

押川 弘巳
パストガバナー
（宮崎北RC）

川原 篤雄
パストガバナー
（鹿児島SWRC）

喜島 健一郎
パストガバナー
（宮崎西RC）

ガバナー補佐・ガバナー事務所紹介

ガバナー補佐

宮崎県北部
グループ
黒木 耕作
（日向東RC）

宮崎県中部
グループ
金丸 憲史
（宮崎西RC）

宮崎県中部
グループ
(副)日高　均
（宮崎西RC）

宮崎県西部
グループ
田村 香代子
（宮崎中央RC）

宮崎県南部
グループ
坂本 哲夫
（日南中央RC）

鹿児島県北部
グループ
中村 健二郎
（阿久根RC）

鹿児島県中部
グループ
厚地 健二
（加治木RC）

鹿児島市内A
グループ
上川 咲男
（鹿児島南RC）

鹿児島市内B
グループ
野井倉 洋豪
（鹿児島東南RC）

鹿児島県西部
グループ
松下 一郎
（枕崎RC）

鹿児島県東部
グループ
村上　潤
（鹿屋RC）

鹿児島県奄美
グループ
中村 勝郎
（奄美中央RC）

ガバナー事務所

地区幹事　**北山　勉**（鹿屋西RC）／筆頭副幹事　**園田 泰治**（鹿屋西RC）
副 幹 事　**伊東　計**（鹿屋RC）／**田中 穂積**（かのや東RC）／**中野 三郎**（串良RC）
横山 伸一（きもつきRC）／**久徳 博文**（南九州大崎RC）／**山元 秀樹**（志布志RC）
三浦　優（志布志みなとRC）／**久永 義伸**（鹿屋西RC）／**久木田 弘**（鹿屋西RC）
アドバイザー　**古江　矢**（鹿屋西RC）

国際ロータリー第2730地区　ガバナー挨拶

「ロータリーは世界をつなぐ」
➡「ロータリーは機会の扉を開く」

国際ロータリー第2730地区
ガバナー　喜　島　健一郎（宮崎西RC）

2019-2020年度マーク・ダニエル・マローニー国際ロータリー会長の掲げたテーマは、ロータリーの奉仕を通じて人々が手を取り合い、行動を起こすための繋がりを築いていこう、というものでした。2020-2021年度は「ロータリーは機会の扉を開く」が発表されました。このテーマは、ロータリアンがリーダーシップを強化する機会をつくり、奉仕の理念を行動へと移し、支援を必要とする人々の生活を向上する活動を行うよう、ロータリアンを喚起する、というものでした。「繋がりから行動へ」。スマートかつ明確な目標です。

風呂井敬次年度ガバナーは1月に、今年で最後となるサンディエゴにおいて最終研修となる国際協議会に参加されました。その時は、まさか、全世界がこのようなことになるとは思いもよらなかったことでしょう。本来ならば、次期国際ロータリー会長となられます、ホルガー・クナーク会長の方針をうけ、地区チーム研修セミナー(DTTS)会長エレクトセミナー(PETS)を開催し、この地区研修・協議会を迎えることになる予定でした。しかし、新型コロナ感染症の流行をうけ、PETSはおろか、地区で開催予定であったすべての行事や研修会が中止となっています。これからどのようになっていくのか、全く先も見えません。それでも、我々は行動を起こし続ける必要があります。RI本部ではロータリー全体にかかわる決定がまだまだ議論されています。本年度初めにマローニー会長が発信した、新しい行動計画がすべてのロータリアンとローターアクターにとって重要である、ということが今、まさに必要に迫られて実行に移す準備段階に入っております。対面でのクラブ会合を控え、ネット会合を実施しているクラブもしかりですが、バーチャルなイベント開催も今後あり得ることでしょう。

風呂井次年度ガバナーの掲げた「不易流行・ロータリーの基本を堅持し変化に適応するクラブを」をモットーに、１年間混乱に立ち向かおうではありませんか。混乱の中で大きな変化を決断しなければならない場面がいくつも出てくるでしょう。世界が大きく変化していく中で、ロータリーも変化していく必要があります。変化しなければいけないものと変化させてはいけないものの判断もしなければなりません。しかし、現実は、今まで見たこともない混乱の中にあります。判断以前の話も出てくることでしょう。混乱を不安に思うロータリアンもいることでしょう。手を指し伸ばしてもらうことを願っているロータリアンもいることでしょう。どうか、諦めないでいてください。本年度皆さんに取り組んでいただいた「クラブの活性化」を生かして、みんなで乗り越えられることを期待しております。そして、最後になりましたが、厳しい年度となります風呂井次年度ガバナーを支え、クラブのリーダーとして頑張っていかれることをご祈念申し上げ、挨拶とさせて頂きます。

国際ロータリー第2730地区　ガバナーエレクト挨拶

国際ロータリー第2730地区
ガバナーエレクト　**風呂井　敬**(鹿屋西RC)

国際ロータリー第2730地区ガバナーエレクトの風呂井敬(鹿屋西RC)です。

本来ですと5月17日(日)に鹿屋市で皆様とお会いする予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、このように動画配信という形になり大変残念に思っているところです。

この地区研修・協議会資料をこれから1年間、皆様のお手元に置いていただき、ロータリー活動の指針の一つとして活用いただければ幸いです。

手続要覧から、地区研修・協議会を抜粋しますと、クラブ会長および次期ロータリー年度に指導的役割を果たすよう会長エレクトから指定された会員のために開かれる研修です。

その目的は、会長エレクトをはじめとする参加された皆様が、来たる任期のために準備を整え、強固な指導者チームを築いていただくことにあります。ガバナーエレクト、次期ガバナー補佐、地区委員会はその使命として、クラブ指導者チームの意欲の向上、協力関係構築のサポートを行うこととしております。

この目的がしっかり達成されます様に、精一杯務めさせていただきますので、よろしく御願い申し上げます。

さて、クラブの皆様におかれましては、新型コロナウイルスの蔓延で例会の開催も休止されるなど、今後のクラブ運営に腐心されておられることと拝察申し上げます。

地区運営におきましても2020-21年度に向けた重要な行事､「会長エレクト研修セミナー」「地区研修・協議会」をはじめ様々な地区委員会事業も中止あるいは延期せざるを得ない状況となり、皆様に対しまして誠に申し訳ない事態と考えております。

しかし今一番大切なことは、ロータリアン自身がウイルスに感染せず、人に感染させないことに注意しながら、我らの生業を守ることではないでしょうか。このことが今出来る最大の職業奉仕であり、社会奉仕であると思います。

又、ロータリー誕生の相互扶助、親睦の精神を深めたいものであります。

まずは皆様の健康と命、ご家族の健康、会社社員の皆様そして地域の皆様の健康に十分なご配慮をお願い申し上げます。

2020-21年度スタート前に皆様とお会い出来ないことは誠に残念ですが、この事態の収束後、晴れやかな笑顔でお会い出来ますことを心から祈念し挨拶といたします。

ガバナーエレクト紹介

【略　歴】

・生年月日	昭和24年８月６日
・職　　業	風呂井会計事務所　所長
	社会福祉法人三峰会・特別養護老人ホーム回生園　理事長
・主な学歴・職歴	昭和47年３月　明治大学商学部卒業後　東京阿部公認会計士事務所勤務
	昭和51年５月　風呂井会計事務所開設
	平成15年５月　社会福祉法人三峰会・特別養護老人ホーム回生園　理事長
・主な公職歴	公益社団法人鹿屋青年会議所理事長
	ボーイスカウト鹿屋第１団　団長
	南九州税理士会本部理事
	南九州税理士会鹿屋支部長
	鹿児島県市町村教育委員会連絡協議会副会長
	鹿屋市教育委員会教育委員長
	鹿屋商工会議所常議員　（現在）
	鹿児島県青色申告会連合会副会長　（現在）
	かのやオーケストラ団長　（現在）
	鹿屋市教育委員会教育長職務代理者　（現在）
	公益財団法人鹿屋体育大学体育・スポーツ振興教育財団理事長　（現在）

【ロータリー歴】

・所　　属	鹿屋西ロータリークラブ	
・入会年月日	1989年12月18日	
・職業分類	税理士	
・クラブ会長経験	2008～2009年度	会長
・地区役員経験	2014～2015年度	地区ガバナー補佐（鹿児島県東部グループ）
	2017～2018年度	地区ロータリー財団委員会委員
	2018～2019年度	財団寄付推進委員会委員
		４Ｇ会・災害復興支援委員会
		地区青少年育成基金委員会委員
		地区戦略計画委員会委員
		国際大会推進委員会委員
・その他	メジャードナー	
	マルチプル・ポール・ハリス・フェロー	ベネファクター
	メモリアルコントリビューター	米山功労者

国際ロータリー第2730地区　ガバナーノミニー挨拶・紹介

国際ロータリー第2730地区
ガバナーノミニー　**井福　博文**（都城西RC）

RI.D2730のロータリアン・ローターアクターそしてロータリーファミリーの皆さん、こんにちは。
2020～'21年度のガバナーエレクトに就任いたします都城西ロータリークラブの井福博文です。
いよいよ風呂井敬ガバナー年度が始まります。風呂井ガバナーは「不易流行・ロータリーの基本を堅持し変化に適応するクラブを」を地区スローガンとされ、これを達成するための18項目もの地区目標を掲げられました。私たちはこの18項目の地区目標の指針をしっかり理解し知恵を出して地区目標を達成する為に各クラブで、また会員自身で行動をして、変えるべき事は変え、変えてはならない事はしっかりと堅持し、変化に適応するクラブ作りを実践していかなければなりません。ロータリーは私が入会した頃とは大きく変化しました、これはロータリーが生きている証です。良い変化を受け入れることはロータリーの中核的価値観の一つである「多様性」だと考えております。ロータリーは持続可能なより良い変化をもたらす為に活動しています、このことをクラブにも適用してロータリーの輝かしい未来を築いていきましょう。そして地区のすべてのロータリアンが協調して風呂井ガバナー年度を盛り上げていきましょう。

【略　歴】
・出身　宮崎県都城市　1950年９月13日生
・高校　都城泉ヶ丘高校
・大学　宮崎大学　工学部　応用物理学科
・職業　コンピュータシステム開発・販売・保守
　　　　パソコンプラザ都城株式会社　代表取締役

【ロータリー歴】
・所属クラブ　　都城西ロータリークラブ
・RC入会　　　1994年1月12日入会　（ロータリー歴26年）
・クラブ会長　　2009一2010年　第35代会長
・ロータリー財団　TRF Giving
　　ポール・ハリス・フェロー(PHF)
　　マルチプル・ポール・ハリス・フェロー(PHF+1)
　　ベネファクター
・米山奨学会　　米山功労者
・RI国際大会

1994,年	台北大会（台湾）	2012年	バンコク大会（タイ王国）
1995年	ニース大会（フランス）	2013年	リスボン大会（ポルトガル）
1996年	カルガリー大会（カナダ）	2014年	シドニー大会（オーストラリア）
1999年	アジア大会（タイ王国）	2015年	サンパウロ大会（ブラジル）
2004年	大阪大会（日本）	2016年	ソウル大会（韓国）
2008年	ロスアンゼルス大会（米国）	2017年	アトランタ大会（米国）
2009年	バーミンガム大会（イギリス）	2018年	トロント大会（カナダ）
2010年	モントリオール大会（カナダ）	2019年	ハンブルク大会（ドイツ）
2011年	ニューオリンズ大会（米国）	2020年	ハワイ（米国）　登録済、後に中止

Rotary

2020−21年度
地区の基本方針と活動計画

1．地区の基本方針と活動計画 …… 19

2．地区組織と運営について …… 28

3．地区委員会組織図(案) …… 45〜46

4．地区概況(地図) …… 47

5．ロータリークラブ創立日(グループ別・県別) …… 48〜49

6．鹿児島県・宮崎県ロータリークラブの拡大推移と系統図 …… 50〜51

7．ガバナ-公式訪問の日程と要項について …… 52〜53

8．2020-21年度 ガバナー補佐一覧 …… 54

9．ロータリーの目的について …… 55

10．地区戦略計画について …… 57

11．RLIについて …… 62

12．2019年規定審議会について …… 67

13．「地区危機管理規程」と「クラブ危機管理」の参考に！ …… 71

14．ガバナー指名について …… 75

15．地区70周年について …… 76

地区年度計画

国際ロータリー第2730地区
ガバナーエレクト　**風呂井　敬**（鹿屋西RC）

1905年、ポール・ハリスは友人３人と語らい、親睦と相互扶助を趣旨としたロータリークラブが誕生し115年目を迎えております。アーチ・クランフ基金創設、決議23-24採択、1960年代に入りインターアクト、ローターアクト、青少年交換、ＲＹＬＡ、世界社会奉仕、ポリオ根絶計画等次々と活動が始まり、その後地区リーダーシッププラン(DPL)の採用、クラブリーダーシッププラン(CLP)の推奨、2016年規定審議会では、クラブ運営に大きな柔軟性を認め、昨年2019年の規定審議会でも、クラブ会長の任期、欠席のメークアップの改正、職業分類制限の廃止、事務総長をRIの最高経営責任者とする規定、RI細則からの機関雑誌の各称を削除、人頭分担金の増額等時代とともに急激な変化をとげております。

これからも柔軟性、多様性、革新性を取り入れた大きな変化が予想されますが、ロータリーの目的である、意義ある職業の基礎として奉仕の理念を育み、地区・クラブの更なる充実・発展、組織の簡素化・効率化、スクラップ・アンド・ビルド等活力ある地区を目指して参りたいと考えております。

ロータリーのビジョン声明は、「私たちは世界で、地域社会で、そして自分自身の中で持続可能な良い変化を生むために、人びとが手をとりあって行動する世界を目指しています。」とされております。

新しいロータリー戦略計画では、「世界各地でより良い地域社会づくりを行う定評のあるダイナミックな団体としてのロータリークラブが評価される」とされ、今まで以上にクラブとして持続可能な地域社会プロジェクトをすることが奨励されています。

ホルガー・クナーク会長エレクトの

2020－21年度 RIテーマは
「ロータリーは機会の扉を開く」です。

このテーマは、ロータリアンがリーダーシップを強化する機会をつくり、奉仕の理念を行動へと移し、支援を必要とする人びとの生活を向上する活動を行うようロータリアンを喚起し、会員自身や受益者の人生をより豊かにするための道を開くのがロータリーであると述べております。

つまり、ロータリーは、クラブに入会するというだけでなく「無限の機会への招待」でもあり、リーダーシップの機会、奉仕のアイデアを実行に移すため世界を旅する機会、そして生涯続く友情の絆を築く機会を与えてくれ、私たちのあらゆる活動が、どこかで誰かのために機会の扉を開いているわけです。

また会長エレクトは、ロータリー会員が変化を受け入れることの必要性を強調し、この変化の機会をとらえてロータリーを成長させ、より強く、適応力を高め、中核的価値観により沿ったロータリーとなることを述べております。
このことを受け

2020-21年度 地区スローガンは
「不易流行・ロータリーの基本を堅持し変化に適応するクラブを」

としたところであります。

地区目標

1. **RI会長テーマ「ロータリーは機会の扉を開く」の推進**
   ・ロータリーとはクラブに入会するというだけでなく、無限の機会への招待です。
   私たちのあらゆる活動がどこかで、誰かのために機会の扉を開いています。
2. **RI強調事項の推進**
   ・地区は新しい革新的なクラブモデルを作ることに積極的に取り組んでいただきたい。
   ・すべてのクラブは毎年、少なくとも一回の戦略会議を開き、「私たちのクラブは5年後にどのようなクラブになっているべきか、また、このビジョンを達成するためにはどのようなステップを踏むべきか」「私たちのクラブで、会員はどのような価値を得ることができるか」を検討し、またこの会議を進行する人を選んでください。
   ・新会員を注意して選びましょう。新会員にとって皆さまのクラブがぴったりと合うこと、そして新会員の期待に応えるクラブであることを確認しましょう。新会員の面倒を見て、積極的な参加を促してください。ロータリアンとなるのに不相応な年齢などありません。
   ・ポリオ根絶のための寄付を行い、10月の世界ポリオデーに合わせた行事・イベントを開催し、これからも根絶活動の支援を継続していきましょう。私たちは、世界の子どもたちと交わした約束を守らなければなりません。
3. **RIロータリー賞への積極的なチャレンジ**
   ・ロータリー賞は、クラブ活性化の明確な指標。
   ・各クラブが指定された項目をクラブの計画にあげ、受賞資格を得る活動がなされるよう奨励。
   ・ロータリー賞の達成は難しいものではありません。手続きはロータリークラブ・セントラル内で電子的に行われます。
      ・ロータリークラブ・セントラルを開く。
      ・25の目標に目を通す。
      ・その中から13の目標(全目標の52%)を選ぶ
      ・選んだ目標を達成する。
      ・ロータリークラブ・セントラルで目標を報告する。
      ・達成を祝う！
4. **新しいRI戦略計画の推進**
   ロータリービジョン声明
   ・より大きなインパクトをもたらす。
   ・参加者の基盤を広げる。
   ・参加者の積極的な関わりを促す。
   ・適応力を高める。
5. **会員増強・会員維持・クラブ拡大**
   ・女性会員や40歳未満の会員の入会推進。
   ・会員数の51名以上のクラブ純増２名以上、50名以下のクラブ純増１名以上。
   ・既存会員の維持。
   ・新クラブ(衛星クラブを含む)拡大。

6. **新世代(青少年)育成の推進**
・インターアクト、ローターアクトクラブへの支援及び協力の強化。
　また、ロータリー賞受賞に向け、指定された項目をクラブで実行するよう奨励。
・インターアクト、ローターアクトの新クラブ拡大。
・若い職業人、若い世代のリーダーシップの養成(RYLAの実施)。
・青少年交換、米山奨学生の更なる充実。
・危機管理、学友委員会との連携。

7. **奉仕活動推進のためのロータリー財団への年次寄付等の推進**
・年次寄付　　　　　1人　150ドル以上。
・ポリオ寄付　　　　1人　　30ドル以上。
・恒久基金　　　　　各クラブベネファクター1人以上。
・ロータリーカード利用によるポリオ根絶への貢献。

8. **米山奨学会への寄付推進**
・普通寄付　　　　　1人　　　5,000円。
・特別寄付　　　　　1人　　10,000円以上。

9. **ポリオ根絶への協力**
・ポリオ根絶はロータリーの最優先事項。

10. **公共イメージ向上にむけて**
・地区クラブの IT 化を図り、マイロータリーの登録率 60%、クラブセントラル活用率 60%。
・マイロータリー登録推進者の選任。
・地区ホームページ、委員会活動を含めアーカイブとして充実を図る。

11. **研修の充実**
・地区会合へのRI元理事、RI研修リーダーをはじめ多くの講師を招聘。
・会長エレクトセミナーへのＲＬＩ方式採用。
・RLIをクラブ研修に活用。
・地区リーダーをクラブの様々な研修に招聘。
・３年未満会員の研修。
・元気なクラブづくりのためのワークショップの開催(会員増強・財団・公共イメージ)
・クラブ研修リーダーの選任。

12. **ロータリーデーへの参加**
・日本のロータリー 100周年、ポリオデー、６つの重点分野、環境を取り上げたロータリーデーを。

13. **友好クラブ、姉妹クラブの締結推進**
・積極的な国際奉仕、国際交流を。

14. **台北国際大会、地区大会、地区の各種セミナー、各クラブ周年行事等への積極的参加**
・あらゆる会合に出席し、親睦、研修の機会を。

15. **地区財団活動資金の活用による地区補助金、グローバル補助金の充実**
・世界で地域でよいことをしよう。

16. **クラブビジョン策定の推進**
・戦略計画委員会を組織表に明記し、戦略計画を基礎としたクラブビジョンを策定。

17. **定款・細則の見直し**
・標準クラブ定款は３年毎に変更されるので、それに応じてクラブ細則も変更が必要。

18. **地区の効率化、会計の透明性、運営の合理化**
- 経費見直しの徹底による人頭分担金軽減。
- 会計の透明性、地区基金の充実。
- 地区とクラブ組織の整合性ある組織体制づくり。

ガバナーは地区における唯一のRIの役員であり、その職責はクラブの支援、クラブの活性化のお手伝いであります。ロータリーがどのように変化しているのか、その変化をどのように受けとめ、地区内のクラブにお伝えするかが重要なことと認識しております。

申し上げるまでもなくロータリーは
- ロータリアン同士の親睦を基盤に
- お互いに切磋琢磨し人間性を高め
- 価値ある奉仕を通して
- 社会に奉仕する世界的な団体であります。

価値ある奉仕の中で最も重要なものは職業奉仕ではないでしょうか。またロータリーで不変なものは、ロータリーの目的、四つのテスト、そして中核的な価値観である、親睦、高潔性、多様性、奉仕、リーダーシップです。

「クラブが主役」の考えのもと、ガバナーとして１年間活動して参りますので、皆様の御理解と御協力をお願い申し上げます。

アメリカ・サンディエゴでの国際協議会にて
（日本からのガバナーエレクトの皆さんと）

地区の基本方針と活動計画

風呂井敬ガバナーエレクトDVD「地区の基本方針と活動計画」をご覧ください。

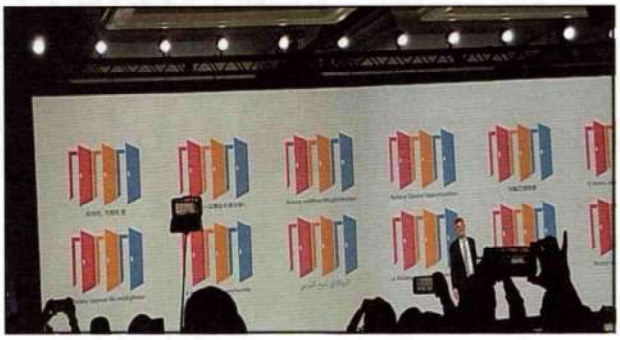
1

2

3

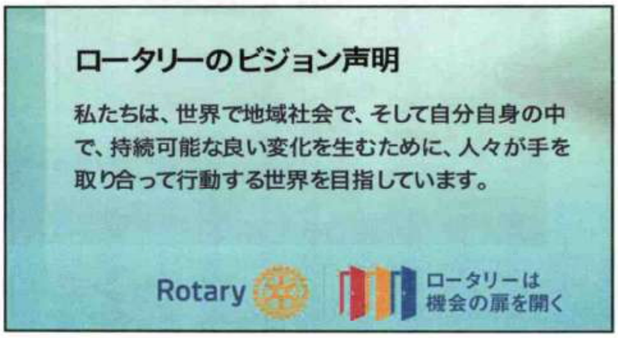
4

5



6

7



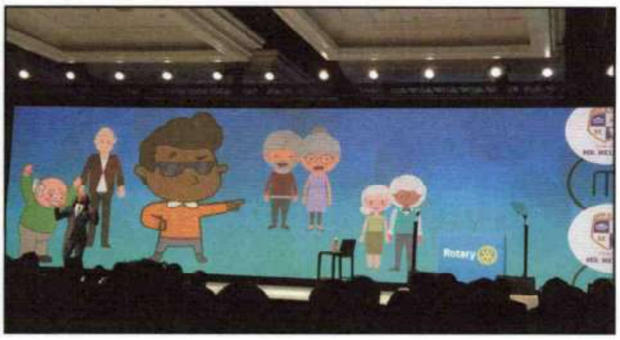
8

9

10

11

12



13

14

15

16

2020-21年度RI第2730地区スローガン

「不易流行・ロータリーの基本を堅持し、変化に適応するクラブを」

17

今日の世界は、
1905年の世界と同じではありません。
人口動態が変わり、変化のスピードが加速し、
テクノロジーによってネットワークと奉仕のための
新たな機会が生み出されています。
不変なのは、ロータリーを定義づける価値観
すなわち
「親睦」「高潔性」「多様性」「奉仕」
「リーダーシップ」に対するニーズです。
過去を敬い、未来を見据えながら私たちは進化を遂げ、ロータリーを時代に即した組織とするだけでなく、繁栄させることができます。

18

ポール・ハリスの言葉から

- 世界は絶えず変化しています。そして私たちは世界とともに変化する心構えがなければなりません。ロータリー物語は何度も書き替えられなければならないでしょう。

(This Rotarian Ageから)

- ロータリーがその適正な運命を理解するとしたら、ロータリーは必ず進歩しなければなりません。時には革命が起こる必要があります。

(1930年開催シカゴRI国際大会でのメッセージから)

19

また、ローターアクトクラブ大改革を含め、これまで日本のロータリアンは、目まぐるしく変わるRIの姿勢に困惑する場面が少なくありません。もちろん、青少年保護など理解できるものもありあます。しかし、職業分類、例会開催回数、メイキャップの猶予期間など、その時々で少なからず違和感をおぼえたのは私だけではないと思います。

そんな時に必要なことは何だろうと考えた時、蕉風俳諧のいつまでも変化しない本質的なものを忘れない中にも、新しく変化を重ねているものを取り入れていく。

このような背景から
「不易流行・ロータリーの基本を堅持し、変化に適応するクラブを」
を地区スローガンといたしました。

ロータリーの基本とは、ロータリーの目的、四つのテスト 中核的価値観(コアバリュー)であり、このことを堅持し、多様性、柔軟性、革新性という変化にきちんと適応するクラブ作りを意味しております。

20

2730地区　2020-21年度地区運営方針

【1. RI会長テーマ「ロータリーは機会の扉を開く」の推進】

21

【2. RI強調事項の推進】

- 地区は新しい革新的なクラブモデルを作ることに積極的に取り組んでいただきたい。
- すべてのクラブは毎年、少なくとも一回の戦略会議を開き、「私たちのクラブは 5年後にどのようなクラブになっているべきか、また、このビジョンを達成するためにはどのようなステップを踏むべきか」「私たちのクラブで、会員はどのような価値を得ることができるか」この会議を進行する人を選んでください。
- 新会員を注意して選びましょう。新会員にとって皆さまのクラブがぴったりと合うこと、そして新会員の期待に応えるクラブであることを確認しましょう。新会員の面倒を見て、積極的な参加を促してください。ロータリアンとなるのに不相応な年齢などありません。
- ポリオ根絶のための寄付を行い、10月の世界ポリオデーに合わせた行事・イベントを開催し、これからも根絶活動の支援を継続していきましょう。私たちは、世界の子どもたちと交わした約束を守らなければなりません。

22

【3. RIロータリー賞への積極的なチャレンジ】

- ロータリー賞は、クラブ活性化の明確な指標。
- 各クラブが指定された項目をクラブの計画にあげ、受賞資格を得る活動がなされるよう奨励。
- ロータリー賞の達成は難しいものではありません。手続きはロータリークラブ・セントラル内で電子的に行われます。
  - ・ロータリークラブ・セントラルを開く
  - ・25の目標に目を通す。
  - ・その中から13の目標(全目標の52%)を選ぶ。
  - ・選んだ目標を達成する。
  - ・ロータリークラブ・セントラルで目標を報告する。
  - ・達成を祝う!

23

【4. 新しいRI戦略計画の推進】
ロータリーのビジョン表明

- より大きなインパクトをもたらす。
- 参加者の基盤を広げる。
- 参加者の積極的なかかわりを促す。
- 適応力を高める。

24

【5. 会員増強・会員維持・クラブ拡大】
- 女性会員や40歳未満の会員の入会促進。
- 会員数51名以上のクラブ純増2名以上、50名以下のクラブ純増1名以上。
- 既存会員の維持。
- 新クラブ(衛星クラブを含む)拡大。

25

【6. 新世代(青少年)育成の推進】
- インターアクト、ローターアクトクラブへの支援及び協力の強化。また、ロータリー賞受賞に向け、指定された項目をクラブで実行するよう奨励。
- インターアクト、ローターアクトの新クラブ拡大。
- 若い職業人、若い世代のリーダーシップの養成(RYLA の実施)。
- 青少年交換、米山奨学生の更なる充実。
- 危機管理、学友委員会との連携。

26

【7. 奉仕活動推進のためのロータリー財団への年次寄付】
- 年次寄付　　1人　150ドル以上
- ポリオ寄付1人　30ドル以上
- 恒久基金　　各クラブベネファクター1人以上
- ロータリーカード利用による
ポリオ根絶への貢献

27

【8. 米山奨学会寄付】
- 普通寄付　1人　　5,000円
- 特別寄付　1人　　10,000円以上

【9. ポリオ根絶への協力】
- ポリオ根絶はロータリーの最優先事項。

28

【10. 公共イメージ向上にむけて】
- 地区クラブのIT化を図り、マイロータリーの登録率60%、クラブセントラル活用率60%。
- 地区ホームページ、委員会活動を含めアーカイブとして充実を図る。

29

【11. 研修の充実】
- 地区会合へのRI元理事、RI研修リーダーをはじめ多くの講師を招聘。
- RLIをクラブ研修に活用。
- 地区リーダーをクラブの様々な研修に招聘。
- 3年未満会員の研修。
- 元気なクラブづくりのためのワークショップの開催(会員増強・財団・公共イメージ)。

30

【12. ロータリーデーへの参加】
- 日本のロータリー100周年、
ポリオデーとの連携。

【13. 友好クラブ、姉妹クラブの締結推進】

31

【14. 台北国際大会、地区大会、地区の各種セミナー、各クラブ周年行事等への積極的参加】
- 親睦、研修の機会を。

【15. 地区財団活動資金の活用による地区補助金、グローバル補助金の充実】

32

地区の基本方針と活動計画

【16. クラブビジョンの策定の推進】

- 戦略計画委員会を組織表に明記し、戦略計画を基礎としたクラブビジョンの策定

【17. 定款・細則の見直し】

33

【18. 地区の効率化、運営合理化】

- 経費見直しの徹底による人頭分担金軽減。
- 会計の透明性、地区基金の充実。
- 地区とクラブ組織の整合性ある組織体制づくり。

34

ロータリーは

尊敬できる先輩に出会える機会

信頼できる友人を得る機会

ロータリーでこそ出来る機会

奉仕活動から感動を得られる機会

35

皆様へ

多様性・柔軟性・自主性・継続性

↓

魅力ある・元気のある・個性のあるクラブ

↓

楽しく・人の役に立つ
ロータリーライフ

36

最後に、ガバナーは地区における唯一のＲＩの役員であり、その職責はクラブの支援、クラブの活性化のお手伝いであります。ロータリーがどのように変化しているのか、その変化をどのように受け止め、地区内のクラブにお伝えするかが重要なことと認識しております。

申し上げるまでもなくロータリーは

- ・ロータリアン同士の親睦を基盤に
- ・お互いに切磋琢磨し人間性を高め
- ・価値ある奉仕を通して
- ・社会に奉仕する世界的な団体であります。

37

価値ある奉仕の中で最も重要なもは職業奉仕ではないでしょうか。またロータリーで不変なものは、ロータリーの目的、四つのテスト、そして中核的な価値観である、親睦、高潔性、多様性、奉仕、リーダーシップがあげられます。

「クラブが主役」の考えのもと、ガバナーとして1年間活動して参りますので、皆様の御理解と御協力をお願い申し上げます。

38

ご静聴
ありがとうございました

RI2730地区
ガバナーエレクト
鹿屋西RC
風呂井 敬

39

2020-2021年度　RI2730地区・地区バッジ
かのやばら園のばらをモチーフとしてあります

地区組織と役割

2020-21年度地区幹事
北山　　勉（鹿屋西RC）

風呂井年度地区委員会等編成について

風呂井年度での、地区委員会構成の取り組みと、委員会全般について、主な方針を以下に述べます。

1．ガバナー補佐の権限と責務を明確にする。（後述）

2．地区委員会組織を地区とクラブとの整合を図るため、標準ロータリークラブ定款第３条クラブの目的及び第１１条第７節委員会に沿って、部門別地区運営委員会は「会員増強」「奉仕プロジェクト」「クラブ管理運営」「ロータリー財団」「米山記念奨学会」「広報・公共イメージ」の６部門と部門外の「ロータリー学友委員会」とし、６部門には25の委員会を置き各部門長が所属委員会の事業を掌握する。

3．均衡のとれた地区内全クラブ参加の地区委員会活動の為に、地区内全クラブからの委員輩出に取り組む。また、すべての地区委員会にローターアクターを加えることが地区に奨励されるとのことを受け、ローターアクターからの委員の輩出を行う。委員会事業の継続と地区指導者育成の為、委員の任期を３年及び＋αとする。そして、この事が魅力あるクラブ造りの一役を担うと同時に、私達ロータリアンが、地区を身近に感じ、地区を支えていくことの重要性を認識してもらう。

4．地区活動の活性化を図る為、クラブと密接に関わる部門別地区運営を行う６部門25委員会と部門外1委員会の部門長、委員長は、適材適所の観点から地区指導、管理経験豊かなパストガバナーも含めた会員から選出する。

5．地区を指導管理する９委員会の委員長をパストガバナーから選出する。

6．地区運営委員会は４回を目途に開催する。（７月．１２月．１－２月．３－４月）

7．国際ロータリー(RI)の戦略計画の理念、中核的価値観、戦略的優先項目と目標、ビジョン声明に対応した地区の長期計画の見直し、地区委員会の役割とあり方を地区戦略計画委員会でまとめ地区運営委員会で議論し、次年度以降に反映させる。地区戦略計画委員会には、継続的な活動を推進するため４G連絡会のメンバーも委員として加わる。

8．ロータリー・リーダーシップ研究会(RLI)は、質の高いリーダーシップ教育を通じてロータリークラブを強化するためのプログラムであり、RLI委員会はその役目を担うため、正副

委員長をパストガバナーが務め全ガバナー補佐によって委員を構成する。具体的に運営していく委員会として、その下にRLI運営委員会をおく。

9．地区のガバナー事務局に４G連絡会を設置する。
ガバナーによる事務局運営のためのアドバイスと情報交換、地区の効果的な継続性を維持する目的で直前ガバナー・ガバナー・ガバナーエレクト・ガバナーノミニーとその地区幹事・地区財務委員長で構成するものとする。また、地区運営基金委員会(運営資金・災害復興・青少年育成・拡大)も兼ねるものとする。

10. ２０１９年７月１日より地区入会・参加促進委員会と地区新クラブ結成推進委員会が統合されたことをうけ、拡大委員会と会員増強委員会を会員増強部門とする。

11. ロータリークラブの活動の指針となる五大奉仕は、クラブの機能を充実させるクラブ奉仕をクラブ管理運営部門とし、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕を奉仕プロジェクト部門とする。
青少年奉仕関連活動を行うインターアクト、ローターアクト、青少年交換、ライラの４委員会を統括するため青少年奉仕統括委員会をおく。

12. ２０２１年に地区が70周年を迎えるにあたり、地区70年史の発行を含め、70周年にふさわしい事業計画を策定する地区70周年実行委員会を設置する。

以上、風呂井年度の地区委員会等編成について、主な点を述べましたが、私たちの地区は、RI理事会により提唱された地区リーダーシップ・プラン(DLP)を地区及びクラブを強化する目的で2003年７月１日より施行し、そして、年度毎による見直しを経て現在の組織形態になりました。
DLPの目的について、国際ロータリー(RI)は、次のような点をあげています。
・クラブに対する迅速で要を得た支援を行う。
・地区内に十分な研修を受けた多くの人材を育成する。
・地区指導者の幅広い充実した分野での活動。
・財団の各種プログラムと地区レベルにおける国際ロータリー活動への参加増進。
・地区内のコミュニケーションを円滑にし、地区組織を効果的に機能させる。
・改革を目指すガバナーがより取組み甲斐のある役割を担う環境をつくる。

次に、クラブリーダーシップ・プラン(CLP)はDLPの延長として、クラブ組織と運営強化のため、RI理事会が2004年度に承認し、各クラブへの推奨を発表しました。DLPは世界の全地区が採用しなければならないRIの強制的な地区組織の管理システムですが、CLPの採否は各クラブの裁量に任されています。
現在、地区ではRI戦略計画に基づいて取り組みを進めていく中で、各クラブの独自性を尊重しつつ、一方ではクラブ委員会の大枠を地区と整合させることにより、地区とクラブの意思が速やかに伝わり反映されて、クラブの強化につながることからクラブリーダーシップ・プラン(CLP)の導入を積極的にお願いしているところであります。

地区組織の任務、権限の明確化について

地区リーダーシップ・プラン(DLP)は地区運営の為のガイドラインとして、指導者間の連携と継続性を保ち、将来の指導者を育成するとともに、意思決定における合意を図ることを目的とし、次の構成を地区が備える土台となっています。

① クラブに直接支援を提供するガバナー補佐
② ロータリーのプログラムや地区レベルの活動への参加をクラブに促す地区委員会
③ ロータリーの目的の実践を目指してクラブを指導する地区ガバナー

DLPにより地区は**(I)ガバナー補佐(II)地区研修リーダー(III)地区委員会**の３つの組織について、それぞれの明確な任務や責務、及び任期について定めることになっています。その詳細を下記に記載します。

I. ガバナー補佐

地区レベルにおいて奉仕し、指定を受けたクラブの管理運営に関して、ガバナーを補佐する責務を委任されたロータリアンを「ガバナー補佐」と称する。ガバナー補佐は国際ロータリーの役員ではない。

当地区では、グループ単位で1年任期の「ガバナー補佐」を各1名選出する。ガバナー補佐の任務を完全に遂行する上で、グループによっては副ガバナー補佐を設ける場合がある。再任は妨げないが３年を限度とする。グループとは下記の11グループをいう。

① **宮崎県北部グループ ７クラブ**
延岡・日向・延岡東・日向東・延岡中央・日向中央・門川

② **宮崎県中部グループ 10クラブ**
宮崎・宮崎西・宮崎北・宮崎南・高鍋・西都・宮崎中央・佐土原・宮崎東・宮崎アカデミー

③ **宮崎県西部グループ ８クラブ**
都城・小林・都城北・えびの・都城西・小林中央・都城中央・E-2730ジャパンカレント

④ **宮崎県南部グループ ３クラブ**
日南・日南中央・串間

⑤ **鹿児島県北部グループ ７クラブ**
川内・串木野・出水・阿久根・大口・薩摩川内・宮之城

⑥ **鹿児島県中部グループ ５クラブ**
加治木・国分・霧島・国分中央・姶良

⑦ **鹿児島市内Ａグループ ６クラブ**
鹿児島南・鹿児島西・鹿児島城西・鹿児島東・鹿児島サザンウインド・鹿児島令和

⑧ **鹿児島市内Ｂグループ ５クラブ**
鹿児島・鹿児島東南・鹿児島中央・鹿児島西南・鹿児島北

⑨ **鹿児島県西部グループ ５クラブ**
指宿・伊集院・加世田・頴娃・枕崎

⑩ **鹿児島県東部グループ ８クラブ**
鹿屋・串良・鹿屋西・志布志・かのや東・きもつき・南九州大崎・志布志みなと

⑪ **鹿児島県奄美グループ ３クラブ**
奄美・奄美中央・奄美瀬戸内

1）ガバナー補佐の選考方法

現職ガバナー補佐が主宰する各グループの「クラブ会長・幹事会」に於いてガバナー補佐の資格を満たす候補者を1名選考し、地区ガバナーに推薦する。地区ガバナーはガバナーエレクト、ガバナーノミニーと諮り、次年度のガバナー補佐を任命する。期日までに候補者を推薦出来ないグループは現職ガバナー補佐が留任する。またガバナー補佐が在任中にやむを得ない事情で辞任した時は、直前または元ガバナー補佐が残余の任期を務める。

2）ガバナー補佐の選考時期

ガバナー補佐の選考と委嘱はガバナー補佐就任年度の８ヶ月前までに行う。委嘱時の呼称は「ガバナー補佐エレクト」とし、ガバナー補佐就任までの準備期間中に担当グループ内クラブ及び地区活動全般について研修を受ける。

3）ガバナー補佐の資格条件

1. 地区内クラブに所属する会員で３年以上の在籍者である事
2. クラブ会長の経験者である事
3. 地区における活動実績を有する事が望ましい
4. 将来の地区指導者として期待できる事
5. ガバナー補佐の責務を理解し意欲的である事

4）ガバナー補佐の責務

1. RI会長及び地区ガバナーの年度方針を理解し、担当するクラブに浸透させる。
2. 各クラブの活動の目標とその具体策についてクラブリーダーと協議し、助言を与える。
3. 地区委員会と連携し、各クラブの活動を支援する。
4. ガバナー補佐定例会で、各クラブの活動状況を報告し、問題点があればガバナーとともに解決にあたる。
5. 将来の地区指導者となる人材を見出し、育成を図る。
6. 活動の継続性を保つためクラブ情報を次年度に引き継ぐ。

5）ガバナー補佐の具体的職務

1. クラブ訪問

ガバナー補佐は担当するグループのクラブを少なくとも年度内に４回訪問し、クラブの活動について指導し、クラブを支援する。クラブ訪問の目的は、担当クラブの奉仕プロジェクトやその他の活動を把握し助言指導するとともに、ガバナー補佐会議を通じてガバナーに報告しロータリーの活動の充実、発展を図ることである。（顕彰・支援の検討）

ガバナーの公式訪問に際しては、日程及び計画をクラブリーダーと協議するとともに直前のクラブ協議会に出席し、ガバナー訪問に備えたクラブの現況報告をガバナーに提出する。

2. 地区行事への出席

ガバナー補佐は各クラブでの指導をより効果的なものにするため、以下の地区行事に出席する。

① ガバナー補佐会議
② 地区チーム研修セミナー
③ 会長エレクト研修セミナー
④ 地区研修・協議会
⑤ 地区会員増強セミナー　　　(クラブ活性化ワークショップ)
⑥ 地区ロータリー財団セミナー(クラブ活性化ワークショップ)
⑦ 地区公共イメージセミナー　(クラブ活性化ワークショップ)
⑧ 地区指導者育成セミナー
⑨ 地区運営委員会
⑩ 地区大会　　　　　　　:2020年11月13日～15日(鹿屋市)
⑪ ロータリーデー(IM)　:2021年2月23日開催
⑫ 招待された各クラブ周年行事

3. グループ内行事の指導・主宰

① グループ又はグループ合同のロータリーデー(IM)をガバナー代理として主管クラブと協議、実行する。(ロータリーデー:2021年2月23日開催)
② ライラの開催は地区ライラ委員会と協議し主管クラブに協力する。
③ グループ内の会長・幹事会を主宰し、クラブ間の情報共有を図るとともに次期ガバナー補佐を選任する。

6)事務経費

地区はガバナー補佐が職務及び責務を遂行するに当たって、給付される支援資金を決めることに責任を持つ。

① ガバナー補佐の事務経費並びに旅費はその年度の地区予算に計上する。
② グループ内各クラブのガバナー補佐訪問時のメークアップ料は免除される。

Ⅱ. 地区研修リーダー

地区研修リーダーは、クラブと地区の次年度リーダーの研修でガバナーエレクトを支援しロータリアンへの継続教育において現ガバナーを支援する。また、地区研修委員会の委員長を務める。

クラブと地区の次期リーダー研修は、一連の研修会合を通じて行われる。各会合について地区と参加者のニーズに応じて柔軟に応用できる推奨時間枠と推奨カリキュラムが定められている。

<u>次期クラブリーダーの研修</u>

・**会長エレクト研修セミナー**(PETS)では、次年度のクラブ会長が各自の役割について学び、ガバナー補佐と協力して次年度の目標設定に取り組みます。

・**地区研修・協議会**では、会長エレクトがPETSで学んだことを基にリーダーシップスキルをさらに磨き、他の次期地区リーダーも出席して各自の役割について学びます。この協議会で、

地区組織と運営について

クラブリーダーのチームが次年度の目標をさらに練り上げます。

クラブリーダーと会員の研修

- **地区会員増強セミナー**（クラブ活性化ワークショップ）では、入会見込者や現会員にとって魅力あるクラブづくりなど、さまざまな会員増強策についてクラブと地区のリーダーが学び、話し合います。
- **地区ロータリー財団セミナー**（クラブ活性化ワークショップ）では、クラブのロータリー財団委員長と委員が、ロータリー財団やその支援・推進方法について学びます。
- **地区公共イメージセミナー**（クラブ活性化ワークショップ）では、クラブと地区のリーダーが、ロータリーの公共イメージを向上させる方法について学びます。
- **補助金管理育成セミナー**では、会長エレクトまたはクラブが指定した代表者がロータリーの補助金の効果的な管理方法について学びます。クラブが補助金を活用するために必要な参加資格認定セミナーとなります。
- **ローターアクト地区指導研修**では、ローターアクトの次年度役員や地区ローターアクト代表をはじめ、リーダーとなるローターアクトに加え、ロータリアンやロータリアンでない人を対象にローターアクトの情報や素晴らしさを伝えるための研修です。
- **地区指導者育成セミナー**では、ロータリーにおけるさまざまなリーダーシップの機会について、現・元クラブリーダーが学び、話し合いを行います。
- **地区大会**は、ロータリアンが友情と協力の輪を広げ、感動的な講演を聴いたりクラブや国際ロータリーの重要なトピックについて話し合うための行事です。

次期地区リーダーの研修

- **地区チーム研修セミナー**では、次期のガバナー補佐と地区の各委員会が各自の役割について学ぶと共に、地区目標の設定を行います。

Ⅲ. 地区委員会

地区組織の構成

- 地区組織は、**「ガバナー事務局」**と**「地区指導・管理部門各委員会」**（主としてパストガバナーを委員長として地区運営経験者を選任）と**「部門別地区運営委員会」**（部門長には地区運営経験者を含めた地区委員会経験者、委員長には地区委員会経験者、委員には新しい人材を含めて選任）で構成される。
- ガバナーはDLPならびに地区の現状を踏まえ、地区の目標を達成するために以下の委員会を設置する。

「ガバナー事務局」としては、ガバナーによる事務局運営を支えるための委員会を設置する。ロータリーの友委員会は、ガバナー月信委員会、広報・公共イメージ部門との協力を強化するため、また、地区運営基金委員会は、地区財務委員会と連携を図るためガバナー事務局に位置付けする。

「地区指導・管理部門」としては、部門別地区委員会の各部門を統括し、地区管理・指導部門と部門別地区委員会の接点となる地区運営委員会の他、ロータリー活動の継続的実践化を研究する地区戦略計画委員会等を設置する。また「地区立法案・規定検討委員会」を設置し提出議案等を検討する。

「部門別地区運営委員会」としては、各クラブと直接対応するための構成を「会員増強」

「奉仕プロジェクト」「クラブ管理運営」「ロータリー財団」「米山記念奨学会」「広報・公共イメージ」の６部門に集約し、地区運営委員会が統括する。またその下に６部門に属する25の地区委員会と部門に属さないロータリー学友委員会を設置する。

ガバナー事務局

１．事務局(地区幹事・地区筆頭副幹事・地区副幹事)
２．ガバナー事務所(鹿屋市)
３．地区連絡事務所(都城市・管理責任者：鎌田明彦　都城RC)
４．地区ガバナー補佐
５．地区大会実行委員会(地区大会：2020年11月13日～15日：鹿屋市)
６．地区財務委員会
７．地区監査委員会
８．ガバナー月信委員会
９．ロータリーの友委員会
１０．4G連絡会
１１．地区運営基金委員会
１２．国際大会推進委員会(国際大会：2021年6月12日～16日：台北)

地区指導・管理部門各委員会

１．ガバナー
２．ガバナーエレクト
３．ガバナーノミニー
４．ガバナーノミニー・デジグネート
５．副ガバナー
６．地区諮問委員会(パストガバナー)
７．ガバナー指名委員会
８．地区研修リーダー・地区研修委員会
９．RLI委員会・RLI運営委員会
１０．危機管理委員会
１１．地区運営委員会
１２．地区戦略計画委員会
１３．地区立法案・規定検討委員会
１４．表彰選考委員会
１５．地区70周年実行委員会

部門別地区運営委員会

会員増強部門

１．拡大委員会
２．会員増強委員会

奉仕プロジェクト部門

１．職業奉仕委員会
２．社会奉仕委員会

3．国際奉仕委員会
4．青少年奉仕統括委員会
①インターアクト委員会
②ローターアクト委員会
③青少年交換委員会
④ライラ委員会

クラブ管理運営部門

1．クラブ管理運営(クラブ奉仕)委員会
2．クラブ戦略計画推進委員会
3．クラブリーダー養成研修委員会

ロータリー財団部門

1．財団資金推進委員会
2．補助金委員会(グローバル補助金、VTT)
3．ポリオプラス・ロータリーカード委員会
4．ロータリー平和フェローシップ委員会
5．財団資金管理委員会

米山記念奨学会部門

1．米山寄付推進委員会
2．米山奨学生選考委員会
3．米山学友委員会

広報・公共イメージ部門

1．公共イメージ委員会
2．広報・IT(コミュニケーション計画)委員会
3．ロータリー情報誌委員会

部門外

1．ロータリー学友委員会

地区委員の資格と任命

地区委員長・委員は、ガバナーが、ガバナーエレクト在任中に、直前ガバナー及びガバナー補佐、直前地区委員会の協力により指名し、ガバナー就任後任命する。指名に際しては委員長・委員予定者の所属クラブの承認を得なければならない。

地区委員の資格は、地区に於けるクラブの会員(名誉会員を除く)で地区の活動に意欲的であること、特に地区委員会の委員長はガバナー補佐や地区委員の経験者であることが望まれる。

地区委員会の責務

全ての委員会に共通する任務として

1．クラブを支援し指導する。
2．ガバナー及びガバナーエレクトと協議し地区目標を設定し遂行する。
3．委員会に関連した活動に於いて、クラブを援助する。
4．RIとロータリー財団の委員会及び支援グループに協力する。
5．クラブと定期的に連絡を取り合うガバナー補佐との調整を図る。

6．地区とRIのリソースをクラブリーダーに紹介する。
7．委員会の活動状況を定期的にガバナーに報告する。（規定書式の報告書による）
特に、報告書の提出は重点項目とし、報告書をもって予算の執行を行う。

ガバナー事務局の各役割

1．事務局
地区幹事・地区筆頭副幹事・地区副幹事によるガバナー年度の運用を行う。

2．ガバナー事務所（鹿屋市）
・RI及び日本事務局・ロータリー財団との報告、申請等を行う。
・地区管理指導部門の運営、報告、記録を行う。
・地区運営委員会・ガバナー補佐会議の運営、報告、記録を行う。
・クラブ公式訪問実施事務を行う。
・クラブ各種報告を管理、保存する。
・ガバナー補佐のクラブ訪問報告書を管理、報告する。
・地区資金の経理、出入金の業務を行う。
・地区大会の計画、運営、管理を行う。

3．地区連絡事務所（都城市・管理責任者：鎌田明彦　都城RC）
地区連絡事務所管理者として都城4RCで対応し、直前会長若しくは歴代会長が務める。
・部門別地区運営委員会の運営・関係各処への報告、記録の保存を行う。
・地区の記録のデーターを経年管理し、保存する。
・ロータリー財団資金管理事務を行う。
・地区備品の管理・貸出しを行う。

4．地区ガバナー補佐
ガバナーより任命されたガバナー補佐は、地区レベルでの任務を遂行し、指定されたクラブの管理運営に関してガバナーを補佐する。

5．地区大会実行委員会（地区大会：2020年11月13日～15日：鹿屋市）
・ガバナー指示の下に、地区大会を計画し、推進する。
・地区大会の会場を選定し、諸手配を管理する。
・地区内全クラブから多くの参加者が得られるようPRを行う。
・メディア、地域社会のリーダーほか外部の人に対しても大会をPRする。
・地区研修リーダーと協力して地区大会前に地区指導者育成セミナーを準備する。

6．地区財務委員会
現任地区財務委員を委員長とし、直前及び次年度財務委員3名で構成され、次年度ガバナー・地区幹事と協力して地区の予算を作成し、地区研修・協議会において、承認を受ける。
1人当たりの賦課金を検討し、地区の管理運営に必要な費用を調べ、地区資産を管理し、地区予算の適正な執行を指導する。地区資金の管理、運営、監査に関しては「第2730地区地区資金取扱規定」の定めによる。
・地区ガバナー及び地区幹事と密接に協力し、財務の透明性を保ち地区資金を管理する。
・地区賦課金と地区の管理運営費を見直す。
・地区ガバナーと協力して、地区予算を準備する。
・地区の運営手続き、RIの指針、法律に従って、収入と支出の記録が確実に行われるよう監督する。

・地区研修・協議会で提示する年次財務報告書を作成する。

7．地区監査委員会

当該年度の地区資金の監査をする。

8．ガバナー月信委員会

ガバナー月信の発行はガバナーの任務の１つであり、クラブ会長、幹事に地区やRIに関するニュースやお知らせを掲載し、クラブや地区委員会の活動を紹介する。

9．ロータリーの友委員会

地区代表委員は、ガバナーとの連携により「友」誌の編集・発行にガバナーの代理人として建設的な意見と提言を行なう。

以下、地区代表委員、委員会としての、地区における職務とする。

① 「ロータリーの友」誌の購読広報を行なう。
② 各クラブおよび地区の活動状況の情報の収集に努め、「友」誌編集部に報告する。
③ クラブ例会等での「ロータリーの友」誌の活用を促進する。
④ ガバナー月信を利用して「ロータリーの友」の情報を発信する。
⑤ 広報・公共イメージ部門、ガバナー月信委員会との連携を図り協力する。
⑥ 毎月「ロータリーの友」誌について意見や感想をレポートして、編集部に毎月15日までに届くように提出する。又、地区代表委員として活動状況を報告する。

10. 4G連絡会

ガバナーによる事務局運営のためのアドバイスと情報交換、地区の効果的な継続性を維持する目的で直前ガバナー・ガバナー・ガバナーエレクト・ガバナーノミニーとその地区幹事・地区財務委員長で構成する。

11. 地区運営基金委員会

地区の健全な運営、災害発生時の被災地への復興支援、新世代への健全育成活動への助成及び新クラブ結成時の援助を目的とした基金の運用を実施する。運用規定については、別途「地区運営基金規約」を定める。

12. 国際大会推進委員会（国際大会：2021年6月12日～16日：台北）

・国際大会への地区内ロータリアンの参加を推進する。
・地区に国際大会の資料や情報を提供する。
・地区WEBサイトにRI・WEBサイトの国際大会のページのリンクをつける。
・ゾーンレベルのRI国際大会推進委員とともに、推進活動を調整する。

地区指導・管理部門各委員会の役割

1．ガバナー（Governor）

ガバナーはRI理事会の一般的な監督の下に職務を行うその地区におけるRIの役員であり、地区内のクラブを啓発し、意欲を与えること、また、地区内の継続性を確保することにより、地区内のクラブを指導し、支援する。

2．ガバナーエレクト（Governor-Elect）

就任の前々年度指名されたガバナーノミニーが国際大会で正式に選挙され、就任の直前年度1年間を務めるときの呼称である。

ガバナー候補者として、ガバナーエレクトセミナー（GETS）・国際協議会の出席が義務付けられ、ガバナーにより与えられた特定の任務・地区の会合やコミュニケーションの招請、その他地区の重要な会議・セミナーの責任者となり実施するなどガバナー就任に必要な準

備を行う。

3．ガバナーノミニー(Governor-Nominee)

ガバナー候補者として、ガバナーとして就任する日の直前24ヵ月前までに選出され、その7月1日にガバナーノミニーの肩書きを担う。ガバナーノミニーの責務及び任務に関する詳細は、ラーニングセンターを参照すること。

4．ガバナーノミニー・デジグネート

ガバナー候補者として、ガバナーノミニーに選出される直前の12ケ月を「ガバナーノミニー・デジグネート」という肩書きを担う。

5．副ガバナー

ガバナー指名委員会がパストガバナーより選出した副ガバナーは、ガバナーが一時的あるいは恒久的にガバナーとしての任務の続行が不可能になった場合にガバナーの後任となる。

6．地区諮問委員会(パストガバナー)

ガバナーの任期を終了したパストガバナー(現在、ロータリークラブの会員であること)によって構成され、ロータリー活動に関する意思決定機関ではなく、ガバナーのスタッフ的役割を果たす委員会である。ガバナーの権限や責務が損なわれたり、妨げられたりするような助言または行動があってはならない。

7．ガバナー指名委員会

地区ガバナーノミニー候補者の選出のため、地区ガバナーはパストガバナーの中から各年度の指名委員会委員を委嘱し、地区ガバナー指名委員会がRIの定めに従って各年度のガバナーノミニー候補者を選出する。

8．地区研修リーダー・地区研修委員会

ガバナー及びガバナーエレクトを補佐しクラブや地区の指導者の研修にあたる。
具体的には以下の職務を行う。

・地区チーム研修セミナー
・会長エレクト研修セミナー
・地区研修・協議会

地区委員会が主に担当する以下の研修に二次的な責任を持ち協力する。

・地区会員増強セミナー　　　(クラブ活性化ワークショップ)
・地区ロータリー財団セミナー(クラブ活性化ワークショップ)
・地区公共イメージセミナー　(クラブ活性化ワークショップ)
・地区指導者育成セミナー
・地区ローターアクト指導者育成セミナー
・クラブリーダー養成研修委員会が指導するクラブ、グループレベルの会員研修を支援する。
・地区の各種研修セミナーの計画と監修

9．RLI委員会・RLI運営委員会

・ロータリー・リーダーシップ研究会(RLI)は質の高いリーダーシップ教育を通じて、ロータリークラブを強化するための地区リーダーシップ開発プログラムであり、ロータリアンにリーダーシップ技能と質の高い教育を提供する役目を負う。
・ロータリー・リーダーシップ研究会のあり方や運営に関する事を検討する。
・今年度は都城市で鹿児島県・宮崎県両県合同開催し、1クラブから2名以上の参加を要

請する。

10. 危機管理委員会

別途定める危機管理委員会設置要項による。

11. 地区運営委員会

地区の主な委員会のメンバー(G・PG・GE・GN・地区戦略計画・地区研修・RLI委員会・G補佐・6部門長・地区幹事・地区財務委員長・地区筆頭副幹事・ロータリーの友地区代表委員)により構成され、地区と地区内各ロータリークラブ間の連携を強化し、効果的なクラブ管理運営に資する支援を行なうことを目的とし、ガバナーにより召集され開催する。

12. 地区戦略計画委員会

・地区長期計画の検討立案

・地区のロータリー活動の継続的実践化を研究する。

13. 地区立法案・規定検討委員会

規定審議会(COL)は、3年に1回開催されるRI唯一の立法機関であり、地区の制定案を可決し、RIへ提出する事を行う。

14. 表彰選考委員会

・クラブ活性化を目的として、ロータリー賞及び他の表彰規定を地区内クラブに告知し積極的な取り組みを推進する。

・地区の奉仕プロジェクトの成果を収集し顕彰する。

15. 地区70周年準備委員会

2011年12月に発行した地区60年史が1977－98年度より2010－11年度までを編集したものであったことを踏まえ、地区70年史の発行を含め、70周年にふさわしい事業計画を策定する。

部門別地区運営委員会の役割

■ 会員増強部門

1. 拡大委員会

・新クラブ結成のための情報を収集し計画を立て実行する。

・宮崎県、鹿児島県の両県に担当委員会を設置し、全ガバナー補佐、全直前ガバナー補佐が委員となる。

2. 会員増強委員会

・地区内クラブの会員増強を図るための諸施策を検討する。

・会員の退会を防止するため、ガバナーに協力して適切な手段を策定する。

・ガバナー、ガバナーエレクト、地区研修リーダー、ロータリー財団部門長及び広報・公共イメージ部門長と相談した上で、地区会員増強セミナー(クラブ活性化ワークショップ)を企画、推進、実施する。

・クラブを訪問し、会員の増強、維持について卓話をする。

■ 奉仕プロジェクト部門

1. 職業奉仕委員会

・ロータリーの五大奉仕の第二部門。

・ロータリーの会員資格は会員の職業に基づいており、各クラブは地元地域社会の事業と専門職務の縮図をクラブで再現するように努めている。職業奉仕を通じて、ロータリア

ンはすべての取引における高い倫理基準を守り、これを推進し、あらゆる有用な仕事の価値を認め、自己の職業上の専門知識や技能を社会の問題やニーズに役立てるように、クラブとクラブ会員に求める。そして職業的技能を発揮できるプロジェクトに貢献し、ロータリーの原則に沿って、自らの事業や仕事を律するよう求める。

2．社会奉仕委員会
・ロータリーの五大奉仕の第三部門。
・社会奉仕について理解と具現化を図る施策を検討する。
・クラブの社会奉仕プログラムについての助言と情報提供を行う。クラブの成功事例について情報を交換し、地区内の意識高揚を図る。
・ロータリー地域社会共同体(RCC)とプロバスクラブの創設と発展を支援する。

3．国際奉仕委員会
・ロータリーの五大奉仕の第四部門。
・世界平和と国際理解を推進するため、世界社会奉仕(WCS)、ロータリー友情交換、ロータリー親睦活動(RF)等に関するプログラムを立案し、実施する。
・クラブのプロジェクトやグローバル補助金事業を推進するために、ロータリー財団部門と連携し支援する。

4．青少年奉仕統括委員会
・ロータリーの五大奉仕の第五部門。
・下記の４委員会活動の推進と運営を支援する。

①インターアクト委員会
・インターアクトクラブ(IAC)とは、奉仕と国際理解に貢献する青少年のための、ロータリークラブ提唱の世界的団体で、高校に在学中の生徒、または、年齢12歳～18歳までの青少年で結成されており運営面でも経済的にも自立しています。毎年いくつかの奉仕プロジェクトを行い、そこで展開されている「社会奉仕活動」や「国際親善活動」がインターアクターの活動の真髄です。

②ローターアクト委員会
・ローターアクトクラブは、18歳以上のすべての若い成人の奉仕クラブです。目的は青年男女が個々の能力の開発に当たって役立つ知識や技能を高め、それぞれの地域社会における物質的、あるいは社会的なニーズと取り組み、親睦と奉仕活動を通じて全世界の人々により良い信頼関係を推進するための機会を提供することです。

ローターアクトの目標は次の通りです。

＊　専門技術及び指導能力を開発すること。
＊　他人の権利を尊重する観念を養い、あらゆる有用な職業の道徳的水準及び品位を保持し推進すること。
＊　若い人々に地域社会をはじめ世界社会のニーズ及び懸念事項を提起する機会を提供すること。
＊　提唱ロータリークラブと協力して活動に当たる機会を提供すること。
＊　ロータリーにおける将来の会員として若い人々の意欲を喚起すること。

・2019年規定審議会で、ローターアクトクラブがRIの加盟クラブに含まれること、会員年齢の上限が取り除かれることなど画期的な変更が行われました。これらの重要な決定は、ローターアクトクラブの現在の傾向を反映し、ローターアクトをロータリークラブと並行して加盟クラブとし(独自性、クラブ文化、会員の特典は異なる)、ローターアクト内

でのより大きな柔軟性、革新性、多様性を奨励するものです。

③青少年交換委員会

・青少年交換事業を通して国際理解と親善を深める。
・事業の継続化のため危機管理体制の確立を図る。
・派遣受け入れへの理解と協力を各クラブに要請する。
・事業体験者を地域の有能な次世代リーダーとして育成するため継続的フォローの実施を提唱クラブに促す。

④ライラ(ロータリー青少年指導者育成研修会)委員会

・RIの公式プログラムとして、クラブ、地区で組織されるリーダーシップ養成プログラムで年齢が概ね12歳～30歳(IA.RA年齢に該当)を対象にして、青少年のロータリーへの理解を深めるとともに、指導力と協調性または地域社会と国際社会の一員として平和に貢献する資質を伸ばすことを目的とする。

■ クラブ管理運営部門

1．クラブ管理運営(クラブ奉仕)委員会
・ロータリーの五大奉仕の第一部門。
・潤滑なクラブ運営(SAA、親睦、出席、例会プログラムなど)が行われるための情報を提供する。
・クラブの例会を重視し、その活性化の支援のため、SAAにアドバイスをする。

2．クラブ戦略計画推進委員会
・クラブのロータリー活動の継続的実践化のため、情報を提供する。

3．クラブリーダー養成研修委員会
・クラブに研修リーダーの任命を呼び掛け、学習会、セミナー等ロータリーについて学ぶ機会を創出する。
・新入会員のオリエンテーションや会員研修をクラブで行うための情報の提供を行い、その実施を促進する.
・クラブ研修の実施に際しては、地区研修リーダー、地区研修委員会と相談して講師の派遣やリソースの提供等で支援する。

■ ロータリー財団部門

1．財団資金推進委員会
・年次寄付は寄付の基盤であり、財団プログラムの燃料と言えるもので、使用目的の指定は無く、寄付して3年後に地区の年次寄付総額の50%については、地区により目的を決定できる。
・恒久基金への寄付は、基本の元金となり、恒久的に維持されている。財団が将来において活動を続けていくための備えとなる。又、基金の支援による収益の一部は財団の補助金とプログラムに充てられる。財団は2025年までに恒久基金の資金10億ドルを集める事を目標としている。

2．補助金委員会(グローバル補助金、VTT)
・世界各地でロータリアンが実施する活動を支えるための補助金(地区補助金、グローバル補助金)を提供しています。ボランティア活動・奨学金・職業研修(VTT)など、さまざまな活動が可能で、複数ある補助金の中からプロジェクトにあった補助金を決定する。

3．ポリオプラス・ロータリーカード委員会

・ポリオプラスは国際ロータリーの特別プログラムであり、目標はポリオ撲滅の世界的証明を実現させることです。

・ポリオ撲滅の最終局面を迎えた現在、重要なのはポリオプラス委員会を中心に引き続きロータリアンと地元市民に対して、撲滅にロータリーが果した役割について啓蒙していくことである。さらに、地区内ロータリアンに対して、ポリオプラス基金が最も効果的で直接的な方法でポリオ撲滅のために活用されていることを伝える。そして、「ロータリーの2億ドルのチャレンジ」のため、会員・クラブ・地城社会の人々からの寄付を呼びかけるよう要請する。

・ロータリーカードを利用して、ポリオ撲滅をはじめとするロータリーの人道的支援活動を支持する。

4．ロータリー平和フェローシップ委員会

・ロータリー平和フェローシップは、平和及び紛争解決の分野におけるリーダー育成、支援するための奨学金プログラムです。

・平和と国際理解への明らかな熱意のある要件を満たした候補者を地区が選考し、ロータリー平和フェローシップ申請書を提出する。

5．財団資金管理委員会

・地区とクラブの間で締結した覚書(MOU)を管理するとともに、補助金管理セミナーを実施しクラブの参加資格認定を援助する。また、地区補助金の報告書をチェックするとともに、各クラブが地区補助金を使用するプロジェクトの計画、実行、報告書作成の一助となるチェックリストを見直し、更新する。

・ガバナー、ガバナーエレクト、地区研修リーダー、会員増強部門長及び広報・公共イメージ部門長と相談した上で、地区ロータリー財団セミナー(クラブ活性化ワークショップ)を企画、推進、実施する。

■ 米山記念奨学会部門

1．米山寄付推進委員会

・米山記念奨学事業の意義と奨学生との交流の感動を学び伝える。

・日本全国のロータリアンの寄付金を財源として、奨学金を支給して支援する民間の奨学団体であり、極めて高い公益性で運営されている。

・ガバナー年度の奨学寄付目標額以上の達成を目指し、特別寄付により多くのメジャードナーや米山功労者の誕生など積極的な寄付活動の増進を奨励する。

2．米山奨学生選考委員会

・米山奨学生の募集・選考を要項により実施する。

・「世話クラブ・カウンセラー制度」により「交流」を目的とした奨学生受け入れのプログラムを実施し、奨学生・学友と会員との交流促進と広報を行ない、奨学事業の意義を具体的に実感できる機会を設ける。

3．米山学友委員会

・米山学友(元米山記念奨学生)と現役奨学生によって組織された学友が、ロータリアンとの交流を深め、ロータリーの理想とする国際交流、親善および平和の創造と維持に貢献する事を目的として、活動する学友会運営のサポートをする。又、関係するロータリー地区との協力、連絡体制の強化と学友・奨学生とロータリアンとが相互に影響しあえる

人間関係の構築が望ましい。
・ロータリー学友委員会との情報共有、連携を図る。

■ 広報・公共イメージ部門

1．公共イメージ委員会
・ロータリーを一般の人々に広め、ロータリーのプログラムへの理解、評価を高めロータリーの好ましいイメージづくりを推進する。
・地域のオピニオンリーダーと定期的に交流し、公共イメージのPRに努める。
・ガバナー、ガバナーエレクト、地区研修リーダー、会員増強部門長およびロータリー財団部門長と相談した上で、地区公共イメージセミナー(クラブ活性化ワークショップ)を企画、推進、実施する。

2．広報・IT(コミュニケーション計画)委員会
・メディア、地域のリーダー、プログラムの受益者、ボランティア、寄付提供者を対象に広報を行い、ロータリーへの理解を得るための広報活動がロータリーの目標を達成するための有効な施策である事をロータリアンに周知させる。
・ロータリーの友委員会及びガバナー月信委員会と連携し情報を共有して、地区ホームページ等有効な広報を展開する。
・マスメディアや地域の様々なメディアを活用し、RIの広報素材や地区で実施するロータリーのプログラムを紹介する。
・話題性のある地区プロジェクトや行事について報道機関に紹介する。
・地区内全クラブのIT化を推進し、クラブとクラブ、地区とクラブ、RIとクラブが直接コミュニケートできるようにクラブIT化支援を行う。

3．ロータリー情報誌委員会
・国際ロータリーの公認誌「The Rotarian」「ロータリーの友」の精読を推進するための方策を検討し、実施する。
・ロータリーの友委員会及びガバナー月信委員会と情報を共有して、連携を図る。
・一般市民へのロータリー理解を目的として、「ロータリーの友」誌の活用を図る。
・クラブを訪問し、例会での定期的な記事紹介について話し合う。
・ロータリー文庫の活用を奨励し、クラブで役立てる方法を紹介する。

■ 部門外

1．ロータリー学友委員会
・従来、学友会はロータリー財団学友会として、ロータリー平和フェロー・国際親善奨学生、グローバル補助金と地区補助金による奨学生、職業研修チーム(VTT)、ロータリーボランテイア補助金、大学教員のための補助金、及びカールP. ミラー助成金の受領者、その他のロータリー財団プログラムに参加した経験のある人々からなる組織であるが、2014年4月にロータリー財団管理委員会により学友の定義が拡大され、ローターアクト・インターアクト・青少年交換・RYLAといった青少年プログラムの元参加者も学友とみなすことになった。そこで、地区の組織もロータリー財団から外れて独立した委員会とし、部門に属さない委員会とした。
・米山学友委員会との情報共有、連携を図る。

公式訪問について

1．国際ロータリー細則第16.090項の規定に従い、ガバナーは次の目的のために地区の各ロータリークラブへガバナー自身直接訪問する。

公式訪問に当たり、ガバナーは会長、会長エレクトと懇談し、例会においてアドレスを行う。

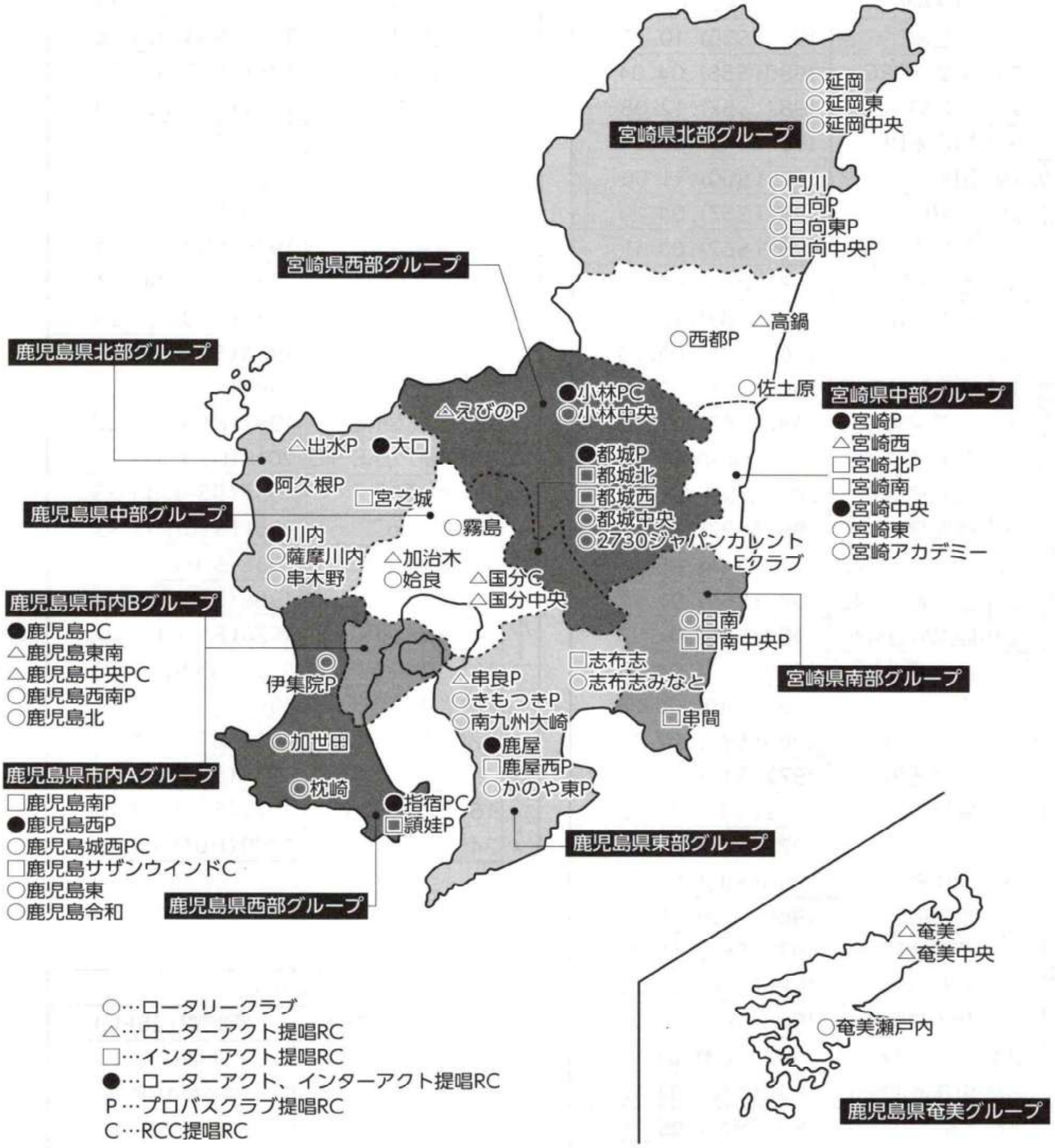
・ロータリーの基本理念についての理解を深める。
・重要なロータリーの課題に重点を置く。
・弱体クラブ、或いは問題を抱えているクラブに特別に注意を払う。
・奉仕活動に参加するようロータリアンの意欲を高める。
・地区のロータリアンの卓越した寄付を個人的に称える。

2．ガバナー公式訪問に関連して行われるクラブ協議会にガバナーが出席しない場合は、ガバナー補佐はガバナーの公式訪問の前に、公式訪問に関連して行われるクラブ協議会に出席し、其の協議内容をガバナーに報告する。

この場合は、ガバナーは例会終了後フォーラム（懇談、意見交換と質疑応答）の時間を設ける。

国際ロータリー第2730地区　次期地区チーム研修セミナー
2020年２月22日　ホテル さつき苑（鹿屋市）

国際ロータリー第2730地区　地区概況（地図）



国際ロータリー第2730地区のロータリークラブ創立日(グループ別)

鹿児島県(グループ別・創立順)			
北部グループ	2	川内RC	1954(S29).04.06
	8	串木野RC	1965(S40).05.21
	11	出水RC	1968(S43).12.05
	17	阿久根RC	1974(S49).06.19
	18	大口RC	1975(S50).10.12
	24	薩摩川内RC※1	1980(S55).04.04
	27	宮之城RC	1982(S57).12.08
中部グループ	9	加治木RC	1967(S42).06.24
	19	国分RC	1975(S50).11.06
	26	霧島RC	1982(S57).04.09
	31	国分中央RC	1987(S62).03.11
	35	姶良RC	1993(H05).05.09
市内Aグループ	4	鹿児島南RC	1958(S33).12.01
	6	鹿児島西RC	1963(S38).03.23
	29	鹿児島城西RC	1986(S61).09.16
	30	鹿児島東RC	1987(S62).01.08
	36	鹿児島サザンウインドRC	1997(H09).04.03
	39	鹿児島令和	2019(H31).04.22
市内Bグループ	1	鹿児島RC	1952(S27).10.10
	12	鹿児島東南RC	1969(S44).05.06
	20	鹿児島中央RC	1977(S52).01.10
	23	鹿児島西南RC	1980(S55).02.23
	32	鹿児島北RC	1989(H01).04.13
西部グループ	7	指宿RC	1965(S40).05.08
	13	伊集院RC	1969(S44).07.12
	14	加世田RC	1972(S47).10.18
	15	頴娃RC	1972(S47).11.15
	16	枕崎RC	1972(S47).12.14
東部グループ	3	鹿屋RC	1958(S33).04.05
	10	串良RC	1968(S43).11.05
	21	鹿屋西RC	1977(S52).11.28
	25	志布志RC	1981(S56).01.06
	28	かのや東RC	1985(S60).04.04
	33	きもつきRC※2	1992(H04).01.28
	37	南九州大崎RC	1998(H10).03.12
	38	志布志みなとRC	1999(H11).05.11
奄美グループ	5	奄美RC	1961(S36).01.10
	22	奄美中央RC	1979(S54).04.21
	34	奄美瀬戸内RC	1992(H04).03.13

※1 H16.9.9 川内中央RCより改称
※2 H22.1.5 高山RCより改称

宮崎県(グループ別・創立順)			
北部グループ	2	延岡RC	1954(S29).06.17
	5	日向RC	1960(S35).04.03
	8	延岡東RC	1966(S41).01.26
	13	日向東RC	1975(S50).05.28
	17	延岡中央RC	1979(S54).05.25
	22	日向中央RC	1987(S62).03.28
	25	門川RC	1992(H04).05.13
中部グループ	1	宮崎RC	1953(S28).02.17
	6	宮崎西RC	1960(S35).04.08
	11	宮崎北RC	1969(S44).10.22
	12	宮崎南RC	1975(S50).03.24
	15	高鍋RC	1976(S51).06.17
	19	西都RC	1985(S60).07.23
	21	宮崎中央RC	1986(S61).04.10
	23	佐土原RC	1987(S62).10.16
	26	宮崎東RC	1997(H09).06.02
	28	宮崎アカデミーRC	2018(H30).03.27
西部グループ	4	都城RC	1954(S29).08.25
	7	小林RC	1961(S36).03.15
	9	都城北RC	1966(S41).10.01
	10	えびのRC	1968(S43).09.02
	14	都城西RC	1976(S51).03.10
	18	小林中央RC	1984(S59).01.20
	20	都城中央RC	1986(S61).04.10
	27	ジャパンカレントEクラブ	2014(H26).04.01
南部グループ	2	日南RC	1954(S29).06.17
	16	日南中央RC	1977(S52).09.16
	24	串間RC	1989(H01).05.11

グループ	
鹿児島県(39RC)	**宮崎県(28RC)**
北部(7RC)	北部(7RC)
中部(5RC)	中部(10RC)
市内(A)(6RC)	西部(8RC)
市内(B)(5RC)	南部(3RC)
西部(5RC)	
東部(8RC)	
奄美(3RC)	

国際ロータリー第2730地区のロータリークラブ創立日(県別)

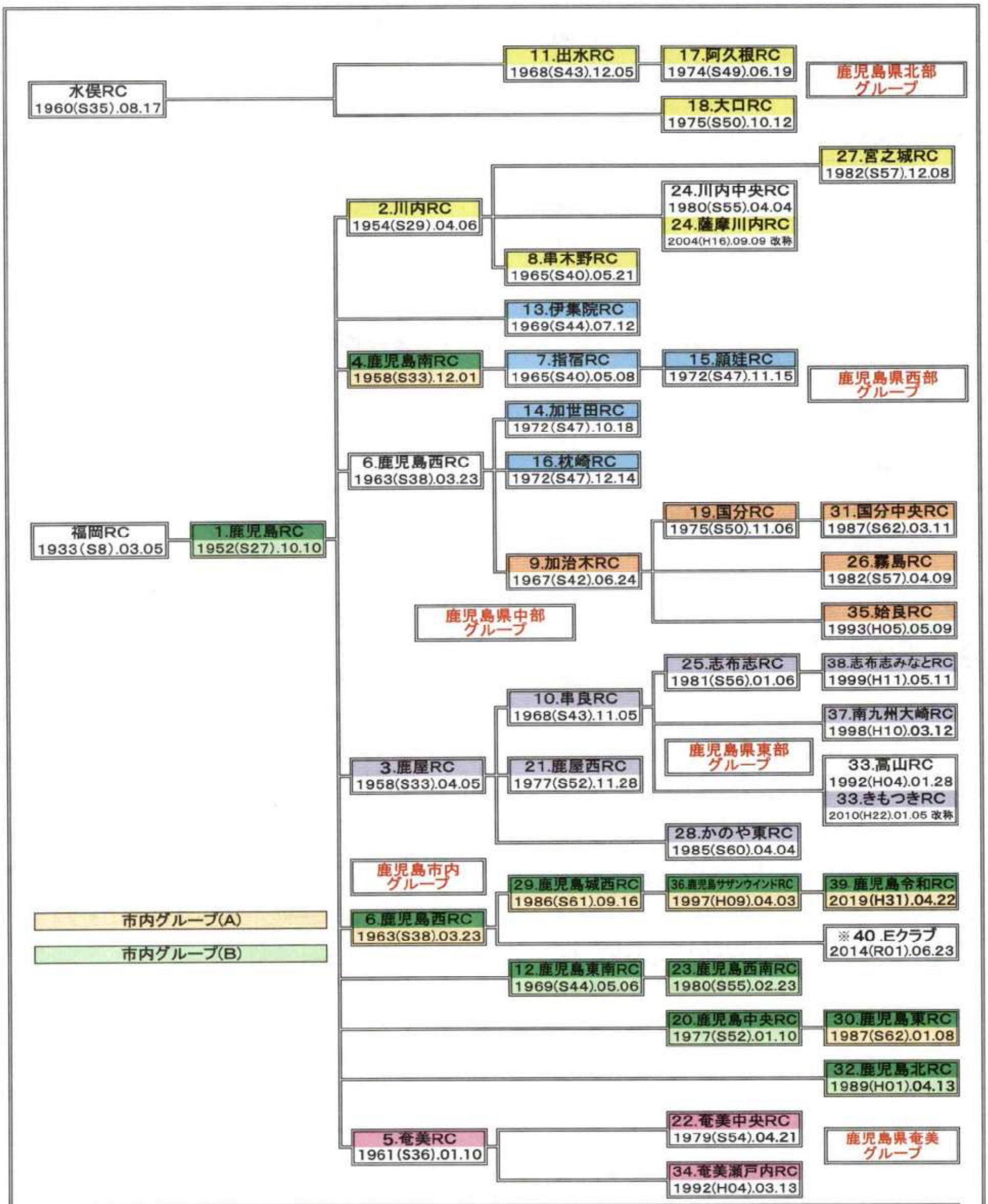
鹿児島県(創立順)		
1	鹿児島RC	1952(S27).10.10
2	川内RC	1954(S29).04.06
3	鹿屋RC	1958(S33).04.05
4	鹿児島南RC	1958(S33).12.01
5	奄美RC	1961(S36).01.10
6	鹿児島西RC	1963(S38).03.23
7	指宿RC	1965(S40).05.08
8	串木野RC	1965(S40).05.21
9	加治木RC	1967(S42).06.24
10	串良RC	1968(S43).11.05
11	出水RC	1968(S43).12.05
12	鹿児島東南RC	1969(S44).05.06
13	伊集院RC	1969(S44).07.12
14	加世田RC	1972(S47).10.18
15	頴娃RC	1972(S47).11.15
16	枕崎RC	1972(S47).12.14
17	阿久根RC	1974(S49).06.19
18	大口RC	1975(S50).10.12
19	国分RC	1975(S50).11.06
20	鹿児島中央RC	1977(S52).01.10
21	鹿屋西RC	1977(S52).11.28
22	奄美中央RC	1979(S54).04.21
23	鹿児島西南RC	1980(S55).02.23
24	薩摩川内RC※1	1980(S55).04.04
25	志布志RC	1981(S56).01.06
26	霧島RC	1982(S57).04.09
27	宮之城RC	1982(S57).12.08
28	かのや東RC	1985(S60).04.04
29	鹿児島城西RC	1986(S61).09.16
30	鹿児島東RC	1987(S62).01.08
31	国分中央RC	1987(S62).03.11
32	鹿児島北RC	1989(H01).04.13
33	きもつきRC※2	1992(H04).01.28
34	奄美瀬戸内RC	1992(H04).03.13
35	姶良RC	1993(H05).05.09
36	鹿児島サザンウインドRC	1997(H09).04.03
37	南九州大崎RC	1998(H10).03.12
38	志布志みなとRC	1999(H11).05.11
39	鹿児島令和	2019(H31).04.22

※1 H16.9.9 川内中央RCより改称
※2 H22.1.5 高山RCより改称

宮崎県(創立順)		
1	宮崎RC	1953(S28).02.17
2	延岡RC	1954(S29).06.17
2	日南RC	1954(S29).06.17
4	都城RC	1954(S29).08.25
5	日向RC	1960(S35).04.03
6	宮崎西RC	1960(S35).04.08
7	小林RC	1961(S36).03.15
8	延岡東RC	1966(S41).01.26
9	都城北RC	1966(S41).10.01
10	えびのRC	1968(S43).09.02
11	宮崎北RC	1969(S44).10.22
12	宮崎南RC	1975(S50).03.24
13	日向東RC	1975(S50).05.28
14	都城西RC	1976(S51).03.10
15	高鍋RC	1976(S51).06.17
16	日南中央RC	1977(S52).09.16
17	延岡中央RC	1979(S54).05.25
18	小林中央RC	1984(S59).01.20
19	西都RC	1985(S60).07.23
20	都城中央RC	1986(S61).04.10
21	宮崎中央RC	1986(S61).04.10
22	日向中央RC	1987(S62).03.28
23	佐土原RC	1987(S62).10.16
24	串間RC	1989(H01).05.11
25	門川RC	1992(H04).05.13
26	宮崎東RC	1997(H09).06.02
27	ジャパンカレントEクラブ	2014(H26).04.01
28	宮崎アカデミーRC	2018(H30).03.27

RID2730 鹿児島県 ロータリークラブの拡大推移と系統図

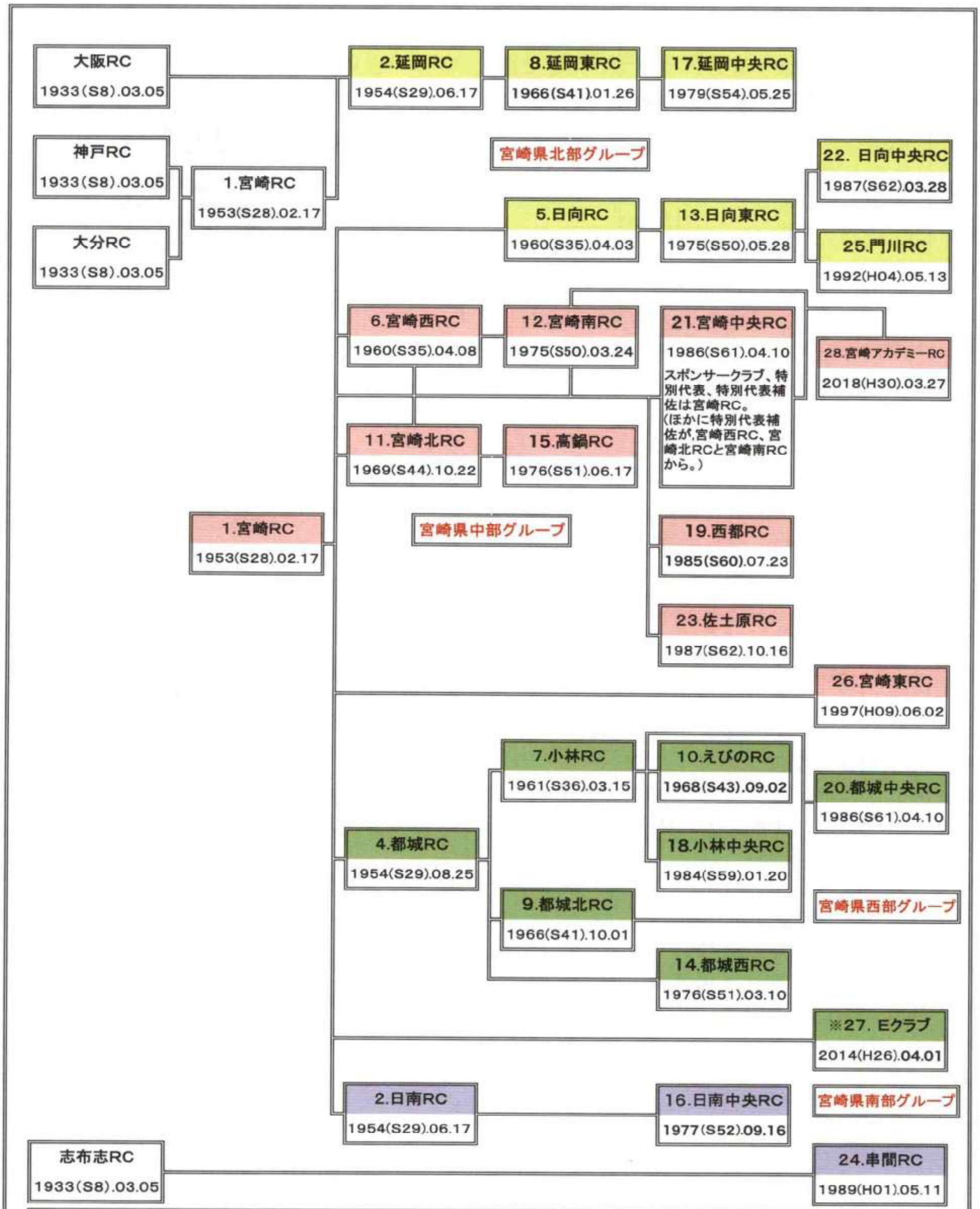
クラブ名の前の数字は、県内創立の順番
年月日は創立記念日



※40. Eクラブの正式名称は下記の通り。(スポンサークラブは、鹿児島西RCと宮崎RC)
クラブ名(英　語)　Rotary E-club of 2730 Japan Current, Japan
クラブ名(日本語)　2730 ジャパンカレント ロータリーEクラブ

RID2730 宮崎県 ロータリークラブの拡大推移と系統図

クラブ名の前の数字は、県内創立の順番
年月日は創立記念日



※27. Eクラブの正式名称は下記の通り。(スポンサークラブは、鹿児島西RCと宮崎RC)
クラブ名(英　語)　Rotary E-club of 2730 Japan Current, Japan
クラブ名(日本語)　2730 ジャパンカレント ロータリーEクラブ

ガバナー公式訪問の日程と要項について

1. 目的

・2020-21年度RIテーマをはじめ、ロータリーの重要な情報を提供する。
・地区活動方針について、理解と協力を求める。
・クラブの現状・運営について意見を交換し、クラブ会員とガバナーの交流を深める。

2. 公式訪問の標準スケジュール

スケジュール	昼の部	夜の部
会長・会長エレクト・幹事　懇談会	11:15 ～ 12:15	17:15 ～ 18:15
例　　会	12:30 ～ 13:30	18:30 ～ 19:30
記念写真撮影	13:30 ～ 13:45	19:30 ～ 19:45
クラブフォーラム	13:45 ～ 14:30	19:45 ～ 20:30

・公式訪問は、単独クラブ訪問を基本とします。
・ガバナーアドレスは、20分を基準とします。
・基本的に全員出席でお願いいたします。但し、やむを得ず欠席の場合は、近隣クラブでのガバナー公式訪問例会へのメーキャップをお願い致します。

3. クラブフォーラムについて

「不易流行：ロータリーの基本を堅持し変化に適応するクラブを」
① クラブビジョン、戦略計画について。
② どうすれば、会員増強、出席率向上につながるか。
③ 3年未満会員のロータリーへの期待。
・上記3つのことに対して、3名の会員に各10分程度発表をお願いします。
・充実した会合になる様、多くの会員の出席を求めます。
・特に入会3年未満の会員には出席の要請をお願いします。
・進行は、会長が司会をして進行してください。ガバナースピーチ後、発表をお願いし、質疑、ガバナー及びガバナー補佐の講評となります。

4. 事前書類提出について

(1) 公式訪問を効率よく進めるために、以下の種類をガバナー事務所へ2部、担当ガバナー補佐へ1部、公式訪問の3週間前に送付してください。
・「クラブの計画と目標」「会長の計画と見解」
・概況報告
・職業分類と充填・未充填
・クラブ運営の基本方針
・クラブ委員会の活動計画
・クラブ定款及び細則
・クラブ会報（直近4回分）

5. 担当ガバナー補佐との連絡

事前の準備について、不明なことがあればガバナー補佐に連絡して、ガバナー事務局に早めにご連絡ください。

6. その他

(1) ガバナーとガバナー補佐、随行者のネームプレート、卓上プレートは持参します。
(2) ガバナーとガバナー補佐のフィーは、免除させていただきます。
(3) 当日の食事は、できるだけ100万＄食事にしてください。
（通常の例会食の場合でもクラブに負担が掛からないものでお願いいたします。）
(4) お土産、クラブフォーラム後の接待は、固くご辞退させていただきます。
(5) 会長、幹事とガバナーとの意見交換会を開催される場合は、各グループ毎にグループ内公式訪問期間中にガバナー補佐が招集してくださるようお願いいたします。

ガバナー公式訪問の日程表（案）

2020年　7月			2020年　8月			2020年　9月			2020年　10月			2020年　11月		
1	水		1	土		1	火	小林中央	1	木	頴娃	①	㊐	
2	木		2	日		2	水	小林	2	金		2	月	志布志みなと
3	金		3	月	宮崎東	3	木	えびの	3	土		③	㊋	
4	土		4	火	西都	4	金		④	㊐		4	水	鹿児島西
⑤	㊐		5	水	佐土原	5	土		5	月	鹿児島中央	5	木	鹿児島SW
6	月		6	木	高鍋	⑥	㊐		6	火	鹿児島城西	6	金	
7	火	奄美中央	7	金		7	月		7	水	鹿児島南	7	土	
8	水	奄美瀬戸内	8	土		8	火	川内・串木野	8	木	鹿児島東	⑧	㊐	
9	木	奄美	⑨	㊐		9	水	薩摩川内	9	金	鹿児島	9	月	
10	金		⑩	㊊		10	木	出水	10	土		10	火	
11	土		11	火	宮崎アカデミー	11	金		⑪	㊐		11	水	
⑫	㊐		12	水	鹿屋	12	土		12	月	鹿児島令和	12	木	
13	月	延岡東	13	木		⑬	㊐		13	火	鹿児島東南	13	金	↑
14	火		14	金		14	月		14	水	鹿児島西南	14	土	地区大会
15	水	延岡	15	土		15	火	阿久根	15	木	南九州大崎	⑮	㊐	↓
16	木	延岡中央	⑯	㊐		16	水	宮之城・大口	16	金		16	月	
17	金		17	月		17	木	霧島	17	土		17	火	
18	土		18	火	日南中央	18	金		⑱	㊐		18	水	きもつき
⑲	㊐		19	水	日南	19	土		19	月	串良	19	木	かのや東
20	月	日向	20	木	串間	⑳	㊐		20	火	志布志	20	金	
21	火	日向東	21	金		㉑	㊊		21	水		21	土	
22	水	日向中央・門川	22	土		㉒	㊋		22	木		㉒	㊐	
㉓	㊍		㉓	㊐		23	水	姶良	23	金		㉓	㊊	
㉔	㊎		24	月		24	木	国分	24	土		24	火	
25	土		25	火	都城北	25	金		㉕	㊐		25	水	
㉖	㊐		26	水	都城西	26	土		26	月		26	木	
27	月	宮崎南	27	木	都城中央	㉗	㊐		27	火	加治木	27	金	
28	火	宮崎	28	金	都城	28	月	枕崎 加世田	28	水	国分中央	28	土	
29	水	宮崎北	29	土		29	火	指宿	29	木	鹿児島北	㉙	㊐	
30	木	宮崎中央	㉚	㊐	ジャパンカレントEクラブ	30	水	伊集院	30	金		30	月	鹿屋西
31	金	宮崎西							31	土				

2020−21 年度 ガバナー補佐一覧

グループ			氏　名	所属RC	連絡先住所 メールアドレス
宮崎県	北部		クロキ　コウサク 黒木　耕作	日向東	883-0062 宮崎県日向市大字日知屋13145 電話 0982-54-0179　FAX 0982-54-0179　携帯電話 080-5800-8179
	中部		カネマル　ノリフミ 金丸　憲史	宮崎西	880-0014 宮崎市鶴島2丁目13番24号 sr6300@miyazaki-catv.ne.jp 電話 0985-22-6300　FAX 0985-22-6527　携帯電話 090-5294-8665
			副　ヒダカ　ヒトシ 日高　均	宮崎西	880-0812 宮崎市高千穂通1-3-26 hidaka@kk-hakuyou.com 電話 080-2704-7508　FAX 0985-26-1113　携帯電話 080-2704-7508
	西部		タムラ　カヨコ 田村香代子	都城中央	885-0083 宮崎県都城市都島町 210−142 Kaname.3325@docomo.ne.jp 電話 0986-22-4626　FAX 0986-22-5715　携帯電話 090-6772-3691
	南部		サカモト　テツオ 坂本　哲夫	日南中央	887-0031 日南市大字戸高1042-7 電話 0987-23-8682　FAX 0987-31-0127　携帯電話 090-5282-7582
鹿児島県	北部		ナカムラ　ケンジロウ 中村　健二郎	阿久根	899-1611 阿久根市赤瀬川2376-3 n-mokuzai@po.synapse.ne.jp 電話 0996-73-2100　FAX 0996-73-2101　携帯電話 090-9588-4303
	中部		アツチ　ケンジ 厚地　健二	加治木	899-5215 姶良市加治木町本町110 clover-1@topaz.ocn.ne.jp 電話 0995-63-2500　FAX 0995-63-5542　携帯電話 080-5271-8899
	市内A		カミカワ　サキオ 上川　咲男	鹿児島南	890-0063 鹿児島市鴨池1丁目4-6 4F sakio@kamikawajapan.com 電話 099-259-7777　FAX 099-252-8158　携帯電話 090-9579-7111
	市内B		ノイクラ　ヨシヒデ 野井倉洋豪	鹿児島東南	鹿児島東南ロータリークラブ info@tounanrc.jp 電話 099-259-6855　FAX 099-259-1622　携帯電話 080-4065-3511
	西部		マツシタ　イチロウ 松下　一郎	枕崎	898-0014 枕崎市東本町10 ichiro3177@gmail.com 電話 0993-72-1258　FAX 0993-72-2344　携帯電話 090-2511-4164
	東部		ムラカミ　ジュン 村上　潤	鹿屋	893-0015 鹿屋市新川町5503 j.murakami.kaikoh@gmail.com 電話 0994-44-5714　FAX 0994-42-4142　携帯電話 090-4999-6113
	奄美		ナカムラ　カツロウ 中村　勝郎	奄美中央	894-0001 奄美市名瀬大熊1426 mango-hanasaku@vivid.ocn.ne.jp 電話 0997-52-6346　FAX 0997-52-6346　携帯電話 090-7462-3719

※ 上記の方々は全員、ガバナー補佐の資格条件を満たしております。

ロータリーの目的について

ロータリーとは

2020-21年度地区研修リーダー
PG **安満　良明**(加治木RC)

1905年2月23日第1回例会

ポール・ハリス　シルベスター・シール　ハイラムEショーリー　ガスターバスH・ローア

親睦と相互扶助。 一業種ひとり

１年で30名を超える。　１年ごとの入会日が会員資格検査。
職業倫理を守ったか、会員一人以上と取引があったか。

ロータリーの目的　(※ロータリアンの為に)

ロータリーの目的は、意義ある事業の基盤として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある。

第１　知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。
第２　職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。
第３　ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実施すること。
第４　奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

標語　　第１　**超我の奉仕**　　第２　**最もよく奉仕するもの、最も多く報いられる**

四つのテスト　言行はこれに照らしてから

１、真実かどうか
２、みんなに公平か
３、好意と友情を深めるか
４、みんなのためになるかどうか

ロータリアンの行動規範

ロータリアンとして私は以下のように行動する。
1)　個人として、また事業において、高潔さと高い倫理基準をもって行動する。
2)　取引のすべてにおいて公正に務め、相手とその職業に対して尊重の念をもって接する。
3)　自分の職業スキルを活かして、若い人々を導き、特別なニーズを抱える人々を助け、地域社会や世界中の人びとの生活の質を高める。

4) ロータリーやほかのロータリアンの評判を落とすような言動は避ける。
5) **ロータリーの会合、行事、および活動においてハラスメントのない環境を維持することを支援し、ハラスメントの疑いがあれば報告し、ハラスメントを報告した人への報復が起こらないよう確認する。**

※ロータリークラブの為に

目標設定計画

ロータリーが成長するに従い、その習慣も複雑化しロータリーとは何かという簡潔明瞭な言葉が見えなくなってきた。ロータリーの目的を十分理解してもらうために、ロータリークラブの目標設定計画が1927年ベルギーの国際大会で承認された。

三つの車線

1、ロータリアンがクラブで奉仕できる車線。
2、職業で奉仕する車線。
3、地域社会で奉仕する車線。

四大奉仕部門

1928年ミネアポリス大会にて承認

1、クラブ奉　　仕会員はロータリーについての教育を受け、親睦が奨励され、各種委員会がクラブ運営を司る。
2、職業奉仕　　会員は各自の職業で、倫理、奉仕、指導力向上という組織の理想と結ばれる。
3、社会奉仕　　奉仕の神髄であり、ここで世界のあらゆるロータリークラブが地域社会の良き隣人として行動する。
4、国際奉仕　　ロータリアンが各自の地域社会を超えて各国間の平和、民族間の理解、飢餓・苦難・病気の解消を唱道する。

五大奉仕へ

5、青少年奉仕

ロータリークラブの目的　(1916年)

本クラブの目的は、「ロータリーの目的」の達成を目指し、五大奉仕部門に基づいて、成果あふれる奉仕プロジェクトを実施し、会員増強を通じてロータリーの発展に寄与し、ロータリー財団を支援し、クラブレベルを超えたリーダーを育成することである。

(参考文献　奉仕の一世紀)

※各ロータリークラブへのお願い

1、クラブに戦略委員会を置く
2、クラブに研修リーダーを置く
3、クラブに危機管理委員会を置く
4、クラブの定款細則の確認

地区戦略計画について

地区・クラブにおける戦略計画の推進

2020-21年度地区戦略計画委員長
PG **山下　皓三**(鹿児島西RC)

国際ロータリー第2730地区風呂井ガバナー年度からは、ロータリーのビジョン声明を達成するため、RI戦略計画の行動計画に沿った地区行動計画を立案し、目標を達成できるようにクラブの支援をすることに決定しました。

RI戦略計画委員会から次のようなメッセージが届いております。

ロータリーの新しい戦略計画は、これまでの計画とは異なっています。新しい計画には、力強い未来を協力して築くことへの行動を促す「行動計画」が含まれています。この計画を通じて、行動人が手を取り合い、価値観を同じくする者同士がつながり、世界と自分自身の中に持続可能な変化を生むために活動することで何が可能となるかを、私たちが認識することができます。

この計画は、ロータリーの伝統や価値観を払しょくするものではありません。その目的は、組織を強化することでロータリーの価値観をずっと守ること、効果的な方策を用いることであらゆるレベルで組織を強化すること、ロータリーに参加するすべての人が有意義で価値ある経験ができるようにすること、そして、より大勢の人の暮らしと地域社会をより良くすることです。

私たちは、世界により大きなインパクトをもたらし、参加者の基盤を広げ、参加者の積極的なかかわりを促し、適応力を高めて革新的になることを目指しています。今後数年間、これらの目標を達成するための数々のイニシアチブを模索、実施していきます。この行動計画はロータリーのビジョン実現に向けた国際ロータリーと組織全体の活動を主眼としていますが、その多くはクラブと地区のレベルにも当てはまります。

また、このため、各クラブでもこの行動計画と同じ優先事項を掲げていただくことが大切となります。クラブの計画を立てる際には、これらの優先事項とその概念を考慮してください。クラブを、そして会員の体験をできる限りベストなものに近づけるにはどうすればよいかを考えてください。

第2730地区ではクラブを支えるための機能的組織体系への見直しから始めました。そして、トータルバランスを考えたクラブ戦略計画の図を作成し、クラブ戦略計画を推進し、目標を達成するためのガバナー補佐と地区部門の役割がわかるようにしました。戦略計画を理解し、地区チームとして必要な資料をMy Rotaryから抜粋して、資料一覧にしてDVDに焼き付けてありますので参照してください。また、今後はMy Rotaryの活用なしには地区の運営は難しくなると思いますので、地区チームリーダーの方々はMy Rotaryへの登録をお願いいたします。

また、クラブリーダーの方々への奨励もよろしくお願いします。

地区戦略計画について

※DVDは会長エレクトに事前に送付してあります。必要な場合はコピーしてご利用下さい。

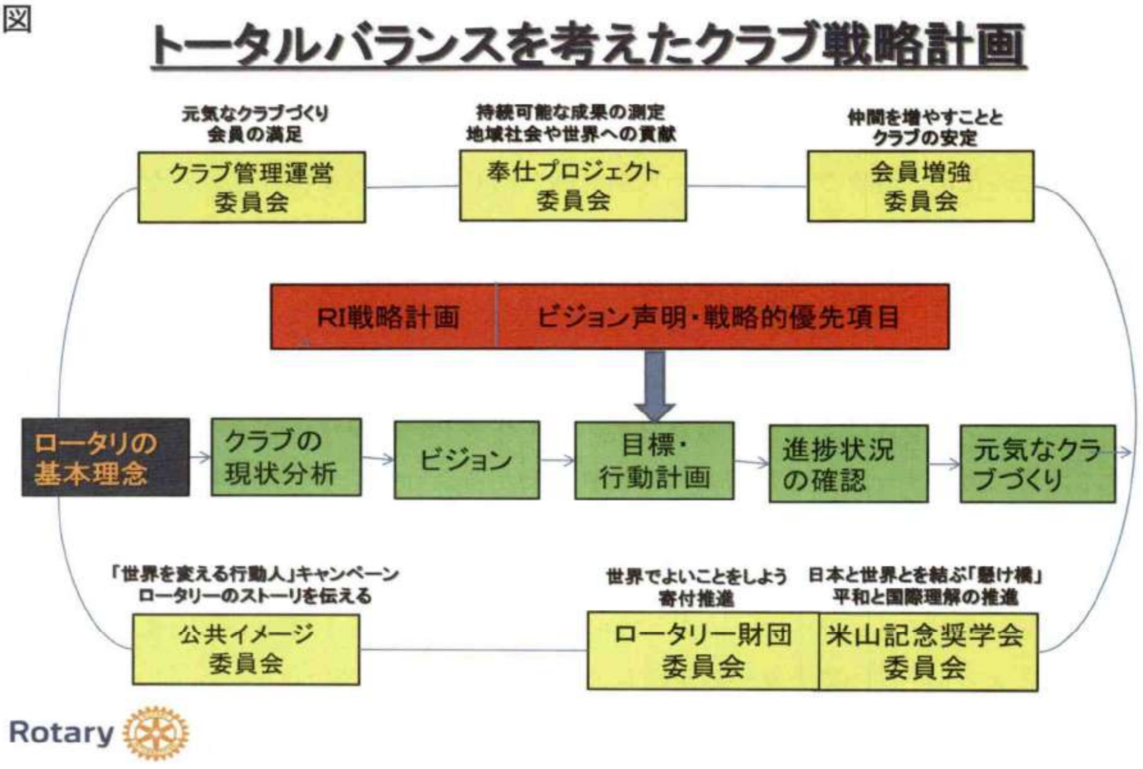
DVD添付資料(My Rotary より)

1、戦略計画
2、行動計画
3、行動計画：よくある質問
4、戦略計画委員会からのメッセージ
5、元気なクラブづくりのためのCLP
6、戦略計画立案ガイド
7、地区活動計画の指標
8、クラブの健康チェック
9、会員の満足度を高める
10、退会理由を理解する
11、地区・クラブを成功に導くリーダーシップ
　・戦略計画立案（ガバナー編より1.1-1.3）
　・地区を成功に導くリーダーシップ」（ガバナー補佐編、委員長編、各委員会編）
　・クラブを成功に導くリーダシップ（会長編、幹事編、委員長編）

My Rotary の操作法に関する資料

1、「My Rotary」アカウント登録の手引き
2、Rotary.orgについてよくある質問(FAQ)
3．ロータリークラブ・セントラル　－お知らせ・活動報告
4、ロータリークラブ・セントラル　クラブ用手引き
5、ロータリークラブ・セントラル　地区のための参照ガイド

参考図



元気なクラブづくりのために

日本

クラブ・リーダーシップ・プラン

私たちのクラブは元気です

日本では、多くのクラブで会員数が減少し、会員年齢が高齢化しています。そんな中、米山学友を中心とする「東京米山友愛ロータリークラブ」が2010年に設立されました。会員が多国籍ということに加え、会員の平均年齢が若いことがこのクラブの特徴です。公用語は日本語で、連絡や例会も日本語を使っています。会員の出身国や関係国（バングラデシュ、南スーダン、ミャンマー、ネパールなど）での海外プロジェクトのほか、日本国内でも、東北被災地でのカレー炊き出し、ヨガ体験、高校生に会員出身国の文化を伝える活動、米山奨学生の文化理解ワークショップなど、国際色豊かな活動を展開しています。多国籍会員がいるクラブは日本ではめずらしいのですが、この特色以外にも、さまざまな工夫をして「元気なクラブづくり」を目指しています。

「元気」の秘訣をご紹介します

ビデオ会議

仕事や私用で出張中、子育て・介護中の会員が、自宅や出張先からインターネットを利用して、例会、理事会、協議会にビデオ参加できるようにしています。これによって、出席率が上がるだけでなく、マイクを通じて意見発言もできるため、参加への積極性が向上しました。おかげで、会員一人ひとりがクラブ運営に携わっているという意識が高まっています。

ビデオ会議の導入は、会員の退会防止に加え、多忙な入会希望者にとって例会参加の選択肢が広がるので、会員増強の有効な手段ともなっています。今後はパソコンに不慣れな会員もビデオ会議に参加できるようにするためのオリエンテーションを行うなど、積極的な利用を勧め、参加率をさらに上げていきます。

柔軟なクラブ運営

事務局をおかないことで、会員が事務的業務をすることによってロータリーの知識を深めたり、事務所や事務局員にかかる経費の大幅な削減につなげています。

例会では食事をとらない形式を用いているため、例会後に有志による親睦食事会がよく企画開催され、異文化交流の雰囲気を味わうことができます。

独自の活動で公共イメージアップ

クラブの特色を生かした奉仕活動は、口コミだけでなく、地元紙・メディアにも取り上げられ、公共イメージ向上につながっています。現在、国連ユニタールとの活動に参加しており、今年度（2017-18年度）初めてグローバル補助金を活用して、米国のクラブと一緒に広島の原爆を生き延びた被爆樹木を世界に植樹するプロジェクトを実施しています。

会員ネットワークの活用

ロータリーファミリーや友人の紹介が多いのもこのクラブの特色です。会員の家族、友人、大学の後輩などを奉仕活動に誘って、ロータリーの活動理念をともに学び、体験し、それが入会につながっています。日本にいるとなかなか体験できない活動を、ロータリーを通じて体験でき、世界中に仲間ができることを大いに謳歌できます。会員出身国の学友会活動の活性化も、奉仕活動の一環として取り組んでいます。

学友が多いクラブの強みは、会員が入会前からロータリーの活動に参加した経験をもっていることです。特に米山奨学生は、「米山学友」としての誇りを胸に、民間大使として日本と母国との懸け橋として、さまざまな分野で活躍しています。このような会員の個性こそがクラブの財産だと強く思います。

リーダーシップの育成

米山学友が日本社会で道を拓き、幹部職として活躍できるような人材として育つことができるよう、RYLAプログラムなどをヒントにした企画にも取り組んでいます。会員には独立して起業した人も多く、海外のビジネス事情について情報交換をするなど、職業奉仕にも役立っています。

元気なクラブとなるためのステップ

あなたのクラブでは、会員が積極的に参加し、実りあるプロジェクトを実施し、新しいアイデアを試していますか？楽しく、活気に満ちていますか？

以下のアイデアを参考にして、会員の積極性と地域の人びととの関心を引き出し、入会を促すためのプランを立てましょう。

クラブの3～5年後の姿を思い描く

- 年に1度、クラブのビジョンについて話し合う。**クラブの健康チェック**を使ってクラブの強みと改善点を探る。
- **戦略計画立案ガイド**を使って長期目標を立てる。

年次目標を立て、ロータリークラブ・セントラルに入力する

- クラブが得意とする活動や分野を見つけ、その長所をさらに伸ばす。
- 月1回、目標に向けた進捗状況を各委員会に伝える。

会員が積極的に参加でき、情報豊かな例会とする

- クラブの良い点、改善点を探るために**会員満足度調査**を実施する。調査の結果を基に、今後の実行項目を決める。
- 従来型例会、オンライン例会、奉仕プロジェクト、親睦の集まりなど、さまざまな**例会形式を取り入れる**。

クラブ内でオープンなコミュニケーションを図る

- 例会、クラブのウェブサイト、ソーシャルメディアで情報を共有する。
- 定期的に会員の声を聞く機会を設ける。
- **ブランドリソースセンター**から入手できるテンプレートを活用し、クラブのパンフレットと会報をつくる。

後継者を育て、スムーズな引き継ぎを図る

- 継続性を図るため、次年度以降のリーダーも任命する。各委員会には現委員長のほか、次期委員長と元委員長も含める。
- 次期役員のために「OJT（オンザジョブトレーニング）」を行う。各役員の責務内容を文書にまとめる。

クラブの運営方法を反映させて、細則を独自に修正する

- 会員とともにクラブ細則を毎年見直す。
- **推奨ロータリークラブ細則**のテンプレートに手を加え、クラブの新しい手続きや運営方法が反映されるようにする。

会員同士の交流を深める

- 「**新会員オリエンテーション：ロータリーでの第一歩を踏み出してもらうために**」を参考にする.
- 毎回の例会で違う会員と同席するようにする。

会員が心から関心をもてる活動に参加できるようにする

- 会員の関心を調べるアンケートを実施し、その結果を基にプロジェクトや活動を計画したり、会員が満足できる例会を企画する。
- 新会員の関心を調べ、各自に合った役割をクラブで担当してもらうことで、入会後早い時期から新会員の参加を促す。

ロータリーのリーダーとなる人材を育てる

- クラブの研修リーダーまたは研修委員会を任命し、研修プランの立案と実施を担当してもらう。
- 「**実践リーダーシップ**」の研修を実施し、会員のリーダーシップスキルを磨く。

クラブ運営に必要な委員会を設置する

- 小規模クラブ：委員会の活動を統合する方法を検討する。
- 大規模クラブ：全会員が参加できるよう、追加の委員会を設ける。

245JPN-JA—(917)

Rotary Leadership Institute「ロータリーを語ろう会」

2020-21年度RLI委員長
PG　山下　皓三（鹿児島西RC）

【ロータリーリーダーシップ研究会（RLI）の目的】

ロータリアンの自主性と卓越した指導性を滋養し、クラブの刷新性と柔軟性を育て、ロータリーを活性化することです。すなわち、クラブの特定のリーダーを育成するのでは無く、一人ひとりの会員のリーダーシップ（指導力）を育むことでクラブが活性化することです。

【ロータリーリーダーシップ研究会（RLI）の理念】

ロータリーリーダーシップ研究会（RLI）は、質の高いリーダ―シップの研修を通じて、クラブ活性化を願う、草の根運動のプログラムです。

【ロータリークラブの研修についての必要性】

ロータリークラブの指導者の中には、ロータリーに対するわずかな知識しか持たず、クラブの活動を前進させていくのに必要な指導力がないままに就任するケースが多くみうけられます。半面、良い指導者のいるクラブでは価値あるプロジェクトに多くの会員が関わりロータリアンとしての充実感を体験して質の高い例会を実践しています。結果として、会員を育て、会員基盤を維持し、退会防止に繋がっています。

そのために、ロータリーを知る（学ぶ）こと、考える（理解）こと、実践する（行動）ことが必要です。

【ロータリーリーダーシップ研究会（RLI）のプログラムについて】

ロータリーリーダーシップ研究会（RLI）は、世界中にある支部に組織化された地区会員のために草の根で小さなグループによるファシリテーション手法によって、ロータリアンを引き込み、ロータリークラブを強化するために開発されました。潜在的役員候補者や最近クラブに入会したメンバーも含めて他のクラブ会員のために、一連の質の良いリーダーシップ開発コースを管理してきました。

RLIの各コースは、リーダーシップ技能や世界中のロータリーの知識を強調しています。すべてのコースは対話型となっています。RLIは、リーダーシップ研修によって、参加者がロータリーに熱中し、ロータリーにもっと取り組むことによって会員維持にプラスの影響が与えられるプログラムと信じています。

【RLI への受講者の評価】

①楽しくて研修時間の過ぎるのが早かった。
②自分の考え、意見を言うことが出来て大変良かった。
③他の受講者の意見を聞くことが出来て良かった。
④クラブを超えて知人が出来、親睦の輪が広がった。
⑤会長エレクトとしての自分の職務の遂行に自信が持てた。

⑥ワークショップ形式が大変良かった。
⑦カリキュラムが系統だっており理解しやすかった。

受講者の９７%が良かったとの感想でした

【ロータリーリーダーシップ研究会(RLI)の歴史】

1992年にアメリカ・ニュージャージー州(第7510地区)で、デビット・リンネット元RI理事の提案で始められた研修組織として、RLIは始まった。

その後、３つの地区、更に1998年には、31，32ゾーン(アメリカ北東部、中部太平洋、カナダの一部)までの広がりを見せた。

2001年の国際協議会のスピーチで、RLIプログラムのことが取り上げられ、指導力成功談としてRIウェブサイトに掲載されると共に、2002年３月RIニュース・バスケットの記事になった。このようにRLIの活動は、自然発生的に全世界にクラブサイドのロータリー研修組織として発展している。

2011年９月現在、世界で276の会員(地区)、150カ国が属し、64支部ができている。アメリカ本土のみならず、オーストラリア、バングラディッシュ、ブラジル、ブルガリア、カナダ、キプロス、インド、フランス、イスラエル、ネパール、レバノン、ヨルダン、日本、ニュージーランド、フィリッピン、ポルトガル、台湾等、数多くの国や地域でRLIの研修セミナーが実施されている。日本では、2008年６月に南園義一委員長を中心としてRLI日本支部が発足した。初期には第2750地区の東京や第2830地区の八戸でセミナーを開催したがその後、南園義一委員長の優れたリーダーシップによって日本支部は順調に発展してきた。第2710地区の広島第2770地区の埼玉、第2650地区の京都や第2640地区の大阪などでセミナーが開催されるようになり、2011年には国内で12地区が会員となった。2020年には日本支部には34地区中24地区が参加しており今年中には3地区が参加予定。

2013年規定審議会は、RLIプログラムをRIプログラムとして採用することを推奨する決議をしたが、RI理事会は採択していない。

【日本支部の役員 (2019－20 年度) (関係分)】

◎中村靖治(吉川RC・ファシリテーター委員長)
◎田村智英(延岡RC・ファシリテーター委員)
◎山下皓三(鹿児島西RC・地区代表委員)

RID2730におけるRLIの経過

2019-20年度
RLI運営委員会統括委員長
川平　建次郎(鹿児島西RC)

【田中俊實ガバナー年度(2014－15年度・第1期及び第2期】

①地区代表委員田村智栄PGは、田村ガバナー年度のガバナー補佐を軸として、先ず、広島RCにおける「DL研修セミナー」に参加し、試行的に都城市(地区事務所)にて「パートⅠ」～「パートⅢ」を実施した。(第1期)

②地区大会の「大会決議」として「RLIを地区行事として採択する」が採択された。
山下晧三地区研修リーダー (PG)と深尾兼好地区クラブ研修委員長(実行委員長)が運営し、鹿児島市(自治会館)にて「パートⅠ」～「パートⅢおよび卒後コース」を実施した。(第2期)

【野中玄雄ガバナー年度(2015－16年度・第3期)】

鳥山浩実行委員長の運営で、宮崎市(日大高校)にて「パートⅠ」～「パートⅢ」を実施した。
「卒後コース」は実施されなかった。

【大重勝弘ガバナー年度(2016－17年度・第4期)】

伊藤学而地区研修リーダー (PG)と深尾兼好(実質的実行委員長)が運営し、鹿児島市(鹿児島大学農学部共同獣医学部)にて「パートⅠ」～「パートⅢおよび卒後コース」を実施した。

【押川弘巳ガバナー年度(2017－18年度・第5期)】

①鳥山浩実行委員長の運営で、宮崎市(日大高校にて「パートⅠ」～「パートⅢ」を実施した。
②宮崎市(ニューウェルシティー宮崎)にて、「卒後コースおよび懇親会」を実施した。
③地区大会決議「RLIに各クラブ2名を参加させる」が採択された。

【川原篤雄ガバナー年度(2018－19年度・第6期)】

①田中俊實地区研修リーダー (PG)⇒山下晧三地区RLI委員長(PG)
⇒川平建次郎地区RLI運営委員長の運営で実行された。
地区RLI運営委員会が地区RLI委員会の傘下に初めて結成された。

②2018.07.22「DL資格取得のためのセミナー」
中村靖治日本支部ファシリテーター委員長を迎えてメインホテルなかむら(都城市)で開催し、参加者全員がDLを経験(実習)した。

③「DL」の認定証を発行した。(宮崎県34名、鹿児島県47名)

④鹿児島市(鹿児島大学農学部共同獣医学部)にて「パートⅠ」～「パートⅢおよび卒後コース」を実施した。

※参加者を推薦するクラブに限りがある根本課題はクラブ負担の登録の在り方であった。

※山下委員長の尽力により、ガバナー事務所の全面的な支援を取り付け、施設使用料とテキスト購入費をガバナー事務所で賄って頂いた。その結果、参加者からの登録料と弁当代では余裕の出ることが判明し、残額はガバナー事務所に納付した。

※(パートⅠ)+38,940円 (パートⅡ)+73,040円 (パートⅢ)-31,730円 (トータル)+80,250円

※次年度に向けて、地区資金からの予算配分を願い出た結果、相応の配分が得られ、不足分のガバナー事務所の支援が約束された。

【喜島健一郎ガバナー年度(2019－20年度・第7期)】

①地区予算の配分を受けることになった。(不足分はガバナー事務所が処理する。)
・クラブ負担をなくした。
・登録料1,000円、弁当代1,000円、テキスト代1,000円は参加者負担となった。
②鹿児島・宮崎両県で第７期2730RLIは開催された。
・地区RLI運営委員会は、統括運営委員長：川平建次郎
（鹿児島担当運営委員長）：深尾兼好　（宮崎担当運営委員長）：鳥山浩
③運営委員長(宮崎・日大宮崎高校)：鳥山浩　　副委員長：安田秀一
ＰａｒｔⅠ　日時：2019(令和元)年7月14日(日)　9：20 ～ 15：30(受付9：00 ～)
ＰａｒｔⅡ　日時：2019(令和元)年9月22日(日)　9：20 ～ 15：30(受付9：00 ～)
ＰａｒｔⅢ　日時：2019(令和元)年　月　日(日)　9：20 ～ 15：30(受付9：00 ～)
④運営委員長(鹿児島・鹿児島大学)：深尾兼好　副委員長：田中藤雄
ＰａｒｔⅠ　日時：2019(令和元)年7月21日(日)　9：00 ～ 16：00(受付8：30 ～)
ＰａｒｔⅡ　日時：2019(令和元)年11月10日(日)　9：00 ～ 16：00(受付8：30 ～)
※2019.09.22 ＤＬ資格取得のための研修セミナー
※2019.10.13 パートⅡＤＬのための研修セミナー（パートⅡに向けて)」
ＰａｒｔⅢ　日時：2020(令和2)年3月8日(日)　9：00 ～ 16：00(受付8：30 ～)(延期)
※2020.01.12 パートⅢＤＬのための研修セミナー（パートⅢに向けて)」

【風呂井敬ガバナー年度(2020－21年度・第8期)】

①2020(令和2)年1月19日(日) ～ 25日(金)
※風呂井敬ガバナーエレクトは国際協議会へ
②PETSをRLI方式で実施する。
※2020.01.12 PETSに向けてのDL研修セミナー
場所：鹿屋市
対象：次年度ガバナー補佐、次年度部門長、他
講師：・中村靖治日本支部ファシリテーター委員長
・安満良明次年度地区研修リーダー
・山下晧三次年度RLI委員長
・北山勉次年度地区幹事
・風呂井敬次年度ガバナー
③会長エレクト研修セミナー
※2020(令和2)年3月21日(土) ～ 23日(日)
④地区予算の配分を受ける。
※登録料1,000円、弁当代1,000円、テキスト代1,000円は参加者負担。
⑤運営委員長：深尾兼好　副委員長：安田秀一・田中藤雄
※2020(令和2)年2月23日　地区RLI委員会・地区RLI運営委員会(合同・鹿屋市)
※第８期2730RLIは鹿児島・宮崎両県one teamで開催される。
※会場は田村学園(都城市)。
※田村学園との会場貸借取り決め
※日程は
ＰａｒｔⅠ　日時：2020(令和2)年　月　日(日)　9：00 ～ 16：00(受付8：30 ～)
※2020(令和2)年　月　日(日)パートⅠ　ＤＬのための研修セミナー（パートⅠに向けて)」
ＰａｒｔⅡ　日時：2019(令和2)年　月　日(日)　9：00 ～ 16：00(受付8：30 ～)
※2019(令和2)年　月　日(日)パートⅡ　ＤＬのための研修セミナー（パートⅡに向けて)」
ＰａｒｔⅢ　日時：2021(令和3)年　月　日(日)　9：00 ～ 16：00(受付8：30 ～)
※2021(令和3)年　月　日(日)パートⅢ　ＤＬのための研修セミナー（パートⅢに向けて)」

RLI運営委員会

委員長	**深尾　兼好**（鹿児島西RC）	
副委員長	安田　秀一（宮崎RC）	
	田中　藤雄（鹿児島西RC）	
委　員	山田　　剛（宮崎RC）	山本　正幸（宮崎RC）
	原田　祐子（鹿児島東RC）	中馬　輝彦（鹿児島西RC）

基本方針

RLI (Rotary Leadership Institute)の目的はロータリアンのロータリアンとしてのモチベーションを高めることにあり、他のロータリアンと一日を通して語り合うことによってロータリアンとしての自覚と誇りを醸成する。またその結果として会員維持を図り、クラブを活性化することにある。当地区のRLIは2019-20喜島G年度に、中村靖治RLI日本支部ファシリテーター委員長の指導を受け、RLI-DL(ディスカッション・リーダー)も数、質ともに飛躍的に向上した。風呂井G年度は、従来の実施方法と異なり、全地区1ヶ所、都城でのパートI～Ⅲの開催となり、開催時期も8月後半、11月後半、3月前半、登録料無料での実施を試行する。当委員会はPDG・G補佐からなるRLI委員会を実務面で補佐し、第8期パートI～Ⅲに係る RLI及びRLI-DL研修を運営する。

活動計画

① 8月後半、11月後半、3月前半に設定した第8期RLIの実施に先立ち、パート毎に担当するセクションのRLI-DL研修を実施する。

② RLIの実施にあたっては、地区事務所の協力を得て、クラブ会長・幹事への参加者推薦依頼、地区役員への案内、出席者の取りまとめ、乱数表によるグループ分け、レジュメの作成、等の準備を行う。

③ RLI及びRLI-DL研修当日は、会場設営、受付、資料、出席証明書を配布を行い、全体会議・及び各セクションの運営・進行を行う。

④ 終了後は全体の参加者名簿に終了パートを記載し、I～Ⅲ全パート終了者への修了証授与に備える

⑤ クラブリーダー養成委員会と協力してロータリーを理解するためのセミナーの実施を検討する。

⑥ RLI参加者の体験記「RLI奮闘記」をガバナー月信委員会と協力して月信に掲載。RLIのPRも同時に行う。

2019年規定審議会クラブと地区に関連する重要な変更

（括弧内の数字は関連する制定案番号を示しています）

規定審議会代表議員
PG　**山下　皓三**（鹿児島西RC）

出席

メークアップ：ロータリアンは、欠席した例会のメークアップを同じロータリー年度内に行うことができます(19-35)。

クラブ理事会

会長：クラブ会長は、後任者が選出されていない場合、１年まで任期を延長できます(19-22)。

クラブ財務

財務報告：役員を選挙するための年次会合に、現年度と前年度の収支を含むクラブの中間財務報告が含まれます(19-24)。

衛星クラブの財務：衛星クラブの財務諸表は、監査または検査を受けたものとなります(19-29)。

クラブ人頭分担金の増額：2019-20年度の人頭分担金は半年ごとに34ドルです。より良い支援をクラブに提供するため、今後３年間はRI人頭分担金が年に50セントずつ増額し、2020-21年度には半年ごとに米貨34ドル50セント、2021-22年度には半年ごとに米貨35ドル、2022-23年度には半年ごとに米貨35ドル50セントとなります(19-82)。

クラブの名称または所在地域の変更

通告期間の延長：クラブの名称または所在地の変更案は、その変更に関する投票が行われる少なくとも21日前までに、各会員とガバナーに提出する必要があります(19-26)。

クラブの結成：地域にクラブを結成する際の職業分類の制約がなくなりました。地域に１つ以上の他のクラブが存在する場合も、その地域にクラブを結成することができます。主にオンラインで活動するクラブの所在地域は、全世界とするか、またはクラブ理事会が決定するものとされます(19-28)。

クラブの規則

文言の現代化：推奨ロータリークラブ定款の文言が自然かつ読みやすくなるよう、現代化かつ簡素化されました。これによる方針への実質的な変更はありません。全クラブでの採用が義務づけられた新しいバージョンをダウンロードいただけます(19-30および19-116)。

2019年 規定審議会 クラブと地区にとって重要な変更　　JAPANESE (JA)

地区の財務

提出期限の延長：ガバナーを務めてから１年以内に、独立検査を受けた地区の年次財務表およ

び財務報告書を地区内のクラブに提出し、クラブの承認を受ける必要があります(19-57)。

地区のリーダーシップ

副ガバナーがいない場合：ガバナーが任務を果たせなくなり、副ガバナーがいない場合、パストガバナーのみがガバナーの任務を行うことができます(19-53)。

選挙

クラブの投票権：クラブが投じることのできる票数は、7月1日付のクラブ請求書の会員数に基づいて決定されます(19-49)。

対抗候補者の指名期限：有効な対抗候補者の指名をガバナーが受け取った場合、この対抗候補者の指名が30日間有効であるなら、候補者について郵便投票または地区大会での投票が行われます(19-52)。

地区会費：地区会費を支払い済みであり、ガバナーの判断により地区に対して負債がないクラブのみが、理事指名委員会の委員と補欠委員を選挙するための投票、ガバナーノミニーの選出、地区大会選挙人による投票に参加できます(19-54)。

会員増強

ローターアクトクラブ：ロータリークラブのように、ローターアクトクラブも国際ロータリーの加盟クラブとなります。ローターアクトクラブと提唱ロータリークラブへの運営上の変更はありません。この規定により、ローターアクトクラブの地位向上を図るとともに、その発展を促すためにRIからの支援とリソースを増やすことができます(19-72)。

多様性：クラブは、多様性を推進するような均衡のとれた会員構成を必要とします(19-18)。

職業分類：職業分類の制限が廃止され、特定の職業分類の会員の適切な数をクラブが自ら決定できます。さらに、選挙または任命によって公職にある人も、その職務と関連する職業分類を使ってクラブに入会できます(19-37および19-39)。

小人数のクラブ：会員数が6名未満となったクラブを終結とするよう、ガバナーがRI理事会に要請することができます(19-70)。

2019年規定審議会での ローターアクトの変更についてよくある質問

2019年**規定審議会**は、国際ロータリー定款を改正し、国際ロータリーの加盟クラブとしてローターアクトクラブを含めることを決定しました。この決定は、ロータリーにおけるローターアクトの立場を高め、未来のロータリーを、革新と受容性および世界情勢への対応力がある組織として位置付けるものです。この決定により、ロータリアンとローターアクターはそれぞれ独自の形で貢献し、会員として異なる体験をする一方で、世界、地域社会、そして自分自身に変化を生むという共通目標に向けて協力することとなります。

ローターアクトに関するこの投票(制定案 19-72)は、何を意味するのでしょうか?

国際ロータリーは加盟クラブで構成されます。制定案19-72は、加盟の定義を広げ、ロータリークラブとローターアクトクラブの両方を含めるものです。RI定款・細則の中でローターアクトをRIの独自の加盟種類として認めることにより、ローターアクトクラブの立場が高められます。ローターアクトクラブは、今後も独自の標準定款を持ち、今後もロータリークラブとは別種の加盟クラブとなります。ただし、ローターアクトがRI定款・細則で認知されることにより、RIからより多くのサポートを受けることになります。制定案の内容は、**2019年規定審議会の立法案集**をご参照ください。なお、規定審議会で承認されたのは、右上に「修正の動議」と記された「制定案19-72」であり、それ以外の19-72は無効であることにご留意ください。

この変更はローターアクターにとってどんなメリットがありますか?

この決定は、ローターアクトが組織にもたらす独特な価値を国際ロータリーが認めたことを意味します。この変更により、RIはローターアクトについてより正確な情報を集め、ローターアクトの発展を促すサポートやリソースを改善できるようになります。また、奉仕のパートナーとして、ローターアクトの活動成果をより良く記録し、その影響を広げていくことができます。

ローターアクターが自動的にロータリアンとなるのですか?

いいえ。引き続き「ロータリアン」はロータリークラブ会員、「ローターアクター」はローターアクトクラブの会員を指します。この制定案は、独自の存在としてのローターアクターを変えようとするものではありません。単に、国際ロータリーの加盟の幅を広げ、ロータリークラブとローターアクトクラブの両方を含めるということにすぎません。

これによってローターアクトの経験が変わりますか?

ローターアクターの現在の活動が変わることはありません。今後も、ローターアクトクラブはロータリークラブにより提唱され、提唱ロータリークラブとの関係を維持します。ただし、RIとの関係がもっと近くなり、ロータリーの単なるプログラムではなく、国際ロータリーの加盟クラブとみなされます。

この決定により、ローターアクトクラブは国際ロータリーへの会費を支払い始めるのでしょうか?

すぐに会費を支払い始めることはありません。現在のRI定款によると、ローターアクトクラブは、理事会により定められた会費を支払うことになっています。将来的にローターアクトクラ

ブが会費を支払うことになる場合は、理事会がその額を決定します。理事会は今後、会費を導入する最善の方法を時間をかけて調査、検討していきます。適正な会費額は、ローターアクトクラブにRIから提供されるプロダクトやサービスによります。今回の変更は、時間をかけて徐々に実施されます。

ローターアクトクラブは、今後もロータリークラブにより提唱されることが義務づけられますか?
はい。ローターアクトクラブが正式に国際ロータリーの認定を受けるには、今後もロータリークラブによる提唱が条件となります。ローターアクトクラブの提唱はRI理事会により義務づけられ、**ロータリー章典**で定められています。

この変更により、ローターアクターは、プロジェクトのためにロータリー財団の補助金を活用できるようになりますか?
いいえ。財団のグローバル補助金と地区補助金を申請できるのはロータリークラブのみです。管理委員会は、グローバル補助金の申請資格を判断し、ローターアクトクラブに財団補助金の利用を認める提案が提出された場合は、これを慎重に検討することとなります。一方で、管理委員会はグローバル補助金プロジェクトでロータリークラブとローターアクトクラブが協力することを奨励しています。ローターアクトクラブはまた、ロータリークラブを通じて地区補助金を活用できます。さらに、ロータリー財団の奨学金とロータリー平和フェローシップに申請することができます。

ローターアクトクラブは、審議会や地区大会で投票できますか?
いいえ。この変更は、ロータリーの地区大会や審議会代表議員として投票する権利をローターアクトクラブに与えるものではありません。ただし、ローターアクターは、投票に付される案件について話し合い、自身の考えを伝えるために、地区代表議員に連絡を取ることが引き続き奨励されます。

ローターアクトクラブは、ロータリーのクラブ総数に数えられますか?
いいえ。地区内クラブの総数にローターアクトクラブは含まれません。ロータリアンとローターアクターは別々に数えられます。

ローターアクターは自動的にロータリー雑誌を受け取りますか?
いいえ。ロータリアンは全員、ロータリーの地域雑誌(日本は『ロータリーの友』誌)を購読しています。ローターアクターは『The Rotarian』誌(英文)のデジタル版を購読することができます。

ローターアクターは何かこれまでと違うことをする必要があるのですか?
この制定案は、ローターアクターのクラブでの活動を変えることを意図したものではありません。ローターアクトクラブのリーダーは、**My ROTARY**の「クラブの運営」のページからクラブと会員の情報を更新でき、これによってRIがクラブの情報をより的確に把握し、より良いサポートを提供できるようになります。クラブ情報を報告したローターアクトクラブは、新しいプロダクトやサービスの情報をRIからいち早く受け取ることができます。

危機管理について

「地区危機管理規程」と「クラブ危機管理」の参考に!

2020-21年度危機管理委員長
PG **野中　玄雄**(延岡東RC)

毎年度、地区危機管理委員会メンバーには、いざという時に備え、いわゆる危機管理の専門家が加わっています。

風呂井年度では、例えば職業分類上でリスクマネジメントコンサルタント 川野潤一郎会員(姶良)、医師 石川勉会員(鹿屋西)、弁護士 本木順也会員(鹿児島SW)、同 早川雅子会員(鹿屋西)、アマチュア無線 西幸司会員(Eクラブ)にご参加を頂きます。

さて、地区管理委員会に関する「危機管理規程」は下記の通りです。すなわち、同規定は青少年育成プログラム(青少年交換・インターアクト・ローターアクト・ライラ)及びロータリー米山記念奨学生、VTT参加者の安全と健全な生活を守るための規定であります。

具体的には、彼らを交通事故、自然災害、及び身体的、性的、精神的虐待あるいはハラスメントから保護、予防し、併せて、発生した事故・災害・事態に対処するために。さらには、地区における災害や感染症等の事案に対処するとの要綱のもとに規定が設けられています。

余談ながら、私ことガバナー年度に青少年交換留学先で、トラブルが発生しましたが、当時の青少年交換委員会の迅速な連絡対応で事なきを得、本人も無事留学を全うすることができました。

いずれに致しましても、“開店休業”の「危機管理委員会」でありたいのですが、“一旦緩急あらば”直ちに対応致してまいりたいと思います。

願わくば、同管理規定がクラブ単位(異業種会員間)における、今後の「危機管理」検討に繋がる参考となれば幸いです。

国際ロータリー第2730地区危機管理委員会設置要綱

国際ロータリー第2730地区は、国際ロータリーが提唱する青少年交換プログラムを始めとする青少年育成プログラムおよび米山記念奨学会、Vocational Training Team(以下「VTT」という)における諸外国との交流は、ロータリーの奉仕活動の重要な分野である。ロータリーがこれらの奉仕活動を発展的に維持するためには、これらのプログラムに関係する全ての青少年および米山記念奨学生、VTT参加者の安全と健全な生活を守ることがロータリーの責務であることを改めて深く認識し、当地区はここに、これら青少年および米山記念奨学生、VTT参加者を交通事故、自然災害および身体的、性的、精神的虐待あるいはハラスメントから保護、予防し、併せて、発生した事故・災害・事態に対処するため、次の要綱により危機管理委員会を設置するものである。

加えて、地区における災害や感染症等の事案についても含むものとする。

Ⅰ　委員会の名称：この委員会は国際ロータリー第2730地区危機管理委員会(以下「委員会」という)と称する。

Ⅱ　委員会の統括：委員会は第2730地区ガバナーの統括の下に設置する。

Ⅲ　委員会の構成：危機管理委員会は、次に掲げるものをもって構成する。

1. ガバナーが指名するパストガバナー(正副委員長とする)
2. ガバナー
3. ガバナーエレクト
4. 地区幹事
5. 広報・公共イメージ部門長
6. 奉仕プロジェクト部門長
7. 青少年奉仕統括委員会委員長
8. 青少年交換委員会委員長
9. インターアクト委員会委員長
10. ローターアクト委員会委員長
11. ライラ委員会委員長
12. ロータリー財団部門長
13. 米山記念奨学会部門長
14. ロータリー学友委員会委員長
15. その他ガバナーが選任したロータリアン
16. ロータリー以外の外部有識者若干名
17. ガバナー補佐全員

委員には、女性、医師、弁護士各1名を含むものとする。

Ⅳ　委員の任期：任期をガバナー年度、1年とする。再任は妨げない。

Ⅴ　委員の任務：委員会の任務は次の通りとする。

1. 交通事故・自然災害等および身体的、性的、精神的虐待あるいはハラスメント(以下併せて「事態」という)からの青少年および米山記念奨学生、VTT参加者の保護・予防に関する方策を立案・提言すること
2. 事態が発生した場合における事実関係調査の手順等および対処マニュアルを立案・提言すること
3. 事態からの青少年および米山記念奨学生、VTT参加者の保護・予防に

関して関係者に対し啓発活動及び研修を実施すること
4. 事態が発生した場合に、事実関係を調査し事態に適切に対処すること
5. その他、危機管理等に関する必要な活動

Ⅵ 通　告：委員会は被害者および被申立人よりの事情聴取調査その他必要な調査の後、必要があれば法令に基づく所定の機関への通知等を行い、その他の手続要否等についても協議する。

Ⅶ 連　絡：委員会は事情聴取調査後の結果を、ガバナーに報告し、必要がある場合にはガバナーが速やかに(原則として72時間以内)RIに報告する。

Ⅷ 広　報：報道機関等への外部への対応・発表は公共イメージ部門長がこれにあたる。

Ⅸ 注意義務：委員会は当該被害者の身体、身分の保護を最優先的に対応するとともに、被申立人の人権にも留意する。

Ⅹ 守秘義務：委員会の委員は、その任務遂行上知り得た情報を漏洩してはならない。
その任務を退いた後も同様である。

この要綱は2006年7月1日より施行する。
この改正要綱は2007年4月1日より施行する。
この改IE要綱は2009年7月1日より施行する。
この改正要綱は2014年6月1日より施行する。
この改正要綱は2020年7月1日より施行する。

特定非営利活動法人・国際ロータリー日本青少年交換委員会(RIJYEC)が賠償責任保険を掛け、日本34地区はそのNPOに属し、青少年交換に関するハラスメントに関わる賠償責任が生じた時はそこから保険金の支払いを受ける。

国際ロータリー第2730地区危機管理規定

(趣旨)

第1条　この規定は、国際ロータリー第2730地区危機管理委員会設置要綱を受け、国際ロータリー第2730地区(以下、地区という)において実施する青少年育成プログラム並びに米山記念奨学会、Vocational Training Team(以下VTT」という)に参加する者の安全と健康および健全な生活を守り、交通災害、自然災害の事故・災害からの保護と身体的、性的、精神的虐待、ハラスメントを防止するとともに、事態発生時の適切な対応に必要な事項を定めるものである。
加えて、地区における災害や感染症等の事案についても含むものとする。

(地区の責務)

第2条　地区は、この地区において実施する上記のプログラムに参加する全ての青少年と米山記念奨学生、VTT参加者のために安全な環境を確保し維持する責務を負うとともに、その防止と事態発生の場合の適切な対応のために必要な危機管理体制を構築する。

危機管理について

（対象プログラムに関係する地区委員会の責務）

第３条　青少年育成プログラムと米山記念奨学会、VTT に関する地区の委員長は、第４条に竆地する危機管理委員会との連携を図りつつ、プログラムに参加する青少年や米山記念奨学生、VTT 参加者およびロータリアン等に対し、危機を防止するため適切な指導・啓発等を行うとともに、事態発生の場合にはその安全と健康の確保など適切な対応に努めるものとする。

（危機管理委員会）

第４条　危機管理委員会は、地区に、危機管理の防止のため必要な施策について提言し、事態発生の適切な対応に当たるため、次に掲げる業務を行う。

(1) 青少年と米山記念奨学生、VTT 参加者の交通災害、自然災害の事故・災害からの保護等に関する啓発活動および研修の実施、並びに災害防止のための環境整備について、ガバナーおよび青少年育成プログラム・米山記念奨学会、VTT に関係する地区委員会の委員長に必要な提言を行うこと。

(2) 身体的、性的、精神的虐待あるいはハラスメント（以下、ハラスメント等という）の防止等に関する啓発活動および研修の実施、並びにその防止のための環境整備について、ガバナーおよび青少年育成プログラム・米山記念奨学会・VTT に関係する地区委員会の委員長に必要な提言を行うこと。

(3) 青少年育成プログラム・米山記念奨学会・VTT に携わる関係者について、参加資格を調査・確認すること。

(4) 交通災害、自然災害等の事故・災害およびハラスメント等に起因する事態が発生した場合に事実関係を調査すること。

(5) 前号の調査結果に基づき、当事者たる青少年・米山記念奨学生・VTT 参加者の安全と健康の保護並びに事態への適切な対処のための方策を講ずること。

(6) 前号のため必要な対応策をガバナーに提言し、あるいは、関係委員会の委員長その他の関係者に対して必要な指示・指導を行う。

(7) 必要に応じて傷害保険、賠償保険への加入窓口になること
ロータリアンに対し漏らしてはならないものとし、その任務を退いた後も、同様とする。

（庶務）

第５条　危機管理委員会に関する庶務は、地区ガバナー事務所が行い、ガバナーの指名する地区幹事が担当する。

附則　この規定は、2014 年６月１日から施行する。
この改正規定は、2020 年７月１日から施行する。

ガバナー指名について

ガバナー指名委員長
PG **野中　玄雄**(延岡東RC)

ガバナーの存在意義は多大です。

何より、地区内唯一の国際ロータリー(RI)の管理役員であること。ガバナーにはRI役員として、ロータリーの進むべき大局的な最新の動向を地区内のクラブに伝達指導の任務が課せられています。

同時に、ロータリーの目的(綱領)を推進し、地区内のクラブの活性発展のために監督支援を行う役目も担っています。

そして、ガバナーは折々の集会の機会を通じて、クラブから信頼を得て所期の任務を果たすことが何より重要です。

しかしながら、ガバナーはRIからの派遣ロータリアンが務めるわけではありません。あくまでも、ガバナーは地区内のクラブ会員が対象となり、クラブの指名を得てRI国際大会によって選挙される手順となっています。

すなわち、ガバナー輩出の基本はクラブにあります。クラブの誇る指導力豊かな人材が求められます。

つきましては、クラブ内で十分なる協議を経て“クラブのために”“地区のために”“世界のために”の観点から、素晴らしいガバナー候補をご指名いただきますようにご期待します。

ガバナー輩出クラブには栄冠が与えられるものと確信します。文字通り“最も多く報われる”クラブとなって、１０年分２０年分の“確固たるクラブ力”という栄冠が与えられることでありましょう。

今期のガバナー選出と次年度以降のガバナー就任期間

可能な限り最適の候補者を得るために、ガバナーは、所属地区のクラブからガバナーに相応しい候補者を推薦するよう要請するものとする(手続要覧)

推薦された候補者はガバナー指名委員会の手続きを経てＲＩ国際大会で選出されます。

2019－20年度ガバナー
　2019年７月１日　　喜島健一郎ガバナー就任(現ガバナー)
2020－21年度ガバナー
　2020年７月１日　　風呂井　敬ガバナー就任(現ガバナーエレクト)
2021－22年度ガバナー
　2021年７月１日　　井福博文ガバナー就任(現ガバナーノミニー)
2022－23年度ガバナー
　2022年７月１日　　今年度ガバナーノミニーデジグネートが就任(未定)

地区70周年史の発行にむけて

地区70周年実行委員長
PG　**田村　智英**（延岡RC）

地区70周年準備委員会委員長の田村智英でございます。

今から10年前、地区60周年史委員会委員長を務めた関係から、指名を受けたものと思っております。

さて、第2730地区の変遷をたどりますと、戦後の1949年に日本のロータリーがRIに復帰した時、日本は第60地区の１地区、1952年７月、第60地区(東北日本)、第61地区(南西日本)２地区に分割され、同年10月鹿児島RCの創立時は61地区でありました。1955年７月、第60、62、63、64の４地区に分割され、当地区は64地区となり、岡山県、鳥取県、島根県、広島県、山口県、及び九州全県(沖縄を除く)が含まれました。1957年７月、第350、355、360、365、370の５地区に分割され、当地区は第370地区となっております。第370地区は第64地区と同じ領域でありました。1959年７月、更に６地区に分かれ、第370地区は山口県、九州全県(沖縄を除く)となりました。

その後も日本全国では分割発展をとげていきますが、当地区関係では1964年７月、第370地区は九州全県(沖縄を除く)となり、1968年７月、九州地区は第370地区、福岡県、佐賀県、長崎県と第373地区、大分県、熊本県、宮崎県、鹿児島県に分割されました。

1977年7月第373地区は第273地区と名称を変更、1985年７月、第273地区は第272地区、大分県、熊本県と第273地区、宮崎県、鹿児島県に分割され、1991年７月、第273地区は第2730地区と名称を変更し今日に至っております。

現在の日本全国の地区は34地区であります。世界に34のゾーンがあり、日本は１Ａ～３ゾーンに属しています。10数年前までは１～３ゾーンと４Ａゾーンの3.5ゾーンを有していましたが、会員減少により(ピーク時約12万人強より9万人弱)2.5ゾーンとなっています。現在の世界のロータリアン数はアメリカ、インドに次いで日本は3番目であります。

また地区史は、1980年の第273地区史、1985年の第272・273地区史、1997年の第2730地区史、2011年12月の第2730地区史が発行されております。内容は、それぞれが前回発行の続編であり、2011年12月発行の地区史は1977-98年度より2010-11年度までを編集したものであります。

以上の経緯を踏まえ、地区70年史の発行を含め70年にふさわしい事業を計画してまいりたいと考えております。

Rotary

2020−21年度
地区資金関係資料

1．地区予算方針 ……78
2．地区資金規程 ……80
3．地区資金支払基準細則（案） ……81
4．地区運営基金規約（案） ……85
5．地区慶弔規定 ……87
6．地区活動資金収支予算（案） ……88
7．地区活動資金収支予算（参考資料：前年度までの様式） ……89
8．地区関係資金額１人当たり（人頭分担金）予算（案） ……90
9．地区関係資金額（人頭分担金）予算（案） ……91
10．地区委員会予算（案） ……92
11．旅費規程（案） ……93〜94
12．勘定科目表（案） ……95
13．各委員会 事業（収支）計画書（案） ……96
14．各委員会 事業（収支）報告書（案） ……97

※資料内の網かけ、――線は今回変更するところです。

地区予算方針

2020-21年度地区財務委員長
山﨑　隆夫（鹿屋西RC）

次期地区予算について、説明致します。

風呂井ガバナーエレクトの地区目標に沿いまして、経費見直しの徹底による人頭分担金の軽減、会計の透明性、地区基金の充実を図るための予算編成をいたしました。

まず、地区関係資金額１人当たり（人頭分担金）について説明致します。

変更部分については灰色塗りで示してあります。地区活動資金を前年度より１人当たり２０００円減額しました。これは過去５年間の実績と繰越金が相当額見込まれることを踏まえての減額で、総額５００万円ほどです。

月信関係費は増額しました。これは過去５年間の実績が年間６００万円ほどで推移していることを踏まえております。これまで予算の不足分につきましては、広告料収入で補われておりましたが、ガバナーを輩出するクラブの負担が大きいとの要望があったことなどを配慮しました。地区ホームページ運営費につきましては減額しました。これは現在の実績を踏まえた金額です。

青少年交換資金は５５万円ほど増額しました。これは青少年交換委員会よりの要望を踏まえての増額です。平和奨学生支援金及び青少年交換維持協力金は、実績を踏まえて増・減額しました。

規定審議会分担金は、規定審議会が３年に１回開催されるため、規定審議会分担金や参加費等を積み立てているものですが、前回、規定審議会に参加しておらず、積立金があるため、分担金を徴収しません。災害復興支援事業につきましては、地区の繰越金の中から災害復興支援の基金を設けました。後の基金規約のところで説明致します。

これらの見直しを行い、１人当たりの人頭分担金を１７００円ほど減額しました。

次に、会計の透明性についてですが、これまでは、会員の皆さんから徴収した人頭分担金、総額約５５００万円に対し、地区活動資金は約２４００万円で、３０００万円ほどは使途が分かりにくい状況にありました。また、繰越金があるにもかかわらず、地区活動資金に予算計上されておりませんでした。そこで、収入に人頭分担金の総額と繰越金を加えて計上し、支出は項目をより明確にし、収入と支出が合うように地区活動資金の予算を編成しました。

地区活動資金の収入の部で繰越金１５００万円を計上しました。これは、喜島ガバナー年度からの繰越予定額を計上しております。地区関係資金（人頭分担金）は、前述で説明した通り、前年度より総額４００万円ほど減額しております。

支出の部の変更部分（灰色塗り）について説明します。平和奨学生支援金、事業資金（広報）、地区ホームページ運営費は、過去の実績を踏まえて増・減額しております。月信関係費は、前述の理由により、増額しました。

地区委員会費６００万円は、過去の実績等を踏まえて地区委員会予算（案）でお示しいたしました。米山記念奨学委員会の２０万円は、これまで地区活動資金収支予算（案）に計上されておりましたが、地区委員会費に統合いたしました。ガバナー補佐関係費は、クラブが１増したため増額となっております。

全国会合関係参加費１２５万円は、過去の実績を踏まえて増額しました。姉妹地区関係参加費は、過去の実績と新たに台湾との姉妹盟約が結ばれたことから、増額しました。

日台・日韓親善会議参加費は、隔年ごとに日本と韓国・台湾で開催されることから、新たに予算を計上しました。国際大会参加費は、これまでガバナーの参加費を、ガバナー事務所費から支払われることが多いようでしたが、項目を明確にしました。ロータリー学友会参加費は、ロータリー学友会の全国会合が新たに設けられたことにより予算を計上しました。

これらの地区外への参加費については、いずれも予算の範囲内で支払うこととし、制限を設けました。

ＲＬＩ研修費は、ＲＬＩ委員会より研修会の充実を図ることと、参加者の負担の軽減を図りたいとの意向があり、新たに予算計上いたしました。

通信・送金・事務費及び地区連絡事務所維持費は、これまで資金使途が明確に示されていないため、年度ごとの運用が統一されていなかったので、資金細則を削除し、ガバナー事務所費に統合しました。規定審議会参加費は、前述の理由により、予算計上しておりません。

青少年プログラム賠償責任保険料は、項目がありませんでしたので、新たに設けました。

ガバナーノミニー関係費は、これまでガバナーノミニーが参加する各種会合等がありましたが、予算計上されておりませんでしたので、新たに項目を設けました。

上記の変更等につきまして、地区資金規程(案)は変更しておりませんが、地区資金支払基準細則(案)ついては、追加・変更(灰色塗り部分)しております。

次に、地区基金の充実についてです。これまでの地区運営基金５００万円と青少年育成基金３００万円に加えて、新たに感染症対策を含む災害復興支援に８００万円、クラブ拡大のために４００万円の基金を設け、総額２０００万円の基金を設置致しました。なお、これらの基金の規約を一本化して地区運営基金規約(案)として改正を行いました。

次に、旅費規程の見直しを行いました。一部地区内旅費の修正と奄美グループの方々が、地区大会や地区研修・協議会等へ参加しやすいように、旅費１万円を援助することとしました。また、地区外の会合等に参加するときの旅費等について規約を新たに設け、いずれも予算の範囲内で支払うこととし、制限を設けました。

次に、勘定科目表を作成しました。これまでは、各年度の科目が多岐にわたり、資金の流れの実態が、把握しにくい状況にありました。そこで、勘定科目を統一し、各委員会に事業計画書と事業報告書を提出していただき、どなたが、各委員会に所属されても、事業計画や収支予算が組みやすいようにと考えておりますので、ご協力をお願いします。

最後に、新型コロナウィルスの影響で、ほとんどの各種会合が中止となっております。政府に於いても自宅でのテレワークの推奨を行っております。このような中で、地区内のクラブからは、会員の維持が厳しい状況にある。また、地区大会等をできる限りコンパクトに開催し、人頭分担金等の負担を軽減するようにとの要望も来ております。これらのことを踏まえて、地区の各種会合の在り方について、ネット会議等を行い旅費等の節約はできないか！ガバナー月信をネット配信し、印刷費等の削減はできないか！

ガバナー事務所を固定化し、経費節減ができないか！など、あらゆる面から検討していくべきと考えます。

以上のようなことにより、経費節減に向けて、風呂井ガバナー年度の途中で減額、補正予算を編成する可能性があることを、ご理解いただきたいと思います。

以上で、次期地区予算の説明を終わります。

地区資金規程

第１条　「総則」

ガバナー及び地区役員は、地区資金は会員が拠出した浄財であることを十分留意し、財務情報の透明性を推進し、会議においては内容(日時、場所、参加人数、個人負担額)を明確にし、地区資金の使途は誠意をもっておこなうものとする。

第２条　「会計年度」

地区資金の会計年度は ７ 月 １ 日から翌年 ６ 月 ３０ 日までとする。

第３条　「地区財務委員」

地区ガバナーは地区資金運営管理のため地区財務委員を任命する。地区財務委員は３名とし、その任期はそれぞれ３年、２年、１年とする。委員は委員会を構成し、２年委員が委員長となる。

第４条　「地区財務委員会の任務」

(1) 地区研修協議会において地区財務委員会は当該年度の決算見込みを報告する。
(2) 年度開始前に次期財務委員会は次期ガバナー、地区幹事と協力して地区資金の予算を作成し地区研修協議会開催４週間前までに各クラブにこれを送付し、地区研修協義会開催の次期クラブ会長会議に出席した次期会長の４分の３以上の承認を必要とする。
(3) 委員会は、ガバナーの命に基づき、前項により決定された負担額の納入を管理する。
(4) 委員長は、当該年度が終了したあと３ケ月以内に地区資金、特別会計その他の資金の決算書を作成し、直前ガバナーに提出する。
直前ガバナーは、監査委員の監査を受けた結果を承認会議(各クラブ１名以上の会員の出席が必要)開催30日前までに各クラブに送付する。

第５条　「用途を指定した負担金」

用途を指定した負担金を徴収するときは、地区資金会計とは別に負担金の収入支出に関する会計を設定する。

第６条　「地区資金の払込」

(1) 地区資金負担金の納入用紙は６月及び12月末までにガバナーより各クラブへ送付する。
(2) 各クラブは、毎年７月１日及び１月１日現在の会員数(名誉会員を除く)により請求された負担額をその月の10日までに指定された口座に振込まなければならない。会員数はRIに報告された員数と合致しなければならない。
(3) 新設クラブはRI承認の翌月から月割りで負担する。

第７条　「地区資金の支出と収支報告」

(1) 地区資金の支出は各委員会の予算額に基づき部門長の決済を受け各委員長の請求書(後日領収書を提出)又は領収書の提出により、ガバナーの承認を得て、地区財務委員長が別項基準により支払うものとする。
(2) 補助金の交付を受けて活動する場合は、事業終了後２ケ月以内に、その活動項目と収支の明細を、ガバナーに報告しなければならない。
(3) その他、活動計画外の資金を必要とする場合は、その計画を予めガバナーの承認を得た上で支出する。

第８条　「月例報告」

地区財務委員長は、毎月末収支の実績及び予算の残額を記載した収支報告書を作成してガバナーに提出する。

第９条　「本規定の改廃」

本規定の設定改廃は地区研修協議会、又は地区大会において出席した次期又は現会長の４分の３以上の賛成を得て行う。

２０１６年 ７ 月 １ 日　改訂施行

地区資金支払基準細則(案)

1、地区資金より払うもの

(1) 地区大会関係

① 大会に参加する直前ガバナーの旅費、地区大会実行委員会に出席する実行委員の旅費、但し、ホストクラブの委員等はホストクラブが負担する。

② 直前ガバナー以外のパストガバナーについては支弁しない。

③ 大会において講師、その他の役目をガバナーより委嘱された者には、地区大会実行委員会予算より旅費を支払う。

④ RI会長代理への記念品は、10万円の範囲内で地区大会実行委員会予算より物を購入し贈答する。

⑤ 大会経費は地区大会分担金及び地区大会実行委員会が徴収する登録料によって支払う。

(2) 地区研修協議会その他の研修会

① ガバナーエレクト事務所に、次期チーム研修セミナー 30万円、会長エレクト研修セミナー 50万円、地区研修・協議会　30万円、次期ガバナー補佐研修会に60万円以内の補助を行う。ホストクラブ(又はガバナーエレクト事務所)は記録誌、会場費、その他会議運営の経費を補助金と登録料の中から支払う。

② ガバナーからアドバイザー、研修リーダー、講師、その他の役目を委嘱されたパストガバナー、ガバナー補佐、部門長、地区委員長の旅費はガバナー事務所が支払う。

③ ガバナーエレクトが参加を求め会議のリーダーとなる次年度ガバナー補佐、次年度部門長、次年度地区委員長の旅費はガバナーエレクト事務所が支払う。

~~④ 次年度ガバナー補佐、次年度部門長、次年度地区委員長が研修で参加する場合の旅費は支払わない。~~

(3) ロータリーデー　(IM)関係

① 地区の計画により実施するロータリーデー又はこれに準ずる会合の補助金は、ホストクラブに対し1グループ5万円の補助に1グループの会員50人当たり約1万円程度の追加補助を支給する。但し、分区が合同で実施する場合は、その規模等によりガバナーが決定する。

② ホストクラブは地区からの補助金に基づき、ガバナーが委嘱したフォーラムリーダーの旅費を支払う。

(4) ローターアクト、インターアクト関係

ローターアクト

① RA地区資金(人頭分担金)金 1,695,000 円をローターアクト委員会より提出された予算計画と執行状況を確認しガバナーの承認を得て支払う。

② 年次大会(補助金)金 300,000 円を、年次大会ホストクラブへ支払う。

③ 幹部研修会(補助金)金 100,000 円を、幹部研修会ホストクラブへ支払う。

④ 日韓交流会(補助金)金 400,000 円を、ローターアクト委員会より提出された事業計画を確認しガバナーの承認を得て支払う。

⑤ 委員会予算の執行(委員の旅費、会場費、資料代)は他の委員会に準ずる。

インターアクト

① IA地区資金(人頭分担金)金 970,000円をインターアクト委員会より提出された予算計画と執行状況を確認しガバナーの承認を得て支払う。
② 年次大会(補助金)金 400,000円は、年次大会ホストクラブへ支払う。
③ 幹部研修会(補助金)金 300,000円は、幹部研修会ホストクラブへ支払う。
④ 韓国交流会(補助金)金 400,000円は、韓国交流会資金としてインターアクト委員会より提出された事業計画を確認の上ガバナーの承認を得て支払う。
⑤ インターアクト全国研究会負担金200,000円を、合同で主催する地区のひとつとして、請求があり次第支払う。
⑥ 新しくインターアクトクラブが承認された場合、1クラブに対して50,000円の資金を補助する。
⑦ 委員会予算の執行(委員の旅費、会場費、資料代)は他の委員会に準ずる。

(5) 青少年国際親善交流関係

地区計画により実施する青少年国際親善交流に対する補助

「青少年交換資金」

① 青少年交換資金(人頭分担金)金 2,910,000円は、青少年交換委員会より提出された予算計画と執行状況を確認しガバナーの承認を得て支払う。
② 青少年国際交流関係費(補助金)金 300,000円を、青少年交換委員会より提出された予算計画を確認しガバナーの承認を得て支払う。
③ 委員会予算の執行(委員の旅費、会場費、資料代)は他の委員会に準ずる。

「青少年活動資金(ライラ)」

① 青少年活動資金(人頭分担金)金 2,180,000円を、ライラ委員会より提出された予算計画を確認し、ガバナーの承認を得てライラ委員会に支払う。
② 委員会予算の執行(委員の旅費、会場費、資料代)は他の委員会に準ずる。

(6) 地区事業資金関係

① 事業資金(広報)(人頭分担金)金 970,000円は、公共イメージ委員会より提出された予算計画と執行状況を確認しガバナーの承認を得て支払う。
② 委員会予算の執行(委員の旅費、会場費、資料代)は他の委員会に準ずる。

(7) 地区の諸委員会関係

① 地区の全ての委員会の会合について、委員の旅費、宿泊費、会場費、資料代については、今年度の委員会予算の範囲以内で委員長より報告書の送付を受けて、それぞれの委員の口座に振込む。(原則2ヶ月以内に振込む)予算を超えて支給するときは、地区資金規定第7条(3)の承諾を得た場合とする。
② 地区委員会による、登録料を徴収して行う会合は、報告書(日時、場所、参加人数、個人負担額)の送付を受けて、地区役員の旅費のみ支払う。
③ 旅費の算定は、別項旅費規定による。

(8) ガバナー補佐関係

① ガバナーの要請によりクラブ訪問を行うガバナー補佐の旅費は、地区活動資金

1,340,000円より支払う。(担当するグループ内1クラブ 20,000円の補助)

② ガバナーの招集するガバナー補佐の会合について、その会合費及びこれに出席したガバナー補佐の旅費は地区予算の委員会費より支払う。~~ただし、次期ガバナー補佐の研修、セミナーについては支払わない。~~

③ 総額は地区予算の範囲内とする。

(9) ガバナー関係

① 地区資金(人頭分担金)金 8,245,000円を2回に分けて支払う。

② 国際協議会参加費　金 1,000,000円をガバナーエレクト事務所に支払う。

③ 直前ガバナー記念品代　金 250,000円を直前ガバナーに支払う。
(地区大会において目録を贈呈する)

④ 全国会合関係参加費　金 1,250,000円をガバナー懇談会(7月初旬)その他これに類する会合に参加するガバナー、直前ガバナー、ガバナーエレクト他義務出席者の登録料、旅費、宿泊費(必要な場合)を予算の範囲内で支払う。(但し、ガバナー連絡会議、ロータリーの友関係の会合等別途に旅費の支払われる場合を除く)直前ガバナー以外のパストガバナーについては登録料のみ、又ロータリー研究会の参加者にも登録料のみ支払う。

⑤ 姉妹地区関係参加費　金 2,000,000円は、ガバナー、直前ガバナー、ガバナーエレクト他が姉妹地区の地区大会に出席する場合に登録料、旅費、宿泊費(必要な場合)を予算の範囲内で支払う。(同行するガバナー事務所役員の旅費はガバナー事務所が支払う)。

⑥ 日台・日韓親善会議参加費　金 1,000,000円は、ガバナーが日台・日韓親善会議に出席する場合に登録料、旅費、宿泊費(必要な場合)を予算の範囲内で支払う。(同行するガバナー事務所役員の旅費はガバナー事務所が支払う)。

⑦ 国際大会参加費　金 500,000円は、ガバナーが国際大会に出席する場合に登録料、旅費、宿泊費(必要な場合)を予算の範囲内で支払う。(同行する夫人の旅費はガバナー事務所が支払う)。

⑧ 日本ロータリー学友会参加費　金800,000円は、ロータリー学友委員会の関係者が日本ロータリー学友会総会に出席する場合に登録料、旅費、宿泊費(必要な場合)を予算の範囲内で支払う。

⑨ RLI研修費　金800,000円は、RLI委員会が行うRLI研修の講師料、研修会参加者の助成金等に予算の範囲内で支払う。

⑩ 月信関係費　金 5,820,000円は、ガバナー月信発行費用として毎月の請求額に応じて印刷所へ支払う。

⑪ 地区ホームページ運営費　金 727,500円は、ホームページ更新管理料(2008-09 年度よりアーカイブスデータ保存のためサーバー固定化)として請求額に応じて管理会社へ支払う。

⑫ ガバナーエレクト事務所費　計4,115,000円を2回に分けて支払う。

⑬ ガバナーノミニー事務所費　金300,000円を支払う。

⑭ 青少年プログラム人格権特約付賠償責任保険　金300,000円は、一般社団法人　国際ロータリー日本青少年交換多地区合同機構(6月初旬まで)の保険料に応じて支払う。

⑮ 各委員会の会計については、年度末に事業報告書と収支報告書を提出し、余剰金等については、全て地区資金に返金する。

(10) 規定審議会代表議員関係

規定審議会(COL)は3年に1回開催される。規定審議会代表議員の任務の遂行に係わる経費(RI本部より支払われるものを除く)として請求書及び領収書を経費支出報告書に添付し記載したものについて、規定審議会分担金(人頭分担金)金120,000円、規定審議会参加費　金300,000円、及び積立金600,000円(規定審議会が開催されなかった年度の合計)から支払う。

2、地区ガバナー事務所より支払われるもの

・ガバナーの名刺、事務用品（便箋や封筒）
・クラブと地区役員の月信の郵送費
・クラブ、ガバナー補佐、地区委員会へのガバナー個人が負担した通信費
・携帯電話、インターネット費
・地区内クラブの周年行事へのガバナーの参加時の旅費、お祝い金（１万円）

3、RI本部より、ガバナー退任後に支払われるもの

前年度までに承認されたクラブの認証状伝達式に出席する現ガバナーの旅費。認証状に署名したパストガバナー（通常は直前）へは、クラブ結成と認証状伝達のための旅費が、当該ガバナーの請求により　RI本部より支弁される。

・ガバナーの大会出席旅費
・RIが指定したガバナー経費

付記

・詳細については　2020-21年度旅費規程を別途定める。
・記載されている金額は予算作成時のものであり、人頭分担金に関する金額については会員数の増減により変更される場合がある。

２０２０年 ７ 月 １ 日　改訂施行

地区運営基金規約（案）

（名称）
第１条　本基金は、第２７３０地区　地区運営基金と称する。

（目的）
第２条　地区の健全な運営・災害復興支援（天災や感染症を含む被災者救済等、以下「災害復興支援」という）・青少年育成・クラブ拡大に資するため、地区運営基金を設置する。

（基金積立）
第３条　本基金は、前条の目的を達成するために、地区内ロータリークラブ会員の善意の寄付及び地区資金決算の余剰金のうち、ガバナーが承認した金額を積立てるものとし、地区資金を単に増額するものであってはならない。

・地区資金・ガバナーエレクト事務所の年度内運転資金	５００万円
・災害復興支援	８００万円
・青少年育成	３００万円
・クラブ拡大	４００万円

の４基金とし、基金積立ての総額は２０００万円を限度とする。

（管理）
第４条　本基金の管理は、当該年度のガバナーの責任においてこれを行う。

（運営）
第５条　本基金の運営のため、地区に地区運営基金委員会（以下「基金委員会」という）を置く。基金委員会は、次の構成で各委員の任期は1年とする。
(1) 委員長にはガバナーが就任し、本基金を代表するとともに運営を統括する。
(2) 副委員長には直前ガバナーが就任し、委員長を補佐する。
(3) 委員には、ガバナーエレクト、ガバナーノミニー、地区幹事、地区財務委員長、次期地区幹事、次期財務委員長が就任する。
(4) 基金委員会は、毎年度１月に開催する。
（委員全員の同意を得た場合は書面による開催ができる）

（会計）
第６条　本基金は、特別会計とする。
（会計年度）
第７条　本基金の会計年度は、毎年７月１日から翌年６月末日とする。

（事業及び支出）
第８条　この基金の使途は下記に限るものとする。
(1) 地区資金の年度内運転資金
(2) ガバナーエレクト事務所開設に必要な年度内運転資金
(3) 災害復興支援は、災害に迅速に対応するため、ガバナーが必要と認めた義援金を支出する。
(4) 地区、地区内ロータリークラブが事業主体となって、計画した青少年育成活動。
(5) 青少年育成活動の選考は新規申請クラブ、新規申請プロジェクトを優先する。
(6) クラブ拡大に関する必要な資金
(7) 上記に関連する事業で、基金委員会が認めたもの

（青少年育成の助成申請）
第９条　事業主体の責任者は、毎年１２月末日までに当該年度で実施済又は計画したプロジェクトを、所定の用紙に記入し、地区のプロジェクトは部門長、地区内ロータリークラブは、ガバナー補佐を経由のうえ基金委員会へ提出し、助成の申請をする。申請されたプロジェクトは基金委員会で審査し、地区への寄与率などを勘案して決定する。

（青少年育成の助成金）
第10条　助成金の総枠は、原則として年額１００万円以内とする。

(1) 青少年育成は、一プロジェクトあたりの事業費（飲食費を除く）の５０％を助成する。但し、２０万円を限度とする。
(2) 助成金は3月末までに交付する。
(3) 助成金を受けたプロジェクトについては、事業主体の責任者が実施報告書と決算報告書を6月末日までに基金委員会へ提出する。
(4) 助成を受けたプロジェクトを実施しなかったときは、6月末日までに理由書をつけて助成金を基金委員会へ返還する。

（クラブ拡大の助成申請）
第11条　クラブ拡大の責任者は、当該地区のガバナー補佐を経由のうえ基金委員会へ提出し、助成の申請をする。

（クラブ拡大の助成金）
第12条　助成金の総枠は、原則として年額４００万円以内とする。
(1) クラブ拡大に要する備品等の購入（飲食費を除く）を助成する。但し、一クラブ２００万円を限度とする。
(2) 助成金を受けた新クラブは、責任者が実施報告書と決算報告書を6月末日までに基金委員会へ提出する。
(3) 助成を受けたプロジェクトを実施しなかったときは、6月末日までに理由書をつけて助成金を基金委員会へ返還する。

（基金の補填）
第13条　本基金の補填については下記によるものとする
(1) 運転資金の用途が終了したときは直ちに地区資金から基金に返金するものとし基金積み立ての総額は５００万円とする。
(2) 災害復興支援は、当面、地区の災害復興支援事業（人頭分担金）の徴収をせず、災害復興支援基金から拠出することとする。
災害復興支援基金から支出した義捐金は、原則として、地区内ロータリークラブ会員に対して寄付を要請し、寄付より基金から拠出した金員を返金する。但し、拠出した金員以上の寄付は、義捐金として追加送付する。
（この場合は利息をつけない）
地区内のロータリークラブが被災した時には、ガバナーが必要と認めた義捐金を支出し、補填については、地区資金決算に余剰金があった場合、基金委員会の承認した金額を積み立てるものとし、基金積み立ての総額は８００万円を限度とする。
(3) 青少年育成の基金の補填については、地区資金決算に余剰金があった場合基金委員会の承認した金額を積み立てるものとし、基金積み立ての総額は３００万円を限度とする。
(4) クラブ拡大の基金の補填については、地区資金決算に要剰金があった場合、基金委員会の承認した金額を積み立てるものとし、基金積み立ての総額は４００万円を限度とする。

（決算の承認）
第12条　基金委員会は、当該年度の本基金の決算を地区監事の監査を受けて、地区決算承認会議に報告し、承認を受けるものとする。

（規約の改正）
第13条　この規約の改正は、直前ガバナー、ガバナーエレクト、地区幹事、地区財務委員長、次期地区幹事、次期財務委員長の意見を聞きガバナーが定める。

（附則）
(1) この規約の施行は、次年度予算承認会議で承認されたときとする。
(2) 本基金の総額が１００万円以下となった場合は、基金委員会で第3条の寄付の動向を確認し、本基金の解体か継続を確定する。
(3) 解体の場合の残金は、地区資金へ組み入れる。

２０２０年　７　月　１　日　改訂施行

地区慶弔規定

（総則）

第１条　国際ロータリー第2730地区ガバナーは、役員・事務局員の慶弔に当たり次の定める各条により、慶弔の意を表すものとする。

（慶に関する事項）

第２条　事務局員が結婚・出産の場合には、次の祝い金を贈呈する。

１、婚儀に際しては、祝い金として10,000円を贈る。

２、出産に際しては、祝い金として10,000円を贈る。

３、役員については特に定めない。

（弔に関する事項）

第３条　役員・事務局員が死亡した時は、所属クラブの届け出により、地区内全クラブに訃報を送付する。役員とはガバナー、ガバナーエレクト、ガバナーノミニー、ガバナー補佐、地区幹事、財務委員長、月信委員長、及び地区諮問委員（パストガバナー）、地区委員会部門長・委員長をいう。

第４条　役員・事務局員が死亡の場合には、次の香料等を贈る。

１、役員・事務局員死亡については、弔電と香料10,000円を贈る。

２、ガバナー、パストガバナー、ガバナーエレクト、ガバナーノミニーについては、弔電、香料10,000円と生花15,000円を贈る。

第５条　地区に特別の功労があった元役員については、ガバナー事務所で協議の上、しかるべき弔意を表す。

第６条　各種団体関係者、もしくはその家族の死亡については、ガバナーがガバナー事務所と協議の上、弔意を表する。

（災害に関する事項）

第７条　役員・事務局員が、火災・自然災害を受けた時は、ガバナー事務所で協議の上、見舞い金を贈る。

（改廃）

第８条　この規定の改廃は地区運営委員会の決議による。

附則

この規定は平成25年３月11日より施行する。

2020−21年度　地区活動資金収支予算(案)

Ⅰ. 収入の部

区分	項　目	2020−21年度	2019−20年度	備　考
1	前年度繰越金	15,000,000	0	
2	地区関係資金(人頭分担金)	53,511,750	57,641,250	前期 13,400円×2,400人＝ 32,160,000 後期 8,715円×2,450人＝ 21,351,750
3	雑収入			月信広告活動資金等
合計		68,511,750	57,641,250	

Ⅱ. 支出の部

区分		項　目	2020−21年度	2019−20年度	備　考
G関係費		ガバナー関係費			
	1	ガバナー事務所費	8,245,000	8,245,000	人頭分担金　(地区連絡事務所維持費260万円を含む)
	2	地区大会分担金	9,600,000	9,600,000	人頭分担金
	3	青少年活動資金(ライラ)	2,180,000	2,180,000	人頭分担金　資金細則1(5)交換①
	4	G会運営協力金	485,000	485,000	人頭分担金
	5	R文庫運営協力金	727,500	727,500	人頭分担金
	6	米山記念館運営協力金	240,000	240,000	人頭分担金
	7	平和奨学生支援金	36,750	0	人頭分担金
	8	青少年交換維持協力金	240,000	240,000	人頭分担金
	9	事業資金(広報)	970,000	1,000,000	人頭分担金　資金細則1(6)①の変更
	10	月信関係費	5,820,000	4,500,000	人頭分担金　資金細則1(9)⑩
	11	地区ホームページ運営費	727,500	1,000,000	人頭分担金　資金細則1(9)⑪
	12	クラブ指導者研修セミナー	300,000	300,000	資金細則1(2)②
	13	ロータリーデー関係(IM)	1,000,000	1,000,000	資金細則1(3)①
	14	地区委員会費	6,000,000	5,500,000	資金細則1(7)①
	15	米山記念奨学委員会	0	200,000	資金細則1(7)①へ統合
	16	ガバナー補佐関係費	1,340,000	1,300,000	資金細則1(8)①
	17	直前ガバナー記念品代	250,000	250,000	資金細則1(9)③
	18	全国会合関係参加費	1,250,000	950,000	資金細則1(9)④　(予算の範囲内で支払う)
	19	姉妹地区関係参加費	1,500,000	250,000	資金細則1(9)⑤　(予算の範囲内で支払う)
	20	日台・日韓親善会議参加費	1,000,000	0	資金細則1(9)⑥　(隔年毎に日本と台湾・韓国で開催)
	21	国際大会参加費	500,000	0	資金細則1(9)⑦　(ガバナー夫妻の国際大会参加費)
	22	ロータリー学友会参加費	800,000	0	資金細則1(9)⑧　資金細則1(7)①
	23	RLI研修費	800,000	0	資金細則1(9)⑨　資金細則1(7)①
	24	通信・送金・事務費	0	400,000	資金細則1(9)⑤　(資金細則の削除)
	25	規定審議会参加費	0	300,000	資金細則1(10)①
	26	地区連絡事務所維持費	0	600,000	(G事務所費へ統合)
	27	青少年プログラム賠償責任保険料	300,000	0	資金細則1(9)⑭
		小計	44,311,750	39,267,500	
GE関係費		ガバナーエレクト関係費			
	27	ガバナーエレクト事務所費	4,115,000	4,115,000	人頭分担金　資金細則1(9)⑫
	28	地区研修・協議会	300,000	300,000	資金細則1(2)①
	29	会長エレクト研修セミナー	500,000	500,000	資金細則1(2)①
	30	地区チーム研修セミナー	300,000	300,000	資金細則1(2)①
	31	次期ガバナー補佐研修会	600,000	600,000	資金細則1(2)①
	32	国際協議会参加費	1,000,000	1,000,000	資金細則1(9)②
		小計	6,815,000	6,815,000	
GN	33	ガバナーノミニー関係費	300,000		資金細則1(9)⑬
		小計	300,000	0	
RA関係費		ローターアクト関係費			
	34	ローターアクト活動資金	1,695,000	1,695,000	人頭分担金　資金細則1(4)RA①
	35	ローターアクト年次大会	300,000	300,000	資金細則1(4)RA②
	36	ローターアクト幹部研修会	100,000	100,000	資金細則1(4)RA③
	37	ローターアクト韓国交流会	400,000	400,000	資金細則1(4)RA④
		小計	2,495,000	2,495,000	
IA関係費		インターアクト関係費			
	38	インターアクト活動資金	970,000	970,000	人頭分担金　資金細則1(4)IA①
	39	インターアクト年次大会	400,000	400,000	資金細則1(4)IA②
	40	インターアクト幹部研修会	300,000	300,000	資金細則1(4)IA③
	41	インターアクト韓国交流会	400,000	400,000	資金細則1(4)IA④
	42	インターアクト全国研究会負担金	200,000	200,000	資金細則1(4)IA⑤
	43	提唱校認証伝達資金補助金	50,000	200,000	資金細則1(4)IA⑥
		小計	2,320,000	2,470,000	
青少年交換		青少年交換関係費			
	44	青少年交換資金	2,910,000	2,363,750	人頭分担金　資金細則1(5)交換①
	45	青少年国際交流関係費	300,000	300,000	資金細則1(5)交換②
		小計	3,210,000	2,663,750	
予備	46	予備費	9,060,000	3,930,000	
		小　計	9,060,000	3,930,000	
		合　計	68,511,750	57,641,250	

地区活動資金収支予算（参考資料:前年度までの様式）

I．収入の部

	項　目	20-21年度	19-20年度	備　考		
1	前年度繰越金					
2	地区活動資金	14,550,000	19,400,000	前期	3,000円×2,400人＝	7,200,000
				後期	3,000円×2,450人＝	7,350,000
3	月信関係費	5,820,000	3,880,000	前期	1,200円×2,400人＝	2,880,000
				後期	1,200円×2,450人＝	2,940,000
4	地区ホームページ運営費	727,500	970,000	前期	150円×2,400人＝	367,500
				後期	150円×2,450人＝	367,500
5	広告活動資金	970,000	0	前期	200円×2,400人＝	480,000
				後期	200円×2,450人＝	490,000
6	雑収入					
	合　計	22,067,500	24,250,000			

II．支出の部

	項　目	20-21年度	19-20年度	備　考
1	ガバナー関係費			
	国際協議参加費	1,000,000	1,000,000	資金細則1（9）②
	直前ガバナー記念品代	250,000	250,000	資金細則1（9）③
	全国会合関係参加費	1,250,000	950,000	資金細則1（9）④
	小　計	2,500,000	2,200,000	
2	補助金			
	地区研修・協議会	300,000	300,000	資金細則1（2）①
	IM	1,000,000	1,000,000	資金細則1（3）①
	インターアクト年次大会	400,000	400,000	資金細則1（4）IA②
	インターアクト幹部研修会	300,000	300,000	資金細則1（4）IA③
	インターアクト韓国交流会	400,000	400,000	資金細則1（4）IA④
	インターアクト全国研究会負担金	200,000	200,000	資金細則1（4）IA⑤
	提唱校認証伝達資金補助金	50,000	200,000	資金細則1（4）IA⑥
	ローターアクト年次大会	300,000	300,000	資金細則1（4）RA②
	ローターアクト幹部研修会	100,000	100,000	資金細則1（4）RA③
	ローターアクト韓国交流会	400,000	400,000	資金細則1（4）RA④
	青少年国際交流関係費	300,000	300,000	資金細則1（5）交換②
	会長エレクト研修セミナー	500,000	500,000	資金細則1（2）①
	地区チーム研修セミナー	300,000	300,000	資金細則1（2）①
	次期ガバナー補佐研修会	600,000	600,000	資金細則1（2）①
	米山記念奨学委員会	0	200,000	資金細則1（7）①
	小　計	5,150,000	5,500,000	
3	会議参加費			
	ＲＬＩ研修費	800,000	0	
	IM（ロータリーデー）	0	0	ホストクラブより支出
	会長エレクト研修セミナー	0	0	ホストクラブ又はGE事務所より支出
	クラブ指導者研修セミナー	0	300,000	資金細則1（2）③
	次期ガバナー補佐研修会	0	0	資金細則1（8）②
	小　計	800,000	300,000	
4	姉妹地区関係参加費	1,500,000	250,000	資金細則1（9）④
5	地区委員会費	6,000,000	5,500,000	資金細則1（7）①②
6	ガバナー補佐関係費	1,340,000	1,300,000	資金細則1（8）①
7	規定審議会参加費	0	300,000	資金細則1（10）①
8	通信・送金・事務費	0	400,000	資金細則1（9）⑤
9	月信関係費	5,820,000	4,500,000	資金細則1（9）⑥
10	地区連絡事務所維持費	0	600,000	ガバナー事務所より支出
11	地区ホームページ運営費	727,500	1,000,000	資金細則1（9）⑦
12	事業資金（広報）	970,000	1,000,000	資金細則1（6）①
13	予備費	1,400,000	1,400,000	
	小　計	17,757,500	16,250,000	
	合　計	26,207,500	24,250,000	
	収支差額	-4,140,000	0	

2020−21年度　地区関係資金額1人当たり(人頭分担金)予算(案)

区分		項目	2020-21年度				2019-20年度		
			前期	後期	金額	%	前期	後期	金額
		会員数	2,400	2,450			2,400	2,450	
A	1	地区活動資金	3,000	3,000	14,550,000		4,000	4,000	19,400,000
A	2	月信関係費	1,200	1,200	5,820,000		800	800	3,880,000
A	3	地区ホームページ運営費	150	150	727,500		200	200	970,000
A		小計	4,350	4,350	21,097,500	39.4	5,000	5,000	24,250,000
B	4	青少年交換資金	600	600	2,910,000		500	475	2,363,750
B	5	事業資金（広報）	200	200	970,000		200	200	970,000
B	6	ＶＴＴ活動資金交換資金	0	0	0		0	0	0
B	7	青少年活動資金（ライラ）	500	400	2,180,000		500	400	2,180,000
B	8	ＲＡ活動資金	400	300	1,695,000		400	300	1,695,000
B	9	ＩＡ活動資金	200	200	970,000		200	200	970,000
B		小計	1,900	1,700	8,725,000	16.3	1,800	1,575	8,178,750
C	10	Ｇ会運営協力金	100	100	485,000		100	100	485,000
C	11	Ｒ文庫運営協力金	150	150	727,500		150	150	727,500
C	12	Ｇ事務所費（地区連絡事務所含む）	1,700	1,700	8,245,000		1,700	1,700	8,245,000
C	13	ＧＥ事務所費	1,000	700	4,115,000		1,000	700	4,115,000
C	14	地区大会分担金	4,000	0	9,600,000		4,000	0	9,600,000
C	15	米山記念館運営協力金	100	0	240,000		100	0	240,000
C	16	平和奨学生支援金	0	15	36,750		0	0	0
C	17	青少年交換維持協力金	100	0	240,000		200	0	480,000
C	18	規定審議会分担金	0	0	0		50	0	120,000
C	19	災害復興支援事業	0	0	0		500	0	1,200,000
C	20	その他	0	0	0		0	0	0
C		小計	7,150	2,665	23,689,250	44.3	7,800	2,650	25,212,500
合計			13,400	8,715	53,511,750	100.0	14,600	9,225	57,641,250
1人当たり人頭分担金			22,115				23,825		

2020−21年度　地区関係資金額（人頭分担金）予算（案）

区分		項目	2020-21年度			2019-20年度		
			前期	後期	金額	前期	後期	金額
		会員数	2,400	2,450		2,400	2,450	
A	1	地区活動資金	7,200,000	7,350,000	14,550,000	9,600,000	9,800,000	19,400,000
A	2	月信関係費	2,880,000	2,940,000	5,820,000	1,920,000	1,960,000	3,880,000
A	3	地区ホームページ運営費	360,000	367,500	727,500	480,000	490,000	970,000
A		小計	10,440,000	10,657,500	21,097,500	12,000,000	12,250,000	24,250,000
B	4	青少年交換資金	1,440,000	1,470,000	2,910,000	1,200,000	1,163,750	2,363,750
B	5	事業資金（広報）	480,000	490,000	970,000	480,000	490,000	970,000
B	6	ＶＴＴ活動資金交換資金	0	0	0	0	0	0
B	7	青少年活動資金（ライラ）	1,200,000	980,000	2,180,000	1,200,000	980,000	2,180,000
B	8	ＲＡ活動資金	960,000	735,000	1,695,000	960,000	735,000	1,695,000
B	9	ＩＡ活動資金	480,000	490,000	970,000	480,000	490,000	970,000
B		小計	4,560,000	4,165,000	8,725,000	4,320,000	3,858,750	8,178,750
C	10	Ｇ会運営協力金	240,000	245,000	485,000	240,000	245,000	485,000
C	11	Ｒ文庫運営協力金	360,000	367,500	727,500	360,000	367,500	727,500
C	12	Ｇ事務所費 （地区連絡事務所含む）	4,080,000	4,165,000	8,245,000	4,080,000	4,165,000	8,245,000
C	13	ＧＥ事務所費	2,400,000	1,715,000	4,115,000	2,400,000	1,715,000	4,115,000
C	14	地区大会分担金	9,600,000	0	9,600,000	9,600,000	0	9,600,000
C	15	米山記念館運営協力金	240,000	0	240,000	240,000	0	240,000
C	16	平和奨学生支援金	0	36,750	36,750	0	0	0
C	17	青少年交換維持協力金	240,000	0	240,000	480,000	0	480,000
C	18	規定審議会分担金	0	0	0	120,000	0	120,000
C	19	災害復興支援事業	0	0	0	1,200,000	0	1,200,000
C	20	その他	0	0	0	0	0	0
C		小計	17,160,000	6,529,250	23,689,250	18,720,000	6,492,500	25,212,500
		合計	32,160,000	21,351,750	53,511,750	35,040,000	22,601,250	57,641,250
		1人当たり人頭分担金	22,115			23,825		

2020−21年度　地区委員会予算(案)

資金細則1（7）①②

区分		項目	2020-21年度		2015-16年度		2014-15年度	
			予算	実績	予算	実績	予算	実績
地区指導管理部門	1	地区諮問委員会	450,000		400,000	426,080	450,000	244,090
	2	ガバナー指名委員会	50,000		40,000	35,190	30,000	0
	3	危機管理委員会	50,000		10,000	10,000	50,000	0
	4	地区研修委員会	150,000		150,000	150,000	150,000	0
	5	ＲＬＩ委員会	250,000		250,000	240,966	500,000	362,656
	6	国際大会推進委員会	50,000		20,000	0	10,000	0
	7	地区財務委員会	50,000		50,000	41,296	40,000	0
	8	地区監査委員会	50,000					
	9	地区運営委員会	1,000,000		1,100,000	1,145,326	400,000	640,288
	10	地区戦略計画委員会	50,000		50,000	48,000	40,000	0
	11	地区立法案規定検討委員会	50,000					
	12	地区運営基金委員会	50,000		10,000	3,654	100,000	0
	13	表彰選考委員会	50,000		100,000	100,000	30,000	0
	14	ロータリーの友委員会	50,000		10,000	0	10,000	12,000
	15	ガバナー補佐会議	1,000,000		900,000	1,057,128	400,000	364,500
C管理	16	クラブ管理運営（クラブ奉仕）委員会	80,000		80,000	80,000	60,000	6,000
	17	クラブ戦略計画委員会	50,000		40,000	38,000	70,000	6,000
	18	クラブリーダー養成研修委員会	80,000		90,000	85,292	80,000	608,844
奉仕プロジェクト	19	職業奉仕委員会	100,000		90,000	92,472	100,000	0
	20	社会奉仕委員会	80,000		90,000	74,268	50,000	0
	21	国際奉仕委員会	50,000		20,000	0	40,000	0
	22	青少年奉仕統括委員会	100,000		90,000	111,607	60,000	25,000
	23	インターアクト委員会	100,000		80,000	76,268	100,000	5,000
	24	ローターアクト委員会	100,000		90,000	82,162	150,000	218,000
	25	青少年交換委員会	200,000		200,000	204,110	100,000	129,000
	26	ライラ委員会	50,000		10,000	0	100,000	0
公共	27	公共イメージ委員会	100,000		90,000	77,886	120,000	18,184
	28	広報・ＩＴ委員会	50,000		10,000	0	40,000	33,000
	29	ロータリー情報誌委員会	50,000					
R財団	30	財団資金推進委員会	50,000		30,000	14,272	150,000	51,000
	31	補助金委員会	50,000		50,000	0	40,000	6,000
	32	ﾎﾟﾘｵﾌﾟﾗｽ・ﾛｰﾀﾘｰｶｰﾄﾞ委員会	50,000		30,000	32,394	40,000	17,296
	33	ﾛｰﾀﾘｰ平和フェローシップ委員会	50,000		20,000	8,648	30,000	6,000
	34	財団資金管理委員会	50,000		20,000	0	30,000	0
米山	35	米山寄付推進委員会	100,000		70,000	69,000	10,000	0
	36	米山奨学選考委員会	50,000		10,000	0	10,000	0
	37	米山学友委員会	50,000		10,000	0	40,000	18,000
増強	38	拡大委員会	200,000		100,000	114,592	100,000	65,000
	39	会員増強委員会	200,000		200,000	217,230	300,000	99,740
	40	ロータリー学友委員会	50,000		10,000	0		
	41	地区70周年実行委員会	50,000					
		予備費	510,000		380,000	340,745	670,000	93,000
		合　計	6,000,000		5,000,000	4,976,586	4,700,000	3,028,598

地区内外の行事関係

○はG事務所　　●はGE事務所

区分		項目	ー	直前ガバナー	GE	PG	備考
			登録料・旅費・宿泊費			登録料	
	1	地区大会					
	2	地区研修・協議会					
	3	会長エレクト研修セミナー					
	4	地区チーム研修セミナー					
	5	次期ガバナー補佐研修会					
	6	全国会合関係参加費		○	○	○	上限10名
	7	姉妹地区関係参加費		○	○	○	上限10名
	8	日台・日韓親善会議参加費		○	○	○	各5名
	9	ロータリー学友会参加費					5名
	10	RLI研修費					

（全国会合関係等参加費：ー／直前ガバナー／GE／PG）

地区委員会関係

○

区分		項目	部	宮崎県中部	宮崎県南部	宮崎県北部	備考
地区指導管理部門	1	地区諮問委員会	000	9,000	8,000	14,000	
	2	ガバナー指名委員会	000	6,000	7,000	11,000	
	3	危機管理委員会	000	7,000	4,000	12,000	
	4	地区研修委員会	000	13,000	12,000	18,000	
	5	RLI委員会	000	10,000	11,000	15,000	
	6	国際大会推進委員会	0	3,000	4,000	8,000	
	7	地区財務委員会	000	0	3,000	6,000	
	8	地区監査委員会	000	3,000	0	9,000	
	9	地区運営委員会	000	6,000	9,000	0	
	10	地区戦略計画委員会					
	11	地区立法案規定検討委員会					
	12	地区運営基金委員会					
	13	表彰選考委員会					
	14	ロータリーの友委員会					
	15	ガバナー補佐会議					
C管理	16	クラブ管理運営（クラブ奉仕）委員会					
	17	クラブ戦略計画委員会					
	18	クラブリーダー養成研修委員会					
奉仕プロジェクト	19	職業奉仕委員会					
	20	社会奉仕委員会					
	21	国際奉仕委員会					
	22	青少年奉仕統括委員会					
	23	インターアクト委員会					
	24	ローターアクト委員会					
	25	青少年交換委員会					
	26	ライラ委員会					
公共	27	公共イメージ委員会					
	28	広報・IT委員会					
	29	ロータリー情報誌委員会					
R財団	30	財団資金推進委員会					
	31	補助金委員会					
	32	ポリオプラス・ロータリーカード委員会					
	33	ロータリー平和フェローシップ委員会					
	34	財団資金管理委員会					
米山	35	米山寄付推進委員会					
	36	米山奨学選考委員会					
	37	米山学友委員会					
増強	38	拡大委員会					
	39	会員増強委員会					
	40	ロータリー学友委員会					
	41	地区70周年実行委員会					
		予備費					
		合　計					

泊費は委員会に割り当てられた予算内で支払う。
て、予備費より補てんする。
からの運賃を加算する。

とするが安価な場合もある。
を限度として支給する。

合、旅費10,000円を支給する。

000				
000				

タリー学友会参加費の
た予算内で支払う。
て、予備費より補てんする。
とするが安価な場合もある。
を限度として支給する。

委員の口座に振り込む。

勘定科目表（案）

収入の部

	科　目	
1	人頭分担金	（前期）
2	人頭分担金	（後期）
3	地区補助金	地区研修・協議会等
4	登　録　料	大会等の登録料
5	懇親会登録費	懇親会等の登録費
6	行事参加費	行事等の参加費
7	雑　収　入	預金利息等の上記科目に属さない収入
8		
9		
10		

支出の部

	科　目	
1	人　件　費	事務員、警備員等の日当や給料
2	会　場　費	会場使用料、舞台設営、放送・照明・音響設備、テント・仮設トイレ等
3	飲　食　費	弁当代、お菓子代、飲み物代等
4	会　議　費	大会、会議等の費用
5	懇談会費	懇親会、晩餐会、フェアウェルパーティー、前夜祭等
6	接待交際費	接待、記念品代、表彰代等
7	印　刷　費	プログラム、大会誌、記念誌、報告書、名刺、コピー等
8	賃　借　料	自動車、機械、コピー機、パソコン等のリース代
9	地代家賃	駐車場、倉庫、テナント料、貸事務所等の賃料
10	旅費交通費	旅費、宿泊費等
11	通信運搬費	郵便、電話、ＦＡＸ、運搬費等
12	宣伝広告費	新聞広告、案内看板等
13	消耗品費	文具、日用品等
14	水道光熱費	電気、ガス、水道代等
15	謝　礼　金	講師料、アトラクションなどの出演料等
16	諸　会　費	登録料等
17	新聞図書費	新聞、冊子購入等
18	支払手数料	送金・振込手数料等
19	保　険　料	損害保険、ボランティア保険等
20	雑　　　費	ゴミ処理費等の上記科目に属さない費用

2020−21年度　委員会　事業(収支)計画書(案)

事業計画					
予定年月	会議名	回数	参加数	議題	備考（予算）
予定年月	行事名	回数	参加数	内容	備考（予算）

単位：円

収支計画					
収入			支出		
科目	金額	備考	科目	金額	備考
人頭分担金		上期	人件費		
人頭分担金		下期	会場費		
地区補助金			飲食費		
登録料			懇談会費		
懇親会登録費			会議費		
行事参加費			接待交際費		
雑収入			印刷費		
			賃借料		
			地代家賃		
			旅費交通費		
			通信運搬費		
			宣伝広告費		
			消耗品費		
			水道光熱費		
			謝礼金		
			諸会費		
			新聞図書費		
			支払手数料		
			保険料		
			雑費		
合計			合計		

2020−21年度　委員会　事業(収支)報告書(案)

事　業　報　告				
No	会　議　名	期　日	議　　題	備考
	行　事　名	期日	内　　容	備考（決算）

単位：円

収　支　報　告					
収　入			支　出		
科　目	金　額	備　考	科　目	金　額	備　考
人頭分担金		上期	人　件　費		
人頭分担金		下期	会　場　費		
地区補助金			飲　食　費		
登　録　料			懇談会費		
懇親会登録費			会　議　費		
行事参加費			接待交際費		
雑　収　入			印　刷　費		
			賃　借　料		
			地代家賃		
			旅費交通費		
			通信運搬費		
			宣伝広告費		
			消耗品費		
			水道光熱費		
			謝　礼　金		
			諸　会　費		
			新聞図書費		
			支払手数料		
			保　険　料		
			雑　　費		
合　　計			合　　計		

Rotary

2020−21年度
部門別委員会
基本方針・活動計画

1．会員増強部門 …… 100
①拡大委員会 …… 100
②会員増強委員会 …… 101
2．奉仕プロジェクト部門 …… 102
①職業奉仕委員会 …… 103
②社会奉仕委員会 …… 104
③国際奉仕委員会 …… 105
④青少年奉仕統括委員会 …… 106
3．青少年奉仕統括委員会 …… 107
①インターアクト委員会 …… 107
②ローターアクト委員会 …… 108
③青少年交換委員会 …… 109
④ライラ委員会 …… 111
4．クラブ管理運営部門 …… 112
①クラブ管理運営委員会(会長・幹事・会計・SAA・親睦・出席・プログラム) 113
②クラブ戦略計画推進委員会 …… 114
③クラブリーダー養成研修委員会 115
5．ロータリー財団部門 …… 116
①財団資金推進委員会 …… 117
②補助金委員会 …… 119
③ポリオプラス・ロータリーカード委員会 …… 120
④ロータリー平和フェローシップ委員会 …… 121
⑤財団資金管理委員会 …… 122
6．米山記念奨学部門 …… 123
①米山寄付推進委員会 …… 124
②米山奨学生選考委員会 …… 125
③米山学友委員会 …… 126
④2730地区奨学生一覧（2020学年度） …… 127
⑤寄付金納入明細推移 ……128〜136
7．広報・公共イメージ部門 …… 137
①公共イメージ委員会 …… 138
②広報・IT（コミュニケーション計画）委員会 139
③ロータリー情報誌委員会 …… 140
8．ロータリー学友委員会 …… 141
①ロータリー学友会 半期活動報告 142
9．ロータリーの友委員会 …… 143
10．ロータリーの友について …… 145
11．ガバナー月信委員会 …… 147

会員増強部門

拡大委員会

川原　篤雄　　　長峯　基

〈会員増強部門〉

部門長	**PG 川原　篤雄**（鹿児島SWRC）
副部門長	PG 長峯　基（都城RC）
委　員	工藤　博美(加世田RC)

（拡大委員会　宮崎県）

委員長	**PG 長峯　基**（都城RC）
副委員長	PG 野中　玄雄（延岡東RC）
委　員	宮崎県直前ガバナー補佐全員
	宮崎県ガバナー補佐全員

（拡大委員会　鹿児島県）

委員長	**PG 川原　篤雄**（鹿児島SWRC）
副委員長	PG 田中　俊實（鹿屋RC）
委　員	鹿児島県直前ガバナー補佐全員
	鹿児島県ガバナー補佐全員

スローガン

地区スローガンを道標に意識を喚起し進んで考動を!

基本方針

・新クラブ結成(衛星クラブ含む)のための情報を収集し計画を立案する

・新クラブ結成はガバナーの「任務」の優先事項であり、継続性を確保するものとする

・各ガバナー補佐、地区会員増強委員会との連携を強化すると共にエリアグループ毎のクラブ統廃合を研究する

活動計画

・鹿児島市内グループで12番目のクラブを結成し育成する
(柔軟性、多様性、革新性)

・鹿児島県東部グループの協力を得、曽於地区に新クラブ設立のための結成推進委員会を具現化する

・宮崎県西部グループの協力を得、北諸県郡三股町に新クラブ(衛星クラブ含む)設立のための結成推進委員会を具現化する

・RI1A. 2&3ゾーン会員基盤向上セミナーに出席し(6/29~30予定)地区会員増強委員会と連携し地区内クラブへ反映していただき増強の強化を計る

会員増強委員会

委員長	**工藤　博美**（加世田RC）	
副委員長	山田　勝郎（志布志みなとRC）	
委　員	児玉　　隆（延岡中央RC）	上山　泰寛（宮崎東RC）
	河野　清見（串間RC）	上野　充博（都城中央RC）
	宇都　沙織（都城RAC）	小原　功三（串木野RC）
	野田真由美（枕崎RC）	前田　　豊（始良RC）
	松下　和裕（鹿児島SWRC）	前迫　　実（鹿児島中央RC）
	里原あけみ（奄美中央RC）	向原　嵩登（大口RAC）

基本方針

2020−2021年度会員増強委員長の任を仰せつかりました、加世田ロータリークラブの工藤博美と申します。

ロータリーの最重要課題でもあります会員増強。それは、新会員の継続した入会がなければ、ロータリーとしての活動が低下するからであります。時代の移り変わりの激しい今日、私達ロータリアンは、地域で、そして世界へ貢献すべきロータリーとしての体制づくりが必須課題であります。それらを鑑み、会員諸兄のご指導ご協力を仰ぎながら会員増強に努めてまいります。

活動計画

① 各グループごとの増強活動の組織化
② 女性会員・40歳未満の会員増強
③ 会員増強地区目標の推進
④ 退会防止対策

奉仕プロジェクト部門

部門長	**PG 田中　俊實**（鹿屋RC）	
副部門長	福永　健一（奄美RC）	
副部門長	戸高　　望（都城北RC）	
委　員	名島　　博（鹿児島RC）	田島　幹洋（延岡東RC）
	安川　　潔（宮崎南RC）	吉留　幸文（国分RC）
	榎木　敏浩（都城北RC）	鈴木　俊二（加治木RC）

基本方針

ロータリーのビジョン声明は、「私たちロータリアンは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。」また、新しいロータリー戦略計画では、「世界各地でより良い地域づくりを行う定評のあるダイナミックな団体としてのロータリークラブが評価される。」とされています。

ホルガー・クナーク RI 会長は、ロータリーは無限の機会への招待であり、リーダーシップの機会、奉仕のアイデアを実行に移すための機会、生涯続く友情の絆を築く機会を与えてくれるとして、今年度 RI テーマを「ロータリーは機会の扉を開く」とされました。

風呂井敬ガバナーは、今年度地区スローガンを「不易流行・ロータリーの基本を堅持し、変化に適応するクラブを」とされ、地区組織の中にもローターアクト会員を入れました。

ホルガー・クナーク会長は、「デジタル革命が私たちにもたらした打撃は、予想をはるかに超えています（写真業界のリーダーであったコダック社の例を出されました）。ロータリーは価値を共有し、高潔な心をもつ人のコミュニティーであり、人々をロータリーに引きつけるのは、友情と人脈づくりの機会です。だからこそクラブが強いのです。奉仕の力は強いクラブから生まれます。四つのテストも大切にしてきました。しかし、ロータリーは変わらなければなりません。時には革命的でなければなりません。若い人たちをロータリーに引き入れなければなりません。若い人たちにとって、より魅力的なものとする一つの方法は、環境にもっと焦点を当てることです。今の若者は奉仕を楽しみ、活動的でありたいと望んでいます。ロータリーは、奉仕プロジェクトを実施し、やり遂げる機会を与えてくれます。その奉仕がもたらす持続可能なインパクトを目で見ることができます。」と述べられています。

今、我が地区で実行できることは、各クラブの奉仕活動にもっと若い人に手伝ってもらいましょう。RA、IA とその友人の皆様の力を借りましょう。RA、IA の皆様は、ロータリークラブの行事にご協力ください。例えば、献血事業などはロータリーの人は 65 歳以上であったり、薬を飲んでいる人が多く、献血できる人が少ないのです。今の日本の状況では、若い人の力が必要です。基本を堅持し、変化に適応する一例といえます。今まで以上のご協力をお願い致します。

奉仕活動部門は、それぞれ立派な委員長がおられますので、各クラブの奉仕活動を十分サポートできます。各クラブのすばらしい 1 年になりますように、ともに頑張りましょう。

職業奉仕委員会

委員長 **福永　健一**（奄美RC）
副委員長 吉村　隆明（延岡東RC）
委　員 吉田　博俊（宮崎RC）
竹井　崇利（日南RC）

2020−21　風呂井年度　職業奉仕委員長の拝命を受けました奄美ロータリークラブの福永健一です。
年度内に、会員の皆さんと共に下記のことについて学習していきたいと思っています。
会員・委員のご理解とご協力をお願いします。

基本方針

魅力あるロータリーの職業奉仕をめざすために

ロータリアンによる　クラブ間交流による（エリア外を中心とした）　地域経済浮揚によって　ロータリアンの増大を図る

活動計画　−　ACTION　PLAN

●職業に誇りをもって
・社会的使命の重大性の認識をもって実践すること
・正直かつ品位のある方法で仕事を実践すること
・最高度の倫理基準を推進していくこと
・高潔性を育み推進していくこと

●職業に愛情をもって
・生活の糧を得る方法を生きがいに変え家族を守ること
・働き良い環境をつくり働く仲間の生活水準の向上を図ること
・顧客の満足と感謝を生み信用性を高める努力をすること（期待する以上のサービス）

●奉仕においては
・自らの職業を通じて、地域社会・国際社会への奉仕貢献すること
・青少年奉仕・クラブ奉仕との関わりも大切にすること
・職業能力を活かして、恵まれない人々に奉仕すること

ACTION　PLAN　−　活動方針

MY　PACE　MY　VOCATIONAL　SERVICE
自分のペースで職業奉仕を
MY　TRAINING　MY　VOCATIONAL　SERVICE
自己研鑽としての職業奉仕
MY　VOCATIONAL　SERVICE ALL　PEOPLE
自分なりの職業奉仕を全ての人々に
MY　VOCATIONAL　SERVICE
"THE　FOUR　−　WAY　TEST"
自分の職業奉仕を四つのテストに照らして

社会奉仕委員会

委員長　名島　博（鹿児島RC）
副委員長　赤崎　安隆（鹿児島城西RC）
委　員　塩月　隆久（延岡東RC）
　　　　市坪　新悟（南九州大崎RC）

基本方針

本年度のテーマ「ロータリーは機会の扉を開く」を基本にロータリアン一人ひとりの個人生活、事業生活、社会生活に奉仕の理想を適用することを奨励、育成することであると共に「超我の奉仕」を実証する機会である、地域に住む人々の生活の質を高め、意義ある持続可能な奉仕プロジェクトを計画して地域に密着した社会貢献をロータリー家族と共に活動することを基本にします。

活動計画

1、年末に輸血用の血液が毎年不足する為、インターアクト、ローターアクト、若い会員、ロータリークラブ関連会社の社員などに協力を要請します。
2、ロータリー地域社会共同隊の設立を、各ロータリークラブに要請します。
　（ロータリー章典41．050.）Rotary Community Corps
3、8月頃開催予定の地区社会奉仕委員会で各クラブ社会奉仕活動のアンケートに基づいてディスカッションを行ない他クラブの活動を参考にして持続可能な奉仕プロジェクトを各クラブに要請します。
4、各ロータリークラブの奉仕活動がより充実した活動にする為、補助金を活用する事を要請します。

国際奉仕委員会

委員長　田島　幹洋（延岡東RC）
副委員長　萩原　隆志（鹿児島南RC）
委　員　安藤　宏子（延岡RC）
中村　　聡（鹿児島SWRC）

基本方針

野中ガバナー年度では、インドRI第3000地区とロータリー財団グローバル補助金を活用してのRIで初となるメンタルヘルスについての奉仕事業である「健全な精神に向けての私たちの使命プロジェクト」を実施し、大重ガバナー年度でも同じくインドRI第3000地区とグローバル補助金を活用しての「水と衛生プロジェクト」実施等、本年度はロータリー財団部門から奉仕プロジェクト部門に所属部門が移りましたが、その意味では、国際奉仕委員会はロータリー財団部門、特に補助金委員会とは、本年度も深く連携していく必要があると感じます。

また、国際奉仕委員会のもう一つの活動であります、姉妹地区との交流推進があります。当地区の姉妹地区は、現在韓国RI第3661地区（釜山周辺）と昨年10月の喜島ガバナー年度宮崎市での地区大会にて、押川ガバナー年度より、調査・推進をして参りました、もう一つの隣国であります、台湾RI第3482地区（台北）との姉妹地区締結がついに実現致しました。

合わせて、当地区内には、韓国、台湾、アメリカ、イタリア等の海外姉妹クラブ、友好クラブ締結クラブが多数あります。しかし、国際奉仕、国際交流の観点から、まだまだ姉妹クラブ、友好クラブ締結を推進する必要があると思います。特に、地区補助金、グローバル補助金を活用しての海外との奉仕事業には、現地でのキーマンが必要です。その意味でも、海外クラブとの姉妹クラブ、友好クラブは絶好のキーマンに成り得ると思います。

今回、風呂井ガバナーも地区目標に挙げておられますが、「友好クラブ、姉妹クラブの締結推進」
昨年度に台湾との姉妹地区締結が実現した訳ですから、特に台湾のクラブとの友好、姉妹クラブ締結をする絶好の機会でもあります。当委員会としても、締結クラブのご紹介等、締結推進をお手伝い致します。

ロータリーには、「6つの重点分野」があります。実際には強化月間として各月にて推進する訳ですが、是非クラブでも強化月間にその重点分野に関係するイベント等の開催やメンバーへの周知をお願い致します。

最後に国際交流の観点から国際大会への参加も重要です。世界200を超える国と地域からロータリアンが集う国際大会こそ、国際交流の最高の機会だと思います。本年度は2021年6月に台湾・台北にて開催されますが国際大会推進委員会（台北）と連携して、国際大会参加を推進し、様々な国と地域のロータリアンと交流する機会を作りたいと思います。
ご協力よろしくお願い申し上げます。

活動計画

1. ロータリー財団部門、補助金委員会と連携してロータリー財団グローバル補助金事業の支援・協力
2. ロータリー財団地区補助金を活用しての地区内クラブ海外奉仕活動の支援・協力
3. ロータリー強化月間（6つの重点分野）についてクラブに於ける活動の支援・協力
4. 地区内クラブの海外姉妹クラブ、友好クラブ締結の支援・協力
5. 国際大会推進委員会（台北）に協力して台湾・台北国際大会の参加推進
6. 韓国・台湾姉妹地区、地区大会参加協力
7. 日韓親善会議、日台親善会議への参加協力
8. ライラ委員会に協力して当地区RYLAへの台北RI第3482地区参加者への支援等
9. 委員会の開催

青少年奉仕統括委員会

委員長	**戸高　　望**（都城北RC）
副委員長	鈴木　俊二（加治木RC）
委　員	安川　　潔（宮崎南RC）
	榎木　敏浩（都城北RC）
	吉留　幸文（国分RC）

基本方針

奉仕の5部門である青少年奉仕（IA・RA・RYLA・青少年交換）は、「指導力養成活動、社会奉仕プロジェクトおよび国際奉仕プロジェクトへの参加、世界平和と異文化の理解を深め育む交換プロジェクトを通じて、青少年ならびに若者によって、好ましい変化がもたらされることを認識するものである。」と定義されています。「変えてはいけない事」、このことを踏まえて、部門長の指導を仰ぎながら委員会間の情報共有や相互協力等を強力に推進して、4委員会がスムーズに活動できることをサポートしていきます。また、関連あるロータリー学友委員会とも連携して青少年ならびに若者との関係性を保ちながら、「好ましい変化をもたらす事」を推進していきます。

また、地区危機管理委員会とも連携して、危機管理の充実に取り組んでいきます。

活動計画

青少年奉仕部門会議
危機管理セミナーの実施
パソコン会議の研究・実施

インターアクト委員会

委員長	安川　　潔（宮崎南RC）	
副委員長	小坂泰一郎（都城西RC）	
委　員	塩川　聖一（宮崎北RC）	三角　悦久（鹿児島RC）
	京田　一則（阿久根RC）	野田　博隆（指宿RC）
	新村　禎博（鹿屋RC）	玉利　佳久（鹿児島南RC）

基本方針

次世代を担う12歳から18歳までの若者たちがボランティア活動や地区内、海外のインターアクターとの交流を通じ視野を広げ、他人に対する思いやり、リーダーシップ、国際感覚を身につけていただけるよう活動してまいります。又、地区インターアクト委員会として、各インターアクト活動がより一層活性化する為に、インターアクトクラブ顧問の先生方、ロータリアンと共に支援をしていきます。

活動計画

1. 資料作成、研修会開催、情報交換、交流の拡大
2. 韓国第3661地区(釜山)との国際交流
3. インターアクトクラブの維持、新クラブの拡大
4. 青少年奉仕部門、各委員会との連携
5. 危機管理への取り組み

年間活動スケジュール

2020年7月	第1回インターアクト委員会議(都城)
8月1日・2日	第55回インターアクト年次大会(ホスト鹿児島RC)
10月	第2回インターアクト委員会議(都城)
11月	九州4地区インターアクト連絡協議会
2021年1月	第3回インターアクト委員会議(都城)
4月	第8回全国インターアクト研究会
	第4回インターアクト委員会議(都城)
5月	韓国第3661地区インターアクト国際交流(受入)
6月	地区インターアクト・RC・顧問研修会(都城)
	第5回インターアクト委員会議(都城)

ローターアクト委員会

委員長	**吉留　幸文**（国分RC）		
副委員長	石坂乃里子（えびのRC）		
	小山　光義（鹿児島西RC）		
	中間　広大（加治木RAC）		
委　員	稲留　孝男（川内RC）	岩澤　浩二（加治木RC）	
	中原雄一郎（鹿屋RC）	中野　三郎　（串良RC）	
	東　　則秋（鹿児島東南RC）		

基本方針

来期から国際ロータリーの方針が大きく変更されます。主な変更は、活動年齢の上限が撤廃され、18歳以上のすべての男女が入会可能になり、RCとRACが同等として扱われるようになります。

ローターアクトの基本方針としては、奉仕活動を通じて青年男女の指導力の開発・育成を目的としています。その地域の物的・社会的なニーズに応じて奉仕活動を行うことで、今何が必要とされていて、何が重要になっているのかを知り、活動を通じて様々な人々と親睦関係を築くことができます。親睦関係を築くことで、様々な知識や考え方を得て、見習うべき言動を見つけることになります。こうした積み重ねが、相手へのより深い理解や思いやりになり、さらに充実した活動や新たな発見へと繋がり、自ずとより良い成長を促すためのサイクルが出来てゆくと考えます。

近年、会員数が減少傾向にあります。会員増強に向けて各人・各クラブが工夫を凝らし運営をされていると思いますが、今後もお互いに協力し合いながら活動をしていければと思います。

活動計画

RA委員長がRACへの理解を深める事も含め、最低でも3年以上は継続をお願いします。RA委員長は、地区連絡協議会を年3回予定していますので、必ず出席してください。また、RA委員長会議をグループ毎に年2回開催を予定しています。少人数での会議になりますので是非ご参加いただき、積極的な意見交換をお願いします。

第1回RA地区連絡協議会…前年度の決算報告及び年間活動計画、分担金、予算等について協議を行い、主な活動行事についての案内を行います。

7地区交流会…中国・四国・九州地方のRAを対象として、ホスト地区が各地区の会員が交流できる内容のプログラムを開催します。

第49回RA地区年次大会…地区内外のRAC会員が参加する総会で、クラブ間・会員同士の交流を目的として開催し、メインプログラムは大会テーマ又は地区ターゲットに絡めて行われます。

第2回RA地区連絡協議会…前期分担金の納入状況について。各クラブの年次・地区大会や交流会・研修会等について報告・案内を行います。

グループ合同研修会…午前中に各グループの研修・勉強会を行い、午後に交流会を行います。

第32回全国RA研修会…全国のRA会員が集まり意見交換や交流を行い、友好を深めます。

第3回RA地区連絡協議会…前期分担金の納入状況について。各クラブの年次・地区大会や交流会・研修会等について報告・案内を行います。

第49回ローターアクトのための研修会…各地区大会・研修会や運営方針、クラブ情報更新について。RAについての理解を深めるための研修会が行われます。

RA役員研修会(引継ぎ)…役員の引継ぎに関する申し送りを行います。

青少年交換委員会

委員長　榎木　敏浩(都城北RC)
副委員長　岩切　　洋(高鍋RC)
委　員　佐藤　信博(延岡RC)　塩川　聖一(宮崎北RC)
中間　博英(加治木RC)　米丸麻希子(国分RC)
丸野　史朗(霧島RC)　戸高　　望(都城北RC)

基本方針

当委員会の目的は、ロータリー及びその周辺の子弟をお互いの国同士で交換して育て合う事で国同士の友好と世界の平和の実現に寄与し、同時に有能な人材及び将来のロータリアンを育てる事にあります。RI会長テーマ「ロータリーは機会の扉を開く」を青少年交換プログラムを通じ実践し、青少年の貴重な体験をサポートして参ります。

2020-2021年度2730地区は、4名(延岡・奄美・国分・鹿屋)を派遣。4名(フィンランド・ポーランド・イタリア・台湾)の受入が決定しています。

当委員会の派遣活動は1クールが2年に及びます。当年度の派遣学生は前年度の募集・選考・オリエンテーションを経て、8月に出国、翌年6月帰国のスケージュールになります。

また、受入学生も8月に来日、翌年の7月の帰国のスケジュールで受入を行っております。

また、地区内クラブ例会や地域のイベント等に参加・協力をさせて頂き、国際交流・国際理解の一端を担います。

当委員会では、国際ロータリー日本青少年交換多地区合同機構(RIJYEM)より、危機管理等の研修を受け、変わり行く時代の変化に適応しながら、交換留学生の安全を確保に努めます。

委員会は毎月開催されますが、活動を通じ、委員会の結束を強く持ち、成長して行く交換留学生を見守って一年間活動して参ります。

活動計画

主な年間活動計画は、次ページの「2020−2021年度年間行事予定」に記載します。

年間を通じて、委員会活動の中心は派遣・受入学生のサポート、ホストクラブ・ホストファミリー・受入学校等のサポートとなります。

・派遣学生の主な活動
①2020−21派遣学生出発--サポートシステム「YESS」(交換学生とロータリアンの手助けをすることを目的としたシステム)を活用し、フォローをして参ります。
②2021−22派遣学生の募集選考会を行い、出発までの派遣学生へのオリエンテーションを行って参ります。

・受入学生の主な行事
①8月下旬に、受入学生へのオリエンテーションを行い、同時にホストクラブ・ホストファミリー・受入学校への説明会も実施します。
②受入学生滞在期間中には、福岡地区・長崎地区・熊本・大分地区との共同交流事業として年間3回行われる文化教育ツアーへの参加や受入学生のサポートを行って参ります。

2020−21年度
RI 第2730地区 青少年交換委員会・年間行事(予定)

2020年3月現在

月	月	行事予定	開催予定地	ホスト	
2020年					
7月		2021-22派遣学生募集		委員会	
8月		2020-21派遣学生出発		〃	
	22日	受入学生到着			
	23日	第1回受入学生オリエンテーション	かごしま空港ホテル(霧島市)	委員会	◎
	20日	受入学生・派遣学生帰国合同報告会	〃	〃	◎☆
10月		派遣学生募集説明会	地区事務所(都城)	委員会	
	10日				
11月	14〜5日	2021-22派遣学生選考会	地区事務所(都城)	委員会	
		2730 地区大会	鹿屋体育大学(鹿屋市)		◎
12月		派遣学生決定・発表		委員会	
		第1回派遣学生オリエンテーション		〃	
2021年					
1月		第2回派遣学生オリエンテーション		〃	
2月		第3回派遣学生オリエンテーション		〃	
3月		第4回派遣学生オリエンテーション		〃	
4月		第5回派遣学生オリエンテーション		〃	
5月		第6回派遣学生オリエンテーション		〃	
		九州マルチ地区ジャパンツアー	全国青少年交換会議		◎
6月		受入学生帰国報告会・派遣学生壮行会		委員会	◎☆

【下記日程未定】
*第2回受入学生オリエンテーション(九州マルチ地区長崎ツアー)
*第3回受入学生オリエンテーション(九州マルチ地区鹿児島ツアー)

注)予定は変更となる場合もあります。
　参加行事についての連絡は詳細が分かり次第、ホストクラブを通じてお知らせ致します。
☆…ガバナー・Gエレクト・奉仕部門長等のご来賓にご参加案内を依頼予定です。
◎…受入学生出席

ライラ委員会

委員長　**鈴木　俊二**（加治木RC）
副委員長　廣田　みき（ジャパンカレントEクラブ）
委　員　藤原荘一郎（延岡中央RC）　前田　嘉郎（霧島RC）
揚野慎太郎（枕崎RC）　中山　昌人（南九州大崎RC）
居川　亮（鹿児島東南RC）　對喜　学（奄美中央RC）
山田　早穂（鹿児島東南RAC）

基本方針

地区RYLA委員会の委員長を拝命いたしました加治木ロータリークラブの鈴木俊二と申します。この1年間どうぞよろしくお願いいたします。

「ロータリー青少年指導者養成プログラム（RYLA）」は一般の地域の方やインターアクター、ローターアクター、青少年交換奨学生、財団奨学生、米山奨学生、ロータリー学友の方などが参加することで、リーダーシップのスキルを高めるだけでなく一般の参加者に対して、ロータリーの良さを伝え、地域社会でロータリーの輪を広げるきっかけを作ります。RYLAは地域での公共イメージを向上させ、また会員の増強にもつながる活動でもあるのです。

一昨年度の川原年度より地区内5か所で開始していましたRYLAを、延岡中央RCをホストにまた薩摩川内RCを中心とした北部グループでの実行委員会をホストに2か所で開催しました。そして喜島年度では台北RI第3482地区との姉妹盟約を機に当地区より6名がRI第3482地区のRYLAに参加し、大変大きな成果を上げることが出来ました。今後は隔年ごとに相互に行き来することになりました。本年度は台湾より参加者を迎え、当地区の2か所でRYLAを実施します。

活動計画

1、鹿児島地区は鹿児島東南RCをホストに宮崎地区は西都RCをホストにRYLAを実施します。
　カウンセラー制を実施しますのでホストクラブより参加をお願いいたします。
　台湾からの参加者は通訳の関係上どちらかのRYLAだけに参加してもらう予定です。
2、内容は1昨年と同様に元日本ハムファイターズコーチ白井一幸氏を軸に進めています。
3、参加者は各会場とも上限30名とし、地域で頑張っているローターアクトやロータリーに入ってもらいたい方やロータリーファミリーのインターアクト、ローターアクト、青少年交換奨学生、米山奨学生、ロータリー学友生も参加していただきたいと考えています。
　各クラブの会長・RYLA委員長等は推薦をお願いいたします。（会員増強につながります）
4、ライラリアン（RYLA卒業生）の設立を進めます。
5、長崎で行われるJAPAN RYLAに当地区より参加者を派遣します。
6、次年度以降の予定は隔年ごとになりますが以下のようにグループ輪番の予定です。
　○宮崎地区　「北部G→中部G→西部G→南部G→北部G→中部G→西部G」
　○鹿児島地区「北部G→市内G→東部G→中部G→奄美G→西部G→北部G→東部G→市内G」

クラブ管理運営部門

部門長	**古木　圭介**（鹿児島西RC）
副部門長	中熊　良定（出水RC）
委　員	津野田兼吾（延岡中央RC）
	柏田　直俊（日向RC）

基本方針

地区内の67クラブが国際ロータリー理念及び第2730地区の目指す方針を理解し、「クラブ戦略計画」の実行が可能になるよう支援していきます。

充実したクラブ運営が、会員の満足につながるよう、他の部門と連携をとり分かりやすく、またバランスのとれ、継続可能なクラブ運営を支えていきます。

活動計画

地区の「奉仕プロジェクト部門」、「会員増強部門」との連携で、課題の共有をする。

クラブ戦略計画のための資料を提供する。

クラブリーダー研修の実施に積極的に取り組む。

クラブ管理運営委員会（会長・幹事・会計・SAA・親睦・出席・プログラム）

委員長	**中熊　良定**（出水RC）
副委員長	上田　　普（西都RC）
委　員	平松　　寛（宮崎中央RC）
	上村　裕治（志布志RC）
	久保　利男（奄美RC）

基本方針

各クラブが、会長・幹事を中心として一年間新たな目標に向かって、躍進されますよう期待しています。

RI会長テーマ「ロータリーは機会の扉を開く」の推進が地区として最大の目標であります。

風呂井敬年度地区スローガンとして「不易流行・ロータリーの基本を堅持し変化に適応するクラブを」とされています。

実行する地区目標として18項目を設定されていますので、少くとも各クラブで詳細に検討されて、数項目を実践目標として、一年間の取組みをされる様、希望します。

活動計画

1. 地区目標、18項目のテーマで自クラブで実践出来る、又はやってみようと考えている項目を次年度スタート前の理事会で設定されて、地区に報告をして下さい。
2. クラブ研修は各クラブの将来に大きな影響を与えますので、RLI方式を取り入れて、数回は実施して下さい。
3. 各クラブ運営について、成功した事例、又は会員に理解してもらえない事例等、ありましたら連絡をして下さい。地区運営会議等で発表又は協議します。

クラブが主体の考えのもと

クラブ運営について全面的にアドバイスしますので、各クラブの御活躍を期待しています。

クラブ戦略計画推進委員会

委員長　**津野田兼吾**（延岡中央RC）
副委員長　藤本　範行（高鍋RC）
委　員　片地　昭次（宮崎北RC）
二井　義尚（かのや東RC）
山田　拓也（鹿児島西RC）

基本方針

目的地にたどり着く為に地図が必要となるようにクラブや地区が目標とビジョンの達成に向けて行動するには、戦略計画が必要となります。

ロータリーで実践した調査によると戦略計画を立て、それを実行しているロータリークラブでは、そうしていないクラブに比べてより活発であり、会員の満足度も高いことが分かっています。

活動計画

第1段階：現状分析、クラブの現状はどうか?
・取り組むべき戦略的課題を特定する。
・クラブの長所と短所を把握する。
・会員のニーズを調べる。
・地域社会にある機会と課題を特定する。
第2段階：ビジョンの作成、どのようなクラブにしたいのか?
・クラブが実践したい特徴を5~7つ挙げる。
・ビジョン声明を作る。
第3段階：計画の作成、どのようにビジョンを実現できるのか?
・戦略的優先事項を定める。
・年次目標を立てる。
・活動項目、実施期日、必要なリソースを挙げる。
第４段階：進捗の確認、目標への進み具合はどうか?
・年次目標に向けた進捗を確認する。
・目標を達成できなかった場合その理由を特定する。
・行動計画を見直し調整する。

クラブで取り組みたい重要な問題はなんですか?

戦略的課題とは戦略的計画の立案を促すものであり、具体的な解決策や決定を必要とするものです。戦略計画においてどのような課題に取り組みたいのか考えましょう。

クラブリーダー養成研修委員会

委員長	**柏田　直俊**（日向RC）
副委員長	黒木　克大（志布志みなとRC）
委　員	佐世　雅俊（えびのRC）
	鮎川　和弘（加世田RC）
	瀬川　英憲（鹿児島城西RC）

基本方針

めまぐるしく変わる世界に対応してロータリーはこの数年大きな変革を経験しています。

DLP、CLP に始まり RI 戦略計画、例会形式の多様性、会員の多様性、RAC の RI 加盟、これらをまとめるものとして新ビジョン表明、RI 戦略計画の行動計画などですが、ロータリアンはこの変化に対応しながらも中核的価値観に沿った活動をしていかなければなりません。こういう情況を総括して、風呂井ガバナーは「不易流行・ロータリーの基本を堅持し変化に適応するクラブを」という今年度の地区テーマを宣言されているのだと思います。

当委員会は、このテーマを受けて地区内各クラブが基本を押さえながら「強いクラブ」、「元気なクラブ」、「変化に対応する柔軟なクラブ」を具体的に構築するために、クラブ研修リーダーをサポートしていきたいと考えております。そのために，次のような活動計画を立てます。

活動計画

1. 活動計画の内容については、年度開始までに地区研修リーダーの安満良明 PG と緊密に打合せして決定していくが、全体スケジュールとしては、下記の予定で進めます。

①上期、下期にクラブ研修リーダーを対象としたセミナー研修会をそれぞれ各一回実施する。

②セミナー研修会を充実したものとするために、安満 PG 及び当委員会のメンバーでの委員会打合せを行い、委員会内部での十分なテーマ掘り下げと情報共有を図る。セミナー研修会にあわせて、上期、下期それぞれ二回ほど実施する。

2. また、クラブの要望に応じて、地区研修委員会とも相談しクラブでの研修に必要な講師の派遣、資料等のリソースの提供をサポートする。

ロータリー財団部門

部門長　PG 押川　弘巳（宮崎北RC）
副部門長　有村　茂樹（鹿児島東RC）
委　員　藤堂　孝一（佐土原RC）
谷口　　学（鹿児島RC）
中村　　聡（鹿児島SWRC）
南　　　徹（鹿児島西RC）
阿多　優二（出水RC）

基本方針

財団のプロジェクトは多岐にわたり広範な事業を展開しているが、我が地区はその中でもグローバル補助金を利用した事業申請が毎年2～3件しかなく、他地区に比べ劣っている状況である。

この様な状況を打開すべく、今年度は、幾多のプロジェクトの中でも特にグローバル補助金の利用方にポイントを当て各クラブ会長に再度御認識していただき、地区内全クラブが、何時如何なる時でも簡便に申請出来るように勉強のプログラムを考えたい。

活動計画

① 財団の6大重点分野を徹底的にその意味と内容を勉強し直し何時でも申請出来る様にする。
② ポリオの啓蒙と寄付を徹底する。
③ G－補佐と共に寄付金ゼロクラブをゼロにするための運動を行う。
④ 研修委員会と共同で財団セミナーを開催する。

財団資金推進委員会

委員長　　**藤堂　孝一**（佐土原RC）
副委員長　入佐　光二（鹿児島東RC）
委　員　　マイケル インディゴ（宮崎西RC）
　　　　　重信千代乃（奄美中央RC）

基本方針

年次寄付、恒久基金の趣旨をよく理解していただき、ロータリークラブを通して地区の奉仕活動や人道的活動を支援する。
（2020−2021年度）

目　標

寄付金0クラブの解消
年次寄付一人150ドルを
ベネファクター　各クラブ2名以上達成
ポール・ハリス・フェロー　各クラブ2名以上達成
ポール・ハリス・ソサエティ　地区内3名以上達成

方　策

・寄付の意義を高める啓発活動推進
・自クラブの寄付累計額、自己の寄付累計額の達成
・地区補助金の有効利用と活用の推進
・個人の認証
　財団友の会会員
　ポール・ハリス・フェロー
　マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
　ポール・ハリス・ソサエティ
　大口寄付者
　アーチC・クランフ・ソサエティ
　ベネファクター
　遺贈友の会
・クラブの認証
　「毎年あなたも100ドルを」クラブ

100%ポール・ハリス・フェロークラブ
100%「財団の友」会員のクラブ
年次基金への一人当たりの寄付額上位3クラブ

年次寄付と恒久基金の地区目標に向けて、ロータリアンの皆様の寄付をお願いします。さらに、ポール・ハリス・ソサエティ、大口寄付、遺贈友の会などの寄付への登録のお願いも行います

ロータリー財団への寄付について、主なものは次の通り3通りの方法です。

1. 年次寄付とは

個人で1,000ドル以上に寄付者をポール・ハリス・フェローといいます。ご寄付いただいた金額は累計され、2,000ドルを超えるとマルチプル・ポール・ハリス・フェローとなり、1,000ドル増える毎に認証が行われます。この年次寄付は、3年間利殖に回させていただき、その運用益は一般管理費や運営費などに充てられます。このシステムを「シェア・システム」と呼びます。

皆様から頂いた貴重な寄付は3年後にWF(国際財団活動資金)とDDF(地区財団活動資金)に50:50の割合でシェアされ、全額プロジェクトに使われます。

2. 恒久基金とは

1,000ドル以上の寄付者をベネファクターといいます。この恒久基金への寄付をしていただいた場合、いただいた寄付金は基金として積み上げ、その元金の果てをつけずにその運用益のみを使用していただきます。運用益は一般管理費に使われるほか、WFとDDFに配分されて地区で使うプロジェクトにも使用されます。

3. 使途指定寄付とは

ポリオ・プラスへの寄付やグローバル補助金を利用したプロジェクトを行う際のクラブ又は個人からの拠出金等が該当します。つまり、使い方を指定した寄付です。

財団認証ポイントについて

財団認証ポイントとは、年次プログラム基金又はポリオ・プラスを通じてロータリー財団に寄付をした方、あるいは財団補助金の提唱者負担金として寄付をした方へ授与されるものです。これらの寄付をした方には1ドルにつき1ポイントが与えられます。恒久基金への寄付は財団認証ポイントの対象にはなりませんのでご留意ください。寄付者は、自分のポイントを使って自分以外の人をポール・ハリス・フェロー(又はマルチプル・ポール・ハリス・フェロー)にすることができます。

補助金委員会

委員長　谷口　学（鹿児島RC）
副委員長　井岡　松司（鹿児島SWRC）
委　員　坂下　元信（都城中央RC）
久木山元成（きもつきRC）

基本方針

この委員会は、ロータリー財団補助金の実施とロータリー平和センタープログラムへの参加の管理を担当します。

・地区補助金ならびにグローバル補助金の授与と受諾の条件に従います。
　簡単に申し上げますと、各クラブから申請のあった地区補助金ならびにグローバル補助金の申請がロータリー財団の条件に合致した活動に対して補助金を承認します。

・ロータリー平和フェロー候補となる人を見つけ、選考を行います。

活動計画

◎グローバル補助金（CG）の活用

会員の皆様からの寄付は年次基金として3年間投資され3年後、寄付の50%が国際財団活動資金（WF）に、残り50%が地区財団活動資金（DDF）となります。

地区財団活動資金（DDF）は地区補助金（DG）とグローバル補助金（GG）に分けられ、地区で管理されております。

地区補助金（DG）を申請するクラブは多いですが、グローバル補助金（GG）を申請するクラブが少なく、是非、グローバル補助金（GG）を活用した取り組みを実施していただきたいと思います。

〈グローバル補助金（GG）の条件〉

6つの重点分野に該当した取り組み

① 平和の推進
② 疾病の予防
③ 安全な水の提供
④ 母子の健康
⑤ 教育の支援
⑥ 地域経済の発展

国際間の取り組み

当地区のクラブは国際パートナー（支援者）となりますので、相手国のクラブ（提唱者）とのパートナーシップが必要です。

ポリオプラス・ロータリーカード委員会

委員長　**中村　　聡**（鹿児島SWRC）
副委員長　大田　寛子（宮崎南RC）
委　員　松尾　洋志（宮崎西RC）
　　　　大石　博資（鹿屋西RC）

基本方針

①ポリオプラス委員会

「ポリオ根絶のためにラストスパートを!」

地区ポリオプラス寄付金目標（財団　使途指定寄付）会員一人あたり　30ドル

ポリオは、すでに撲滅したとか、ポリオプラスへの寄付は年次寄付の中に含まれていると思われている方もいらっしゃいますが、そのようなことはありません

ポリオプラス委員会は、ポリオの現状に関する情報をクラブにお届けするとともにポリオに関しての使途指定寄付をお願いします。

②ロータリーカード委員会

「各クラブに1枚クラブカードを持ちましょう!」

ダイナースカード（クレジットカード）になります。各クラブカードは、年会費無料カード利用の0．3%がポリオ撲滅活動へ

活動計画

①ポリオプラスについて

PETS・地区協議会・財団のセミナー等ではもちろんですが、ご要望があれば各クラブの例会にてポリオに関しての勉強会等（わかりやすい資料を用いとにかく分かり易くしていきます）を実施させていただき、また各クラブが寄付を集めていただくヒントや各クラブの主催されるポリオ撲滅チャリティーイベント等の協力をさせていただきます。

現在ポリオ根絶運動は、世界的な運動へ発展しています。WHOやUNICEFやアメリカ疾病センターやビル&ゲイツ財団そして各国政府をロータリーが取りまとめて活動しています。

②ロータリーカードについて

各クラブカードを作成していただくと、RIへの人頭分担金もカード支払いOK

地区のガバナーカードは作成済み　ガバナーカードは全国4位の実績

PETSで申し込み書配布（各クラブ会長）し、地区協議会には全クラブがカードを持ち少しでもポリオ根絶運動へ意識を高め活動支援していただけるようお願いします。

全クラブ作成が目標です。

ロータリー平和フェローシップ委員会

委員長　**南　　　徹**（鹿児島西RC）
副委員長　明石　　良（宮崎アカデミーRC）
委　員　西岡　　稔（宮崎北RC）
　　　　川野潤一郎（姶良RC）

基本方針

フェローとして応募できる人材、及びフェローを推薦できる教育機関との連携協力による人材発掘に努め、世界各地のRIが推薦する名門大学にて修士号取得及び専門能力修了を目指すことの意義を推進できるように研鑽を積むことを基本方針としたいと思います。

活動計画

委員会で会合を持ち、フェローシップ委員会の意義や役割を認識すること。

フェローをいかに公募発掘するのか、大学や専門学校等の教育機関との連携をいかに計るかを検討する。

人材が発掘できない場合は、その理由と原因を検証する。

財団資金管理委員会

委員長　**阿多　優二**（出水RC）
副委員長　武井美智子（鹿児島南RC）
委　員　原崎　辰男（串良RC）
　　　　安田　宏子（鹿児島北RC）

基本方針

財団資金管理委員会は、地区財団部門長、補助金委員会と緊密な連携を図り、補助金の管理を徹底させ、適切な補助管理についてロータリアンに情報や研修を提供します。

活動計画

・財務管理計画の作成を始め、「地区の覚書（MOU）」の実施を援助します。
・補助金管理セミナーの実施を支援するなど、クラブの参加資格認定を援助します。
・補助金委員会と協力して、資金管理を徹底させます。
・すべての補助金に関して、モニタリングと評価を行います。
・補助金関連活動での資金の悪用や不正を解決する手順を定め、資金の悪用や不正があればロータリー財団に報告し、地元で初期調査を実施します。
・年次財務評価が適切に行われることを確認します。

米山記念奨学部門

部門長　**長嶺　貴臣**（宮崎北RC）
副部門長　池ノ上　克（宮崎RC）
委　員　濵田　紘一（鹿児島城西RC）
　　　　柳川　昌理（宮崎北RC）

基本方針

1952年に東京ロータリークラブの米山基金構想から始まり、1954年には第1号奨学生をタイから迎え55年には全国のロータリークラブに働きかけがあり、全国ロータリークラブが参加しました。また1967年7月には文部省の許可を得て、財団法人ロータリー米山記念奨学会が設立されました。今年で財団設立53年になります。

米山記念奨学会は奨学会として全国一の奨学会となっております。現在寄付金の減少により奨学生の採用が減っております。当地区では一人あたりの寄付額が、昨年度6月末現在では34地区中28位でした。このことも踏まえガバナー方針にあります一人あたりの寄付額、普通寄付5,000円、特別寄付10,000円の合計15,000円を、全クラブ達成をお願いしたいと思います。また米山記念奨学会のご理解も戴きたいと思います。卓話の必要があればお申し付けください、近隣の委員を派遣させていただきます。

また、昨年度は奄美地区を対象に米山セミナーを開催させていただきましたが、本年度は鹿児島県北部・中部グループを対象に開催したいと思います。どうぞご協力よろしくお願い申し上げます。

活動計画

2020年

7月初旬	指定校選定と学校説明会
9月初旬	次年度奨学生採用枠決定
9月中旬 ～10月(予定)	米山セミナー（予定・鹿児島県北部グループ）
10月下旬	指定校からの学内選考後の申請
12月初旬	面接官委嘱と書類選考

2021年

1月16日(土)	地区米山奨学生選考会(メインホテルナカムラ)
2月初旬	2021年度奨学生決定と学校への通知
2月13日(土)(予定)	2020年度奨学生終了式(場所未定)
4月17日(土)(予定)	2021年度奨学生とカウンセラーのオリエンテーション(場所未定)

米山寄付推進委員会

委員長	**濵田　紘一**（鹿児島城西RC）
副委員長	池ノ上　克（宮崎RC）
委　員	小屋　健二（串良RC）
	谷川　正秀（かのや東RC）

基本方針

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会は、日本のロータリーが協同で運営する国際奨学事業としては民間最大の奨学団体です。当奨学会では、日本で学ぶ外国人留学生に奨学金を支給し、将来、日本と世界とを結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成することです。これは、ロータリーの目指す“平和と国際理解の推進”そのものです。

米山記念奨学事業は、全ロータリアンから毎年いただく寄付で支えられています。2018~2019年度の寄付金収入は14億1157万円です。一方、奨学金・補助費・事業部門人件費などの事業費は14億9079万円です。来年4月からの奨学生採用枠はさらに9人増の825人とし、今後も寄付状況に応じて採用数を増やす予定です。なお、事務費や会合費などの管理費支出は、すべて資産の利子収入で賄っています。

活動計画

全RCから定期的に送金いただく「普通寄付金」と、個人・法人・クラブから任意でいただく「特別寄付金」の二種類があります。当事業は皆様のご寄付だけで成り立っていますので継続的なご支援をお願いします。

財政寄付：基本財産と特別積立財産合計75億もあるのはなぜ?

監督機関であった文部科学省の指導を受け、財団法人を構成する基本財産として50億円を積み立ててきました。また、特別積立財産は不測の事態に備え、奨学金を保証するために必要なものです。いただいた寄付金を全額奨学事業に使うために、こうした資産の運営益で管理費支出（5,029万円）を賄っています。又、寄付に対する各種表彰制度や、税制上の優遇措置もあります。

地区目標

・出席、親睦、寄付が原点
・各RC周年事業として、クラブより米山への寄付
（例　30周年事業として30万円）
・年度目標
普通寄付　　1人年間　5,000円（義務）
特別寄付　　〃　　10,000円以上（任意）
各クラブごとで寄付献金袋の有効活用
1人1日10円で　10円×365日×地区全体2,400人
=8,760,000（年額）

米山奨学生選考委員会

委員長	**長嶺　貴臣**（宮崎北RC）
副委員長	岩切　　昇（西都RC）
委　員	志村　正子（鹿屋西RC）
	池田　京子（鹿児島南RC）

米山記念奨学会の構想が始まり翌年の募金開始から今年で67年となります。また財団法人ロータリー米山記念奨学会になって53年になります。その間、昨年の7月現在で世界129カ国21,023人の方を支援して参りました。当地区としましては1969年から昨年まで29カ国292名の方をお世話して参りました。

米山奨学事業は、1952年の東京ロータリークラブが日本ロータリーを創設された米山梅吉翁の功績を永久に忍ぶことが出来るようにと言うことで「米山基金」として構想がスタートし1953年から募金活動が開始されました。

対象は海外からの優秀な留学生と言うことで最初はアジア地域からの留学生を対象としていました。これは当時の東京ロータリークラブの理事増田房二さんの講演によりますと「わが国が進むべき道は平和を追求することであり、特にアジア諸国に与えた大きな損害と迷惑を鑑みれば、アジア諸国にこの平和日本を理解してもらうためには一人でも多くの留学生を日本に迎え入れて、それを肌で感じてもらうしかない。」と言うことで解るように平和の理解と推進それと日本との架け橋になってもらうためにと言うことでスタートしました。

当地区の奨学生選考会は、ガバナー・ガバナーエレクト・地区代表の米山奨学会理事・評議委員それに地区の米山奨学委員会委員の10名から12名で1月の初旬に開催しております。

12月中旬に選考会出席者各位に奨学生の申請書（申込書・経歴書・指導教員からの推薦状・研究計画書・小論文・成績証明書）が宅配で送付され書類審査をしていただきます。過去私が見た中で多かったのは32名の書類でした。一人9ページから10ページでしたので240ページ以上もの書類に2･3回目を通して1･2週間を掛けて書類審査をしておりました。現在では高校時代の成績証明書がなくなりましたので8ページとなっております。

このように書類を審査し、面接をして厳正に評価して奨学生を選考しております。今年度も何名になるかは解りませんが指定校の選定、選考会によりまして優秀な学生を選んで参ります。また、お世話クラブにつきましては結果発表後の1月末から2月にお願いすることになりますのでよろしくご協力をお願い申し上げます。

活動計画につきましては部門長のところで申し上げておりますのでそちらをご覧ください。

米山学友委員会

委員長　**柳川　昌理**（宮崎北RC）
副委員長　重久　真一（国分RC）
委　員　小川ちえみ（鹿児島SWRC）
池田　幸枝（鹿児島RC）

基本方針

学友(奨学期間を終了した元米山奨学生)と現役奨学生によって組織されている会です。
また、世代と国境を越えた交流の場となっております。
国際ロータリー米山奨学会2730地区学友会を支援して、国際理解と相互理解を深め、世界平和へ寄与しロータリー米山奨学会の事業を推進してまいります。

活動計画

学友会は日本では33団体、海外に9ヵ国（韓国・台湾・中国・タイ・ネパール・モンゴル・スリランカ・マレーシア・ミャンマー）あります。※2019年4月現在
様々な奉仕活動を通じ、ロータリークラブと連携しながら地域貢献活動を行っています。

活動として、学友会の定期的な活動を支援します。学友会への参加を促し交流を含め、学友生と現役奨学生を支援します。ロータリークラブの様々な活動への参加を促します。
出来得る限り、他地区の学友会との交流を図ってまいります。

◎年間スケジュール◎

・偶数月の第2日曜日例会（場所は不確定）
・地区大会へ参加の呼びかけ
・他地区の学友会との交流・四季を通じたイベントへの企画・参加呼びかけ

一年間どうぞ、宜しくお願い致します。

2730地区奨学生一覧(2020学年度)

公益社団法人ロータリー米山記念奨学会

	奨学生No.	氏　名	氏名(カナ)	性別	国　籍	学校名称	専　攻	課程	世話クラブ
1	RY038818	エンフザヤー, ソロンゴ	エンフザヤー, ソロンゴ	女	モンゴル	宮崎大学	資源環境科学	博士	宮崎
2	RY038821	趙　航	チョウ　コウ	男	中国	宮崎大学	電子物理工学	学部	宮崎北
3	RY038822	庄　中原	ショウ　チョウヨン	男	中国	宮崎大学	工学専攻	修士	西都
4	RY038824	ヤサ パラグナ　ウマル	ヤサ　パラグナ　ウマル	男	インドネシア	宮崎大学	資源環境科学	博士	宮崎東
5	RY038833	叢　瑋	ソウ　イ	男	中国	鹿屋体育大学	スポーツ総合課程	学部	鹿屋西
6	RY038841	曽　伝濤	ソウ　デントウ	女	中国	鹿児島大学	応用生命科学	博士	鹿児島東
7	RY038847	ダール, アシス	ダール, アシス	男	バングラデシュ	鹿児島大学	歯科機能形態学	歯博	鹿児島 サザンウインド
8	RY038848	チュティニュン	チュ　ティ　ニュン	女	ベトナム	鹿児島大学	農業生産	学部	鹿児島東南
9	RY038850	ボハラ, マニシャ	ボハラ, マニシャ	女	ネパール	鹿児島大学	放射線診断治療学	医博	鹿児島北
10	RY040709	サブリアンシャリズキカ アクバル	サブリアンシャリズキカ アクバル	男	インドネシア	宮崎大学	物質情報工学	博士	高鍋
11	RY040711	キンダゴンウェン	キンダゴンウェン	女	ミャンマー	宮崎大学	物質・情報工学	博士	宮崎北
12	RY040715	ムサキール イルファン ビン モハメッド ズルキフリ	ムサキール イルファン ビン モハメッド ズルキフリ	男	マレーシア	宮崎大学	機械設計システム工学	学部	佐土原
13	RY040719	金　成禧	キム　ソンヒ	女	韓国	九州保健福祉大学	薬学	薬学	延岡中央
14	RY040722	陳　珂雨	チン　カウ	女	中国	鹿児島大学	応用生命科学	博士	鹿児島中央
15	RY040724	グェンタインフオン	グェン　タイン　フオン	女	ベトナム	鹿児島大学	農業生産科学	学部	鹿児島城西

2730 地区

寄付金納入明細表(2016−17年度①)

(公財) ロータリー米山記念奨学会
2017年6月30日 現在(単位:円)

クラブ名	受付状況	今年度普通単価	今期普通寄付	今期特別寄付	今期合計	会員数(1月1日)	個人寄付平均	普通寄付金	特別寄付金	合計
出水	(年)	5,000	215,000	268,334	483,334	43	11,240	6,685,950	7,136,090	13,822,040
阿久根	(年)	5,000	247,500	255,000	502,500	48	10,468	6,720,000	6,580,410	13,300,410
川内	(年)	3,000	172,500	249,883	422,383	58	7,282	7,920,200	4,432,153	12,352,353
薩摩川内	(年)	2,000	48,000	15,000	63,000	24	2,625	3,445,500	1,190,501	4,636,001
串木野	(年)	2,000	16,000	0	16,000	8	2,000	1,193,000	532,500	1,725,500
宮之城	(年)	3,000	31,500	0	31,500	10	3,150	1,630,250	140,500	1,770,750
大口	(年)	2,000	48,000	0	48,000	24	2,000	2,885,142	441,620	3,326,762
伊集院	(年)	3,000	81,000	10,000	91,000	28	3,250	3,697,250	2,037,330	5,734,580
加世田	(年)	5,000	65,000	0	65,000	11	5,909	1,183,750	61,000	1,244,750
枕崎	(年)	5,000	140,000	0	140,000	27	5,185	2,316,500	1,160,000	3,476,500
頴娃	(年)	4,700	112,800	0	112,800	23	4,904	3,845,558	1,149,417	4,994,975
指宿	(年)	1,795	57,454	100,000	157,454	32	4,920	5,708,804	3,102,708	8,811,512
霧島	(年)	7,400	148,000	0	148,000	20	7,400	2,745,500	682,100	3,427,600
国分	(年)	3,000	135,000	135,000	270,000	45	6,000	3,183,250	2,760,000	5,943,250
国分中央	(年)	4,000	112,000	8,092	120,092	29	4,141	2,767,000	469,667	3,236,667
加治木	(年)	4,000	102,000	250,000	352,000	26	13,538	4,810,600	2,790,000	7,600,600
姶良	(年)	2,000	31,000	20,000	51,000	16	3,187	757,000	1,051,962	1,808,962
志布志	(年)	3,000	78,000	0	78,000	23	3,391	2,889,000	1,943,588	4,832,588
志布志みなと	(年)	3,000	120,000	0	120,000	40	3,000	1,509,000	450,000	1,959,000
串良	(年)	3,000	93,000	390,000	483,000	32	15,093	4,239,750	7,779,127	12,018,877
鹿屋	(年)	3,000	148,500	389,316	537,816	52	10,342	5,658,150	6,944,264	12,602,414
鹿屋西	(年)	4,000	234,000	387,518	621,518	59	10,534	5,400,000	10,408,230	15,808,230
かのや東	(年)	3,000	130,500	655,000	785,500	43	18,267	3,310,500	10,129,634	13,440,134
きもつき	(年)	4,000	110,000	168,000	278,000	27	10,296	2,603,500	3,316,000	5,919,500
南九州大崎	(年)	4,000	104,000	0	104,000	26	4,000	1,893,500	570,000	2,463,500
鹿児島	(年)	3,000	195,000	822,536	1,017,536	66	15,417	10,356,450	18,657,938	29,014,388

※個人寄付平均は今期合計を会員数で割った値です

2730 地区

寄付金納入明細表(2016−17年度②)

(公財) ロータリー米山記念奨学会
2017年6月30日 現在(単位:円)

クラブ名	受付状況	今年度普通単価	今期普通寄付	今期特別寄付	今期合計	会員数(1月1日)	個人寄付平均	普通寄付金	特別寄付金	合計
鹿児島南	(年)	5, 000	190, 000	328, 200	518, 200	39	13, 287	8, 128, 650	15, 432, 984	23, 561, 634
鹿児島西	(年)	7, 000	511, 000	352, 010	863, 010	75	11, 506	12, 280, 850	11, 100, 617	23, 381, 467
鹿児島東南	(年)	3, 000	75, 000	100, 000	175, 000	25	7, 000	5, 809, 500	3, 030, 000	8, 839, 500
鹿児島中央	(年)	4, 000	228, 000	646, 384	874, 384	59	14, 820	7, 621, 200	14, 994, 049	22, 615, 249
鹿児島西南	(年)	1, 000	11, 000	200, 000	211, 000	11	19, 181	3, 348, 500	6, 704, 000	10, 052, 500
鹿児島城西	(年)	3, 000	114, 000	940, 200	1, 054, 200	37	28, 491	3, 896, 000	12, 494, 100	16, 390, 100
鹿児島東	(年)	10, 151	252, 000	100, 000	352, 000	24	14, 666	4, 488, 600	3, 002, 500	7, 491, 100
鹿児島北	(年)	5, 000	180, 000	200, 000	380, 000	38	10, 000	3, 166, 500	6, 949, 452	10, 115, 952
鹿児島サザンウインド	(年)	1, 000	48, 500	528, 000	576, 500	49	11, 765	1, 986, 000	5, 004, 500	6, 990, 500
奄美	(年)	4, 000	212, 000	1, 337, 578	1, 549, 578	54	28, 695	6, 285, 600	9, 945, 959	16, 231, 559
奄美中央	(年)	2, 000	110, 000	160, 000	270, 000	57	4, 736	6, 332, 500	6, 048, 000	12, 380, 500
奄美瀬戸内	(年)	3, 000	60, 000	0	60, 000	19	3, 157	1, 200, 700	262, 400	1, 463, 100
延岡	(年)	5, 000	377, 500	1, 095, 000	1, 472, 500	78	18, 878	9, 658, 750	27, 159, 290	36, 818, 040
延岡東	(年)	5, 000	307, 500	1, 588, 000	1, 895, 500	62	30, 572	8, 511, 200	24, 646, 807	33, 158, 007
延岡中央	(年)	2, 000	100, 000	601, 021	701, 021	50	14, 020	5, 035, 000	14, 550, 394	19, 585, 394
日向	(年)	2, 000	37, 000	119, 500	156, 500	20	7, 825	4, 284, 450	6, 171, 039	10, 455, 489
日向東	(年)	1, 000	29, 500	177, 000	206, 500	30	6, 883	1, 978, 500	6, 170, 420	8, 148, 920
日向中央	(年)	1, 000	13, 000	122, 840	135, 840	13	10, 449	884, 000	1, 819, 840	2, 703, 840
門川	(年)	3, 000	21, 000	0	21, 000	7	3, 000	443, 500	55, 000	498, 500
宮崎	(年)	10, 000	985, 000	266, 568	1, 251, 568	100	12, 515	23, 314, 000	9, 137, 988	32, 451, 988
宮崎西	(年)	10, 000	1, 000, 000	734, 000	1, 734, 000	102	17, 000	14, 364, 250	14, 653, 815	29, 018, 065
宮崎北	(年)	8, 000	600, 000	350, 000	950, 000	76	12, 500	9, 592, 500	12, 284, 217	21, 876, 717
宮崎南	(年)	5, 000	197, 500	100, 000	297, 500	40	7, 437	5, 502, 000	2, 020, 000	7, 522, 000
宮崎中央	(年)	5, 000	272, 500	287, 000	559, 500	54	10, 361	6, 046, 000	6, 180, 503	12, 226, 503
宮崎東	(年)	2, 000	64, 000	450, 000	514, 000	33	15, 575	1, 592, 000	1, 650, 000	3, 242, 000
西都	(年)	3, 000	64, 500	85, 000	149, 500	22	6, 795	2, 338, 824	5, 726, 376	8, 065, 200

※個人寄付平均は今期合計を会員数で割った値です

2730 地区

寄付金納入明細表(2016−17年度③)

(公財) ロータリー米山記念奨学会
2017年6月30日 現在(単位:円)

クラブ名	受付状況	今年度普通単価	今期普通寄付	今期特別寄付	今期合計	会員数(1月1日)	個人寄付平均	普通寄付金	特別寄付金	合計
佐土原	(年)	3, 000	75, 000	0	75, 000	25	3, 000	1, 548, 900	2, 950, 800	4, 499, 700
高鍋	(年)	3, 000	132, 000	372, 724	504, 724	45	11, 216	4, 410, 750	7, 702, 124	12, 112, 874
えびの	(年)	3, 000	66, 000	0	66, 000	21	3, 142	2, 911, 400	598, 914	3, 510, 314
小林	(年)	3, 000	103, 500	200, 000	303, 500	35	8, 671	6, 075, 665	14, 141, 680	20, 217, 345
小林中央	(年)	3, 000	42, 000	0	42, 000	14	3, 000	2, 089, 150	1, 104, 950	3, 194, 100
都城	(年)	3, 000	142, 500	431, 500	574, 000	48	11, 958	7, 463, 800	14, 019, 591	21, 483, 391
都城北		0	0	480, 000	480, 000	41	11, 707	7, 542, 600	10, 177, 000	17, 719, 600
都城西	(年)	3, 000	133, 500	382, 500	516, 000	46	11, 217	5, 465, 500	7, 756, 900	13, 222, 400
都城中央	(年)	3, 000	94, 500	25, 000	119, 500	31	3, 854	4, 405, 000	5, 675, 650	10, 080, 650
日南	(年)	3, 000	102, 000	0	102, 000	34	3, 000	5, 415, 750	1, 758, 500	7, 174, 250
日南中央	(年)	1, 000	10, 000	71, 000	81, 000	8	10, 125	2, 050, 900	4, 856, 224	6, 907, 124
串間	(年)	2, 000	26, 000	0	26, 000	14	1, 857	1, 296, 000	2, 021, 350	3, 317, 350
2730ジャパンカレントロータリーEクラブ		0	0	55, 000	55, 000	22	2, 500	84, 000	207, 000	291, 000
2730その他		0	0	0	0	0	0	0	478, 500	478, 500
合計			9, 963, 254	17, 009, 704	26, 972, 958	2, 398	11, 248	308, 204, 093	396, 560, 172	704, 764, 265

※個人寄付平均は今期合計を会員数で割った値です

2730地区

寄付金納入明細表（2017−18年度①）

（公財）ロータリー米山記念奨学会
2018年6月30日　現在（単位:円）

クラブ名	受付状況	今年度普通単価	今期普通寄付	今期特別寄付	今期合計	会員数（1月1日）	個人寄付平均	普通寄付金	特別寄付金	合計
出水	(年)	5,000	185,000	157,973	342,973	39	8,794	6,870,950	7,294,063	14,165,013
阿久根	(年)	5,000	242,500	360,000	602,500	48	12,552	6,962,500	6,940,410	13,902,910
川内	(年)	4,000	240,000	149,423	389,423	60	6,490	8,160,200	4,581,576	12,741,776
薩摩川内	(年)	2,000	48,000	15,000	63,000	24	2,625	3,493,500	1,205,501	4,699,001
串木野	(年)	2,000	14,000	0	14,000	7	2,000	1,207,000	532,500	1,739,500
宮之城	(年)	3,000	33,000	0	33,000	11	3,000	1,663,250	140,500	1,803,750
大口	(年)	3,000	72,000	0	72,000	23	3,130	2,957,142	441,620	3,398,762
伊集院	(年)	3,000	81,000	0	81,000	27	3,000	3,778,250	2,037,330	5,815,580
加世田	(年)	5,000	65,000	0	65,000	13	5,000	1,248,750	61,000	1,309,750
枕崎	(年)	4,000	110,000	60,000	170,000	28	6,071	2,426,500	1,220,000	3,646,500
頴娃	(年)	4,500	76,500	0	76,500	19	4,026	3,922,058	1,149,417	5,071,475
指宿	(年)	4,000	130,000	113,435	243,435	32	7,607	5,838,804	3,216,143	9,054,947
霧島	(年)	6,277	113,000	0	113,000	18	6,277	2,858,500	682,100	3,540,600
国分	(年)	3,000	132,000	132,000	264,000	41	6,439	3,315,250	2,892,000	6,207,250
国分中央	(年)	4,000	106,000	18,887	124,887	27	4,625	2,873,000	488,554	3,361,554
加治木	(年)	4,000	94,000	90,000	184,000	24	7,666	4,904,600	2,880,000	7,784,600
始良	(年)	2,000	32,000	20,000	52,000	16	3,250	789,000	1,071,962	1,860,962
志布志	(年)	3,000	63,000	14,035	77,035	20	3,851	2,952,000	1,957,623	4,909,623
志布志みなと	(年)	3,000	123,000	0	123,000	43	2,860	1,632,000	450,000	2,082,000
串良	(年)	3,000	100,500	310,000	410,500	34	12,073	4,340,250	8,089,127	12,429,377
鹿屋	(年)	3,000	154,500	467,521	622,021	52	11,961	5,812,650	7,411,785	13,224,435
鹿屋西	(年)	4,000	228,000	692,124	920,124	57	16,142	5,628,000	11,100,354	16,728,354
かのや東	(年)	3,000	129,000	497,000	626,000	43	14,558	3,439,500	10,626,634	14,066,134
きもつき	(年)	4,000	108,000	300,000	408,000	27	15,111	2,711,500	3,616,000	6,327,500
南九州大崎	(年)	4,000	104,000	0	104,000	26	4,000	1,997,500	570,000	2,567,500
鹿児島	(年)	3,000	201,000	827,536	1,028,536	67	15,351	10,557,450	19,485,474	30,042,924

※個人寄付平均は今期合計を会員数で割った値です

2730 地区

寄付金納入明細表(2017−18年度②)

(公財) ロータリー米山記念奨学会
2018年6月30日 現在(単位:円)

クラブ名	受付状況	今年度普通単価	今期普通寄付	今期特別寄付	今期合計	会員数(1月1日)	個人寄付平均	普通寄付金	特別寄付金	合計
鹿児島南	(年)	5,000	200,000	305,160	505,160	40	12,629	8,328,650	15,738,144	24,066,794
鹿児島西	(年)	7,000	518,000	529,300	1,047,300	76	13,780	12,798,850	11,629,917	24,428,767
鹿児島東南		0	0	0	0	25	0	5,809,500	3,030,000	8,839,500
鹿児島中央	(年)	4,000	218,000	885,738	1,103,738	55	20,067	7,839,200	15,879,787	23,718,987
鹿児島西南	(年)	1,000	11,000	200,000	211,000	11	19,181	3,359,500	6,904,000	10,263,500
鹿児島城西	(年)	3,000	108,000	266,800	374,800	36	10,411	4,004,000	12,760,900	16,764,900
鹿児島東	(年)	6,580	169,400	0	169,400	26	6,515	4,658,000	3,002,500	7,660,500
鹿児島北	(年)	5,000	195,000	200,000	395,000	39	10,128	3,361,500	7,149,452	10,510,952
鹿児島サザンウインド	(年)	1,000	51,500	325,000	376,500	51	7,382	2,037,500	5,329,500	7,367,000
奄美	(年)	4,000	198,000	514,003	712,003	49	14,530	6,483,600	10,459,962	16,943,562
奄美中央	(年)	2,000	108,000	136,000	244,000	55	4,436	6,440,500	6,184,000	12,624,500
奄美瀬戸内	(年)	3,000	54,000	0	54,000	19	2,842	1,254,700	262,400	1,517,100
延岡	(年)	5,000	385,000	660,000	1,045,000	79	13,227	10,043,750	27,819,290	37,863,040
延岡東	(年)	5,000	312,500	1,532,000	1,844,500	62	29,750	8,823,700	26,178,807	35,002,507
延岡中央	(年)	2,000	103,000	725,982	828,982	53	15,641	5,138,000	15,276,376	20,414,376
日向	(年)	2,000	40,000	121,500	161,500	20	8,075	4,324,450	6,292,539	10,616,989
日向東	(年)	1,000	29,500	179,000	208,500	30	6,950	2,008,000	6,349,420	8,357,420
日向中央	(年)	1,000	12,500	70,500	83,000	12	6,916	896,500	1,890,340	2,786,840
門川	(年)	3,000	21,000	0	21,000	7	3,000	464,500	55,000	519,500
宮崎	(年)	10,000	1,015,000	172,312	1,187,312	104	11,416	24,329,000	9,310,300	33,639,300
宮崎西	(年)	10,000	1,030,000	369,000	1,399,000	104	13,451	15,394,250	15,022,815	30,417,065
宮崎北	(年)	8,000	596,000	450,000	1,046,000	77	13,584	10,188,500	12,734,217	22,922,717
宮崎南	(年)	5,000	225,000	190,000	415,000	46	9,021	5,727,000	2,210,000	7,937,000
宮崎中央	(年)	5,000	260,000	219,000	479,000	53	9,037	6,306,000	6,399,503	12,705,503
宮崎東	(年)	2,000	68,000	0	68,000	34	2,000	1,660,000	1,650,000	3,310,000
西都		0	0	90,175	90,175	20	4,508	2,338,824	5,816,551	8,155,375

※個人寄付平均は今期合計を会員数で割った値です

2730地区

寄付金納入明細表（2017−18年度③）

（公財）ロータリー米山記念奨学会
2018年6月30日 現在（単位：円）

クラブ名	受付状況	今年度普通単価	今期普通寄付	今期特別寄付	今期合計	会員数（1月1日）	個人寄付平均	普通寄付金	特別寄付金	合計
佐土原	(年)	1,500	40,500	200,000	240,500	27	8,907	1,589,400	3,150,800	4,740,200
高鍋	(年)	3,000	136,500	352,000	488,500	46	10,619	4,547,250	8,054,124	12,601,374
えびの	(年)	3,000	57,000	0	57,000	18	3,166	2,968,400	598,914	3,567,314
小林	(年)	3,000	88,000	130,000	218,000	32	6,812	6,163,665	14,271,680	20,435,345
小林中央	(年)	5,000	65,000	0	65,000	13	5,000	2,154,150	1,104,950	3,259,100
都城	(年)	3,000	153,000	460,000	613,000	52	11,788	7,616,800	14,479,591	22,096,391
都城北		0	0	456,000	456,000	39	11,692	7,542,600	10,633,000	18,175,600
都城西	(年)	3,000	132,000	406,500	538,500	44	12,238	5,597,500	8,163,400	13,760,900
都城中央	(年)	3,000	93,000	58,272	151,272	31	4,879	4,498,000	5,733,922	10,231,922
日南	(年)	3,000	96,000	0	96,000	33	2,909	5,511,750	1,758,500	7,270,250
日南中央	(年)	1,000	10,000	10,000	20,000	11	1,818	2,060,900	4,866,224	6,927,124
串間	(年)	2,000	26,000	0	26,000	11	2,363	1,322,000	2,021,350	3,343,350
2730ジャパンカレントロータリーEクラブ		0	0	48,000	48,000	23	2,086	84,000	255,000	339,000
2730その他		0	0	0	0	0	0	0	478,500	478,500
合計			9,810,400	14,487,176	24,297,576	2,389	10,170	318,014,493	411,047,348	729,061,841

※個人寄付平均は今期合計を会員数で割った値です

2730地区

寄付金納入明細表(2018−19年度①)

(公財) ロータリー米山記念奨学会
2019年6月30日 現在(単位:円)

クラブ名	受付状況	今年度普通単価	今期普通寄付	今期特別寄付	今期合計	会員数(1月1日)	個人寄付平均	普通寄付金	特別寄付金	合計
出水	(年)	5,000	200,000	256,162	456,162	40	11,404	7,070,950	7,550,225	14,621,175
阿久根	(年)	5,000	240,000	250,000	490,000	50	9,800	7,202,500	7,190,410	14,392,910
川内	(年)	4,000	224,000	150,000	374,000	55	6,800	8,384,200	4,731,576	13,115,776
薩摩川内	(年)	2,000	44,000	15,000	59,000	22	2,681	3,537,500	1,220,501	4,758,001
串木野	(年)	2,000	14,000	0	14,000	7	2,000	1,221,000	532,500	1,753,500
宮之城	(年)	3,000	30,000	0	30,000	10	3,000	1,693,250	140,500	1,833,750
大口	(年)	1,000	25,000	0	25,000	23	1,086	2,982,142	441,620	3,423,762
伊集院	(年)	3,000	84,000	0	84,000	29	2,896	3,862,250	2,037,330	5,899,580
加世田	(年)	5,000	75,000	0	75,000	14	5,357	1,323,750	61,000	1,384,750
枕崎	(年)	4,000	112,000	0	112,000	28	4,000	2,538,500	1,220,000	3,758,500
頴娃	(年)	4,000	68,000	0	68,000	17	4,000	3,990,058	1,149,417	5,139,475
指宿	(年)	4,000	122,000	46,369	168,369	32	5,261	5,960,804	3,262,512	9,223,316
霧島	(年)	6,666	100,000	0	100,000	15	6,666	2,958,500	682,100	3,640,600
国分	(年)	3,000	120,000	120,000	240,000	41	5,853	3,435,250	3,012,000	6,447,250
国分中央	(年)	4,000	108,000	0	108,000	27	4,000	2,981,000	488,554	3,469,554
加治木	(年)	4,000	94,000	40,000	134,000	24	5,583	4,998,600	2,920,000	7,918,600
姶良	(年)	2,000	28,000	20,000	48,000	14	3,428	817,000	1,091,962	1,908,962
志布志	(年)	3,000	57,000	0	57,000	19	3,000	3,009,000	1,957,623	4,966,623
志布志みなと	(年)	3,000	129,000	400,000	529,000	46	11,500	1,761,000	850,000	2,611,000
串良	(年)	3,000	106,500	220,000	326,500	36	9,069	4,446,750	8,309,127	12,755,877
鹿屋	(年)	5,000	265,000	398,497	663,497	53	12,518	6,077,650	7,810,282	13,887,932
鹿屋西	(年)	5,000	282,500	376,436	658,936	56	11,766	5,910,500	11,476,790	17,387,290
かのや東	(年)	3,000	127,500	522,000	649,500	42	15,464	3,567,000	11,148,634	14,715,634
きもつき	(年)	4,000	116,000	0	116,000	29	4,000	2,827,500	3,616,000	6,443,500
南九州大崎	(年)	4,000	106,000	100,000	206,000	27	7,629	2,103,500	670,000	2,773,500
鹿児島	(年)	3,000	195,000	851,608	1,046,608	68	15,391	10,752,450	20,337,082	31,089,532

※個人寄付平均は今期合計を会員数で割った値です

2730地区

寄付金納入明細表(2018−19年度②)

(公財) ロータリー米山記念奨学会
2019年6月30日 現在(単位:円)

クラブ名	受付状況	今年度普通単価	今期普通寄付	今期特別寄付	今期合計	会員数(1月1日)	個人寄付平均	普通寄付金	特別寄付金	合計
鹿児島南	(年)	5,000	205,000	356,512	561,512	41	13,695	8,533,650	16,094,656	24,628,306
鹿児島西	(年)	7,000	528,500	459,050	987,550	76	12,994	13,327,350	12,088,967	25,416,317
鹿児島東南		0	0	400,000	400,000	24	16,666	5,809,500	3,430,000	9,239,500
鹿児島中央	(年)	9,000	484,000	672,469	1,156,469	54	21,416	8,323,200	16,552,256	24,875,456
鹿児島西南	(年)	1,000	11,000	200,000	211,000	11	19,181	3,370,500	7,104,000	10,474,500
鹿児島城西	(年)	3,000	96,000	269,000	365,000	32	11,406	4,100,000	13,029,900	17,129,900
鹿児島東	(年)	6,712	167,800	0	167,800	25	6,712	4,825,800	3,002,500	7,828,300
鹿児島北	(年)	5,000	185,000	300,000	485,000	36	13,472	3,546,500	7,449,452	10,995,952
鹿児島サザンウインド	(年)	1,000	55,500	760,200	815,700	56	14,566	2,093,000	6,089,700	8,182,700
奄美	(年)	4,000	208,000	802,683	1,010,683	56	18,047	6,691,600	11,262,645	17,954,245
奄美中央	(年)	2,000	113,000	440,200	553,200	57	9,705	6,553,500	6,624,200	13,177,700
奄美瀬戸内	(年)	3,000	54,000	0	54,000	18	3,000	1,308,700	262,400	1,571,100
延岡	(年)	5,000	385,000	555,000	940,000	81	11,604	10,428,750	28,374,290	38,803,040
延岡東	(年)	5,000	310,000	1,538,000	1,848,000	62	29,806	9,133,700	27,716,807	36,850,507
延岡中央	(年)	2,000	112,000	961,273	1,073,273	58	18,504	5,250,000	16,237,649	21,487,649
日向	(年)	2,000	39,000	120,000	159,000	20	7,950	4,363,450	6,412,539	10,775,989
日向東	(年)	1,000	28,500	170,000	198,500	28	7,089	2,036,500	6,519,420	8,555,920
日向中央	(年)	1,000	10,000	60,000	70,000	10	7,000	906,500	1,950,340	2,856,840
門川	(年)	3,000	24,000	0	24,000	8	3,000	488,500	55,000	543,500
宮崎	(年)	10,000	1,025,000	0	1,025,000	104	9,855	25,354,000	9,310,300	34,664,300
宮崎西	(年)	10,000	1,030,000	380,000	1,410,000	103	13,689	16,424,250	15,402,815	31,827,065
宮崎北	(年)	8,000	616,000	230,000	846,000	78	10,846	10,804,500	12,964,217	23,768,717
宮崎南	(年)	5,000	230,000	25,000	255,000	46	5,543	5,957,000	2,235,000	8,192,000
宮崎中央	(年)	5,000	265,000	297,000	562,000	53	10,603	6,571,000	6,696,503	13,267,503
宮崎東	(年)	2,000	58,000	0	58,000	29	2,000	1,718,000	1,650,000	3,368,000
西都	(年)	3,000	60,000	25,000	85,000	27	3,148	2,398,824	5,841,551	8,240,375

※個人寄付平均は今期合計を会員数で割った値です

2730地区

寄付金納入明細表（2018−19年度③）

(公財) ロータリー米山記念奨学会
2019年6月30日 現在 (単位:円)

クラブ名	受付状況	今年度普通単価	今期普通寄付	今期特別寄付	今期合計	会員数(1月1日)	個人寄付平均	普通寄付金	特別寄付金	合計
佐土原	(年)	1,500	39,000	0	39,000	20	1,950	1,628,400	3,150,800	4,779,200
高鍋	(年)	3,000	127,500	308,000	435,500	26	16,750	4,674,750	8,362,124	13,036,874
宮崎アカデミー	(年)	4,000	154,000	0	154,000	42	3,666	154,000	0	154,000
えびの	(年)	2,000	34,000	0	34,000	18	1,888	3,002,400	598,914	3,601,314
小林	(年)	4,500	99,000	346,000	445,000	34	13,088	6,262,665	14,617,680	20,880,345
小林中央	(年)	5,000	60,000	0	60,000	12	5,000	2,214,150	1,104,950	3,319,100
都城	(年)	1,500	81,000	529,000	610,000	54	11,296	7,697,800	15,008,591	22,706,391
都城北		0	0	409,700	409,700	37	11,072	7,542,600	11,042,700	18,585,300
都城西		0	0	357,000	357,000	42	8,500	5,597,500	8,520,400	14,117,900
都城中央	(年)	3,000	99,000	170,000	269,000	33	8,151	4,597,000	5,903,922	10,500,922
日南	(年)	3,000	108,000	0	108,000	36	3,000	5,619,750	1,758,500	7,378,250
日南中央	(年)	1,000	10,000	10,000	20,000	10	2,000	2,070,900	4,876,224	6,947,124
串間	(年)	2,000	22,000	200,000	222,000	12	18,500	1,344,000	2,221,350	3,565,350
2730ジャパンカレントロータリーEクラブ		0	0	139,000	139,000	21	6,619	84,000	394,000	478,000
2730その他		0	0	0	0	0	0	0	478,500	478,500
合計			10,206,300	15,256,159	25,462,459	2,414	10,547	328,220,793	426,303,507	754,524,300

※個人寄付平均は今期合計を会員数で割った値です

広報・公共イメージ部門

部門長	**尾形　　栄**	(延岡RC)
副部門長	安達　龍大	(宮崎北RC)
委　員	川添　　大	(きもつきRC)

基本方針

2020−21年度RIテーマにホルガー・クナークRI会長エレクトは「ロータリーは機会の扉を開く」と掲げました。また、風呂井敬ガバナーエレクトは2020−21年度地区スローガン「不易流行・ロータリーの基本を堅持し変化に適応するクラブ」を掲げられました。

『地区目標18項目』の実現に向けて、特に【1】から【14】迄の項目には公共イメージ部門が関わることが多岐にわたって参ります。ロータリーの戦略的優先事項と目的は、『より大きなインパクトをもたらす』、『参加者の基盤を広げる』、『参加者の積極的な関わりを促す』、『適応力を高める』です。それらを革新的に推し進めていくには公共イメージ部門が関わることがより多くなってきています。

公共イメージ部門の公共イメージ委員会、広報・IT(コミュニケーション計画)委員会、ロータリー情報誌委員会はロータリー指導者や各方面の方々のノウハウ、情報をアナログとデジタル双方のツールを用途に応じて使用しクラブ、グループ、地区間で、よりスムーズで理解しやすく利用しやすい環境を整備拡充してまいります。

ロータリアン、ロータリーを囲む人達へロータリー活動を発信し続け、理解を得なければなりません。公共イメージ部門の更なるご利用とご協力を宜しくお願い致します。

活動計画

○部門内委員会のより高密度でスムースな活動の検討と実行(ONE TEAMを目指して)

・WEB会議等の具体策の検討と実行

○研修の充実

・クラブの様々な研修会・イベント等への参加要請

・元気なクラブ作りのためのワークショップの開催(会員増強・財団・公共イメージ)

(2020年6月21日開催予定)

○ガバナー月信委員会への協力

○ロータリーの友委員会への協力

公共イメージ委員会

委員長	尾形　栄（延岡RC）
副委員長	桑畑　誠（宮崎北RC）
委　員	徳永　博光（指宿RC）
	久木田　弘（鹿屋西RC）

基本方針

ロータリー活動の指針となる4つの優先事項を推し進めていくために、より具体的な活動を行ってまいります。

そのためには、広報・IT(コミュニケーション計画)委員会とロータリー情報誌委員会の連携の元に、各方面の方々と私たちの部門が作り上げてきたノウハウ及びアナログとデジタル双方のツールを持って、クラブ、グループ、地区間で、よりスムーズで理解しやすく、利用しやすいように、整備拡充を行い、ロータリアンとロータリーを囲む人達へ発信と協力を行ってまいります。

活動計画

○情報の一元化(ガバナー事務所、地区役員、各部門、各委員会、各クラブ)
- ・MyRotary登録率60%を目指す。
  (各クラブ内のMyRotary登録推進担当者への協力と支援)
- ・クラブセントラル活用60%を目指す。
- ・ロータリーショーケースへの投稿を目指す。
- ・元気なクラブ作りのためのワークショップの開催(会員増強・財団・公共イメージ)
  (2020年6月21日開催予定)
- ・地区ホームページ、委員会活動を含めアーカイブとして充実を図る。(Dropboxの併用)
- ・RAC・学友会会員の地区ホームページ・Dropbox・地区FB利用促進
- ・全クラブWEB計画の完成促進。(FBを利用しているクラブとの共用促進)
- ・RIからのファイルを掲載
- ・Twitter、Youtube、Instagram 等の利用(RAC・学友会会員をRI2730地区fb交流会に勧誘)

○広報キャンペーン(ロータリーデー他)開催への協力
- ・日本のロータリ-100周年記念行事開催への協力
- ・ポリオデーとの連携計画。

○広報メディア(既存メディア・YouTube・インターネットラジオ等)を活用したロータリー広報を推進する。

○報道機関各社と取材折衝・取材依頼書の整備と配布等をより積極的に行なう。

○RID2730フォトコンテスト開催計画(地区大会 2020年11月13～15日)

○ロータリーパンフレット更新版製作

○ガバナー月信委員会への協力

○ロータリーの友委員会への協力

広報・IT(コミュニケーション計画)委員会

委員長　**安達　龍大**（宮崎北RC）
副委員長　吉満　祐市（川内RC）
委　員　西　　幸司（ジャパンカレントEクラブ）
　　　　東　　淑恵（都城西RC）

基本方針

広報・IT(コミュニケーション計画)委員会は、戦略計画の一環として立てられた広報戦略において、行動計画に基づくロータリー活動等の発信が、地区内の広報・公共イメージ向上活動に合わせて、よりスムースに行われるように、デジタル面からサポートして活動を進めます。

そのために、同部門内、他委員会と、密接に連携を図り、その中から、IT部分に特化した委員会として活動をして参ります。

① 対外的には、広報、公共イメージと認知度の向上活動を進めてきます。
② 内向きには、地区内クラブのIT化と情報の共有化を、専門性をもって、支援してまいります。

活動計画

① 地区内クラブのIT化の充実を図る為のクラブへの支援。
  1. Myrotaryの登録率60%を目指す為のクラブへのIT支援。
     (各クラブ内のMyRotary登録推進担当者へのIT協力と支援)
  2. クラブセントラル活用60%を目指す為のクラブへのIT支援。
  3. ロータリーショーケースへの投稿を目指す為のクラブへのIT支援。

② 地区ホームページの管理
  1. 地区ホームページ・Dropbox・地区FB管理・利用促進の為のクラブへのIT支援。
  2. 地区ホームページ、委員会活動を含めアーカイブとして充実を図る為のクラブへのIT支援。(Dropboxの併用)
  3. RAC・学友会会員の地区ホームページ・Dropbox・地区FB利用促進を図る為のクラブへのIT支援。
  4. 全クラブWEB計画完成促進を図る為のクラブへのIT支援。
  5. FBを利用しているクラブとの共用の為のIT支援。
  6. 画像・イラストを多用(POPに)
  7. 委員会活動を含めアーカイブの要素を持たせる(Dropboxの併用)
  8. カレンダーの新設
  9. 財団・米山・学友会・RI2730地区fb交流会等の小窓を多く設置
  10. RIからのファイルを掲載
  11. Twitter、Youtube、Instagram 等の利用

③ RAC・学友会会員をRI2730地区fb交流会に勧誘

ロータリー情報誌委員会

委員長　川添　　大（きもつきRC）
副委員長　中村　隆洋（枕崎RC）
委　員　水居　　徹（宮崎アカデミーRC）
　　　　川崎　千加（国分RC）

基本方針

1905年ポールハリスは友人3人と語らい、親睦と相互扶助を趣旨としたロータリークラブが誕生し115年目を迎えております。この間にさまざまな変化を遂げてきたロータリーですが、これからも柔軟性、多様性、革新性を取り入れた大きな変化が予想されます。風呂井ガバナーエレクトは、2020～2021年度地区スローガン、「不易流行・ロータリーの基本を堅持し変化に適応するクラブを」と掲げられました。また「過去を敬い未来を見据えながら、進化を遂げロータリーを時代に即した組織にするだけでなく繁栄させせましょう。」とも述べておられます。

私達ロータリアンにはロータリーの指導者や各方面の方々が、115年間の多くの足跡を文献及び記録誌として残してくれています。ロータリー情報誌委員会ではこれらの貴重な文献及び記録誌をアナログとデジタル双方のツールを用途に応じて使用し、クラブ、グループ、地区間で、よりスムーズに利用できる環境と情報をお知らせしてまいります。
ロータリー情報誌委員会のさらなるご利用とご協力をよろしくお願いいたします。

活動計画

国際ロータリーの公認誌「The Rotarian」[ロータリーの友] の精読を推進するための方策を検討し実施します。
ロータリーの友委員会及びガバナー月信委員会と情報を共有して、連携を図ります。
一般市民へのロータリー理解を目的として、「ロータリーの友」誌の活用を図ります。
クラブを訪問し、例会での定期的な記事紹介について話し合います。
ロータリー文庫の活用を奨励し、クラブで役立てる方法を紹介します。

参考（ロータリー情報誌委員会）

ロータリー文庫：https://www.rotary-bunko.gr.jp/
ロータリー電子文庫：https://sites.google.com/site/rotary100jiten/denshi-bunko
ロータリー情報研究会：http://www.rotaryinformationgroup.jp/
ロータリー百科事典
https://sites.google.com/site/rotary100jiten/rotari-no-kokoro-to-jissen/rotari-no-kokoro-to-jissen--3/25-shuppan-to-u-ebusaito
ロータリー財団：
http://msgfocus.rotary.org/q/1f4750Dy4vYYc6F37EGGnFX/wv
ポリオプラス担当部：
http://msgfocus.rotary.org/q/1f4750DCmWju6JbddY4MyLb/wv
Ri会員増強担当部　会員増強詳細報告
http://msgfocus.rotary.org/q/12FJfT7adZfsMVfHPLd6VAlL/wv
ラーニングセンター：https://learn.rotary.org/members/learn/catalog
源流の会：https://genryu.org/
ETC(ロータリーリーダーからの寄稿文を含む(地区Dropboxに保存済))
環境省　cool choice NEWS：
http://ondankataisaku.env.go.jp/coolchoice/mailmagazine/20190628.html

ロータリー学友委員会

委員長　**岩澤　浩二**（加治木RC）
副委員長　佐藤　信博（延岡RC）
委　員　戸高　　望（都城北RC）
米丸麻希子（国分RC）
前田　　均（鹿屋西RC）

基本方針

1年目は模索、2年目も模索と協議で会の運営をどうするかが当分の課題となっています。今年は3年目を迎えますが、まだまだ運営の方法と実践を体験しながら構築しているのが現状です。参考とする日本ロータリー学友会総会での研修で良質の目標と目的を自分たちの会運営に当てはめて、今後の成果を期待していきます。

活動計画

①【会員選考】
・会員選考の期間と教育研修の後、入会時期の決定(年1回4月)
・推薦者の責任所在の明確化、
②【ローターアクトクラブ】強化のための支援
・ロータリアンへの研修、ローターアクト委員長会への参加
・新人発掘のための情報提供、
・地区内活動(連絡協議会、年次大会、ローターアクト研修、分区研修)参加、
③【インターアクトクラブ】への支援
・各種年次大会、地区大会への参加、
・ローターアクトクラブへの入会促進
④【ライラ】への支援
・ロータリアンコーディネーターの補佐役
・地区外ライラへの参加
⑤【ローテックス、VTT】への支援
・インバウンド、アウトバウンドの研修と発表会等の支援
・ローターアクトクラブへの入会促進
⑥【共通活動】
・ロータリークラブ例会での卓話、
・ローターアクトクラブ例会での卓話
・インターアクト、ローターアクト、ロータリーの年次大会、地区大会支援と参加と交流
・VTTとの交流、支援
・日本ロータリー学友会総会への参加
⑦【年次総会12月開催、年度末に年間活動報告会開催】
⑧【地区青少年フェスタの開催を模索】(2018.1.21鹿児島東南RCがIMで実施あり)

2019−20年度　ロータリー学友会　半期活動報告

2019(令和元年) 12.7

月	日	行事予定	開催予定地	担当地区委員会	出席予定数
2019年					
7	7(日)	第1回RA地区連絡協議会	霧島市シビックセンター	地区RA委員会	2
		第1回RA委員長研修会	地区内4グループ地内	地区RA委員会	0
	27(土)	第54回IA年次大会	日南市小村記念館	地区IA委員会	1
8	18(日)	RA会長幹事会	姶良市加治木町福祉センター	地区RA委員会	2
	24(土)	第1回受入学生オリエンテーション	霧島市空港ホテル	地区青少年交換委員会	0
	25(日)	第1回受入学生オリエンテーション	霧島市空港ホテル	地区青少年交換委員会	2
9		学友会協議会			0
10	4(土)	ロータリー地区大会1日目	宮崎市シーガイアコンベンション	喜島ガバナー	4
	5(日)	ロータリー地区大会2日目	宮崎市シーガイアコンベンション	喜島ガバナー	3
	20(日)	2020−21年度派遣学生応募説明会	都城市地区事務所	地区青少年交換委員会	0
	25−27	日本ロータリー学友会総会	札幌市	日本R学友会	4
11	8(金)	台湾ライラ事前打合せ(8−10)	台北市	地区RYLA委員会	1
	10(日)	2020−21年度派遣学生選考会	都城市地区事務所	地区青少年交換委員会	0
	16(土)	ローターアクト地区年次大会	小林市	地区RA委員会	0
	17(日)	ローターアクト地区年次大会	小林市	地区RA委員会	3
12	1(日)	第2回RA地区連絡協議会	霧島市シビックセンター	地区RA委員会	2
	7(土)	第1回地区ロータリー学友会総会		学友会	6
		第1回派遣学生オリエンテーション		地区青少年交換委員会	0
2020年					
1	16(木)	台湾ライラ参加(16−19)	台北市	地区RYLA委員会	3
2		第3回派遣学生オリエンテーション		地区青少年交換委員会	1
	22(土)	地区チームセミナー	鹿屋市予定	風呂井ガバナーエレクト	2
	23(日)	RA分区合同研修会	地区内4グループ地内	地区RA委員会	4
3		第4回派遣学生オリエンテーション		地区青少年交換委員会	1
	21(土)	会長エレクト研修会	鹿屋市予定	風呂井ガバナーエレクト	2
4	12(日)	第3回RA地区連絡協議会	姶良市加治木町福祉センター	地区RA委員会	4
		第5回派遣学生オリエンテーション		地区青少年交換委員会	1
		第2回RA委員長研修会	地区内4グループ地内	地区RA委員会	4
5		第6回派遣学生オリエンテーション		地区青少年交換委員会	1
	17(日)	ロータリー地区研修協議会	鹿屋市予定	風呂井ガバナーエレクト	3
	30(土)	第48回ローターアクトのための研修会	霧島市	地区RA委員会	4
	31(日)	第49回ローターアクトのための研修会	霧島市	地区RA委員会	4
6	6(土)	第15回地区インターアクトRC・顧問研修会		地区IA委員会	2
		受入学生帰国報告・派遣学生壮行会		地区青少年交換委員会	2
				網かけは実績	68

ロータリーの友委員会

地区代表委員　**深尾　兼好**（鹿児島西RC）
副代表委員　東　淑恵（都城西RC）
委　　員　四元　隆二（鹿屋西RC）

基本方針

ロータリーの友地区代表委員は、地区ガバナーに任命された「ロータリーの友委員会」の構成員であり、『ロータリーの友』に関するガバナーの代理者として、「ロータリーの友委員会」において、ガバナーの意向を踏まえた建設的な提言を行う。また、地区活動および地区とロータリーの友を結ぶ地区の代表委員としての役目を担う。ロータリーの友地区委員会は、地区代表委員の活動を補佐する目的で風呂井G年度に新設され、代表委員・次年度ガバナーの輩出クラブより1名・当年度ガバナー輩出クラブより1名・直前代表委員の原則4名で構成される。その具体的任務は

① 地区ガバナーと友誌および同ホームージに関して意思疎通を図り、ロータリーの友委員会にて建設的な提言を行う。
また、地区の実情に即して、友誌の適正な購買数、および読書率の向上を図るための取り組みを行う。

② 地区内に於いては広く機会を求め、地区内会員への友誌およびその他の出版物の広報並びに活用促進活動に努める。また地区内活動の情報収集に努める。

活動計画

①地区代表委員は、毎月発行の友誌について、意見や感想をリポートとして友編集部に提出する。

②地区HPに貼り付けられたブログ「ロータリーの友を読もう」を毎月更新し、当月の友誌記事の要旨紹介を行う。

③地区執行部並びにPDG、G補佐、部門長からなる「地区運営委員会」に出席しクラブ及び各部門の情報を収集する。

④地区委員は、地区ならびに地区内RCの活動状況の収集に努め、適宜代表委員に報告、代表委員はR友地区代表委員会議で発表する。またそれに基づくR友編集部取材に協力する。

⑤クラブ雑誌委員長会議（それに類する会議）の開催に協力し、各クラブに友誌への理解を求め、読書率向上と活用促進を呼びかける。

⑥『ガバナー月信』などの地区内発行物を通じて、友誌に関する情報を、積極的に発信する。

⑦地区大会、地区協議会など地区内の各種会合に参加し、関連委員との連携を構築して、地区内活動情報の収集に努める。

⑧地区代表委員はオリエンテーションを含め年4回、東京(または大阪)で実施されるR友地区代表委員会に出席する。

クラブ会長・幹事にお願い

地区内クラブの情報を教えてください

1、クラブの活性化について

会員増強の成功事例、女性ロータリアンの増強、同好会の活用、新クラブ創立(クラブ拡大)にまつわる事例など。

2、クラブの周年事業について

周年事業の中で、良かったプログラム、ユニークなプログラムなど。

3、クラブで実施した、或いは、する、奉仕プロジェクトについて

地区補助金、グローバル補助金を活用した事業など

4、ロータリアンに聞いてみたいテーマについて

2019-20年度から新企画として「侃々諤々」というページが設けられています。ロータリアンとして聞いてみたい、またクラブ内で意見が分かれているようなテーマをご紹介ください。

「例会に出席する時の服装はスーツであるべきか?」

「ロータリーの徽章を普段から着ける?着けない?」など

5、その他

所属クラブのホットな話題、『友』誌の装丁・構成へのご意見など

ロータリーの友について

ロータリーの友地区代表委員
深尾　兼好

ロータリーの友地区代表委員(以下、地区代表委員)は、地区ガバナーに任命された「ロータリーの友委員会」の構成員であり、**『ロータリーの友』に関するガバナーの代理者**として、「ロータリーの友委員会」(以下R友委員会)において、ガバナーの意向を踏まえた建設的な提言を行う。また、地区活動および地区とロータリーの友(以下友誌)を結ぶ地区の代表委員としての役目を担う。そのため、当地区では地区執行部並びにPDG、G補佐、部門長からなる「地区運営委員会」に出席し情報を収集する。また今年度から、**次年度地区代表委員を含めた「R友地区委員会」**を新設しクラブの情報収集にあたる、また「R雑誌委員会」と協力して友誌への理解と読書率アップに務める。

1. 任　期：1年

2. 任　務：

(イ)　ガバナーとの連携

① 地区ガバナーと友誌および同ホームページに関して意思疎通を図り、R友ロータリーの友委員会にて建設的な提言を行う。
また、地区の実情に即して、友誌の適正な購買数、および読書率の向上を図るための取り組みを行う。

② 友誌に関する情報をガバナーと共有する。

(ロ)　地区における任務

広く機会を求め、地区内会員への友誌およびその他の出版物の広報並びに活用促進活動に努める。また地区内活動の情報収集に努める。
そのために、

① **地区HPに貼り付けられたブログ「ロータリーの友を読もう」を毎月更新し、当月の友誌記事の要旨紹介を行う。**

② 地区雑誌委員長会議(それに類する会議)の開催に協力し、各クラブに友誌への理解を求め、読書率向上と活用促進を呼びかける。

③ 『ガバナー月信』などの地区内発行物を通じて、友誌に関する情報を、積極的に発信する(R友委員会の報告、友誌およびその他の刊行物のPRなど)

④ 地区大会、地区協議会など地区内の各種会合に参加し、関連委員との連携を構築して、地区内活動情報の収集に努める。

(ハ) リポートの提出と友誌の記事に関する取材協力

① 毎月発行の友誌について、意見や感想をリポートとして友編集部に提出する。また地区における地区代表委員としての活動状況などを適宜リポートとして友編集部に提出する。

② 地区執行部並びにPDG、G補佐、部門長からなる**「地区運営委員会」**に出席しクラブ及び各部門の情報を収集する。

③ 「R友地区委員会」の協力を得て、地区ならびに地区内RCの活動状況の収集に努め、R友地区代表委員会議で発表する。またそれに基づき編集部取材に協力する。

④ 『ロータリー手帳』『広報誌　ROTARY　地域と歩む　友と歩む』などの刊行物について建設的な提言を行い、その活用促進を図る。

(ニ) オリエンテーションならびに合同会議への出席

オリエンテーションを含め年4回、東京(または大阪)で実施される
R友地区代表委員会に出席する

お願い

地区内クラブの情報を教えてください

1、クラブの活性化について

会員増強の成功事例、女性ロータリアンの増強、同好会の活用、新クラブ創立(クラブ拡大)にまつわる事例など。

2、クラブの周年事業について

周年事業の中で、良かったプログラム、ユニークなプログラムなど。

3、クラブで実施した、或いは、する、奉仕プロジェクトについて

地区補助金、グローバル補助金を活用した事業など

4、ロータリアンに聞いてみたいテーマについて

2019-20年度から新企画として**「侃々諤々」**というページが設けられています。ロータリアンとして聞いてみたい、またクラブ内で意見が分かれているようなテーマをご紹介ください。

「例会に出席する時の服装はスーツであるべきか?」

「ロータリーの徽章を普段から着ける?着けない?」など

5、その他

所属クラブのホットな話題、『友』誌の装丁・構成へのご意見など

ご多用中のところ誠に恐縮ですが、ご連絡は深尾(kenkou.fukao@c2-inc.com)
または、FAX:099-297-5712 にお願い申し上げます。

ガバナー月信委員会

委員長　池田志保子（鹿屋西RC）
副委員長　四元　隆二（鹿屋西RC）
　西ノ原庄一（鹿屋西RC）
委　員　東　　康子（鹿屋西RC）　志村　正子（鹿屋西RC）
　西丸　晴彦（鹿屋西RC）　加治屋ひとみ（鹿屋西RC）

基本方針

2020年-21年の地区スローガン『不易流行』に即して、ガバナー月信の基本を堅持しつつ、昨今の緊急事態に対応するものとしたい。

活動計画

① 紙面発行とデータ配信との使い分け　(検討項目)

年度の始めと終わりには例年通り月信の全ての内容を紙面発行するが、年度の中頃においては、紙面発行は【A3-2つ折り1枚】とし、紙面にはガバナーメッセージ等のみを記載し、残りの内容は地区ホームページに掲載して、QRコードにより個々の携帯から簡単にアクセス出来るようにしたい。加えてロータリアン全員に対して各クラブの事務局からメール配信し、メールから地区ホームページにジャンプ出来るようにしたい。(先進的な他の地区を参考)

② 月信を全て紙面で受取希望のロータリアンへの対応

ガバナー月信を全て紙面にて受け取りたいというロータリアンについては、各クラブの事務局がデータを紙面にプリントアウトして手渡しすることとしたい。

③ 風呂井ガバナー年度　月信委員会のスローガン

■活気・・・・・・・・ 2730地区の活動の活気が伝わるものとしたい。
■親しみ・・・・・・・ 親しみが持てる月信にしたい。
■分かりやすさ・・・ 掲載内容が分かりやすく、短時間の購読で伝わるようにしたい。

④ 例年のガバナー月信の内容の堅持

・月毎のガバナーメッセージの掲載
・RIと地区の、年度方針と施策の掲載
・ガバナー補佐、部門長、委員長、各クラブ会長の紹介
・地区、各部門と委員会、そして各クラブの活動報告
・米山ハイライト、そして2730地区ニュースの掲載
・RI、そして日本のロータリーニュースの掲載

⑤ 上記を実現するための連携

データ配信利用にあたり、地区ホームページを管理している公共イメージ部門との連携を密に図りたい。

Rotary

資　料

1．国際ロータリー理事会の決定事項 ……150
2．2020-21年度 地区役員・委員会名簿１～６ …… 159－164
3．2020-21年度 クラブ会長・幹事名簿(宮崎県・鹿児島県) …… 165－166
4．2020-21年度 地区ローターアクト・インターアクト現況 ……167
5．地区の姉妹盟約・クラブの姉妹関係 ……168
6．地区ロータリークラブの友好関係 ……169
7．地区内プロバスクラブ現況 ……170
8．地区ロータリー地域社会共同体(ＲＣＣ)現況 ……171
9．各種種類について ……172
10．Dropboxの見方 ……173
11．出席率の算出 ……174
12．今後のスケジュール(予定) ……176
13．ロータリー関係事務所一覧 ……178

国際ロータリー理事会の決定事項

2020年4月　理事会決定

>>議事録(2020年４月)

2019-20年度RI理事会は、2020年3月18日と21ー24日にビデオ会議を通じて会合を開催した。これらの会合で、理事会は10の委員会報告書を検討し、36の決定を行った。

COVID-19 に対する対応

2月25日開催の執行委員会の決定(投票)

理事会は、COVID-19の蔓延中、ロータリアンの健康と安全を優先することに合意した。

* 会合に関しては、地区が地方自治体の勧告に従うよう奨励した。
* 地方自治体がCOVID19蔓延による会合の制限を奨励したり、地区のリーダーがそのような行動をとることが望ましいと判断した場合、地区はPETSおよび地区研修・協議会を含めて地区研修会議を(2020年6月30日まで)延期するか、またはオンラインで開催することに同意する。ただし、国際ロータリーはかかる費用負担は行わない。
* COVID-19の流行により、研修会をオンラインで開催する地区は、1) ロータリーの戦略計画、2) 参加者の役割と責任、および3) 年度目標を含めて、少なくとも1時間の会議を3回開催し、更に地区研修会合のその他の要件にすべて従うことを推奨する。
* 地方自治体がCOVID19蔓延による会合の制限を奨励したり、地区のリーダーがそのような行動をとることが望ましいと判断した場合、地区は地区大会を(2020年6月30日まで)延期するか、またはオンラインで開催することを承認する。ただし、国際ロータリーはその費用負担は行わない。(RIによる費用の負担なし)

3月18日 RI理事会特別バーチャル会合(Web会合)

理事会は、直接会っての2020年 RI(ホノルル)年次大会を中止し、参加者の登録料とRIチケット制のイベントの登録料の払い戻しを承認した。

4月21日～24日までバーチャル(Web)RI理事会

理事会は、

* 2020年6月20日ー26日にバーチャル大会を開催することに同意した。
* 理事会は以下の一般方針に同意した。
  すなわち、
* ロータリーのプログラム、会議、イベントに参加するすべての参加者の健康と安全を最優先とする。
* パンデミックのために会合等への出席を不快に感じているすべてのロータリー参加者に対して、直接会っての会合や行事への参加を義務化しない。
* ロータリー会合の招集者や主催者が直接会っての会合を開催する場合、すべての健康に関する問題を考慮して決定することが強く推奨される。
* ロータリー会議の招集者や主催者が、その地域における有効なすべての安全衛生規則を完全に遵守するものとする。
* 上記の原則を念頭に置いて、得意別のロータリー活動に関して以下の規則と指針を採択した。:
  すなわち、
* RI理事会のすべての会合は、2020年の残りの期間、バーチャルで(直接会う会合でなく)実施する。

* RI委員会は、2020年の残りの期間、バーチャルで(直接会う会合でなく)実施する。
* 事務総長は、2020年6月の会合において、理事会に中間報告するために、緊急計画を策定しなければならない。:
  すなわち、
* 2021年国際協議会に直接出席できない人のための地区ガバナーエレクト研修の計画。
* 40パーセント以上のガバナーエレクトが直接出席できない場合には、2021年の国際協議会をバーチャルで実施するための計画。
* 2020年ロータリー研究会の招集者は、研究会やガバナーエレクトおよびノミニーの研修をバーチャルで実施することを強く奨励する。招集者は、かかる会合を直接会って行うかあるいはバーチャルで行うかを決定する権限が与えられている。;
  ただし、
* 例外的な状況下で、事務総長が特に承認しない限り、ロータリー職員は研究会、ガバナーエレクト研修、およびガバナーノミニー研修に直接出席しない。
* 会長が特に承認しない限り、理事は自分の属するゾーンまたは地域外での研究会に出席するための資金は提供されない。
* すべての地区が公平となるように、国際ロータリーは、2020-21年度の地区大会に会長代理の費用の資金提供をしないものとする。
  地区ガバナーが代理を要請した場合、会長は代理を任命するが、RIからの費用の支払いはない。(RIによる費用の負担なし)
* 2020年中に行われるクラブ訪問について理事会は、ガバナーがバーチャル会合を利用することを強く推奨する。
* 地域リーダーは、2020年中に開催される研修セミナーやその他行事をバーチャル会会合で実施することを強く推奨する。
* 事務総長は、2020年6月の会合において理事会に報告するために、2020-21年ロータリー年度のロータリー青少年交換プログラムを実施する場合のリスクアセスメント(リスク評価)を作成するものとする。
* 理事会は、会長と会長エレクトが共同で、9人のパンデミック・レスポンス・タスクフォース(パンデミック対策特別委員会)を任命し、COVID-19大流行中にロータリーがバーチャル技術を最適に活用する方法を包括的に研究するよう要請する。また、タスクフォース委員は2020年10月31日まで委任することに同意した。

プログラム、会議、および賞

理事会は、
* 2021年RI(台北)に合わせて、国際共同委員会の第3回大会前大会開催に関するクナーク会長エレクトからの最新情報を受理した。
* 非ロータリアンの地域社会におけるリーダーの参加を可能にするために、地区大会に関する方針を改正し、地区大会の一環として一般向けの行事を開催するようガバナーに奨励した。
* ローターアクターが「超我の奉仕賞」および「奉仕部門功労者賞」を受賞する資格を得ることができるよう、さらに、ローターアクトクラブが「意義ある奉仕賞」を受賞する資格を得られるように、その方針を改正した。

【参考】21. 020. 国際共同委員会
国際共同委員会は、2カ国以上のクラブ間の交流を推進し、さまざまな国の人びとの親睦と異文化理解を深め、異なる国の会員、クラブ、および地区間の絆を深め、国境や大陸、海を越えたネットワークを築く。
国際共同委員会を設置し、これに参加できるのは地区のみであるが、個人のロータリアン、そのパートナー、ローターアクター、ロータリークラブおよびローターアクトクラブは同委員会の活動に参加できる(2019年10月理事会会合、決定45号)。

管理と財務

理事会は、
* 2021年7月1日までにロータリーグローバルリワードプログラムを終了することに同意した。
* RI代表ネットワーク長の任務を、広報活動を超えて、人道的プロジェクトに対する連携の構築や専門知識への扉の開くこと、さらに円滑な活動の促進を含める。

2020年 1 月

議事録(2020年 1 月)
2020年 1 月27 ～ 29日、米国イリノイ州エバンストンの国際ロータリー世界本部で、2019-20年度国際ロータリー理事会の第 3 回会合が開かれました。この会合で理事会は 9 の委員会報告を確認し、39の決定を行いました。

プログラム、会合、表彰関連

理事会は、
* 2022年 7 月 1 日より開始されるローターアクトの年間人頭分担金(大学を基盤とするローターアクトは 5 ドル、地域社会を基盤とするローターアクトは 8 ドル)を設定しました。また、2022年 7 月 1 日より、新しいローターアクトクラブが支払う50ドルの認定料を廃止することに同意しました。
* 2019年10月のローターアクトの年齢制限に関する決定をさらに明確にし、ローターアクターからの意見とアンケート調査のデータに対応するため、クラブが会員とスポンサークラブ(該当する場合)から同意を得ていること(クラブ細則に伴い)を条件に、ローターアクトクラブは年齢の上限を定めることができる一方で、これを義務化しないことに同意しました。
* ロータリアン行動グループをロータリー行動グループに名称変更し、同グループのメンバーとしてノンロータリアンを認めることに同意しました。
* 地域社会とのロータリーのかかわりを深めるため、2023年メルボルン国際大会から、ノンロータリアン向けのイベントを実施するというコンセプトを承認しました。
* 2019-20年度ロータリー学友世界奉仕賞ならびにロータリー最優秀学友会賞の受賞者を選出しました。受賞者は2020年ホノルル国際大会で表彰されます。
* 2019-20年度超我の奉仕賞の受賞者147人を承認しました。

運営・財務関連

理事会は、
* 公式名簿の発行を中止することに同意しました。
* クナーク会長エレクトによる2020-21年度ロータリー委員会への任命の提案を承認しました。これには、副会長としてジョリータ・ソラリ氏(米国)、財務長としてバラット・パンディア氏(インド)、執行委員会委員長としてステファニー・アーチック氏(米国)が含まれます。

＊ 2020-21年度地区ガバナー配分予算930万ドルを承認しました。

クラブ・地区関連

理事会は、

＊ クラブを基盤としないグローバル会員の試験的プロジェクトの審査を継続して行いました。

＊ 2019年決議審議会によって採択された6つの決議案について審査しました。

2019年10月

議事録(2019年10月)

10月21 ～ 24日、米国イリノイ州エバンストンの国際ロータリー世界本部で、2019-20年度国際ロータリー理事会の第2回会合が開かれました。この会合で理事会は、14の委員会報告を確認し、61の決定を行いました。

クラブ・地区関連

理事会は、2019年7月1日現在の会員数に関する報告を受理しました。ロータリアン数:1,189,466人(2018年から5,641人減少)。クラブ数:35,890(2018年から209クラブ上昇)

プログラム・表彰関連

理事会は、

＊ 発展途上国における教育システムの強化をめざすグローバルな基金「Global Partnership for Education」との試験的パートナーシップのコンセプトを承認しました。

＊ Power of Nutritionと共にサハラ砂漠以南の国における栄養イニシアチブに携わるEleanor Crook財団と、リソースを確保するためのパートナーシップに同意しました。

＊ 世界ポリオ根絶推進活動のパートナーとしてGavi The Vaccine Allianceを追加することに同意しました。

＊ 次のロータリー親睦活動グループを承認しました:Rotary Peace Fellowship Alumni Association(ロータリー平和フェローシップ学友会)

＊ ローターアクト地位向上タスクフォースによる推奨事項を検討し、以下に同意しました。

　＊ 提唱クラブなしのローターアクトクラブ結成を可能にする。

　＊ ローターアクトクラブを提唱クラブとするローターアクトクラブの結成を可能にする。

　＊ ローターアクトの年齢上限を解除する(ただし若い成人のプログラムとして維持する)。

　＊ すべての地区委員会にローターアクターを加えることをロータリー地区に強く奨励する。

　＊ ローターアクターの人頭分担金の額を設定するためを引き続き検討する。

　＊ 2021年7月1日付で新しいローターアクトクラブの加盟金50米ドルを廃止する(ローターアクト人頭分担金が設定された場合)。

　＊ RI委員会のアドバイザーとしてローターアクターを任命するよう今後のRI会長に奨励する。

　＊ ロータリーとローターアクトのクラブ管理とコミュニケーションをより容易にする携帯アプリの開発を模索する。

＊ ローターアクトに関して以下の目標を設定する:

　＊ 2022年までに、報告されたローターアクターの数を100パーセント増やす

　＊ 2022年までに、報告されたローターアクターのうち、ロータリークラブに入会する人の数を20%増やす

　＊ 2029年までに、報告されたローターアクターの数を100万人に増やす

国際ロータリー理事会の決定事項

会合関連

理事会は、

* 2021年ロータリー国際大会を2021年6月12 ～ 16日に台北(台湾)で開催するという、台湾の12地区からの提案を受理しました。
* 2026年より(2026年を1年目として)、7年周期で、国際大会の重要な開催条件をすべて満たさない都市においてロータリーが国際大会を開催することに言及し、次の都市から提案書を募ることに同意しました:ダーバン(南アフリカ)、ジェノア(イタリア)、クラクフ(ポーランド)、マニラ(フィリピン)、リミニ(イタリア)、シャルムエルシェイク(エジプト)、トロンヘイム(ノルウェー)。

運営・財務関連

理事会は、

* 2020年7月1日からの任期で、シュウ・ミン・リン氏、ギータ K. マネク氏、アジズ・メモン氏、バリー J. ラシン氏をロータリー財団管理委員に選出しました。
* 以下の常設委員会を含む、クナーク会長エレクトの2020-21年度委員会構成を受理しました:監査、コミュニケーション、定款・細則、国際大会(台北およびヒューストン)、地区編成、選挙審査、財務、会員増強、運営審査、ローターアクト、戦略計画、および「その他」の委員会(国際協議会、パートナーシップに関する合同委員会、リーダーシップ開発・研修、ロータリーの未来形成、若年パストガバナー、リスク諮問を含む)。
* 成人ハラスメントの方針を強化し、現職と次期クラブ会長、ガバナー、地域リーダー、理事は、ロータリーの成人ハラスメントの方針について年次研修を受けるものとすることに同意し、この研修を今後すべての会長エレクト研修セミナーや国際協議会に組みこむようにリーダーシップ開発・研修委員会に要請しました。
* 次の通り、国際ロータリーとロータリー財団の2020-21年度年次目標を採択しました:

優先事項1「より大きなインパクトをもたらす」の目標

1. ポリオを根絶し、ロータリーの役割を強調(Highlight)する。
2. 2025年までに恒久基金を20億2500万ドルとし、年次基金とポリオプラスへの寄付を増やす。
3. 地区補助金、グローバル補助金、ポリオプラス、ロータリー平和センターの測定可能なインパクトを向上させる。
4. 人道的プロジェクトの世界的な実績を向上させるため、政府機関との機会も含め、新たなパートナーシップを築く。

優先事項2「参加者の基盤を広げる」の目標

5. 新クラブと革新的なクラブおよび参加者の参加経路を立ち上げることにより、また、既存のクラブにおける新会員の入会を促進することにより、参加者の増加と多様化を図る。
6. ロータリーに入会する女性会員、40歳未満の会員、ローターアクターの数を増やす。
7. 世界を変える行動人としてのロータリーとロータリアンの認知を高める。

優先事項3「参加者の積極的なかかわりを促す」の目標

8. インターアクト、ローターアクト、ロータリークラブ会員、その他のロータリー参加者の積極的かかわりを促す。
9. すべての参加者、特にロータリークラブとローターアクトクラブの間の協力を増やす。
10. 人道的プロジェクトの世界的な実績を向上させるため、新たなパートナーシップを築く。

優先事項4「適応力を高める」の目標

11. ロータリーのリーダーシップ構成への調整を行う。
12. ロータリープログラムの活動の焦点を定め、また絞る可能性も視野に入れる。

2019年７月

>>議事録(2019年７月)
2019年６月７日にドイツのハンブルグで2019-20年度第1回RI理事会が開かれ、５月と「７月」の会合で理事会は３つの委員会からの報告を確認し、27の決定を行いました。

理事会は、
* 2019-20年度のオラインカ・ババロラRI副会長とデービッド D. ストーバルRI財務長を歓迎しました。
* 2021年国際大会で選挙されるRI理事(任期2022-24年度)を指名する委員会を2019-20年度に選出するのは次のゾーンであることに同意しました:1B、3、14、18、22、29、32、34
* ローターアクトクラブがロータリーに加盟することを認めた2019年審議会の承認をいかに最善のかたちで実施するかを綿密に調査するための新しいタスクフォースの設立を承認しました。
* 南アジアでの電子投票の試験的プログラムを延長しました(同地域での参加国を増やし、2021-22年度まで延長。地区が地区とゾーンの選挙において電子投票を用いることを義務付け)。

2019年5月

>>議事録(2019年５月)
2019年５月30日にドイツのハンブルグで2018-19年度最後のRI理事会が開かれ、５月と「７月」の会合で理事会は３つの委員会からの報告を確認し、27の決定を行いました。

理事会は、
* 国際協議会モデレーターと国際大会委員長の資格要件を改定しました。この理由は、候補者数を増やし、最近のロータリーでのリーダーシップ経験がある候補者を見つけ、候補者に基本的な英語能力があることを明確にすることなどで、これらの重要なロータリーのリーダー職に最善の候補者を確保できるようにするためです。理事会はまた、これらの役職に就くロータリアンを推薦できる人物についても明確にしました。
* アショカならびに国境なき調停者団との奉仕パートナーシップを2022年６月30日まで延長しました。
* 2019-20年度RI運営予算を承認しました。内訳は、収入が111,639,000ドル、運営費が87,878,000ドル、一般剰余金の使用が72,000ドル、国際大会準備金の使用が1,215,000ドルとなり、収入、一般剰余金、国際大会準備金が経費よりも3,292,000ドル上回っています。

2019年4月

>>議事録(2019年４月)
2019年４月８～ 11日に米国イリノイ州エバンストンで2018-19年度第４回のRI理事会が開かれ、理事会は11の委員会報告を確認し、44の決定を行いました。

クラブと地区

理事会は、
* 2021年７月１日からすべての地区に対し、新しい地区ガバナーへの資金配分(現在試験的プログラムが2021年まで進行中)を実施することに同意しました。これは、RIが地区の口座に資金

を送金し、ガバナーはすべての資金の使用について記録し、未使用の金額をロータリーに返金することが義務付けられるものです。
* ローターアクターの地区委員会委員への選出を可能とするため、地区委員会委員の資格条件を改訂しました。
* クラブを基盤としない参加モデルの試験の実施を継続することに同意しました。これは、ロータリーへの新しい経路をつくり、ロータリーブランドに対する認識を高め、ロータリーへの参加を多様化させ、ロータリーの開放性と魅力を高めることを目的としています。
* イラクにおけるロータリークラブの創設を承認しました。

運営・財務

理事会は、

* **RI会長の権限に関するいくつかの決定を行いました。これには以下が含まれます。**
  * 会長エレクトに、財団管理委員の空席が出ている数の２倍以上の候補者を指名するよう要請する（RI元会長が保持する立場は含まない）。
  * 2020年７月１日から有効で、ロータリーは、特定の出席要件を満たしていない地区大会への会長代理の経費を支払わないことに同意しました。
  * 2020年７月１日から有効で、会長代理は1ロータリー年度につき２つ以上の地区大会に任命されないものとすることに同意しました。
* **ロータリーの委員会について：**
  * 現ロータリー年度以降にまたがる新委員会またはタスクフォースを創設することに関するすべての理事会の決定においては、以下の点を特定しなければならないことに同意しました。
  * ４年以内で実施する明確な試験・評価期間
  * 試験・評価期間におけるロータリーのリソースへの予測されるインパクト
  * 委員会またはタスクフォースの成果や改善点を測定するための基準
  * 理事会への中間評価と報告の期日
  * 最終評価の期日。この後、理事会がこの委員会またはタスクフォースを採用するか、停止するか、必要に応じて試験・評価期間を延長するか決定する。
* **ロータリーのブランドの評価について：**
  * ロータリーの標章のすべての使用者ができるだけ早く視覚的ブランドの指針に同意することの要請
  * 2019年８月１日以降、ブランドの指針に沿っていないいかなる広告またはその他の情報を公式なロータリーのメディアに掲載しないことに同意
  * すべての公式なロータリー行事において、ブランドの指針に沿っていない展示者を承認しないことに同意
* **新しい戦略計画の４つの優先事項を実施するにあたり、具体的活動と目標達成の期日を示した2024年までの５カ年のロードマップを承認しました。**
* **経済平和研究所との戦略パートナーシップを2022年まで延長し、シェルターボックスとのプロジェクトパートナーシップを2022年まで延長しました。**
* **ロータリーが代表を派遣する団体のリストに、アフリカ開発銀行とアジア開発銀行を追加することに同意しました。**

2019年1月

>>議事録(2019年1月)

2019年1月21 ～ 23日、米国カリフォルニア州ラホーヤで、2018-19年度国際ロータリー理事会の第3回会合が開かれました。この会合で理事会は、9の委員会報告を確認し、56の決定を行いました。

クラブと地区

理事会は、

* クラブを基盤としないグローバル会員の試験的プロジェクトの検討を継続しました。
* 2017年決議審議会で採択された16の決議案の検討を行いました。

プログラム・会合・表彰

理事会は、

* ロータリアン行動グループが慈善目的の別個の組織を設立することを認めることに同意しました。
* 共有ブランドのオンラインプロダクトを開発・導入するため、事務総長がトーストマスターズ・インターナショナル(Toastmasters International)と協力することを認可しました。このプロダクトは、最初にローターアクトクラブが利用できるようになり、その後にクラブを基盤としない参加者とロータリークラブが利用できるようなります。
* ライブストリーム中継のプラットフォームを通じて、2020年ロータリー国際大会(ホノルル)の内容にアクセスできるようにすることを承認しました。
* 2023年ロータリー国際大会の開催地として、メルボルン(オーストラリア)を暫定的に選びました。
* ロータリー学友世界奉仕賞の受賞者、およびロータリー最優秀学友会賞の受賞学友会を選びました。
* 2018-19年度超我の奉仕賞の受賞者75名を承認しました。

運営・財務

理事会は、

* マーク・マローニー会長エレクトの提案による2019-20年度ロータリー委員会の任命を承認しました。この任命には、副会長としてオラインカ・ババロラ氏(ナイジェリア)、財務長としてデイビッド・ストーバル氏(米国)、執行委員長としてフランチェスコ・アレッツォ氏(イタリア)の選定が含まれます。
* 以下の通り、ロータリーの「多様性、公平さ、受容性に関する方針声明」を承認しました。

  ロータリーは、持続可能な変化を生むために人びとが手を取りあって行動する世界を目指すグローバルネットワークとして、多様性を重んじ、年齢、民族、人種、肌の色、能力、宗教、社会的地位、文化、性別、性的指向、性自認にかかわらず、あらゆる背景をもつ人の貢献を称えます。

  ロータリーは、少数派グループが会員およびリーダーとして参加できる機会が多く存在する多様で、公平で、受容性のある文化を育みます。

* 成人のハラスメントに関する方針を更新し、ロータリーの会合、行事、および活動でハラスメントのない環境を維持するためにクラブと地区が利用できる研修リソースを提供するよう事

務総長に要請しました。

＊ 審議会案件19-117「RI理事会にRIの課税上の地位を変更するための適切な措置を講ずることを許可する件」のための支持の声明を2019年規定審議会に提出することに同意しました。

＊ 2019-20年度ガバナーの配分予算として、930万米ドルを承認しました。

＊ ポリオプラス・プログラムに寄贈された地区財団活動資金(DDF)に対する国際財団活動資金(WF)の上乗せを半額(1ドルあたり50セント)から全額(1ドルあたり1ドル)に引き上げるため、ロータリー財団の無指定の資金から支出することを承認し、WFからの年間最大支出を500万米ドルから1,000万米ドルに増加しました。

2020−21年度 地区役員・委員会名簿 1

委員会名	役務	氏名	所属クラブ	〒	連絡先住所	TEL	FAX
ガバナー		風呂井 敬	鹿屋西	893-0037	鹿屋市田崎町709	0994-44-5311	0994-44-6514
副ガバナー		田中 俊實	鹿屋	893-0014	鹿屋市寿1-15-20	0994-44-6403	0994-44-6403
ガバナーエレクト		井福 博文	都城西	885-0073	都城市姫城町30-7	0986-25-3304	0986-24-9871
ガバナーノミニー							
地区諮問	委員長	安満 良明	加治木	899-5213	姶良市加治木町朝日町187	0995-62-2054	0995-62-2304
	副委員長	田村 智英	延岡	882-0814	延岡市北町2-1-3	0982-32-2300	0982-21-3116
	委員	今林 重夫	指宿	891-0401	指宿市大牟礼1-22-12	0993-22-3857	0993-24-2408
	委員	海江田 順三郎	鹿児島中央	892-8555	鹿児島市千日町1-12	099-226-2161	099-224-2470
	委員	菊地 平	Eークラブ	880-0824	宮崎市大島町笹原2016-105	0985-24-9298	0985-71-0046
	委員	冨永 国俊	川内	895-0025	薩摩川内市向田町1040	0996-22-4363	0996-22-4438
	委員	秦 喜八郎	宮崎中央	880-0023	宮崎市和知川原1-107	0985-28-3511	0985-29-1838
	委員	長峯 基	都城	885-0033	都城市妻ヶ丘町48-12	0986-23-8680	0986-23-8695
	委員	山下 皓三	鹿児島西	890-0053	鹿児島市中央町5-41-2F	099-253-6943	099-253-6951
	委員	大迫 三郎	宮崎南	880-0911	宮崎市大字田吉赤江350-1	0985-51-2745	0985-51-2236
	委員	田中 俊實	鹿屋	893-0014	鹿屋市寿1-15-20	0994-44-6403	0994-44-6403
	委員	野中 玄雄	延岡東	882-0055	延岡市山下町2-3998	0982-32-5290	0982-32-5295
	委員	大重 勝弘	指宿	891-0402	指宿市十町1342-7	0993-23-2702	0993-23-2702
	委員	押川 弘巳	宮崎北	880-0031	宮崎市船塚2-87	0985-27-1031	0985-27-0684
	委員	川原 篤雄	鹿児島SW	891-0122	鹿児島市南栄3-30-10	099-268-0222	099-260-8563
	委員	喜島 健一郎	宮崎西	880-0805	宮崎市橘通東4丁目6番18号	0985-32-3277	0985-21-0645
ガバナー指名	委員長	野中 玄雄	延岡東	882-0055	延岡市山下町2-3998	0982-32-5290	0982-32-5295
	副委員長	大重 勝弘	指宿	891-0402	指宿市十町1342-7	0993-23-2702	0993-23-2702
	委員	押川 弘巳	宮崎北	880-0031	宮崎市船塚2-87	0985-27-1031	0985-27-0684
	委員	川原 篤雄	鹿児島SW	891-0122	鹿児島市南栄3-30-10	099-268-0222	099-260-8563
	委員	喜島 健一郎	宮崎西	880-0805	宮崎市橘通東4丁目6番18号	0985-32-3277	0985-21-0645
ロータリー公共イメージコーディネーター		山下 皓三	鹿児島西	890-0053	鹿児島市中央町5-41-2F	099-253-6943	099-253-6951
ロータリーカードコーディネーター		山下 皓三	鹿児島西	890-0053	鹿児島市中央町5-41-2F	099-253-6943	099-253-6951
日韓親善委員		大迫 三郎	宮崎南	880-0911	宮崎市大字田吉赤江350-1	0985-51-2745	0985-51-2236
日台親善委員		田村 智英	延岡	882-0814	延岡市北町2-1-3	0982-32-2300	0982-21-3116
RIJEM（日本青少年交換他地区合同機構）社員		田中 俊實	鹿屋	893-0014	鹿屋市寿1-15-20	0994-44-6403	0994-44-6403
地区研修リーダー		安満 良明	加治木	899-5213	姶良市加治木町朝日町187	0995-62-2054	0995-62-2304
地区研修副リーダー（次期地区研修リーダー）		野中 玄雄	延岡東	882-0055	延岡市山下町2-3998	0982-32-5290	0982-32-5295
地区研修	委員長	安満 良明	加治木	899-5213	姶良市加治木町朝日町187	0995-62-2054	0995-62-2304
	副委員長	田村 智英	延岡	882-0814	延岡市北町2-1-3	0982-32-2300	0982-21-3116
	委員	ガバナー補佐 全員					
RLI　RLI	委員長	山下 皓三	鹿児島西	890-0053	鹿児島市中央町5-41-2F	099-253-6943	099-253-6951
	副委員長	田村 智英	延岡	882-0814	延岡市北町2-1-3	0982-32-2300	0982-21-3116
	委員	ガバナー補佐 全員					
RLI運営委員会	委員長	深尾 兼好	鹿児島西	890-0056	鹿児島市下荒田1丁目1-20-2F	099-297-5711	099-297-5712
	副委員長	安田 秀一	宮崎	880-0912	宮崎市大字赤江字飛江田2番	0985-56-5110	0985-56-5125
	副委員長	田中 藤雄	鹿児島西	891-1204	鹿児島市花野光ヶ丘1丁目23-12	099-238-9538	099-228-0359
	委員	山田 剛	宮崎	880-0025	宮崎市中津瀬町85番地 サーパス中津瀬508号	0985-73-9852	0985-73-9832
	委員	山本 正幸	宮崎	880-0841	宮崎市吉村町前田甲1198	0985-22-5849	0985-25-8740
	委員	原田 祐子	鹿児島東	892-0844	鹿児島市山之口町12-37 青桐荘ビル2F	099-222-0855	
	委員	中馬 輝彦	鹿児島西	890-0053	鹿児島市中央町9-19-101	099-258-1381	099-256-7268
RLI日本支部ファシリテーター		田村 智英	延岡	882-0814	延岡市北町2-1-3	0982-32-2300	0982-21-3116
RLI地区代表		山下 皓三	鹿児島西	890-0053	鹿児島市中央町5-41-2F	099-253-6943	099-253-6951
危機管理	委員長	野中 玄雄	延岡東	882-0055	延岡市山下町2-3998	0982-32-5290	0982-32-5295
	副委員長	安満 良明	加治木	899-5213	姶良市加治木町朝日町187	0995-62-2054	0995-62-2304
	委員	風呂井 敬	鹿屋西	893-0037	鹿屋市田崎町709	0994-44-5311	0994-44-6514
	委員	井福 博文	都城西	885-0073	都城市姫城町30-7	0986-25-3304	0986-24-9871
	委員	北山 勉	鹿屋西	890-0014	鹿屋市寿8丁目1-38	0994-43-3505	0994-43-2521
	委員	尾形 栄	延岡	882-0816	延岡市桜小路341-7	0982-21-0644	0982-21-0645
	委員	田中 俊實	鹿屋	893-0014	鹿屋市寿1-15-20	0994-44-6403	0994-44-6403
	委員	戸高 望	都城北	885-0042	都城市上長飯町5427-1	0986-22-3362	0986-25-5914

2020−21年度 地区役員・委員会名簿　2

委員会名	役務	氏名	所属クラブ	〒	連絡先住所	TEL	FAX
危機管理	委員	榎木 敏浩	都城北	889-1801	都城市山之口町富吉3553	0986-29-1070	0986-57-2992
	委員	安川 潔	宮崎南	880-0904	宮崎市中村東1丁目5-24	0985-51-5181	0985-54-0328
	委員	吉留 幸文	国分	899-5101	霧島市隼人町住吉1659-4	090-3327-3213	0995-42-7588
	委員	鈴木 俊二	加治木	899-5215	姶良市加治木町本町153	0995-62-2583	0995-55-6111
	委員	押川 弘巳	宮崎北	880-0031	宮崎市船塚2-87	0985-27-1031	0985-27-0684
	委員	長嶺 貴臣	宮崎北	880-0044	宮崎市大字瓜生野3675-1	0985-41-3380	0985-41-3331
	委員	岩澤 浩二	加治木	899-5223	姶良市新生町10-357	0995-63-2131	0995-63-3336
	委員	川野 潤一郎	姶良	899-5653	姶良市池島町27-1-601	090-7386-6087	0995-66-0661
	委員	石川 勉	鹿屋西	893-0005	鹿屋市共栄町10-6	0994-43-3387	0994-43-3380
	委員	本木 順也	鹿児島SW	892-0827	鹿児島市中町11-4-5F	099-225-6675	099-223-4743
	委員	早川 雅子	鹿屋西	893-0011	鹿屋市打馬２丁目2-27	0994-45-6000	0994-45-6001
	委員	西 幸司	Eークラブ	899-2503	日置市伊集院町妙円寺1丁目21-3	099-273-6124	099-273-6124
	委員	ガバナー補佐　全員					
地区戦略計画	委員長	山下 皓三	鹿児島西	890-0053	鹿児島市中央町5-41-2F	099-253-6943	099-253-6951
	副委員長 （研修リーダー）	安満 良明	加治木	899-5213	姶良市加治木町朝日町187	0995-62-2054	0995-62-2304
	委員	野中 玄雄	延岡東	882-0055	延岡市山下町2-3998	0982-32-5290	0982-32-5295
	委員	押川 弘巳	宮崎北	880-0031	宮崎市船塚2-87	0985-27-1031	0985-27-0684
	委員	風呂井 敬	鹿屋西	893-0037	鹿屋市田崎町709	0994-44-5311	0994-44-6514
	委員	喜島 健一郎	宮崎西	880-0805	宮崎市橘通東4丁目6番18号	0985-32-3277	0985-21-0645
	委員	井福 博文	都城西	885-0073	都城市姫城町30-7	0986-25-3304	0986-24-9871
	委員	ガバナーノミニー					
	委員	北山 勉	鹿屋西	890-0014	鹿屋市寿8丁目1-38	0994-43-3505	0994-43-2521
	委員	岩切 承自	宮崎西	880-0912	宮崎市大字赤江飛江田942-10	0985-52-5700	0985-53-3186
	委員	吉原 信幸	都城西	885-0026	都城市大王町23-4	0986-25-9070	0986-25-9335
	委員	山﨑 隆夫	鹿屋西	893-0045	鹿屋市田淵町1500-5	0994-48-3107	0994-48-3107
	委員	衛藤 清隆	宮崎西	880-0911	宮崎市大字田吉字東前島2205番地	0985-53-3286	0985-53-0638
	委員	吉田 努	都城西	885-0081	都城市鷹尾3丁目28-21	0986-23-6041	0986-23-6209
規定審議会　2020-2023	代表議員	押川 弘巳	宮崎北	880-0031	宮崎市船塚2-87	0985-27-1031	0985-27-0684
	副代表議員	田中 俊實	鹿屋	893-0014	鹿屋市寿1-15-20	0994-44-6403	0994-44-6403
地区立法案・規定検討	委員長	山下 皓三	鹿児島西	890-0053	鹿児島市中央町5-41-2F	099-253-6943	099-253-6951
	副委員長	田中 俊實	鹿屋	893-0014	鹿屋市寿1-15-20	0994-44-6403	0994-44-6403
	委員	安満 良明	加治木	899-5213	姶良市加治木町朝日町187	0995-62-2054	0995-62-2304
	委員	秦 喜八郎	宮崎中央	880-0023	宮崎市和知川原1-107	0985-28-3511	0985-29-1838
	委員	野中 玄雄	延岡東	882-0055	延岡市山下町2-3998	0982-32-5290	0982-32-5295
	委員	風呂井 敬	鹿屋西	893-0037	鹿屋市田崎町709	0994-44-5311	0994-44-6514
	委員	井福 博文	都城西	885-0073	都城市姫城町30-7	0986-25-3304	0986-24-9871
	委員	ガバナーノミニー					
地区70周年実行委員会	委員長	田村 智英	延岡	882-0814	延岡市北町2-1-3	0982-32-2300	0982-21-3116
	副委員長	安満 良明	加治木	899-5213	姶良市加治木町朝日町187	0995-62-2054	0995-62-2304
	副委員長	押川 弘巳	宮崎北	880-0031	宮崎市船塚2-87	0985-27-1031	0985-27-0684
地区運営基金 （地区運営・災害復興・青少年育成・拡大） ４G連絡会	ガバナー	風呂井 敬	鹿屋西	893-0037	鹿屋市田崎町709	0994-44-5311	0994-44-6514
	直前ガバナー	喜島 健一郎	宮崎西	880-0805	宮崎市橘通東4丁目6番18号	0985-32-3277	0985-21-0645
	ガバナーエレクト	井福 博文	都城西	885-0073	都城市姫城町30-7	0986-25-3304	0986-24-9871
	ガバナーノミニー						
	地区幹事	北山 勉	鹿屋西	890-0014	鹿屋市寿8丁目1-38	0994-43-3505	0994-43-2521
	直前地区幹事	岩切 承自	宮崎西	880-0912	宮崎市大字赤江飛江田942-10	0985-52-5700	0985-53-3186
	次年度地区幹事	吉原 信幸	都城西	885-0026	都城市大王町23-4	0986-25-9070	0986-25-9335
	財務委員長	山﨑 隆夫	鹿屋西	893-0045	鹿屋市田淵町1500-5	0994-48-3107	0994-48-3107
	直前財務委員長	衛藤 清隆	宮崎西	880-0911	宮崎市大字田吉字東前島2205番地	0985-53-3286	0985-53-0638
	委員	吉田 努	都城西	885-0081	都城市鷹尾3丁目28-21	0986-23-6041	0986-23-6209
国際大会推進 （台北）	委員長	風呂井 敬	鹿屋西	893-0037	鹿屋市田崎町709	0994-44-5311	0994-44-6514
	副委員長	井福 博文	都城西	885-0073	都城市姫城町30-7	0986-25-3304	0986-24-9871
	委員	ガバナーノミニー					
表彰選考	委員長	喜島 健一郎	宮崎西	880-0805	宮崎市橘通東4丁目6番18号	0985-32-3277	0985-21-0645
	副委員長	岩切 承自	宮崎西	880-0912	宮崎市大字赤江飛江田942-10	0985-52-5700	0985-53-3186

2020−21年度 地区役員・委員会名簿 3

委員会名			役務	氏名	所属クラブ	〒	連絡先住所	TEL	FAX
表彰選考			委員	直前ガバナー補佐 全員					
ガバナー補佐		宮崎県	北部	黒木 耕作	日向東	883-0062	日向市大字日知屋13145	0982-54-0179	0982-54-0179
			中部	金丸 憲史	宮崎西	880-0014	宮崎市鶴島2丁目13番24号	0985-22-6300	0985-22-6527
			中部（副）	日高 均	宮崎西	880-0812	宮崎市高千穂通1-3-26	080-2704-7508	0985-26-1113
			西部	田村 香代子	都城中央	885-0083	都城市都島町210-142	090-6772-3691	0986-22-5716
			南部	坂本 哲夫	日南中央	887-0031	日南市大字戸高1042-7	0987-23-8682	0987-31-0127
		鹿児島県	奄美	中村 勝郎	奄美中央	894-0001	奄美市名瀬大熊1426	0997-52-6346	0997-52-6346
			北部	中村 健二郎	阿久根	899-1611	阿久根市赤瀬川2376-3	0996-73-2100	0996-73-2101
			西部	松下 一郎	枕崎	898-0014	枕崎市東本町10	0993-72-1258	0993-72-2344
			中部	厚地 健二	加治木	899-5215	姶良市加治木町本町110	0995-63-2500	0995-63-5542
			市内A	上川 咲男	鹿児島南	890-0063	鹿児島市鴨池1丁目4-6 4F	099-259-7777	099-252-8158
			市内B	野井倉 洋豪	鹿児島東南	890-0082	鹿児島市紫原4丁目32-20	099-286-6357	099-214-4173
			東部	村上 潤	鹿屋	893-0015	鹿屋市新川町5503	0994-44-5714	0994-42-4142
会員増強部門	会員増強部門		部門長	川原 篤雄	鹿児島SW	891-0122	鹿児島市南栄3-30-10	099-268-0222	099-260-8563
			副部門長	長峯 基	都城	885-0033	都城市妻ヶ丘町48-12	0986-23-8680	0986-23-8695
			委員	各委員長					
	拡大	宮崎県	委員長	長峯 基	都城	885-0033	都城市妻ヶ丘町48-12	0986-23-8680	0986-23-8695
			副委員長	野中 玄雄	延岡東	882-0055	延岡市山下町2-3998	0982-32-5290	0982-32-5295
			委員	宮崎県直前ガバナー補佐 全員					
			委員	宮崎県ガバナー補佐 全員					
		鹿児島県	委員長	川原 篤雄	鹿児島SW	891-0122	鹿児島市南栄3-30-10	099-268-0222	099-260-8563
			副委員長	田中 俊實	鹿屋	893-0014	鹿屋市寿1-15-20	0994-44-6403	0994-44-6403
			委員	鹿児島県直前ガバナー補佐 全員					
			委員	鹿児島県ガバナー補佐 全員					
	会員増強		委員長	工藤 博美	加世田	898-0051	枕崎市中央町504番地	0993-76-2383	0993-73-1593
			副委員長	山田 勝郎	志布志みなと	899-7103	志布志市志布志町志布志2-28-3	099-472-0146	099-472-2225
			委員	児玉 隆	延岡中央	882-0024	延岡市大武町103番地	0982-32-2793	0982-32-0458
			委員	上山 泰寛	宮崎東	880-0817	宮崎市江平東町10-6 ㈱アメックス	0985-24-1535	0985-24-1537
			委員	河野 清見	串間	888-0001	串間市大字西方4659	0987-72-1159	0987-72-0875
			委員	上野 充博	都城中央	885-0112	都城市乙房町1528-1	0986-45-4511	0986-45-4515
			委員	宇都 沙織	都城RAC	885-0019	都城市祝吉2-2-6 ラ・スティール5号館102	080-5262-0743	
			委員	小原 功三	串木野	896-0006	いちき串木野市東塩田町134	0996-33-1801	0996-33-1801
			委員	野田 真由美	枕崎	898-0051	枕崎市中央町504番地	0993-76-2383	0993-73-1593
			委員	前田 豊	姶良	899-5432	姶良市宮島町28-9	0995-66-4949	0995-66-4447
			委員	松下 和裕	鹿児島SW	890-0046	鹿児島市西田1-6-23	099-254-1752	099-250-7126
			委員	前迫 実	鹿児島中央	892-1131	鹿児島市谷山港2-5-21	099-261-9000	099-261-9001
			委員	里原 あけみ	奄美中央	894-0034	奄美市名瀬入舟町14-6	0997-52-0559	0997-53-2455
			委員	向原 嵩登	大口RAC	895-2631	伊佐市大口小木原2017	080-6418-0411	
	奉仕活動部門		部門長	田中 俊實	鹿屋	893-0014	鹿屋市寿1-15-20	0994-44-6403	0994-44-6403
			副部門長	福永 健一	奄美	894-0036	奄美市名瀬長浜町25-2	0997-53-5280	0997-53-5280
			副部門長	戸高 望	都城北	885-0042	都城市上長飯町5427-1	0986-22-3362	0986-25-5914
			委員	各委員長					
	職業奉仕		委員長	福永 健一	奄美	894-0036	奄美市名瀬長浜町25-2	0997-53-5280	0997-53-5280
			副委員長	吉村 隆明	延岡東	882-0866	延岡市平原町1-916-1	080-5286-3268	0982-23-1140
			委員	竹井 崇利	日南	887-0014	日南市岩崎2-2-18	0987-23-4151	0987-22-4059
			委員	吉田 博俊	宮崎	880-0842	宮崎市青葉町119-1	0985-25-4741	0985-29-8650
	社会奉仕		委員長	名島 博	鹿児島	892-0801	鹿児島市稲荷町2-3 チェリーコート稲荷101	080-2791-8878	099-251-2402
			副委員長	赤崎 安隆	鹿児島城西	891-0604	指宿市開聞仙田2307	0993-32-2011	0993-32-3869
			委員	塩月 隆久	延岡	882-0856	延岡市出北1丁目26番26号	0982-34-2411	0982-34-2527
			委員	市坪 慎悟	南九州大崎	899-8313	曽於郡大崎町野方6123	099-478-2104	099-478-2261
	国際奉仕		委員長	田島 幹洋	延岡東	882-0856	延岡市出北１丁目2-25	0982-32-5361	0982-32-6497
			副委員長	萩原 隆志	鹿児島南	892-0842	鹿児島市東千石町14-10-8F	099-224-1200	099-224-1300
			委員	安藤 宏子	延岡	882-0845	延岡市安賀多町4丁目1-9	0982-21-0575	0982-21-0749
			委員	中村 聡	鹿児島SW	890-0053	鹿児島市中央町18-1 南国センタービル6F	099-808-3501	099-808-3507
	青少年奉仕統括		委員長	戸高 望	都城北	885-0042	都城市上長飯町5427-1	0986-22-3362	0986-25-5914
			副委員長	鈴木 俊二	加治木	899-5215	姶良市加治木町本町153	0995-62-2583	0995-55-6111
			委員	安川 潔	宮崎南	880-0904	宮崎市中村東1丁目5-24	0985-51-5181	0985-54-0328

2020−21年度 地区役員・委員会名簿　4

委員会名		役務	氏名	所属クラブ	〒	連絡先住所	TEL	FAX
奉仕プロジェクト部門	青少年奉仕統括	委員	榎木敏浩	都城北	889-1801	都城市山之口町富吉3553	0986-29-1070	0986-57-2992
		委員	吉留幸文	国分	899-5101	霧島市隼人町住吉1659-4	090-3327-3213	0995-42-7588
	インターアクト	委員長	安川潔	宮崎南	880-0904	宮崎市中村東1丁目5-24	0985-51-5181	0985-54-0328
		副委員長	小坂泰一郎	都城西	885-0078	都城市宮丸町5-14-102	0986-21-6486	0986-21-6486
		委員	塩川聖一	宮崎北	880-0124	宮崎市大字新名爪字谷廻4090-21	0985-39-7555	0985-39-7561
		委員	京田一則	阿久根	899-1401	出水郡長島町鷹巣1708-10	0996-86-0177	0996-86-1443
		委員	野田博隆	指宿	891-0402	指宿市十町158番地3	0993-22-4141	0993-24-5416
		委員	新村禎博	鹿屋	890-0032	鹿屋市川西町3703-1	0994-31-1011	0994-31-1168
		委員	玉利佳久	鹿児島南	891-0123	鹿児島市卸本町6-3	099-260-2151	099-260-2192
		委員	三角悦久	鹿児島	892-0815	鹿児島市易居町2番13号　KBKスポーツ上町ビル201号	099-248-9811	099-248-9813
	ローターアクト	委員長	吉留幸文	国分	899-5101	霧島市隼人町住吉1659-4	090-3327-3213	0995-42-7588
		副委員長	石坂乃里子	えびの	889-4221	えびの市大字栗下1374	0984-35-0634	0984-35-2700
		副委員長	小山光義	鹿児島西	891-1304	鹿児島市本名町855-2	099-294-2500	099-294-2278
		副委員長	中間広大	加治木RAC	899-5241	姶良市加治木町木田4274　ノイ・エーネ101号	0995-63-2229	0995-63-2231
		委員	稲留孝男	川内	895-0067	薩摩川内市上川内町2934	0996-20-2125	0996-23-4600
		委員	岩澤浩二	加治木	899-5223	姶良市新生町10-357	0995-63-2131	0995-63-3336
		委員	中原雄一郎	鹿屋	893-1101	鹿屋市吾平町上名7312	0994-58-7171	0994-58-8363
		委員	中野三郎	串良	893-0031	鹿屋市川東町6717-1	0994-40-9025	0994-40-3002
		委員	東則秋	鹿児島東南	890-0054	鹿児島市荒田２丁目66-18	099-204-9010	099-255-7948
	青少年交換	委員長	榎木敏浩	都城北	889-1801	都城市山之口町富吉3553	0986-29-1070	0986-57-2992
		副委員長	岩切洋	高鍋	884-0005	児湯郡高鍋町大字持田1582	0983-22-1177	0983-22-1134
		委員	佐藤信博	延岡	882-0836	延岡市恒富町4-33	0982-22-0744	0982-22-0756
		委員	塩川聖一	宮崎北	880-0124	宮崎市大字新名爪字谷廻4090-21	0985-39-7555	0985-39-7561
		委員	中間博英	加治木	899-5213	姶良市加治木町朝日町156	0995-63-2229	0995-63-2231
		委員	米丸麻希子	国分	899-5431	姶良市西餅田1777-293	0995-62-0444	0995-62-0042
		委員	丸野史朗	霧島	899-6507	霧島市牧園町宿窪田2279-1	0995-76-0062	0995-76-2125
		委員	戸高望	都城北	885-0042	都城市上長飯町5427-1	0986-22-3362	0986-25-5914
	ライラ	委員長	鈴木俊二	加治木	899-5215	姶良市加治木町本町153	0995-62-2583	0995-55-6111
		副委員長	廣田みき	Eークラブ	892-0834	鹿児島市南林寺町14-9-503	090-1087-9461	0995-67-2530
		委員	藤原荘一郎	延岡中央	882-0845	延岡市安賀多町２丁目4-1	0982-33-3072	0982-35-3333
		委員	前田嘉郎	霧島	899-6603	霧島市牧園町高千穂3914	0995-78-2424	0995-78-2425
		委員	揚野慎太郎	枕崎	898-0022	枕崎市宮田町118-1	0993-73-1111	0993-72-0589
		委員	中山昌人	南九州大崎	899-7302	曽於郡大崎町神領2374-1	099-476-0608	099-476-1150
		委員	居川亮	鹿児島東南	892-0834	鹿児島市南林寺町18-19	099-225-2957	099-227-3757
		委員	對喜学	奄美中央	894-0068	奄美市名瀬浦上町5-19	090-4982-5990	0997-55-1044
		委員	山田早穂	鹿児島東南RAC	892-0837	鹿児島市甲突町19−20　エイルマンション城南通り512	080-1535-3942	
クラブ管理部門	クラブ管理部門	部門長	古木圭介	鹿児島西	891-0103	鹿児島市皇徳寺台5-28-5	099-264-1566	099-264-1566
		副部門長	中熊良定	出水	899-0217	出水市平和町490-1	0996-62-0514	0996-62-7595
		委員	各委員長					
	クラブ管理運営（クラブ奉仕）	委員長	中熊良定	出水	899-0217	出水市平和町490-1	0996-62-0514	0996-62-7595
		副委員長	上田普	西都	881-0004	西都市大字清水1625-1	0983-43-1157	0983-43-1147
		委員	平松寛	宮崎中央	880-0837	宮崎市村角町2278-1	0985-28-9696	0985-28-9749
		委員	上村裕治	志布志	899-7104	志布志市志布志町安楽6214番地1	099-471-1166	099-471-1167
		委員	久保利男	奄美	894-0006	奄美市名瀬小浜町20-8	0997-54-4621	0997-54-4622
	クラブ戦略計画推進	委員長	津野田兼吾	延岡中央	882-0874	延岡市伊達町3-71	0982-32-1171	0982-32-1181
		副委員長	藤本範行	高鍋	884-0006	児湯郡高鍋町上江8345	0983-32-7970	0983-32-7970
		委員	片地昭次	宮崎北	880-0817	宮崎市江平東町6-3	0985-28-6811	0985-28-6813
		委員	二井義尚	かのや東	893-0005	鹿屋市共栄町9-5	0994-42-2628	0994-42-2628
		委員	山田拓也	鹿児島西	897-0202	南九州市川辺町清水9860	0993-56-1432	0993-56-1538
	クラブリーダー養成	委員長	柏田直俊	日向	883-0062	日向市日知屋5677番地2	090-4995-8857	0982-52-0186
		副委員長	黒木克大	志布志みなと	899-7103	志布志市志布志町志布志3丁目22番25号	080-4277-8009	099-479-3773
		委員	佐世雅俊	えびの	889-4165	えびの市大字西川北301-1	0984-37-2764	0984-37-2764
		委員	鮎川和弘	加世田	897-0006	南さつま市加世田本町26-8	0993-53-6262	0993-53-6866
		委員	瀬川英憲	鹿児島城西	890-0045	鹿児島市武１丁目25-8	099-214-8102	099-214-8102
	ロータリー財団部門	部門長	押川弘巳	宮崎北	880-0031	宮崎市船塚2-87	0985-27-1031	0985-27-0684
		副部門長	有村茂樹	鹿児島東	891-0144	鹿児島市下福元町3481	099-260-2811	099-260-0003

2020−21年度 地区役員・委員会名簿　5

委員会名		役務	氏名	所属クラブ	〒	連絡先住所	TEL	FAX
ロータリー財団部門	ロータリー財団部門	委員	各委員長					
	財団資金推進	委員長	藤堂 孝一	佐土原	880-0302	宮崎市佐土原町西上那珂5632	0985-74-2575	0985-74-3962
		副委員長	入佐 光二	鹿児島東	890-0002	鹿児島市西伊敷4丁目14-4	099-228-9232	099-228-9232
		委員	マイケル インディゴ	宮崎西	880-0864	宮崎市吾妻町131-1-2F	090-1928-3040	0985-29-8904
		委員	重信 千代乃	奄美中央	894-0021	奄美市名瀬伊津部町27-1	0997-53-5524	0997-53-3900
	補助金（グローバル補助金・VTT）	委員長	谷口 学	鹿児島	892-0818	鹿児島市上本町14-7	099-222-6616	099-222-6615
		副委員長	井岡 松司	鹿児島SW	890-0053	鹿児島市中央町31-9	099-214-3590	099-214-3589
		委員	坂下 元信	都城中央	889-3143	日南市大字下方2217-7	0987-27-1383	0987-27-2478
		委員	久木山 元成	きもつき	883-1103	鹿屋市吾平町麓2838-4	0994-58-6066	0994-58-6721
	ポリオプラス・ロータリーカード	委員長	中村 聡	鹿児島SW	890-0053	鹿児島市中央町18-1-6F	099-808-3501	099-508-3507
		副委員長	大田 寛子	宮崎南	880-0925	宮崎市本郷北方2753-5	0985-51-9703	0985-53-8922
		委員	松尾 洋志	宮崎西	880-0035	宮崎市北方町上田2972-4	0985-41-4387	0985-41-4387
		委員	大石 博資	鹿屋西	890-0037	鹿屋市田崎町850番地	0994-42-5251	0994-42-0232
	ロータリー平和フェローシップ	委員長	南 徹	鹿児島西	892-0816	鹿児島市山下町12-12	099-225-1311	099-227-2739
		副委員長	明石 良	宮崎アカデミー	889-2192	宮崎市学園木花台西1-1	0985-58-7257	0985-58-7257
		委員	西岡 稔	宮崎北	880-0824	宮崎市大島町南窪878-2	0985-28-4605	0985-28-4605
		委員	川野 潤一郎	姶良	899-5653	姶良市池島町27-1-601	090-7386-6087	0995-66-0661
	財団資金管理	委員長	阿多 優二	出水	899-0402	出水市高尾野町柴引2101	0996-82-0044	0996-82-0501
		副委員長	武井 美智子	鹿児島南	890-0052	鹿児島市上之園町34-20-101	099-285-0051	099-285-0323
		委員	原崎 辰男	串良	893-1601	鹿屋市串良町細山田4510-10	0994-62-2111	0994-62-2992
		委員	安田 宏子	鹿児島北	892-0842	鹿児島市東千石町6-17	099-221-6336	099-221-6336
米山記念奨学会部門	ロータリー米山記念奨学会　理事		押川 弘巳	宮崎北	880-0031	宮崎市船塚2-87	0985-27-1031	0985-27-0684
	ロータリー米山記念奨学会　評議員		川原 篤雄	鹿児島SW	891-0122	鹿児島市南栄3-30-10	099-268-0222	099-260-8563
	米山記念奨学会部門	部門長	長嶺 貴臣	宮崎北	880-0044	宮崎市大字瓜生野3675-1	0985-41-3380	0985-41-3331
		副部門長	池ノ上 克	宮崎	889-2192	宮崎市学園木花台西1-1	0985-58-7100	0985-58-2818
		委員	各委員長					
	米山寄付推進	委員長	濵田 紘一	鹿児島城西	890-0061	鹿児島市天保山町14-22	099-252-2728	099-255-8479
		副委員長	池ノ上 克	宮崎	889-2192	宮崎市学園木花台西1-1	0985-58-7100	0985-58-2818
		委員	小屋 健二	串良	899-7305	曽於郡大崎町假宿1973-5	099-476-2793	099-476-4867
		委員	谷川 正秀	かのや東	893-0015	鹿屋市新川町5454-32	090-8299-6867	0994-44-6547
	米山奨学選考	委員長	長嶺 貴臣	宮崎北	880-0044	宮崎市大字瓜生野3675-1	0985-41-3380	0985-41-3331
		副委員長	岩切 昇	西都				
		委員	志村 正子	鹿屋西	891-2303	鹿屋市海道町183-21	0994-46-3976	0994-46-3976
		委員	池田 京子	鹿児島南	892-0838	鹿児島市新屋敷町16-1412	099-225-4779	099-225-4779
	米山学友	委員長	柳川 昌理	宮崎北	880-0951	宮崎市大塚町乱橋4551-1	0985-63-0108	0985-63-0191
		副委員長	重久 真一	国分	899-5102	霧島市隼人町真孝51-6	0995-42-2311	0995-42-1311
		委員	小川 ちえみ	鹿児島SW	890-0085	鹿児島市南新町4-18	099-252-7443	099-252-7444
		委員	池田 幸枝	鹿児島	890-0062	鹿児島市与次郎2-6-6-1508	090-7477-5388	099-222-7888
広報・公共イメージ	広報・公共イメージ部門	部門長	尾形 栄	延岡	882-0816	延岡市桜小路341-7	0982-21-0644	0982-21-0645
		副部門長	安達 龍大	宮崎北	880-2112	宮崎市大字小松1046	090-3196-0700	0985-89-2706
		委員	各委員長					
	公共イメージ	委員長	尾形 栄	延岡	882-0816	延岡市桜小路341-7	0982-21-0644	0982-21-0645
		副委員長	桑畑 誠	宮崎北	880-0816	宮崎市江平東2丁目3-10　AXIA502	090-9797-7107	0985-20-7502
		委員	徳永 博光	指宿	891-0404	指宿市東方10473-3	0993-22-5110	0993-22-2846
		委員	久木田 弘	鹿屋西	893-0002	鹿屋市本町4番8号	0994-43-1110	0994-43-1891
	広報・ＩＴ（コミュニケーション計画）	委員長	安達 龍大	宮崎北	880-2112	宮崎市大字小松1046	090-3196-0700	0985-89-2706
		副委員長	吉満 祐市	川内	895-0041	薩摩川内市隈之城町2077-3	090-1088-8595	0996-20-0520
		委員	西 幸司	E－クラブ	899-2503	日置市伊集院町妙円寺1丁目21-3	099-273-6124	099-273-6124
		委員	東 叔恵	都城西	885-0004	都城市都北町7166番地	0986-36-6600	0986-36-4660
	ロータリー情報誌	委員長	川添 大	きもつき	893-1206	肝属郡肝付町前田4816-8	0994-65-0299	0994-65-5926
		副委員長	中村 隆洋	枕崎	898-0063	枕崎市折口町36	0993-72-0164	0993-72-9239
		委員	水居 徹	宮崎アカデミー	880-0022	宮崎市大橋１丁目７番地　大橋ビル5F	0985-61-1945	0985-61-1943
		委員	川崎 千加	国分	899-4661	霧島市国分上之段1360-1	0995-48-2642	0995-48-2643
ロータリーの友	ロータリーの友	地区代表委員	深尾 兼好	鹿児島西	890-0056	鹿児島市下荒田1丁目1-20-2F	099-297-5711	099-297-5712
		副代表委員	東 叔恵	都城西	885-0004	都城市都北町7166番地	0986-36-6600	0986-36-4660
		委員	四元 隆二	鹿屋西	893-0064	鹿屋市西原1-32-10	0994-43-7031	0994-43-7031

2020−21年度 地区役員・委員会名簿　6

委員会名	役務	氏名	所属クラブ	〒	連絡先住所	TEL	FAX
ロータリー学友	委員長	岩澤浩二	加治木	899-5223	姶良市新生町10-357	0995-63-2131	0995-63-3336
	副委員長	佐藤信博	延岡	882-0836	延岡市恒富町4-33	0982-22-0744	0982-22-0756
	委員	戸高望	都城北	885-0042	都城市上長飯町5427-1	0986-22-3362	0986-25-5914
	委員	米丸麻希子	国分	899-5431	姶良市西餅田1777-2	0995-56-8088	0995-55-1581
	委員	前田均	鹿屋西	893-0014	鹿屋市寿8丁目12-26	0994-43-3310	0994-43-3309
地区財務	委員長	山﨑隆夫	鹿屋西	893-0045	鹿屋市田淵町1500-5	0994-48-3107	0994-48-3107
	副委員長	衛藤清隆	宮崎西	880-0911	宮崎市田吉字東前島2205-4	090-7924-8181	0985-53-0638
	委員	吉田努	都城西	885-0081	都城市鷹尾3丁目28-21	0986-23-6041	0986-23-6209
地区監査	委員長	右田省二	鹿児島SW	890-0063	鹿児島市鴨池2-1-10	099-254-7376	099-256-7930
	副委員長	新田哲史	延岡東	882-0052	延岡市萩町103-3-501	0982-31-5331	0982-21-4007
	委員	岩﨑隆夫	かのや東	893-0014	鹿屋市寿8丁目16番21号	0994-43-5011	0994-43-8752
ガバナー月信	委員長	池田志保子	鹿屋西	893-0024	鹿屋市下祓川町1800	0994-43-2546	0994-43-2937
	副委員長	四元隆二	鹿屋西	893-0064	鹿屋市西原1-32-10	0994-43-7031	0994-43-7031
	委員	西ノ原庄一	鹿屋西	893-0013	鹿屋市札元2丁目3808-6	0994-43-3094	0994-43-7172
	委員	鹿屋西RC担当委員					
地区大会実行	委員長	前田均	鹿屋西	893-0014	鹿屋市寿8丁目12-26	0994-43-3310	0994-43-3309
	副委員長	遠矢達一	鹿屋西	893-0002	鹿屋市本町8-10	0994-44-3123	0994-40-3728
	委員	鶴丸秀治	鹿屋西	893-0013	鹿屋市札元1-15-28	0994-40-2122	0994-40-2122
	委員	上谷田浩幸	鹿屋西	893-0014	鹿屋市寿2丁目14-35	0994-43-0020	0994-43-0231
	委員	伊東計	鹿屋	893-0065	鹿屋市郷之原町14986	0994-43-3372	0994-43-3382
	委員	横山伸一	きもつき	893-1206	肝属郡肝付町前田991	0994-65-2844	0994-65-1356
	委員	久徳博文	南九州大崎	899-7302	曽於郡大崎町神領2156-1	099-476-1131	0994-476-3244
	委員	鹿屋西RC担当委員					
ガバナー事務局	地区幹事	北山勉	鹿屋西	890-0014	鹿屋市寿8丁目1-38	0994-43-3505	0994-43-2521
	筆頭副幹事	園田泰治	鹿屋西	893-0022	鹿屋市旭原町3634-1	0994-40-4300	0994-40-4610
	副幹事	伊東計	鹿屋	893-0065	鹿屋市郷之原町14986	0994-43-3372	0994-43-3382
	副幹事	田中穂積	かのや東	893-0021	鹿屋市東原町6006-1	0994-42-7112	0994-42-7113
	副幹事	中野三郎	串良	893-0031	鹿屋市川東町6717-1	0994-40-9025	0994-40-3002
	副幹事	横山伸一	きもつき	893-1206	肝属郡肝付町前田991	0994-65-2844	0994-65-1356
	副幹事	久徳博文	南九州大崎	899-7302	曽於郡大崎町神領2156-1	099-476-1131	0994-476-3244
	副幹事	山元秀樹	志布志	899-7401	志布志市有明町伊崎田8213-2	099-474-1000	099-474-2100
	副幹事	三浦優	志布志みなと	899-7103	志布志市志布志町志布志2-11-8	099-472-0113	099-472-0891
	副幹事	久永義伸	鹿屋西	893-0021	鹿屋市東原町6914-3	0994-44-5265	0994-44-6942
	副幹事	久木田弘	鹿屋西	893-0002	鹿屋市本町4番8号	0994-43-1110	0994-43-1891
	アドバイザー	古江矢	鹿屋西	893-0014	鹿屋市寿5丁目1番17号	0994-44-0004	0994-44-7742
		鹿屋西RC担当委員					
地区連絡事務所（都城）	事務局長	鎌田明彦	都城	885-0095	都城市蓑原町8766番地	0986-24-2422	0986-24-2423
	事務局員	大王佐和子		885-0072	都城市上町8-9 メインホテル	0986-36-5877	0986-36-5878
ガバナー事務所	事務局長	中原浩一	鹿屋西	893-0014	鹿屋市寿8丁目20-23	0994-44-9509	0994-44-9509
	事務局員	新山田真由美	鹿屋西	893-0064	鹿屋市西原1丁目9-10　さつき苑	0994-35-1340	0994-35-1341
	事務局員	橋口志保	鹿屋	893-0064	鹿屋市西原1丁目9-10　さつき苑	0994-35-1340	0994-35-1341

2020−21年度クラブ会長・幹事名簿（宮崎県）

2020年4月1日現在（会員数2020年1月1日現在）

グループ	クラブ名	会長	幹事	クラブ住所・メールアドレス	TEL/FAX	例会日	会員数	創立年月日 認証年月日
宮崎県北部	延岡	岸上　和男	柳田　淳	〒882-0035 延岡市日の出町1-17-12　日の出ビル2-2 rotary-nobeoka@mist.ocn.ne.jp	0982-35-6644 0982-35-6649	水	79	S29.6.17 S29.6.30
	日向	日高　秀和	田野　裕德	〒883-0013 日向市新生町2-33-2 hyuga@hyuga3rc.org	0982-52-3332 0982-52-3525	月	21	S35.4.3 S35.4.30
	延岡東	山本　秀輝	柳田　英明	〒882-0855 延岡市卸本町12-9 延岡卸商業センター内 katorea@ma.wainet.ne.jp	0982-31-1423 0982-34-3096	月	64	S41.1.26 S42.1.16
	日向東	江川　昌義	金丸　政司	〒883-0013 日向市新生町2-33-2 higashi@hyuga3rc.org	0982-52-3332 0982-52-3525	火	26	S50.5.28 S50.6.16
	延岡中央	吉田　静正	桑原　英一	〒882-0047 延岡市紺屋町1-4-22 ncrc@bf.wakwak.com	0982-35-4986 0982-35-4987	木	54	S54.5.25 S54.6.25
	日向中央	那須　一徳	長友由香里	〒883-0013 日向市新生町2-33-2 chuo@hyuga3rc.org	0982-52-3332 0982-52-3525	水	7	S62.3.28 S62.5.7
	門川	島田　国雄	赤澤　始	〒889-0611 東臼杵郡門川町大字門川尾末8990 kadogawa.rotary@gmail.com	0982-63-1003 0982-63-1003	木	8	H4.5.13 H4.6.1
宮崎県中部	宮崎	山田　俊介	金丸　宜裕	〒880-0804 宮崎市宮田町13-8　田崎ビル m-rotary@mnet.ne.jp	0985-24-4872 0982-22-0288	火	102	S28.2.17 S28.3.3
	宮崎西	松本　純明	後藤祐治郎	〒880-0806 宮崎市広島1丁目3-3　秀豊ビル4階 m.n-rc@alto.ocn.ne.jp	0985-22-6767 0985-22-9170	金	105	S35.4.8 S35.5.8
	宮崎北	菅沼　龍夫	新井　貴博	〒880-0804 宮崎市宮田町13-8　田崎ビル jimukyoku@miyazakikita-rc.com	0985-24-4872 0985-22-0288	水	84	S44.10.22 S45.1.6
	宮崎南	川村　雅宣	島田　博良	〒880-0806 宮崎市広島1丁目3-3　秀豊ビル4階 m.m-rc@alto.ocn.ne.jp	0985-22-6767 0985-22-9170	月	47	S50.3.24 S50.5.29
	高鍋	長谷川修身	緒方　隆憲	〒884-0002 児湯郡高鍋町北高鍋1368-4 ホテル泉屋内 info@takanabe-rotary.jp	0983-21-1636 0983-21-1636	木	40	S51.6.17 S51.10.11
	西都	中野　徹	橋口　久士	〒881-0033 西都市妻1698番地1 saito.rc@miyazaki-catv.ne.jp	0983-43-1184 0983-43-1184	火	20	S60.7.23 S60.8.15
	宮崎中央	小村賢一郎	西橋　龍博	〒880-0806 宮崎市広島1丁目3-3　秀豊ビル4階 m.c-rc@air.ocn.ne.jp	0985-22-6767 0985-22-9170	木	54	S61.4.10 S61.5.12
	佐土原	鬼塚　圭司	藤堂　孝一	〒880-0211 宮崎市佐土原町下田島11703-18 sadowararc@drive.ocn.ne.jp	0985-62-7833 0985-62-7877	水	26	S62.10.16 S63.1.8
	宮崎東	山口　登幸	柳園　八星	〒880-0804 宮崎市宮田町13-8　田崎ビル miyazakihigashi@mnet.ne.jp	0985-24-4872 0985-22-0288	月	29	H9.6.2 H9.6.18
	宮崎アカデミー	金岡　保之	薬王寺文宏	〒880-0806 宮崎市広島1丁目3-3　秀豊ビル4階 miyazaki.academy.rc@gmail.com	0985-22-6767 0985-22-9170	火	41	H30.3.27 H30.5.16
宮崎県西部	都城	温水　玲子	津曲由紀子	〒885-0072 都城市上町8-9　メインホテル4F rc2730@lily.ocn.ne.jp	0986-25-0834 0986-25-0618	金	55	S29.8.25 S29.10.14
	小林	恒松　和廣	瀬戸山雅光	〒886-0004 小林市細野266-4 rc2730kpobayashi@jupiter.ocn.ne.jp	0984-23-5225 0984-23-5225	水	32	S36.3.15 S36.6.7
	都城北	中原　正暢	井上　俊朗	〒885-0072 都城市上町8-9　メインホテル4F rc2730@lily.ocn.ne.jp	0986-25-0834 0986-25-0618	火	44	S41.10.1 S41.12.27
	えびの	石坂乃里子	佐世　雅敏	〒889-4221 宮崎県えびの市大字栗下1628 hisa.taka-25@dance.ocn.ne.jp	0984-35-1513 0984-35-2739	木	14	S43.9.2 S43.12.4
	都城西	外山　俊明	高辺　晃也	〒885-0072 都城市上町8-9　メインホテル4F rc2730@lily.ocn.ne.jp	0986-25-0834 0986-25-0618	水	40	S51.3.10 S51.3.31
	小林中央	小堀　正己	横山　剛広	〒886-0007 小林市真方313-1　(株)楽らく kobayashityuuou@gmail.com	0984-23-0500 0984-23-0500	火	10	S59.1.20 S59.1.31
	都城中央	三坂幸一郎	富森　恵一	〒885-0072 都城市上町5-9 chuo-rc@btvm.ne.jp　(例会不定期)	0986-21-5555 0986-21-5566	木	30	S61.4.10 S61.4.30
	ジャパンカレントEクラブ	今柳田幸代	東　岳也	〒885-0072 都城市上町8-9 メインホテル地区事務所内 rec2730@gmail.com	090-5486-1055 080-4664-2338	月~日	18	H26.4.1 H26.6.23
宮崎県南部	日南	村岡　俊宏	黒岩　久登	〒887-0001 日南市岩崎3丁目4番地1-2号 Itten堀川ビル2F 創客創人センター内 nichinan-rc@voice.ocn.ne.jp	0987-22-3363 0987-22-3515	水	34	S29.6.17 S29.6.30
	日南中央	門口　厚	湯浅　吉弘	〒887-0014 日南市岩崎2丁目4-18 nichinan-chuou-rc@dolphin.ne.jp	0987-27-3339 0987-27-3383	火	13	S52.9.16 S52.9.29
	串間	日高　健次	西山　輝男	〒888-0001 串間市大字西方5740-1 矢野不動産ビル3F	0987-72-6647 0987-72-6657	木	12	H1.5.11 H1.11.19

2020−21年度クラブ会長・幹事名簿（鹿児島県）

2020年4月1日現在（会員数2020年1月1日現在）

グループ	クラブ名	会長	幹事	クラブ住所・メールアドレス	TEL/FAX	例会日	会員数	創立年月日 認証年月日
鹿児島県北部	川内	影山　俊二	植村　一	〒895-0027 薩摩川内市西向田町6-32　サンビル2F sendai-rc@tnb.bbiq.jp	0996-20-2211 0996-20-2218	火	60	S29.4.6 S29.5.18
	串木野	流鏑馬祐二	桑木野洋一	〒896-0055 いちき串木野市照島5928-8 kushikinorotary@yahoo.co.jp	0996-20-2211 0996-20-2218	火	10	S40.5.21 S40.10.15
	出水	田上真由美	岩﨑　憲二	〒899-0212 出水市上知識町90 keniwa@agate.plala.or.jp	0996-62-1414 0996-62-4287	木	41	S43.12.5 S43.12.18
	阿久根	外園　生一	中薗　茂	〒899-1624 阿久根市大丸町16　阿久根商工会議所内 akune-rc@po5.synapse.ne.jp	0996-72-3611 0996-72-3611	火	52	S49.6.19 S49.10.7
	大口	迫田　辰郎	安留　和法	〒895-2511 伊佐市大口里479-1 yasudomehudousan@yahoo.co.jp	0995-22-7211 0995-22-7211	水	25	S50.10.12 S51.1.20
	薩摩川内	管木かおる	福山　征志	〒895-0026 薩摩川内市東向田町8-15 satsumasendai@bridge.ocn.ne.jp	0996-25-2712 0996-25-2712	水	26	S55.4.4 S55.5.1
	宮之城	坂口　茂樹	木場　久彦	〒895-2101 薩摩郡さつま町鶴田2675-1 miyarotari@po.minc.ne.jp	0996-59-3292 0996-59-3292	水	10	S57.12.8 S57.12.29
鹿児島県中部	加治木	笹山　義弘	新川　義博	〒899-5231 姶良市加治木町反土706-1 ri2730kajiki@yahoo.co.jp	0995-62-9188 0995-62-9189	火	28	S42.6.24 S42.9.23
	国分	宮川　尚之	大久保　篤	〒899-4321 霧島市国分広瀬2丁目26-18 k-rotary@po.mct.ne.jp	0995-45-5455 0995-45-5455	木	40	S50.11.6 S51.2.23
	霧島	山下　大介	丸野　史朗	〒899-6503 霧島市牧園町高千穂3311 soumu@kirishima-gc.or.jp	0995-78-2324 0995-78-3133	木	15	S57.4.9 S57.6.6
	国分中央	有村　幸光	高尾野勇輝	〒899-4304 霧島市国分清水1丁目24-8-9 kokubuchuo.rc@gmail.com	090-1975-2971 0995-50-3704	水	27	S62.3.11 S62.3.31
	姶良	大野　文夫	安満　浩二	〒899-5222 姶良市加治木町錦江町130 sp9w3ft9@heart.ocn.ne.jp	0995-63-1727 0995-63-1727	水	15	H5.5.9 H5.5.27
鹿児島市内A	鹿児島南	田中　紀充	直井　圭介	〒890-0062 鹿児島市与次郎1丁目8-10 サンロイヤルホテル4F south-rc@po.minc.ne.jp	099-254-1117 099-254-1119	水	40	S33.12.1 S34.4.4
	鹿児島西	川畑　宏二	菊永昭二郎	〒892-0828 鹿児島市金生町3-13-5F info@kagoshima-w-rc.jp	099-223-5902 099-223-7507	水	71	S38.3.23 S38.6.13
	鹿児島城西	村田恵美子	野田健太郎	〒890-0053 鹿児島市中央町5-1 鹿児島東急REIホテル内 jose-rc@po4.synapse.ne.jp	099-251-5168 099-251-5290	火	34	S61.9.16 S61.10.24
	鹿児島東	桑畑　弘之	入佐　光二	〒892-0844 鹿児島市山之口町9-8 サンデイズイン鹿児島内 k-east_rc@po5.synapse.ne.jp	099-222-3325 099-222-3350	木	20	S62.1.8 S62.2.16
	鹿児島サザンウインド	岩下いずみ	小川ちえみ	〒890-0053 鹿児島市中央町5-1 鹿児島東急REIホテル内 kswrc@po5.synapse.ne.jp	090-5295-2736 099-251-5290	木	54	H9.4.3 H9.4.9
	鹿児島令和	正　浩樹	鶴木　利成	〒892-0871 鹿児島市吉野町1049-1　㈱山之内庭園内 info@k-reiwa-rc.org	090-2078-6865 099-247-9146	月	32	H31.4.22 R1.5.1
鹿児島市内B	鹿児島	市坪　孝志	谷口　学	〒892-0828 鹿児島市金生町3-13-5F k.r.c@fine.ocn.ne.jp	099-222-6527 099-226-3010	金	68	S27.10.10 S28.1.16
	鹿児島東南	飯野　和男	東　則秋	〒890-0062 鹿児島市与次郎1丁目8-10-4階 info@tounanrc.jp	099-259-6855 099-259-1622	火	22	S44.5.6 S44.6.13
	鹿児島中央	加島　繁	高岡　和也	〒892-0828 鹿児島市金生町3-13-5F kchuorc@bi.wakwak.com	099-223-9366 099-239-3504	月	57	S52.1.10 S52.1.27
	鹿児島西南	月野　暎史	永田　和大	〒891-0141 鹿児島市谷山中央4丁目201-3 seinan-rc@cosmos.ocn.ne.jp	099-267-0896 099-267-1391	水	12	S55.2.23 S55.3.28
	鹿児島北	松枝　正隆	地福　秀逸	〒890-0064 鹿児島市鴨池新町22-1 アートホテル鹿児島内 koj-northrc@po.minc.ne.jp	090-6504-9605 099-252-9605	木	31	H1.4.13 H1.5.10
鹿児島県西部	指宿	梅垣　晃一	竹﨑　拓也	〒891-0403 指宿市十二町3755 ibusuki2730@po4.synapse.ne.jp	0993-22-3088 0993-22-6760	火	28	S40.5.8 S40.6.24
	伊集院	池田　政之	児島　誠	〒899-2501 日置市伊集院町下谷口1980-7 rc2730@gmail.com	099-273-4625 099-273-4625	水	28	S44.7.12 S44.8.22
	加世田	宮ヶ谷智治	村田　敏史	〒897-0006 南さつま市加世田本町26番地8 kaseda_rotary@yahoo.co.jp	0993-76-1031 0993-53-6866	火	15	S47.10.18 S48.3.8
	頴娃	吉村　忍	蒴原　毅	〒891-0702 南九州市頴娃町郡307-3 eirotary@yahoo.co.jp	0993-36-0148 0993-36-0510	木	16	S47.11.15 S48.1.6
	枕崎	揚野慎太郎	中山　留美	〒898-0051 枕崎市中央町1 rotary-club@po5.synapse.ne.jp	0993-72-9911 0993-72-9911	月	24	S47.12.14 S48.3.8
鹿児島県東部	鹿屋	福重　満広	松下　和夫	〒893-0006 鹿屋市向江町4-15　ホテルこばやし内5F kanoya.rc@po2.synapse.ne.jp	0994-42-4308 0994-42-4842	水	52	S33.4.5 S33.6.4
	串良	濵上　博幸	福永　博文	〒899-7306 曽於郡大崎町永吉6059 kushirar@aurora.ocn.ne.jp	099-476-2461 099-476-2491	月	36	S43.11.5 S43.11.14
	鹿屋西	王谷　英仁	中原　浩一	〒893-0064 鹿屋市西原1-9-10　ホテルさつき苑内 kanoya24@po5.synapse.ne.jp	0994-44-5811 0994-41-1959	月	47	S52.11.28 S52.12.7
	志布志	上村　裕治	末満　拓也	〒899-7103 志布志市志布志町志布志2丁目1-14 shibushi.rc@kvj.biglobe.ne.jp	099-473-0216 099-478-0166	火	24	S56.1.6 S56.2.24
	かのや東	福満　哲也	宮下　義昭	〒893-0005 鹿屋市共栄町12-3 かのや大黒グランドホテル内 kerc@po4.synapse.ne.jp	0994-43-2344 0994-43-2796	木	42	S60.4.4 S60.5.13
	きもつき	松元　健作	坂元　洋二	〒899-7306 曽於郡大崎町永吉6059 kushirar@aurora.ocn.ne.jp	099-476-2461 099-476-2491	水	23	H4.1.28 H4.2.24
	南九州大崎	中倉　広文	福田　仁司	〒899-7306 曽於郡大崎町永吉6059 oosakirc@gmail.com	099-476-2461 099-476-2491	木	29	H10.3.12 H10.3.25
	志布志みなと	岩切　則之	黒木　弘	〒899-7103 志布志市志布志町志布志2丁目1-14 shibushi.rc@kvj.biglobe.ne.jp	099-473-0216 099-478-0166	水	47	H11.5.11 H11.6.2
奄美	奄美	萩原　正文	平　孝之	〒894-0026 奄美市名瀬港町2-1 奄美サンプラザホテル3F別館 amami-rc@po5.syanapse.ne.jp	0997-53-5566 0997-53-5369	木	56	S36.1.10 S36.4.24
	奄美中央	才原　勇	津畑　晃	〒894-0026 奄美市名瀬港町2-1 奄美サンプラザホテル3F naze-crc@estate.ocn.ne.jp	0997-52-9388 0997-52-9502	火	58	S54.4.21 S54.5.24
	奄美瀬戸内	町田　慶太	仲村　彬	〒894-1510 大島郡瀬戸内町古仁屋瀬久井西20-2 setoutirotari@blue.ocn.ne.jp	0997-72-4127 0997-72-4127	水	15	H4.3.13 H4.4.7

2020−21年度 地区ローターアクト・インターアクト現況

■ローターアクト

	クラブ名	スポンサークラブ	発会日	会員数
宮崎県	小林	小林	1969.9.27	12
宮崎県	宮崎	宮崎	1970.1.13	10
宮崎県	えびの	えびの	1975.9.25 2015.6.8 （再認証）	5
宮崎県	都城	都城	1970.4.11	6
宮崎県	宮崎中央	宮崎中央	1986.12.11	0
宮崎県	宮崎西 フェニックス オーシャン	宮崎西	1998.4.22	7
宮崎県	高鍋	高鍋	2002.1.31	休止中
宮崎県	小計 7クラブ 40名			
鹿児島県	鹿児島	鹿児島	1976.7.01	9
鹿児島県	加治木	加治木	1977.3.16	1
鹿児島県	鹿児島中央	鹿児島中央	1981.1.12	休止中
鹿児島県	国分	国分	1981.4.20	7
鹿児島県	川内	川内	1982.1.17	12
鹿児島県	大口	大口	1986.4.01	6
鹿児島県	出水	出水	1986.9.29	6
鹿児島県	阿久根	阿久根	1987.1.21	9
鹿児島県	国分中央	国分中央	2001.6.26	休止中
鹿児島県	鹿児島東南	鹿児島東南	1975.6.24	5
鹿児島県	鹿児島西	鹿児島西	1976.6.24	8
鹿児島県	鹿屋	鹿屋	1970.6.27	5
鹿児島県	名瀬	奄美	1986.6.13	休止中
鹿児島県	指宿	指宿	1986.12.16	7
鹿児島県	串良	串良	1987.5.23	5
鹿児島県	奄美中央	奄美中央	2004.4.09	10
鹿児島県	小計 16クラブ 90名			
合計 23クラブ 130名				

■インターアクト

2020年3月31日現在

	クラブ名	スポンサークラブ	発会日	会員数
宮崎県	都城商業高校	都城	1966.6.24	6
宮崎県	宮崎日本大学付属高校	宮崎北	1976.4.24	21
宮崎県	都城聖ドミニコ学園高校	都城北	1977.2.12	19
宮崎県	都城西高校	都城西	1986.1.12	30
宮崎県	鵬翔高校	宮崎南	1990.7.01	161
宮崎県	宮崎学園高校	宮崎	1990.7.31	35
宮崎県	福島高校	串間	1992.4.14	21
宮崎県	日南学園高校	日南中央	1996.9.25	8
宮崎県	海洋高校	宮崎中央	2006.7.20	0
宮崎県	小林秀峰高等学校	小林	2011.8.1	30
宮崎県	都城工業高校	都城西	2016.1.25	3
宮崎県	都城東高校	都城	2017.5.10	0
宮崎県	小計 12クラブ 334名			
鹿児島県	川内商工高校	川内	1966.2.12	22
鹿児島県	鹿児島商業高校	鹿児島南	1966.6.20	3
鹿児島県	鹿屋高校	鹿屋	1967.6.29	38
鹿児島県	鹿児島実業高校	鹿児島	1969.7.12	4
鹿児島県	鹿児島高校	鹿児島西	1971.6.17	30
鹿児島県	大口明光学園高校	大口	1980.7.01	8
鹿児島県	鹿屋工業高校	鹿屋西	1984.11.26	5
鹿児島県	鹿児島城西高校	鹿児島	1985.5.20	48
鹿児島県	指宿商業高校	指宿	1990.7.07	10
鹿児島県	尚志館高校	志布志	1996.3.16	4
鹿児島県	鶴翔高校	阿久根	2005.12.22	6
鹿児島県	れいめい高校	川内	2006.6.03	12
鹿児島県	鹿屋中央高校	鹿屋西	2009.2.23	0
鹿児島県	薩摩中央高校	宮之城	2012.10.12	6
鹿児島県	頴娃高校	頴娃	2013.5.08	18
鹿児島県	鹿児島純心高校	鹿児島SW	2016.6.18	25
鹿児島県	鹿屋女子高校	鹿屋	2016.9.01	14
鹿児島県	小計 17クラブ 253名			
合計 29クラブ 587名				

地区の姉妹盟約・クラブの姉妹関係

相手先			締結日	交流の現況
地区	国名	地域		
3661	韓国	慶尚南道	1970.4.12	地区相互訪問交流
3482	台湾	台北	2019.10.4	地区相互訪問交流

地区ロータリークラブの姉妹関係

2020年3月31日現在

県別	グループ	クラブ名	相手先			締結日	交流の状況
			地区	国名	クラブ名		
宮崎県	北部	延岡東	3630	韓国	西安東	1983.4.15	青少年交流事業・相互訪問
	中部	宮崎	3660	韓国	釜山	1971.10.20	
			2530	日本	山形	1979.7.24	会員相互訪問
		宮崎北	3490	台湾	土城	1988.4.20	会員相互訪問、周年事業等への参加
		宮崎南	3660	韓国	釜山東南	1983.3.19	
			2770	日本	連田	2013.6.27	相互訪問
	西部	小林	2710	日本	三次	1984.9.6	相互訪問
		都城	3460	台湾	豊原	1981.3.12	相互訪問、週報などの交換
		都城北	3460	台湾	潮州	1978.11.22	相互訪問、週報などの交換
		都城西	3720	韓国	東蔚山	1981.10.23	会員相互訪問、週報などの交換
			2640	日本	御坊南	1984.10.26	会員相互訪問、週報などの交換
	南部	日南	3660	韓国	釜山港都	1979.11.14	マッチンググラントを行った、会員相互訪問 週報などの交換
鹿児島県	北部	阿久根	3490	台湾	善化扶輪社	2018.4.28	相互訪問、週報等の交換
	中部	加治木	3462	台湾	員林西南	1983.3.19	小中学生交換短期留学、例会行事等の相互訪問
			2520	日本	岩沼	1997.4.13	例会行事等の相互訪問、週報等交換
		霧島	3660	韓国	釜山	1984.10.30	会員相互訪問交流、記念式典出席
	市内A	鹿児島南	3510	台湾	高雄東	1970.4.04	創立記念式典相互出席、週報等の交換
		鹿児島西	2800	日本	鶴岡	1965.5.09	会員相互親善訪問
			5130	アメリカ	サンタローザ・サンライズ	1989.4.28	青少年交換事業
			3490	台湾	宜蘭	2013.3.23	週報交換、情報交換
			2710	日本	下関東	2017.10.14	会員相互親善訪問
		鹿児島SW	3520	台湾	台北草山	2017.4.22	年1回お互いの例会に出席を兼ねた情報交換実施
	市内B	鹿児島	3480	台湾	台北西	1970.11.28	創立記念式典・地区大会の相互招待、 少年合唱団の交流、WCS会員相互訪問交流、 週報等交換、両国児童絵画コンクール
			6900	アメリカ	アトランタ	1978.5.17	会員相互訪問
			2800	日本	酒田	1979.9.14	創立記念式典・地区大会の相互招待、会員相互訪問、 週報等の交換、合同例会（テレビ電話・インターネット）
			2100	イタリア	ナポリ	1995.6.06	記念行事出席
			3650	韓国	セ・ソウル	2004.3.18	姉妹クラブ締結相互交流、創立記念式典の相互招待
			2710	日本	下関北	2013.3.16	創立記念式典の相互招待、会員相互訪問、週報交換
		鹿児島東南	7630	アメリカ	ネーマンス	1978.4.18	週報交換、情報交換
			3482	台湾	台北グランドパーク	2007.3.10	会員相互訪問、週報交換
		鹿児島東	2630	日本	岐阜サンリバー	1997.2.08	1年おきにそれぞれのクラブで交流
		鹿児島中央	3660	韓国	セ釜山	1984.9.20	会員相互訪問
		鹿児島北	3480	台湾	台北市和平	1991.11.23	WCS、週報交換・相互訪問
	西部	伊集院	2630	日本	不破	1990.4.30	週報の交換、情報交換、周年行事の相互訪問
		指宿	3830	フィリピン	パラニャケランピニ	2017.5.07	

地区内ロータリークラブの友好関係

2020年3月31日現在

県別	グループ	クラブ名	相手先 地区	国名	クラブ名	締結日	交流の状況
宮崎県	北部	延岡東	2730	日本	奄美中央	1992.4.28	周年行事・地区大会・地区協議会で交流、週報交換
			2730	日本	志布志みなと	2016.1.23	周年行事・地区大会・地区協議会で交流、週報交換
		延岡中央	2530	日本	いわき平中央	1994.10.28	周年行事参加、年1回訪問、週報交換
			3490	台湾	宜蘭西	2016.11.10	相互訪問、週報等の交換
	中部	宮崎中央	3480	台湾	台北龍山	2011.3.18	相互訪問、周年行事参加
			2640	日本	海南東	2011.4.16	相互訪問
		高鍋	2800	日本	米沢上杉	2003.5.25	相互訪問
		西都	3630	大韓民国	南慶州	2000.5.17	相互訪問
			2720	日本	宇佐八幡	2009.4.04	相互訪問
		宮崎東	2730	日本	鹿児島SW	1998.5.11	年1～2回交流会
	南部	串間	3500	台湾	新竹東區	1991	人的交流
鹿児島県	北部	出水	3470	台湾	嘉義東北	2017.1.12	会員相互訪問
	中部	加治木	2660	日本	大阪帝塚山	2007.5.13	例会行事等の相互訪問、週報等の交換
			2720	日本	肥後小国	2017.4.8	例会行事等の相互訪問等
		国分	2610	日本	小矢部	1999.6.08	3年1回交互クラブ訪問
		霧島	2640	日本	境東	2015.5.15	相互訪問等
	市内A	鹿児島南	1400	フィンランド	ロヴァニエミ・サンタクロース	2011.8.29	会員相互クラブ訪問
			1950	ドイツ	カールシュタット・アルンシュタイン	2011.8.30	会員相互クラブ訪問
			2520	日本	多賀城	2013.11.30	創立記念式典会員相互出席
		鹿児島城西	2800	日本	山形中央	1999.11.6	会員相互訪問、週報交換
		鹿児島SW	2730	日本	宮崎東	1998.5.11	例会相互訪問・年1回懇親会含め情報交換を行う
	市内B	鹿児島中央	2530	日本	会津若松西	1997.1.10	会員相互訪問、週報等の交換
			2580	日本	那覇西	2002.1.15	沖縄・鹿児島両県高校生交流会実施
	西部	指宿	2720	日本	人吉	1988.806	会員相互訪問、週報等の交換
		枕崎	3660	韓国	釜山東北	1993.4.25	休止中
	東部	鹿屋	2500	日本	音更	2002.10.19	会員相互交流、週報等の交換
		鹿屋西	3500	台湾	龍潭扶輪社	1996.10.7	相互訪問
		志布志	3400	インドネシア	バリタマン	2001.1.23	休止中
		志布志みなと	2730	日本	延岡東	2016.1.23	周年行事・地区大会・地区協議会で交流、週報交換
	奄美	奄美	2590	日本	横浜本牧	2002.4.4	周年行事参加、週報等交換、相互訪問
			2580	日本	那覇	2019.2.12	周年行事参加、週報等交換、相互訪問
		奄美中央	2730	日本	延岡東	1992.4.28	周年行事・地区大会・地区研修協議会で交流、週報交換

地区内プロバスクラブ現況

2020年3月31日現在

プロバスクラブ	スポンサークラブ	創立年月日	例会日	会員数	連絡先
コスモス会	小林	1989.2.10	第2金曜日	10	〒886-0003　小林市堤2092 田原郁朗　TEL0984-22-6496
鹿児島中央	鹿児島中央	1991.6.20	休止中		
桜川	西都	1991.9.24	第2水曜日	14	TEL:　0983-43-2345
鹿屋	鹿屋西	1991.12.9	第2水曜日	7	鹿屋西ロータリークラブ　TEL0994-44-5811
日南	日南中央	1994.6.18	第2水曜日	11	〒887-0101　日南市大字宮浦580 会長　長友好一　TEL0987-29-1047
鹿児島城西	鹿児島城西	1995.7.25	第2木曜日	5	〒890-0053　鹿児島市中央町5-1 鹿児島東急REIホテル内
鹿児島西	鹿児島西	1998.1.23	第2木曜日	9	〒892-0828　鹿児島市金生町3-13-5F 鹿児島西ロータリークラブ　TEL099-223-5902
日向	日向 日向東 日向中央	1998.3.12	第2木曜日	13	〒883-0013　日向市新生町2丁目33-2 日向地区ロータリークラブ事務局内
指宿	指宿	1999.1.26	月1回	18	〒891-0304　指宿市十二町2272-3　会長　向吉 保 TEL0993-24-2311
出水	出水	1999.4.22	月1回	12	〒899-0402　出水市高尾野町柴引1558 鶴園敬志　TEL 64-2269
阿久根	阿久根	1999.6.19	第3火曜日	13	阿久根ロータリークラブ　TEL0996-72-3611
宮崎	宮崎	1999.6.29	第2木曜日	5	〒880-0211　宮崎市佐土原町下田島19657-4 富士持　吉人
鹿児島西南	鹿児島西南	1999.7.28	第2土曜日	8	〒891-0150　鹿児島市坂之上7丁目15-22 山中　利雄
都城霧島	都城	1999.9.02	第2火曜日	14	〒885-0053　都城市上東町6-2　平山登啓 TEL0986-24-8939　FAX0986-21-1383
フェニックス	宮崎北	1999.9.14	第2金曜日	9	〒880-0804　宮崎市宮田町13-8　田崎ビル 宮崎北ロータリークラブ内
新富	西都	2000.6.23	2ヶ月に1回	20	TEL:　090-3199-5867
くしら	串良	2000.11.13	第2水曜日	17	〒899-7306 曽於郡大崎町永吉6059（串良RC事務局）
頴娃	頴娃	2000.11.16	第1木曜日	18	〒891-0702 南九州市頴娃町牧之内10474
鹿児島南	鹿児島南	2001.5.13	第4木曜日	13	森山道宏（会長）　TEL　099-201-6855
伊集院	伊集院	2001.6.20	第3水曜日	6	大浦地　忠生（会長）　TEL099-273-5801
高山・吾平	きもつき	2002.2.23	第2水曜日	21	鹿屋市吾平町麓3329　松山為昌
かのや東	かのや東	2004.4.01	第1金曜日	11	かのや東RC事務局　TEL0994-43-2344
鹿児島	鹿児島	2007.7.19	休止中		
えびのプロバス穂波会	えびの	1998.4.1	第2木曜日	31	〒889-4222　えびの市大字小田794-4 奥松　勉　TEL0984-35-0358

地区ロータリー地域社会共同隊（RCC）現況

2020年3月31日現在

RCC名	スポンサークラブ	創立年月日	例会日	会員数	連絡先
Can RCC	鹿児島城西	2001.4.02	第3土曜日	11	〒890-0053 鹿児島市中央町5-1 鹿児島東急REIホテル内
小林子うさぎ文庫	小林	2001.6.06	月・木曜日	30	〒886-0008 小林市大字細野1582 坂下美千代
犬猫と共生できる社会をめざす会	鹿児島中央	2001.6.06	毎月1回	10	中村 TEL 090-8760-2092 （事務局）FAX 099-222-2529
希夢	国分	2002.3.09	第2・4月曜日	15	岡元 弘樹TEL 080-3978-1345
RCCサザンフレンズ	鹿児島サザンウインド	2006.6.29	第2土曜日	11	鹿児島東急REIホテル内 RC事務局 TEL 090-5295-2736
上町タウンマネジメント	鹿児島	2017.2.03	第1・3木曜日	18	〒892-0818 鹿児島市上本町2番12号
（子ども食堂）そら豆食堂	指宿	2017.6.1	第3日曜日	25	〒891-0304 指宿市東方10829-1 中園伸宏 TEL090-4995-1583

各種書類の入手方法について

●国際ロータリー第 2730 地区ホームページから各種書類の様式をダウンロードできます。
トップページのバナーにある **「ダウンロード」** をクリックして下さい。

（書類ダウンロード画面）

以下の書類の様式をダウンロードできます。

1. 会員入会・退会報告書	9. セミナー報告書
2. 例会出席報告書	10. 全国ロータリー会議出席報告書
3. 出席率の算出と出席免除会員	11. クラブ訪問報告書（ガバナー補佐）
4. 国際ロータリー取扱分送金明細書	12. 万国旗借用書
5, 地区関係資金納入（送金）報告書	13. 備品借用（申込）書
6. 青少年助成金申請要項	14. 地区各委員会事業（収支）計画書
7. 地区青少年育成助成金申請書	15. 地区各委員会事業（収支）報告書
8. 部門会議（委員会）報告書	16. 地区勘定科目一覧表

※書類、様式は随時更新していきますので、その都度ご確認ください。

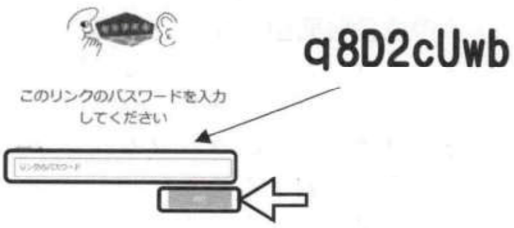
●事務局用 CD の詳細

1. interact_rotaract_how_to_update_club_information_ja.pdf
2. クラブ送金のしおり及び各種報告について.xls
3. ロータリー関係事務所一覧.xlsx
4. 会員数・出席率等報告について（記入上の補足）.docx
5. 第 1 回 RID2730 フォトコンテスト開催のご案内.pdf
6. 第 1 回 RID2730 フォトコンテスト募集要項.pdf
7. 事務局宛資料内容(CD).docx
8. 会員数・出席報告改訂版.xlsx
9. 地区関係資金納入報告書.xls
10. 地区青少年育成助成金申請書.docx
11. 備品借用申込書.xls
12. 万国旗借用申込書.xls
13. 地区年度計画（風呂井 GE）.docx

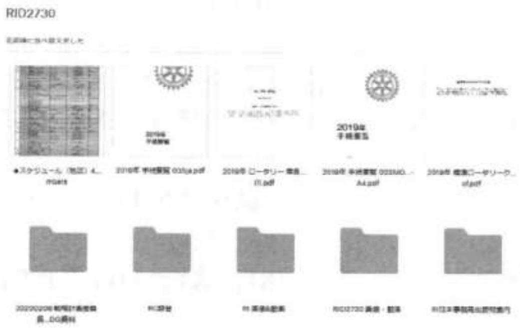
RI2730地区ホームページのDropboxの見方について

① 国際ロータリー第2730地区ホームページを開き、右列にある「Dropbox共有ファイル」をクリック。

② パスワード **q 8D2cUwb** を入力（英数字、大小文字の区別があります）し、「続行」をクリック

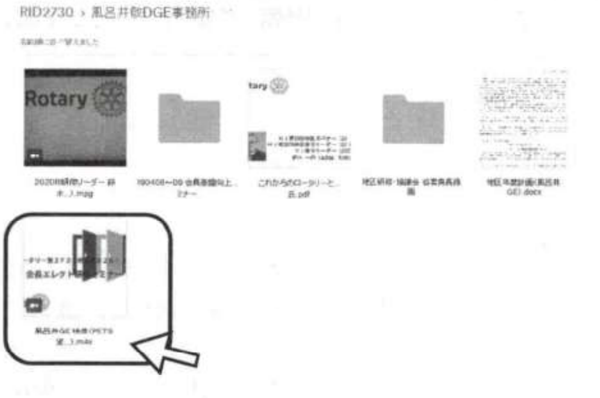


③ **Dropbox共有ファイル内ウィンドウ**
※任意のフォルダから資料、画像、動画など様々なコンテンツがご覧になれます。



④ 画面をスクロールして
「風呂井DGE事務所」をクリック。

⑤ 風呂井DGE事務所内ウィンドウ



⑥ 「ホルガー・クナークRI会長エレクトのテーマ講演及び風呂井敬ガバナー年度の地区方針」の動画を視聴できます。

※他にも会長エレクト研修にて予定されていた鈴木一作PG（2020年度RI研修リーダー）による講演、地区研修・協議会での各部門長・各委員長の方針説明の動画などもご覧になれます。

出席規定と例会出席率の算出

2019年手続き要覧（３年更新）に基づいて説明します。
（2020年度 R1研修リーダー 鈴木一作PGの資料より）

<出席規定>

会員が、ある例会に出席したものとみなされるには、

①その例会時間の少なくとも60パーセントに直接、電話で、またはオンラインで出席する。

②次のような方法で同じ年度に欠席をメークアップする。

1. 他のクラブの例会の少なくとも60パーセントに出席すること。
2. 理事会承認のクラブ奉仕プロジェクトまたはクラブが提唱した地域社会の行事や会合に出席すること。
3. 理事会の会合、または理事会が承認した場合、選任された奉仕委員会の会合に出席すること。
4. ローターアクトクラブ、インターアクトクラブ、ロータリー地域社会共同隊などの例会に出席すること。
5. RI国際大会、規定審議会、国際協議会、ロータリー研究会、RI理事会またはRI会長の承認を得て招集された会合、地区大会、地区研修・協議会、ガバナーの指示の下に開催された地区委員会、または正式に公表されたクラブの都市連合会（IM）などに出席すること。

③以下のロータリー活動による欠席は、出席扱いとする（欠席に対するメークアップは不要）。

1. RI役員またはRI委員会の委員、TRF管理委員として、ロータリーの職務に携わっている場合。
2. ガバナーの特別代表として、新クラブ結成中、ロータリーの職務に携わっている場合。
3. メークアップすることができないような僻遠の地で、地区、RI、またはTRFの提唱する奉仕プロジェクトに直接かつ積極的に従事している場合。
4. 理事会が正当に承認したロータリー職務に従事していて、例会に出席できない場合。

④上記①～③に従わない規定をクラブ細則に含めることができる。

（例：メークアップ期間をこれまで通りの例会前後２週間以内と、細則で定めることも可能）

（2019 標準ロータリークラブ定款「第 10 条 出席」<抜粋・一部改編>）

<出席規定の適応免除>

次のような場合、出席規定の適用は免除されるものとする。

①会員が現役のRI役員または現役のRI役員の配偶者／パートナーである場合。
（RI理事とガバナーは、RI役員です）

②一つまたは複数のロータリークラブのロータリー歴と会員の年齢の合計が85年以上であり、少なくとも20年のロータリアン歴があり、出席規定の適用を免除されたい希望を、書面をもって、クラブ幹事に通告し、理事会が承認した場合。

③理事会は、正当かつ十分な理由、条件、および状況によって、会員の出席規定の適用を最長12カ月間まで免除できる。但し、健康上の理由、子供の誕生または養子縁組の後、または里親期間中に欠席となる場合は、理事会は当初の12カ月を超えて延長することができる。

④上記①～③に従わない規定をクラブ細則に含めることができる。

（例：会員の長期出張期間を出席規定適用の免除条件として、細則で定めることも可能）

（2019 標準ロータリークラブ定款「第 10 条 出席」<抜粋・一部改編>）

<出席率>

会員は、

①メークアップを含むクラブ例会出席率が少なくとも50%に達しているか、年度の各半期間にクラブのプロジェクト、行事、その他の活動に少なくとも12時間参加しているか、または、バランスの取れた割合でその両方を満たしていなければならない。

②年度の各半期間に、クラブ例会総数のうち少なくとも30%に出席、またはクラブのプロジェクト、行事、その他の活動に参加しなければならない(ガバナー補佐は、この義務を免除される)。

③理事会が正当かつ十分な理由があると認めない限り、連続４回例会に出席せず、またメークアップもしていない場合、理事会は会員の会員身分を終結することができる。

④上記①～③に従わない規定をクラブ細則に含めることができる。

(2019 標準ロータリークラブ定款「第 13 条 会員身分の存続」<抜粋・一部改編>)

<例会出席率の計算方法>

出席率の計算式

$$\frac{\text{当日出席した正会員数}}{(\text{全正会員数})-(\text{当日欠席した免除適用を受けた正会員数})}\times 100$$

出席計算例	①出席免除の適用を受けていない正会員数：	44名
	②ロータリー歴と年齢で出席免除適用を受けた正会員数：	5名
	③RI役員で出席免除適用を受けた正会員数：	1名
	④健康上の理由等で理事会が出席免除とした正会員数：	2名

(④の２名は、出欠に関係なく、出席率の計算式中のどの項目にも含めない)

本来の全正会員数：52名

出席率の計算に用いる全正会員数：50名

1）出席免除の適用を受けた②③の会員を含めて50名全員が出席した場合

$$\Rightarrow \frac{50}{50}\times 100= 100\%$$

2）出席免除の適用を受けた②③の会員１名が欠席し、その他49名が出席した場合

$$\Rightarrow \frac{49}{50-1}\times 100= 100\%$$

3）出席免除の適用を受けていない会員が１名欠席し、その他49名が出席した場合

$$\Rightarrow \frac{49}{50}\times 100= 98\%$$

4）免除適用を受けていない会員と②③の免除会員とが1 名ずつ欠席し、
その他48名が出席した場合

$$\Rightarrow \frac{48}{50-1}\times 100= 97.9\%$$

(2020 年7月1日　更新)

今後のスケジュール(予定)

クラブ　地区・グループ　RI・他地区

月	日	曜日	主要行事	時間	場所	備考
2020年						
5月	10	日	第3回RA地区連絡協議会		霧島市国分シビックセンター	中止
	15~17	金~日	RI第3482地区　地区大会（台湾）派遣			不参加
	16~17	土・日	国際ロータリー日本青少年交換研究会 山形会議		山形天童市	中止
	17	日	地区研修・協議会	次期会長会議9：00 本会議9：35~	鹿屋市文化会館 鹿屋市中央公民館	中止
	30~31	土・日	第49回ローターアクトのための研修会		霧島市国分	中止
			4地区合同ジャパンツアー	旅程未定		開催検討中
			次年度派遣学生第5回オリエンテーション	12:00~15:00	地区事務所(都城市)	
6月	6~10	土~水	ロータリー国際大会		ハワイ州ホノルル（アメリカ）	中止
	7	土	RA役員研修会(引継)		加治木町さえずりの森	
	14	日	青少年交換報告会・壮行会	10：30~14：00	メインホテル（都城市）	
	20~21	土・日	会長エレクト研修セミナー パート2	20日 12：30~18：05 21日 8：30~11：20	都城調理師高等専修学校	中止
	21	日	「クラブ活性化ワークショップ」 地区会員増強・地区公共イメージ・地区ロータリー財団（3セミナー統合）	12：30~15：30	メインホテル（都城市）	中止
	未定		地区インターアクト研修会		都城市	
	29~30	月・火	会員基盤向上セミナー （第1・第2・第3地域）		ホテルグランドパレス	中止
7月	1	水	ガバナー・元・次期ガバナー懇談会	午後	グランドプリンスホテル高輪	中止
	4	土	諮問委員会（直前ガバナー慰労会）		未定	
	4	土	第1回RA委員長会			
	5	日	第1回RA地区連絡協議会		霧島市国分シビックセンター	
	11~12	土・日	前年度最終G補佐会議		奄美	
8月	1~2	土・日	インターアクト年次大会		県立青少年センター	中止
	16	日	第1回地区RA合同委員会		霧島市国分シビックセンター	
	22	土	第1回受入学生オリエンテーション		かごしま空港ホテル（霧島市）	青少年交換委員会
	23	日	受入学生・派遣学生帰国合同報告会		かごしま空港ホテル（霧島市）	青少年交換委員会
	29~30	土・日	RA七地区交流会			
9月	5	土	APRRC			
	14~15	月・火	ガバナーエレクト研修セミナー（GETS）		国際文化会館（東京都）予定	
	16	水	2021-22年度の地区研修リーダーのためのセミナー（DTS）		国際文化会館（東京都）予定	
10月	20	火	2021-22年度派遣学生募集説明会		地区事務所(都城市)	青少年交換委員会
	21	水	東京RC 創立100周年記念例会兼祝賀会	17：00~20：00	帝国ホテル	
	23~25	金~日	RI第2740地区 地区大会(長崎・佐賀)		武雄文化会館	風呂井G参加予定
11月	10	火	2021-22年度派遣学生選考会		地区事務所(都城市)	青少年交換委員会
	13~15	金~日	2020-21年度　地区大会		国立大学法人鹿屋体育大学 ホテルさつき苑（鹿屋市）	
	24~27	火~金	第49回ロータリー研究会	24日　9：00~14：30 25,26日 9：00~17：30 27日　9：00~15：00	24日 ザ・プリンスパークタワー東京（予定） 25日~27日 ホテルオークラ東京	

※上記予定は変更になる場合があります。

月	日	曜日	主要行事	時間	場所	備考
2021年						
1月	16	土	地区米山奨学生選考会		メインホテル(都城市)	米山奨学生選考委員会
	23	土	RAC第3ゾーン会議			
2月	7~11	日~木	国際協議会		フロリダ州オーランド(アメリカ)	
	13	土	2020年度奨学生修了式		未定	米山奨学生選考委員会
	20	土	諮問委員会(国際協議会報告会) 次期ガバナー補佐、次期部門長会議		メインホテル(都城市)	
	23	火	ロータリーデー実施			
3月	6~7	土・日	次期地区チーム研修セミナー		都城市	
	13~14	土・日	RI第2720地区 地区大会(熊本・大分)		熊本城ホール	風呂井G参加予定
	27~28	土・日	会長エレクト研修セミナー		都城市	
4月	3	土	第2回RA委員長会			
	11	日	伊集院RC 50周年記念式典			
	17	日	奄美RC 60周年記念式典			
	17	日	2021年度奨学生とカウンセラーのオリエンテーション		未定	米山奨学生選考委員会
	25	日	地区研修・協議会		都城市	
	24~25	土・日	RI第2700地区 地区大会(福岡・長崎・佐賀)		1日目 柳川 2日目 久留米シティプラザ	風呂井G参加予定
	未定		RI第3661地区地区大会(釜山)			
5月	未定		RI第3482地区地区大会(台北)			
	30	日	ローターアクトの為の研修会			
6月	12~16	土~水	ロータリー国際大会		台北(台湾)	

※上記予定は変更になる場合があります。

ロータリー関係事務所一覧

【国際ロータリー世界本部】

ROTARY INTERNATIONAL
One Rotary Center
1560 Sherman Avenue,Evanston,Illinois　60201-3698, U.S.A

【国際ロータリー日本事務局】

〒108-0073　東京都港区三田1丁目4-28　三田国際ビル24階

クラブ・地区支援室	TEL：(03)5439-5800	FAX：(03)5439-0405
財団室	TEL：(03)5439-5805	FAX：(03)5439-0405
経理室	TEL：(03)5439-5803	FAX：(03)5439-0405
資料室	TEL：(03)5439-5802	FAX：(03)5439-0405

E-mail：rijapan@rotary.org

【ガバナー会兼ロータリー青少年交換連絡事務所】

〒105-0011　東京都港区芝公園2-6-15　黒龍芝公園ビル４階
TEL：(03)3433-6497　FAX：(03)3433-7395
E-mail：govkai@orange.ocn.ne.jp

【ロータリー文庫】

〒105-0011　東京都港区芝公園2-6-15　黒龍芝公園ビル３階
TEL：(03)3433-6456　FAX：(03)3459-7506
E-mail：rotary-bunko@msj.biglobe.ne.jp

【(財)ロータリー米山記念奨学会】

〒105-0011　東京都港区芝公園2-6-15　黒龍芝公園ビル３階
TEL：(03)3434-8681　FAX：(03)3578-8281
E-mail:mail@rotary-yoneyama.or.jp

【米山梅吉記念館】

〒411-0941　静岡県駿東郡長泉町上土狩346-1
TEL：(055)986-2946　FAX：(055)989-5101
E-mail：yumh@ai.tnc.ne.jp

【ロータリーの友事務所】

〒105-0011　東京都港区芝公園2-6-15　黒龍芝公園ビル４階
TEL：(03)3436-6651　FAX：(03)3436-5956
E-mail:hensyu@rotary-no-tomo.jp

【RI第2730地区　2020-21年度風呂井敬ガバナー事務所】

〒893-0064　鹿児島県鹿屋市西原1丁目9-10　ホテルさつき苑内
TEL：(0994)35-1340　FAX：(0994)35-1341
E-mail:furoi2730@po5.synapse.ne.jp

【RI第2730地区　都城地区事務所】

〒885-0072　宮崎県都城市上町8-9　メインホテル4階
TEL：(0986)36-5877　FAX：(0986)36-5878
E-mail:miyakonojo@ri2730.org

2020−21年度
RI国際大会のご案内

2020−21年度RIテーマ
ロータリーは機会の扉を開く

台北でロータリーの機会の扉を開きましょう

2020−21年度
RI国際大会は
麗しの島台湾の首都
台北
で開催されます

16世紀中期初めて台湾に上陸したポルトガル人は緑に覆われた美しい島に感嘆して「イル フォルモサ」麗しの島よと叫びました。
今でもヨーロッパでは台湾のことはフォルモサと呼ばれています。とても親日的でロータリー活動も盛んな麗しの台湾で開催されるRI国際大会を皆さんで盛り上げましょう。

大会参加旅行日程　2021年6月11日(金)〜14日(月) 4日間

1	鹿児島空港発 台北空港　着	12:00 13:30	中華航空119便にて一路台北へ 到着後専用車にて台北市内観光へ　忠烈祠〜中正記念堂 台湾料理デラックスメニューのご夕食 ホテル：台北市内デラックスクラス３泊
2			<フリータイム> オプショナルツアーやショッピングなどでお楽しみ下さい OP①故旧博物院〜台北市内ー野柳 ②レトロの街九份望みが叶う十份天燈上げ ③基隆・北部海岸観光 ④台湾のベニス淡水観光　etc 夕食は2730地区親睦会が行われます(ガバナーナイト)
3			国際大会開会本会議開催 出席後はご希望により観光等へご案内します
4	台北空港　発 鹿児島空港着	8:10 11:00	専用車にて台北桃園空港へ 中華航空118便にて鹿児島へ

＊2日目の夜は 2730 地区親睦夕食会(ガバナーナイト)を開催します。
登録料、大会会場、旅行費用等は未確定です。詳細が決まり次第ご案内しますので皆様の参加を宜しくお願い致します。

国際ロータリー第2730地区ガバナーエレクト事務所

Rotary 国際ロータリー第2730地区

2020-21年度

地区大会のご案内

2020－21年度RIテーマ
ロータリーは機会の扉を開く

地区大会スローガン

世界を変える行動人として、機会の扉を大きく開き、平和を目指そう

11月13日(金)

- ■記念ゴルフ大会
- ■各地区委員会
- ■R1会長代理歓迎晩餐会

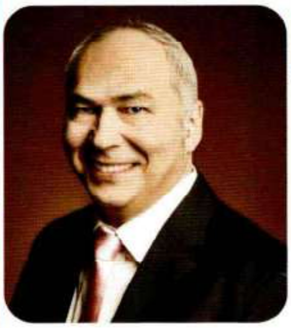
11月14日(土)

- ■第1本会議
- ■記念講演
- ■会員交流大懇親会

11月15日(日)

- ■第2本会議
- ■特別講演
- ■フェアウェルパーティ

記念講演



「オモテナシからオトモダチへ
～日本とアメリカで通用するがんばり術～」

Morley Robertson
モーリー・ロバートソン 氏

1963年1月12日生まれ
1981年に東京大学入学。日本語で受験したアメリカ人としては初めての合格者。同年ハーバード大学、MIT、スタンフォード大学、イエール大学、カリフォルニア大学バークレー校、プリンストン大学にも同時合格し、東京大学を中退後ハーバード大学へ編入。
現在は国際ジャーナリストからタレント・ミュージシャンとしてそのマルチなキャラクターと知性で活躍の場を広げつづけている。

特別講演

「世界から見た日本、日本のミッション」

駐日サンマリノ共和国特命全権大使
駐日外交団長
マンリオ　カデロ 氏

駐日サンマリノ共和国特命全権大使、駐日外交団長として、駐在国における各種外交行事の際は、全ての外交団の代表として活躍。滞在歴約40年に渡り、神道に深く精通し、2014年6月、サンマリノに日本の神社が建立された際には、日本サンマリノ友好協会と共に尽力されました。

【開催日】2020年11月13日(金)－15日(日)

世界へ発信「スポーツ研究イノベーション拠点」
鹿屋体育大学スポーツパフォーマンス研究センター

【開催地】

国立大学法人　鹿屋(かのや)体育大学 他

〒891-2393　鹿児島県鹿屋市白水町1